

小平市 こども・若者の意識・実態調査

報 告 書

令和 7 年 3 月

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査項目	3
4. 回収結果	4
5. 調査結果を見る上での注意事項	4
第2章 小学校5年生・中学校2年生・16歳～29歳以下の市民調査	5
1. 基本属性	7
(1) 年齢	7
(2) 性別	7
(3) 在学の有無	9
(4) 最終学歴または在学状況	10
(5) 婚姻状況	10
(6) 同居家族	11
(7) 主な生計者	12
(8) 暮らし向き	13
(9) 自分のことについて	14
2. 家庭での生活について	18
(1) 家族との会話	18
(2) 主に話す家族	19
(3) 家族とよく話す会話の内容	20
(4) 家族の役割として重要だと思うこと	21
3. 日常生活について	22
(1) 友だちの有無	22
(2) 友だちとの交友関係	23
(3) 友だちや家族との関係で感じること	24
(4) 自由な時間の過ごし方	25
(5) 遊び相手	26
(6) 遊びの内容	27
(7) 安息の場所	28
(8) 外出の頻度	30
(9) 現在の外出頻度になった年齢	31
(10) 現在の外出頻度になってからの期間	32
(11) 現在の状態になったきっかけ	33
4. 普段のことについて	34

(1) 各種ハラスメントの経験	34
5. 学校での生活について (この項目は学生のみ)	37
(1) 学校生活の満足度	37
(2) 学校生活で不満に思うこと	38
(3) 学校の愛好度	39
(4) 学校生活で悩んでいることや、心配していること	42
(5) 学校が嫌で欠席すること	43
6. 家庭のこと (この項目は小学校5年生、中学校2年生のみ)	44
(1) 家庭のこと	44
(2) 周囲の人との関係	46
7. ヤングケアラー・若者ケアラーについて	48
(1) 大人に代わって、家事や家族の世話の実施すること	48
(2) 家事や家族の世話をすることで及んでいる影響	49
(3) ヤングケアラーになった場合の相談意向	50
(4) 相談する場合の相談先	51
(5) 相談しない理由	52
8. 虐待について	53
(1) 保護者や家族などからの虐待行為の経験	53
(2) 虐待行為があった場合の相談意向	56
(3) 厳しいしつけに対する考え	57
9. 進路・就業・職業について	58
(1) 学校卒業後の進路希望	58
(2) 就業形態	59
(3) 今の職場の満足度	60
(4) 就職していない理由	61
(5) 仕事を選ぶ際に重視すること	62
10. 非行的な行為について	67
(1) こども・若者の健やかな成長、非行防止に大切なこと	67
11. 地域社会での生活について	68
(1) 居住地域近辺で危険な目にあったこと	68
(2) 地域活動への参加状況	69
(3) 参加している地域活動	70
(4) 地域活動に参加していない理由	71
12. 日頃の考え方や意識について	72
(1) 自尊感情	72
(2) 困っていることや悩んでいること	75
(3) 悩みごとの相談先	81
(4) 悩みごと相談の最良の方法	83
13. 将来のことについて	84

(1) 将来への不安	84
(2) 不安の内容	85
(3) 20年後の自身の未来像	87
(4) 将来の子育て希望	90
(5) 恋愛・結婚・育児観	92
14. 市の取組について	95
(1) 放課後を過ごす場所	95
(2) 放課後の居場所に望むこと	96
(3) 若者のために必要な市の取組	97
(4) 自分の考えを市の制度や取組に伝えること	98
(5) 伝えられていないと思う理由	99
(6) 意見を伝えやすい方法や手段	100
(7) こどもの権利の認知度	102
 第3章 関係団体（関係者）調査	103
1. 基本属性	105
2. 活動・支援方法	106
3. 相談内容	108
4. 抱えている問題	110
5. 活動上の課題	112
6. 不足しているサービスや支援	114
7. 地域社会に求められること	116
8. こども・若者、子育て世代への施策を考えていくうえで大切なこと	118
 資料 調査票	123
1. 小学校5年生・中学校2年生用	125
2. 高校生年代用	131
3. 学生・一般用	140
4. 関係団体（関係者）用	149

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、こども基本法第10条第2項に基づき令和7(2025)年度に策定する「(仮称)小平市こども計画」の基礎資料とすることを目的として、実施しました。

2. 調査方法

(1) 小平市こども・若者の意識・実態調査

調査地域：小平市全域

調査対象者：①小平市立小学校5年生 1,714人

②小平市立中学校2年生 1,462人

③16歳以上29歳以下の市民 3,000人

高校生年代(16～18歳) 1,000人

学生・一般(18～22歳、22～29歳) 各1,000人

④関係団体(関係者) 172人

(小平市青少年対策地区委員会代表者協議会、小平市青少年委員会、小平市民生委員児童委員協議会、北多摩北地区保護司会小平分区)

抽出方法：①② 全員に配付

③ 住民基本台帳からの無作為抽出

④ 全員に配付

調査方法：①～③インターネット調査(二次元コード読み取り、WEB画面にて回答)

④ 紙ベースで回収・インターネット回答(二次元コード読み取り、WEB画面にて回答)

調査期間：①～③ 令和6年11月26日(火)～12月16日(月)

④ 令和6年11月6日(水)～12月20日(金)

3. 調査項目

(1) 小平市こども・若者の意識・実態調査

①児童・生徒調査

ア. 基本属性

イ. 家庭のことについて

ウ. 普段のことについて

エ. 学校と場所について

オ. ヤングケアラーについて

カ. 虐待について

キ. 悩みについて

ク. こどもの権利と意思表示について

ケ. 将来のことについて

②高校生年代調査

ア. 基本属性

イ. 家庭での生活について

ウ. 日常生活について

エ. 普段のことについて

オ. 学校での生活について

カ. ヤングケアラー・若者ケアラーについて

キ. 虐待について

ク. 進路・就業・職業について

ケ. 非行的な行為について

コ. 地域社会での生活について

サ. 日頃の考え方や意識について

シ. 将来のことについて

ス. 市の取組について

③学生・一般調査

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ア. 基本属性 | ク. 進路・就業・職業について |
| イ. 家庭での生活について | ケ. 非行的な行為について |
| ウ. 日常生活について | コ. 地域社会での生活について |
| エ. 普段のことについて | サ. 日頃の考え方や意識について |
| オ. 学校での生活について | シ. 将来のことについて |
| カ. ヤングケアラー・若者ケアラーについて | ス. 市の取組について |
| キ. 虐待について | |

④関係団体（関係者）調査

- | | |
|------------|-----------------------------|
| ア. 基本属性 | オ. 活動上の課題 |
| イ. 活動・支援方法 | カ. 不足しているサービスや支援 |
| ウ. 相談内容 | キ. 地域社会に求められること |
| エ. 抱えている問題 | ク. こども・若者、子育て世代に対する施策で大切なこと |

4. 回収結果

調査対象	標本数	有効回収数	有効回収率
小学校5年生	1,714	1,532	89.38%
中学校2年生	1,462	1,199	82.01%
高校生年代（16歳～18歳）	1,000	372	37.20%
学生・一般（18歳～29歳）	2,000	483	24.15%
関係団体（関係者）	172	79	45.93%

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・児童・生徒用の調査票では漢字をひらがなで表記した部分があったが、本書内では漢字で表記している。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・こども大綱数値目標の現状は、調査方法や選択肢が異なる場合があり、参考値として掲載している。
- ・こどもの表記については、出典先が「子ども」「子供」と表記している場合を除き、原則として「こども」と表記する。
- ・小学校第5学年の児童を小学校5年生、中学校第2学年の生徒を中学校2年生と表記する。
- ・小学校5年生、中学校2年生向けの意識・実態調査は、今回初めて実施したため、前回調査との比較はない。
- ・性別は、小学校5年生と中学校2年生で無回答があるため、合計しても全体のn数とは一致しない場合がある。
- ・前回調査とは、平成29(2017)年3月に実施した「小平市子ども・若者の意識・実態調査」のうち、16歳以上29歳以下の市民調査を指す。
- ・クロス集計表にはデータバーを表示し、それぞれの割合の相対的な大きさを示している。

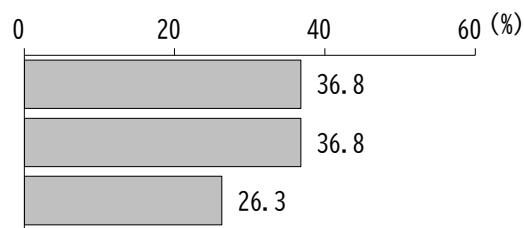
第2章 小学校5年生・中学校2年生・ 16歳～29歳以下の市民調査

1. 基本属性

(1) 年齢

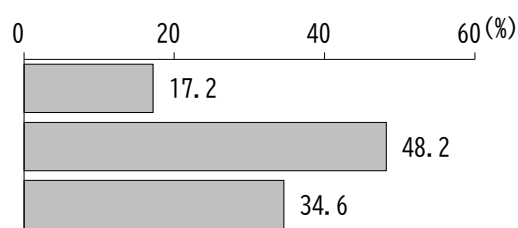
〈高校生年代〉

	基数	構成比
16歳	137	36.8%
17歳	137	36.8%
18歳	98	26.3%
全 体	372	100.0%



〈学生・一般〉

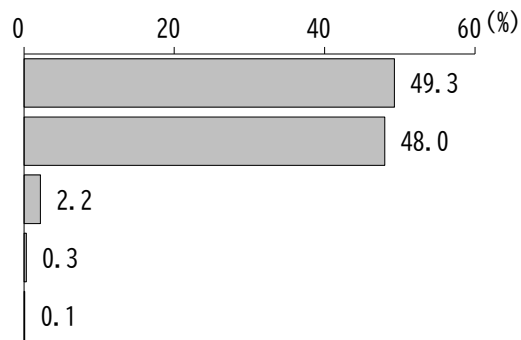
	基数	構成比
18・19歳	83	17.2%
20～24歳	233	48.2%
25～29歳	167	34.6%
全 体	483	100.0%



(2) 性別

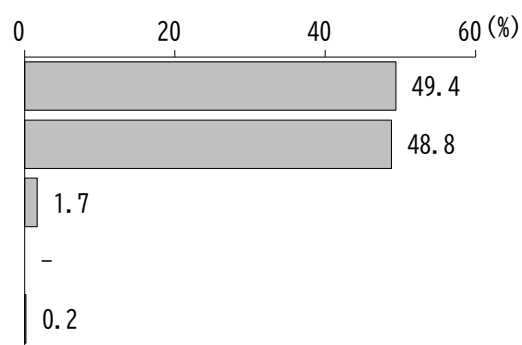
〈小学校5年生〉

	基数	構成比
男性	756	49.3%
女性	736	48.0%
どちらでもない、答えたくない	34	2.2%
その他	5	0.3%
無回答	1	0.1%
全 体	1,532	100.0%



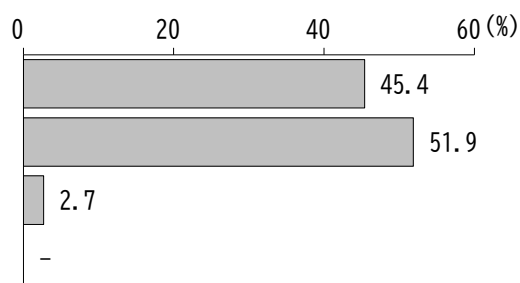
〈 中学校2年生 〉

	基数	構成比
男性	592	49.4%
女性	585	48.8%
どちらでもない、答えたくない	20	1.7%
その他	-	-
無回答	2	0.2%
全 体	1,199	100.0%



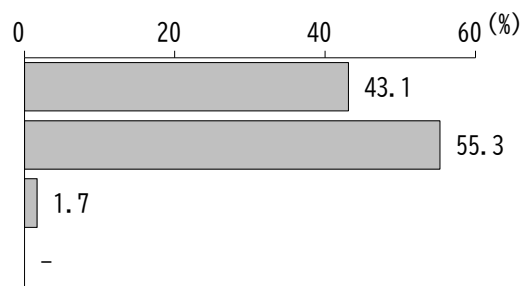
〈 高校生年代 〉

	基数	構成比
男性	169	45.4%
女性	193	51.9%
どちらでもない、答えたくない	10	2.7%
その他	-	-
全 体	372	100.0%



〈 学生・一般 〉

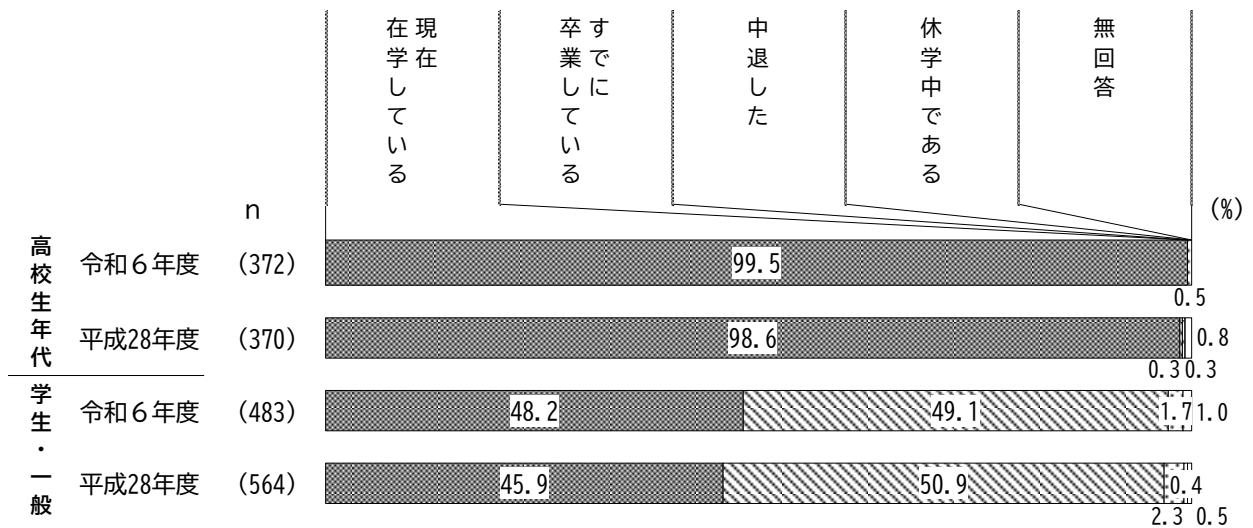
	基数	構成比
男性	208	43.1%
女性	267	55.3%
どちらでもない、答えたくない	8	1.7%
その他	-	-
全 体	483	100.0%



(3) 在学の有無

問〔高校生年代、学生・一般：問3〕

あなたは、現在学校に通っていますか。(○は1つ)

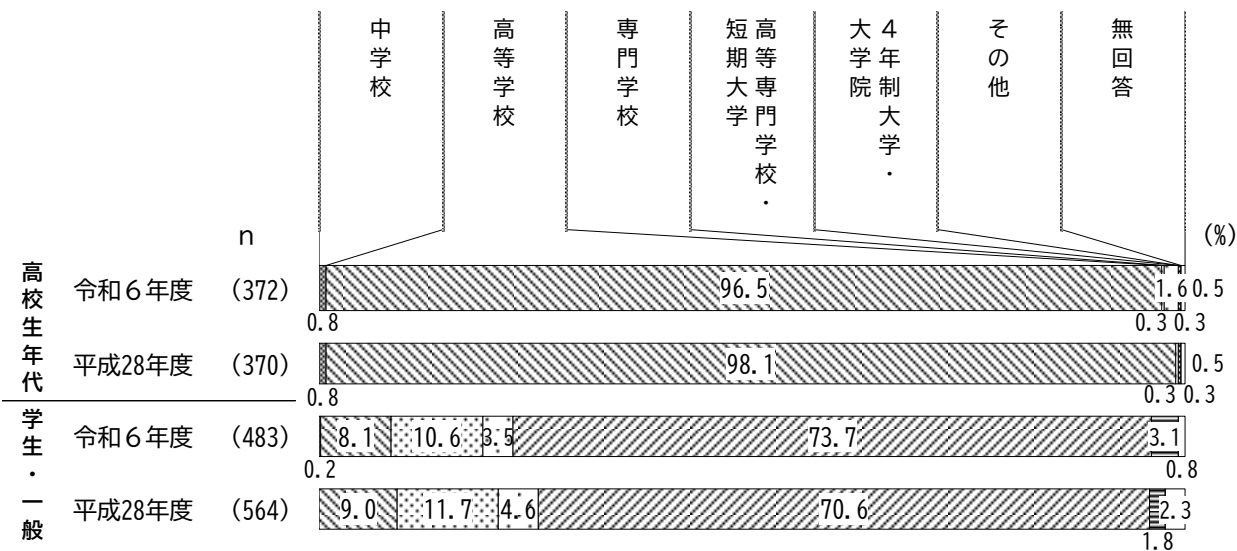


在学状況は、高校生年代で「現在在学している」99.5%、学生・一般で「すでに卒業している」49.1%、「現在在学している」48.2%となっている。

前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(4) 最終学歴または在学状況

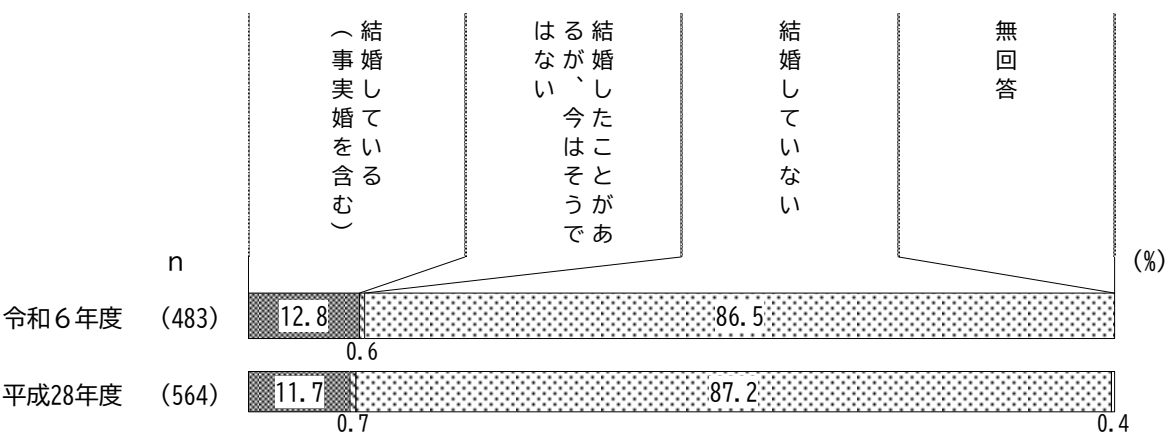
問〔高校生年代、学生・一般：問4〕
あなたが最後に卒業（中退を含む）した、または、現在在学している学校はどれですか。
在学している方は、学年もお答えください。（○は1つ）



最終学歴または在学状況は、高校生年代で「高等学校」96.5%、学生・一般で「4年制大学・大学院」73.7%、「専門学校」10.6%となっている。
前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(5) 婚姻状況

問〔学生・一般：問5〕
あなたは、結婚していますか。（○は1つ）



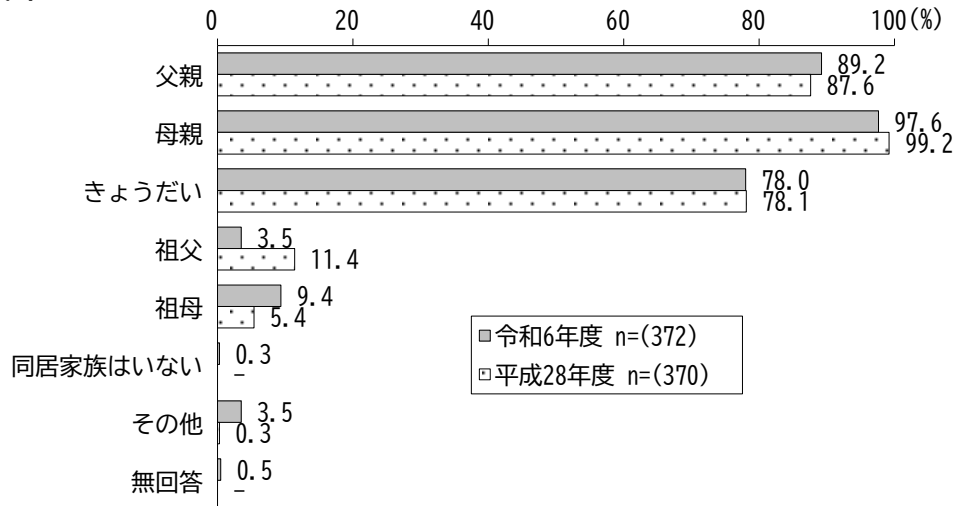
婚姻状況は、「結婚していない」86.5%、「結婚している（事実婚を含む）」12.8%となっている。
前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(6) 同居家族

問〔高校生年代：問5／学生・一般：問6〕

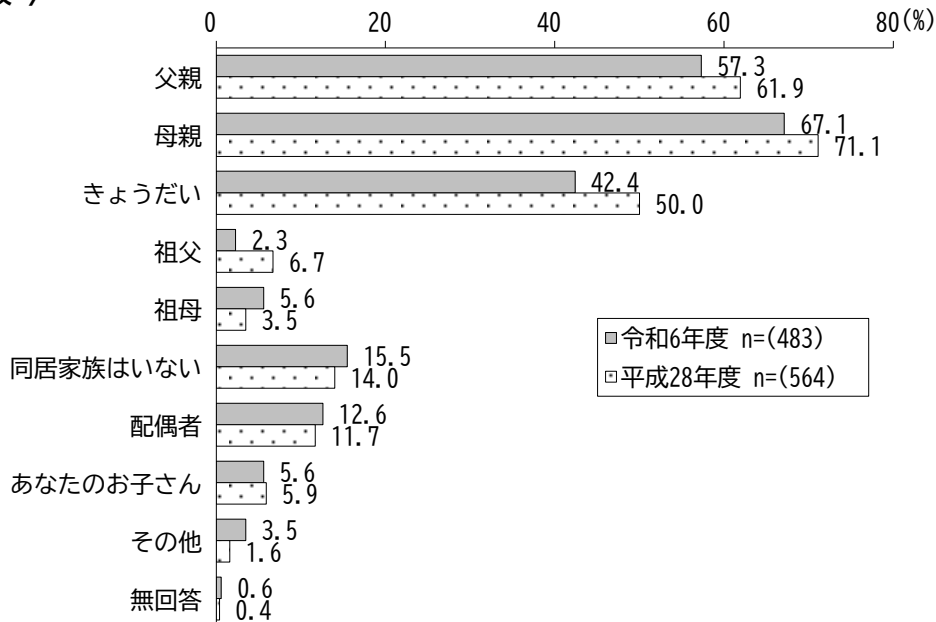
一緒に住んでいる家族を教えてください。(○はいくつでも)

〈 高校生年代 〉



同居家族は、高校生年代で「母親」97.6%、「父親」89.2%、「きょうだい」78.0%となっている。前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

〈 学生・一般 〉

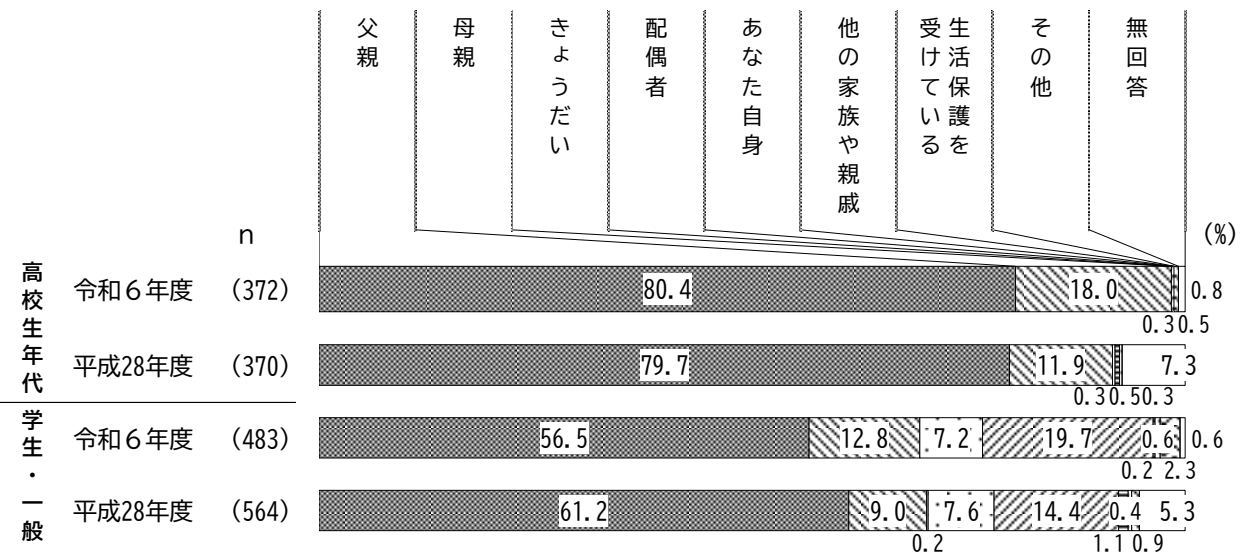


同居家族は、学生・一般で「母親」67.1%、「父親」57.3%、「きょうだい」42.4%となっている。前回調査と比較すると、「きょうだい」は今回42.4%で前回50.0%から7.6ポイント減となっている。

(7) 主な生計者

問〔高校生年代：問6／学生・一般：問7〕

あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多くの家計を負担している人をお答えください。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(○は1つ)



主な生計者は、高校生年代で「父親」80.4%、学生・一般で56.5%となっている。

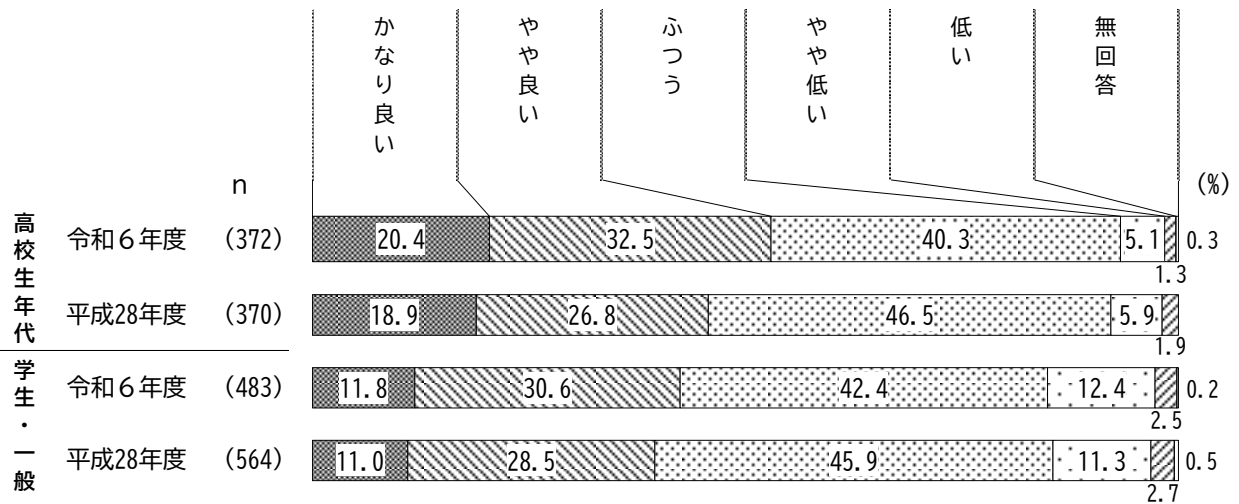
高校生年代と学生・一般を比較すると、「父親」は高校生年代が学生・一般より23.9ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「母親」は今回18.0%で前回11.9%から6.1ポイント増、学生・一般で「配偶者」は今回19.7%で前回14.4%から5.3ポイント増となっている。

(8) 暮らし向き

問〔高校生年代：問7／学生・一般：問8〕

あなたの家の暮らし向き（衣食住、レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べて、どの程度だと思いますか。あなたの実感でお答えください。（○は1つ）



暮らし向きは、「ふつう」が高校生年代40.3%、学生・一般42.4%となっている。

高校生年代で、「かなり良い」20.4%と「やや良い」32.5%を合わせると52.9%、学生・一般で「かなり良い」11.8%と「やや良い」30.6%を合わせると42.4%となっている。

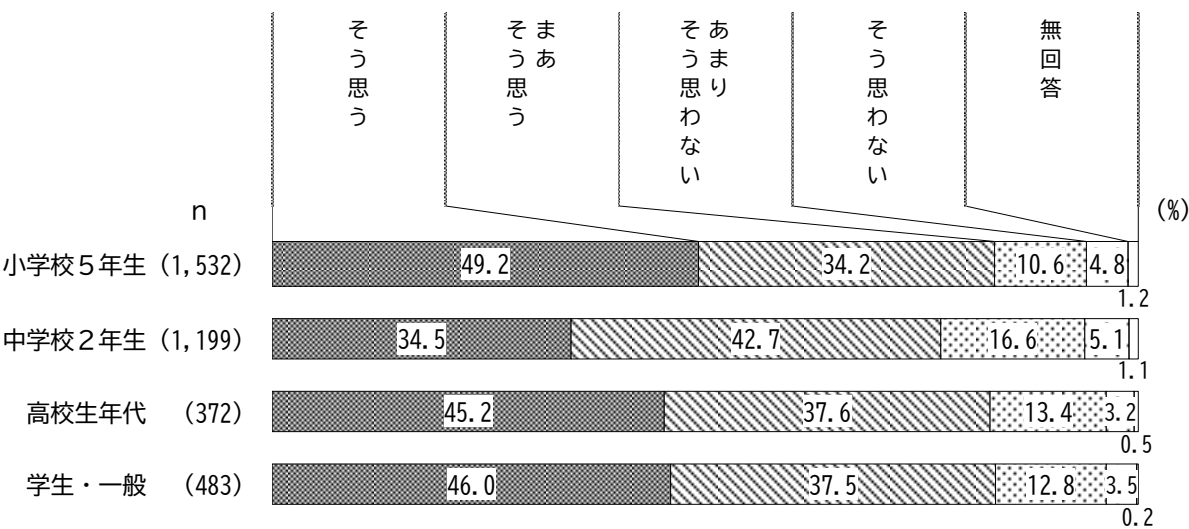
高校生年代と学生・一般を比較すると、「かなり良い」と「やや良い」を合わせて高校生年代52.9%が学生・一般42.4%より10.5ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「やや良い」は今回32.5%で前回26.8%から5.7ポイント増となっている。

(9) 自分のことについて

問〔小学校5年生・中学校2年生：問4／高校生年代：問8／学生・一般：問9〕
あなたのことについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。(○はそれぞれ1つずつ)

「自分には自分らしさがある」



自身について自分らしさがあるかは、小学校5年生で「そう思う」49.2%と「まあそう思う」34.2%を合わせると83.4%、中学校2年生で「そう思う」34.5%と「まあそう思う」42.7%を合わせると77.2%となっている。高校生年代で「そう思う」45.2%と「まあそう思う」37.6%を合わせると82.8%、学生・一般で「そう思う」46.0%と「まあそう思う」37.5%を合わせると83.5%となっている。

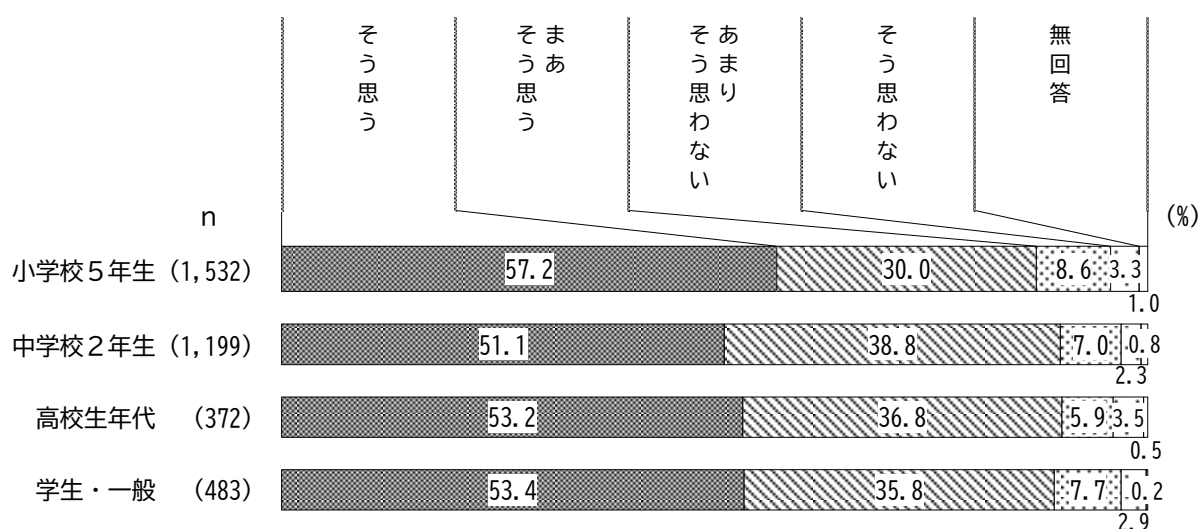
こども大綱数値目標の現状と比較すると、中学校2年生は割合が低く、他の年代では差はみられない。

こども大綱に掲載の「こどもまんなか社会」の実現に向けた数値目標

項目	数値目標	現状※
「自分には自分らしさというものがある」と思う こども・若者の割合	90%	84.1%

※こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」

「困っているときは助けてくれる人がいる」



困っているときは助けてくれる人がいるかは、小学校5年生で「そう思う」57.2%と「まあそう思う」30.0%を合わせると87.2%、中学校2年生で「そう思う」51.1%と「まあそう思う」38.8%を合わせると89.9%となっている。高校生年代で「そう思う」53.2%と「まあそう思う」36.8%を合わせると90.0%、学生・一般で「そう思う」53.4%と「まあそう思う」35.8%を合わせると89.2%となっている。

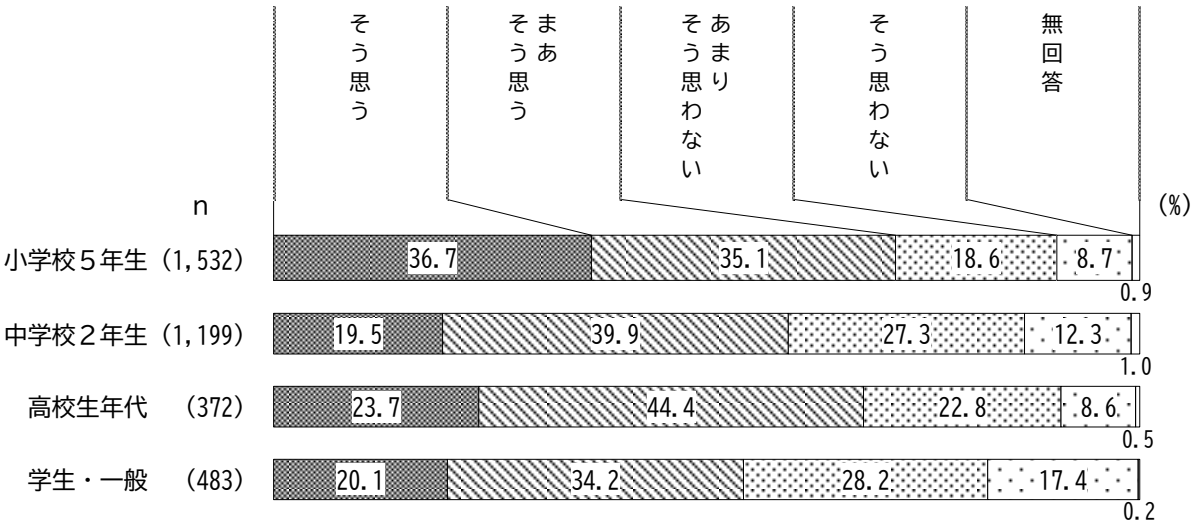
こども大綱数値目標の現状と比較すると、全年代で割合が低くなっている。

こども大綱に掲載の「こどもまんなか社会」の実現に向けた数値目標

項目	数値目標	現状※
「どこかに助けてくれる人がいる」と思う こども・若者の割合	現状維持	97.1%

※こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」の「家族・親族」、「学校で出会った友人」、「職場・アルバイト関係の人」、「地域の人」及び「インターネット上における人やグループ」のすべてについて、「困ったときは助けてくれる」に対して、「そう思わない」または「どちらかと言えば、そう思わない」と回答した者（無回答者を含む）。の割合を全体から乗じた割合。

「自分の将来に明るい希望をもっている」



自分の将来に明るい希望をもっているかは、小学校5年生で「そう思う」36.7%と「まあそう思う」35.1%を合わせると71.8%、中学校2年生で「そう思う」19.5%と「まあそう思う」39.9%を合わせると59.4%となっている。高校生年代で「そう思う」23.7%と「まあそう思う」44.4%を合わせると68.1%、学生・一般で「そう思う」20.1%と「まあそう思う」34.2%を合わせると54.3%となっている。

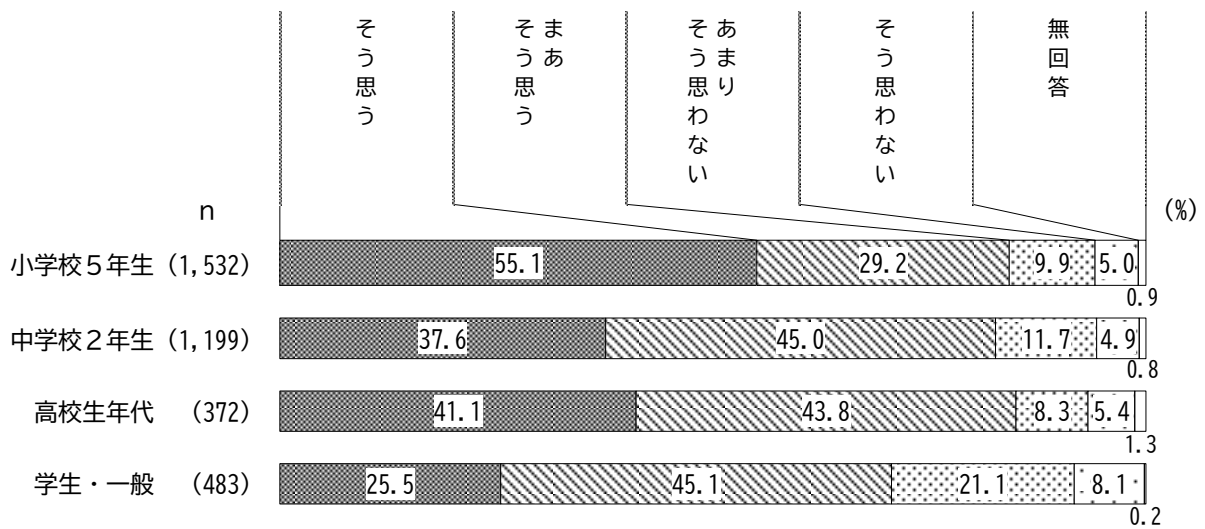
こども大綱数値目標の現状と比較すると、小学校5年生では割合が高く、高校生年代では差はみられず、中学校2年生、学生一般で割合が低くなっている。

こども大綱に掲載の「こどもまんなか社会」の実現に向けた数値目標

項目	数値目標	現状※
「自分の将来について明るい希望がある」と思うこども・若者の割合	80%	66.4%

※こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」

「今の生活に満足している」



今の生活に満足しているかは、小学校5年生で「そう思う」55.1%と「まあそう思う」29.2%を合わせると84.3%、中学校2年生で「そう思う」37.6%と「まあそう思う」45.0%を合わせると82.6%となっている。高校生年代で「そう思う」41.1%と「まあそう思う」43.8%を合わせると84.9%、学生・一般で「そう思う」25.5%と「まあそう思う」45.1%を合わせると70.6%となっている。

こども大綱数値目標の現状と比較すると、全年代で割合が高くなっている。

こども大綱に掲載の「こどもまんなか社会」の実現に向けた数値目標

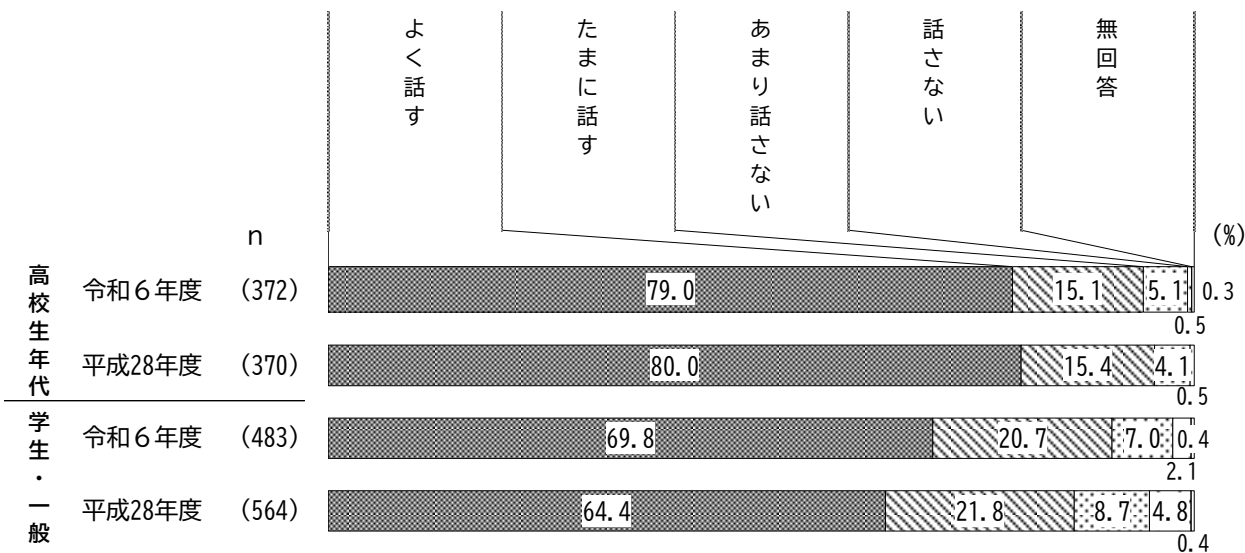
項目	数値目標	現状※
「生活に満足している」と思う こども・若者の割合	70%	60.8%

※OECD「生徒の学習到達度の調査（PISA）」0～10の選択肢で7以上と答えた割合。

2. 家庭での生活について

(1) 家族との会話

問〔高校生年代：問9／学生・一般：問10〕
あなたはふだん、家族とどのくらい話をしますか。(○は1つ)



家族との会話は、高校生年代で「よく話す」79.0%、学生・一般69.8%となっている。

家族との会話は高校生年代で、「よく話す」79.0%と「たまに話す」15.1%を合わせると94.1%、学生・一般で「よく話す」69.8%と「たまに話す」20.7%を合わせると90.5%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

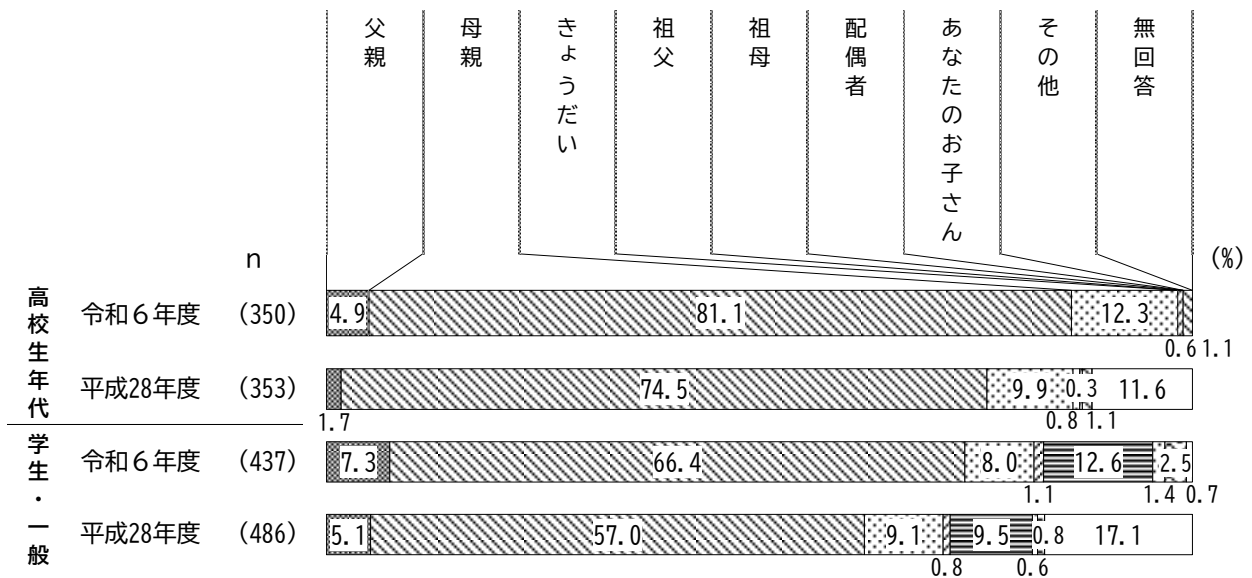
前回調査と比較すると、学生・一般で「よく話す」は今回69.8%で前回64.4%から5.4ポイント増となっている。

(2) 主に話す家族

【高校生年代：問9／学生・一般：問10で「よく話す」または「たまに話す」とお答えの方にかがいます】

問〔高校生年代：問9－1／学生・一般：問10－1〕

主に誰と話をしますか。(○は1つ)



主に話す家族は、高校生年代で「母親」81.1%、学生・一般66.4%となっている。

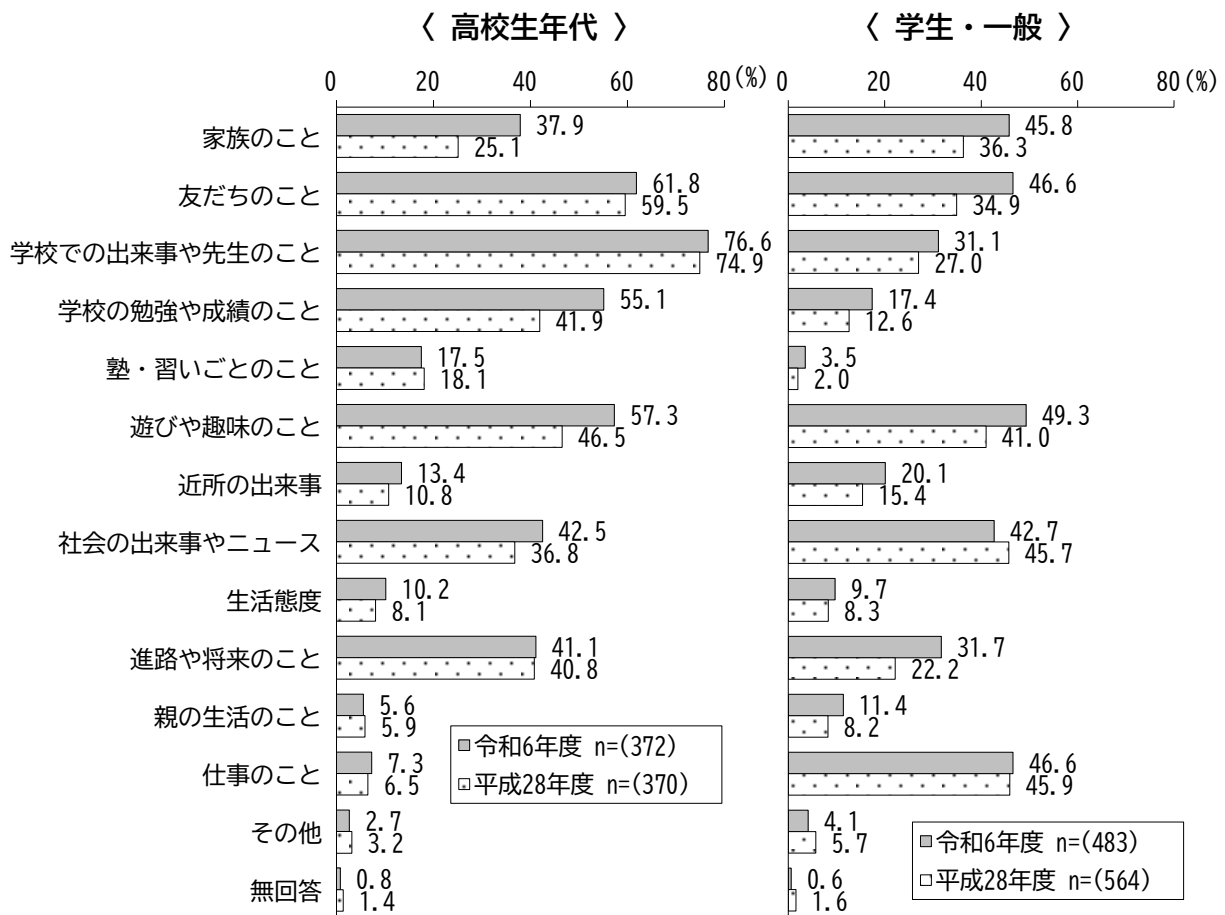
高校生年代と学生・一般を比較すると、「母親」は高校生年代が学生・一般より14.7ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「母親」は今回81.1%で前回74.5%から6.6ポイント増、学生・一般で「母親」は今回66.4%で前回57.0%から9.4ポイント増となっている。

(3) 家族とよく話す会話の内容

問〔高校生年代：問10／学生・一般：問11〕

あなたは家族の人と話をするとき、どのようなことをよく話しますか。(○はいくつでも)



家族とよく話す会話の内容は、高校生年代で「学校での出来事や先生のこと」76.6%、「友だちのこと」61.8%、「遊びや趣味のこと」57.3%となっている。

学生・一般で「遊びや趣味のこと」49.3%、「仕事のこと」、「友だちのこと」が各46.6%、「家族のこと」45.8%となっている。

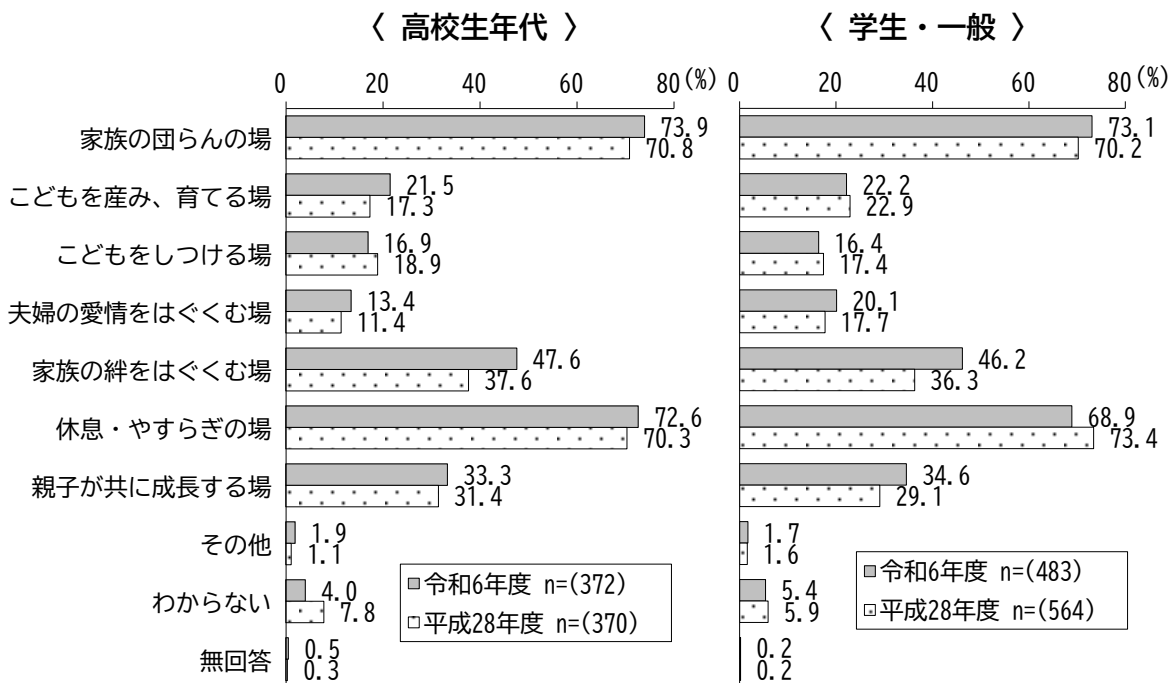
高校生年代と学生・一般を比較すると、高校生年代では、学校、友人関係、遊びや趣味のことが、学生・一般では遊びや趣味、仕事、友人関係のことが多く挙げられている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「家族のこと」は今回37.9%で前回25.1%から12.8ポイント増、学生・一般で「友だちのこと」は今回46.6%で前回34.9%から11.7ポイント増となっている。

(4) 家族の役割として重要だと思うこと

問〔高校生年代：問11／学生・一般：問12〕

あなたは、家庭の役割として、どのようなことが重要だと思いますか。(○はいくつでも)



家族の役割として重要だと思うことは、高校生年代で「家族の団らんの場」73.9%、「休息・やすらぎの場」72.6%、「家族の絆をはぐくむ場」47.6%となっている。

学生・一般で「家族の団らんの場」73.1%、「休息・やすらぎの場」68.9%、「家族の絆をはぐくむ場」46.2%となっている。

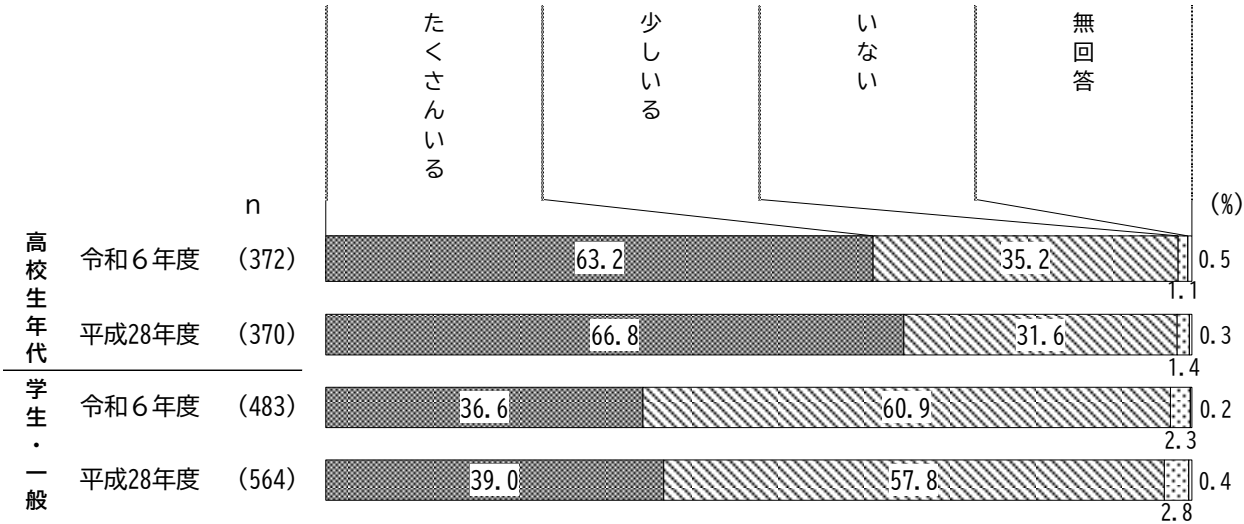
高校生年代と学生・一般を比較すると、「夫婦の愛情をはぐくむ場」は学生・一般が高校生年代より6.7ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「家族の絆をはぐくむ場」は今回47.6%で前回37.6%から10.0ポイント増、学生・一般は今回46.2%で前回36.3%から9.9ポイント増となっている。

3. 日常生活について

(1) 友だちの有無

問〔高校生年代：問12／学生・一般：問13〕
あなたには、友だちがいますか。(○は1つ)



友だちの有無で最も高いのは、高校生年代で「たくさんいる」63.2%、学生・一般で「少しいる」60.9%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「たくさんいる」は高校生年代が学生一般より26.6ポイント高くなっている。

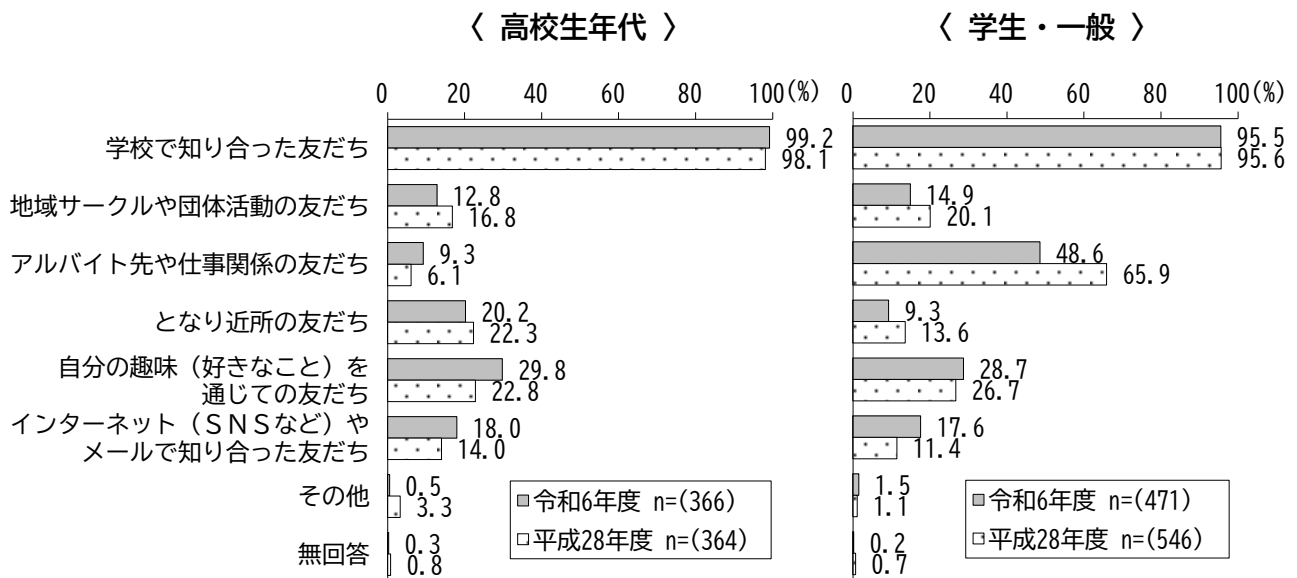
前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(2) 友だちとの交友関係

【高校生年代：問12／学生・一般：問13で「たくさんいる」または「少しいる」とお答えの方
にうかがいます】

問〔高校生年代：問12－1／学生・一般：問13－1〕

友だちはどのような人ですか。(○はいくつでも)



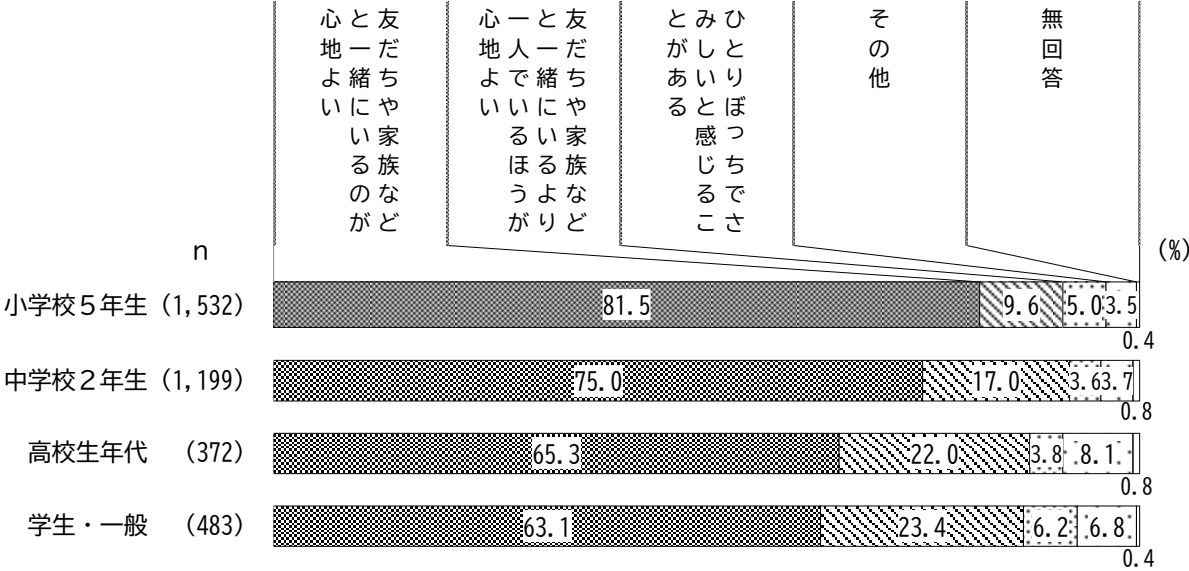
友だちとの交友関係は、高校生年代で「学校で知り合った友だち」99.2%、「自分の趣味（好きなこと）を通じての友だち」29.8%、「となり近所の友だち」20.2%となっている。

学生・一般で「学校で知り合った友だち」95.5%、「アルバイト先や仕事関係の友だち」48.6%、「自分の趣味（好きなこと）を通じての友だち」28.7%となっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「自分の趣味（好きなこと）を通じての友だち」は今回29.8%で前回22.8%から7.0ポイント増、学生・一般で「インターネット（SNSなど）やメールで知り合った友だち」は今回17.6%で前回11.4%から6.2ポイント増となっている。

(3) 友だちや家族との関係で感じること

問〔小学校5年生・中学校2年生：問7／高校生年代：問13／学生・一般：問14〕
あなたが普段感じることは、どれに一番近いですか（○は1つ）

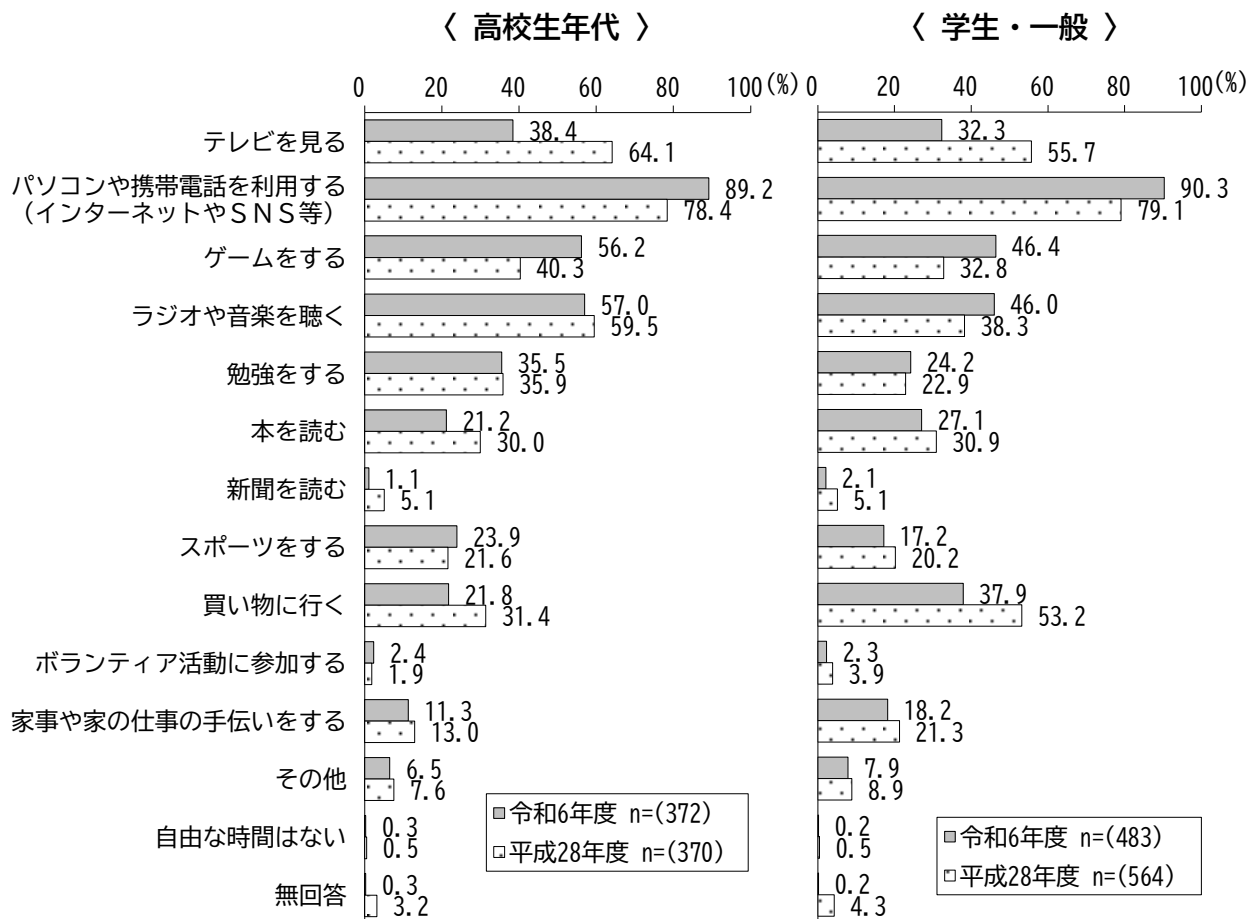


友だちや家族との関係で感じることは、「友だちや家族などと一緒にいるのが心地よい」が小学校5年生81.5%、中学校2年生75.0%、高校生年代65.3%、学生・一般63.1%となっている。
「友だちや家族などと一緒にいるのが心地よい」は年代が上がるほど割合が減少している一方、「友だちや家族などと一緒にいるより一人であるほうが心地よい」の割合が増加している。

(4) 自由な時間の過ごし方

問〔高校生年代：問14／学生・一般：問15〕

あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)



自由な時間の過ごし方は、高校生年代で「パソコンや携帯電話を利用する(インターネットやSNS等)」89.2%、「ラジオや音楽を聴く」57.0%、「ゲームをする」56.2%となっている。

学生・一般で「パソコンや携帯電話を利用する(インターネットやSNS等)」90.3%、「ゲームをする」46.4%、「ラジオや音楽を聴く」46.0%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「買い物に行く」は学生・一般が高校生年代より16.1ポイント高くなっている。

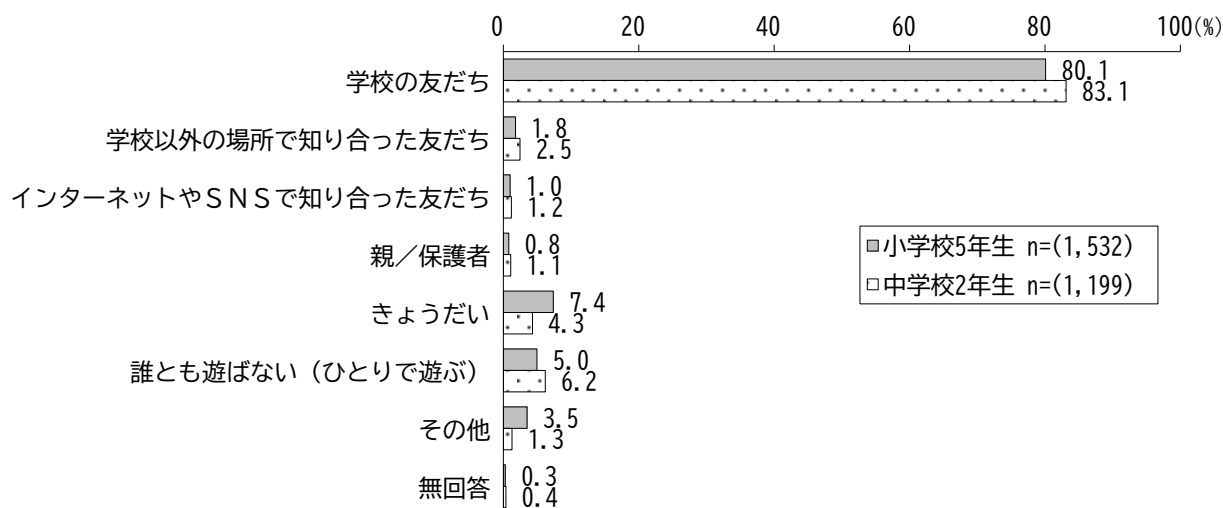
前回調査と比較すると、高校生年代で「ゲームをする」は今回56.2%で前回40.3%から15.9ポイント増、学生・一般で今回46.4%で前回32.8%から13.6ポイント増となっている。

「テレビを見る」は高校生年代で今回38.4%で前回64.1%から25.7ポイント減、学生・一般で今回32.3%で前回55.7%から23.4ポイント減となっている。

(5) 遊び相手

問〔小学校5年生・中学校2年生：問2〕

あなたはふだん、だれと遊びますか。(○は1つ)



遊び相手は、小学校5年生で「学校の友だち」80.1%、「きょうだい」7.4%、「誰とも遊ばない（ひとりで遊ぶ）」5.0%となっている。

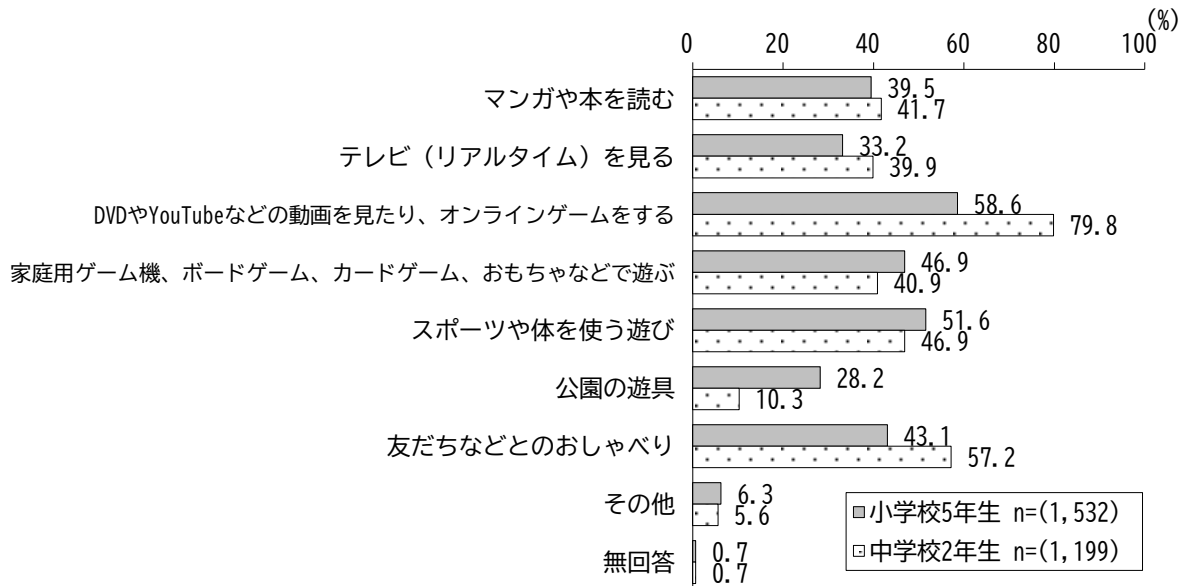
中学校2年生で「学校の友だち」83.1%、「誰とも遊ばない(ひとりで遊ぶ)」6.2%、「きょうだい」4.3%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較しても、大きな差はみられない。

(6) 遊びの内容

問〔小学校5年生・中学校2年生：問3〕

あなたはふだん、何をして遊びますか。(〇はいくつでも)



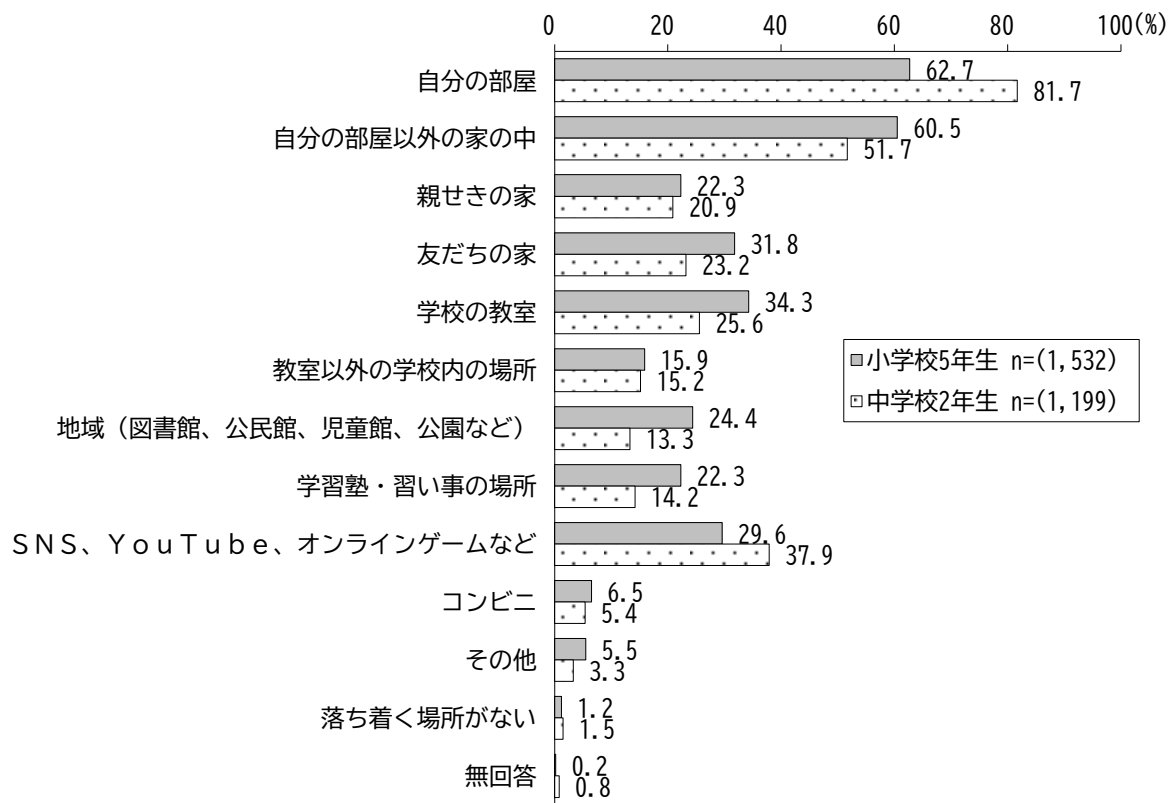
遊びの内容は、小学校5年生で「DVDやYouTubeなどの動画を見たり、オンラインゲームをする」58.6%、「スポーツや体を使う遊び」51.6%、「家庭用ゲーム機、ボードゲーム、カードゲーム、おもちゃなどで遊ぶ」46.9%となっている。

中学校2年生で「DVDやYouTubeなどの動画を見たり、オンラインゲームをする」79.8%、「友達などのおしゃべり」57.2%、「スポーツや体を使う遊び」46.9%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「DVDやYouTubeなどの動画を見たり、オンラインゲームをする」は中学校2年生が小学校5年生より21.2ポイント高くなっている。

(7) 安息の場所

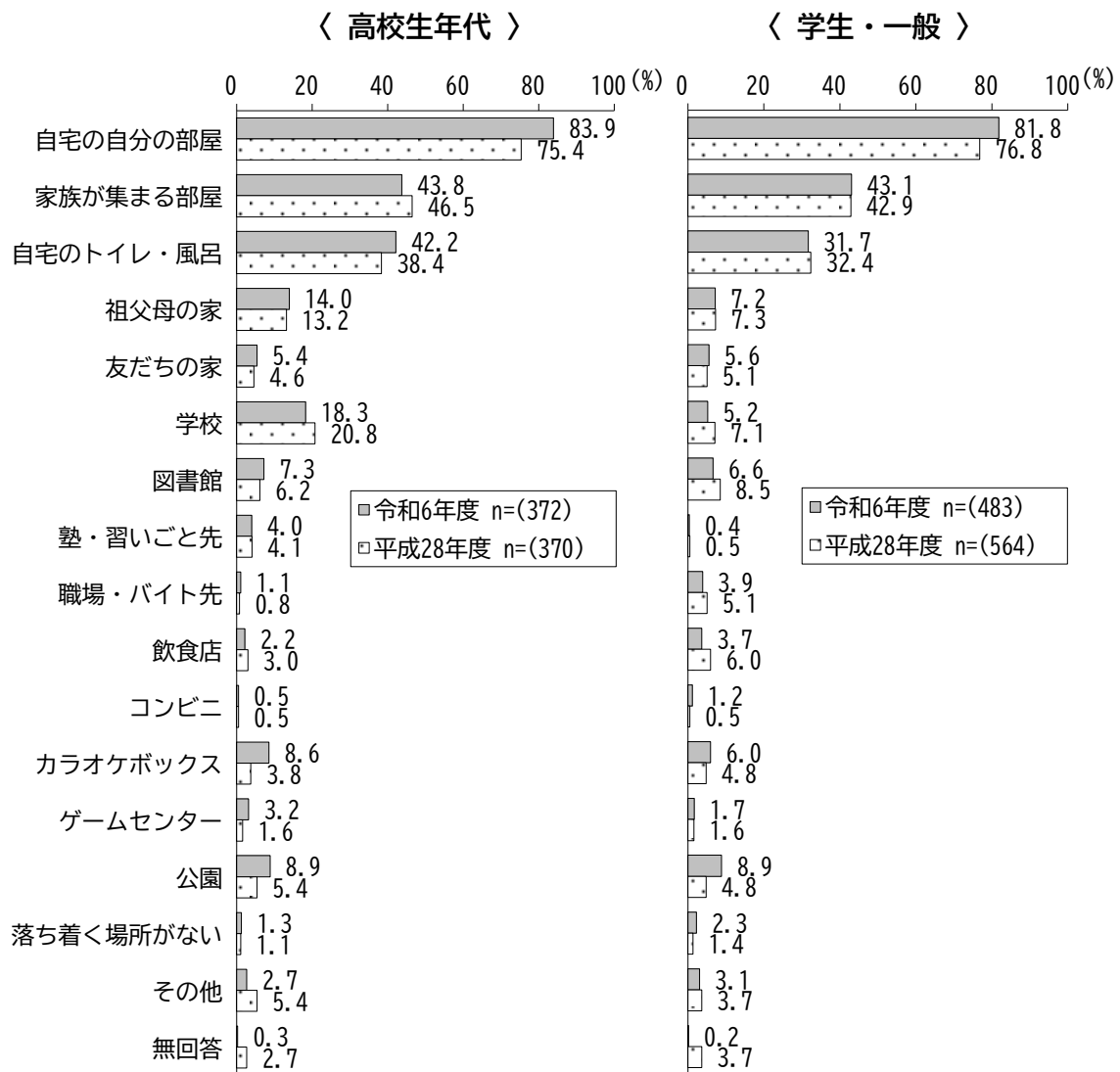
問〔小学校5年生・中学校2年生：問12／高校生年代：問15／学生・一般：問16〕
あなたが、ホッとできて、安心する場所はどこですか。(○はいくつでも)



安息の場所は、小学校5年生で「自分の部屋」62.7%、「自分の部屋以外の家の中」60.5%、「学校の教室」34.3%となっている。

中学校2年生で「自分の部屋」81.7%、「自分の部屋以外の家の中」51.7%、「SNS、YouTube、オンラインゲームなど」37.9%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「自分の部屋」は中学校2年生が小学校5年生より19.0ポイント高くなっている。



安息の場所は、高校生年代で「自宅の自分の部屋」83.9%、「家族が集まる部屋」43.8%、「自宅のトイレ・風呂」42.2%となっている。

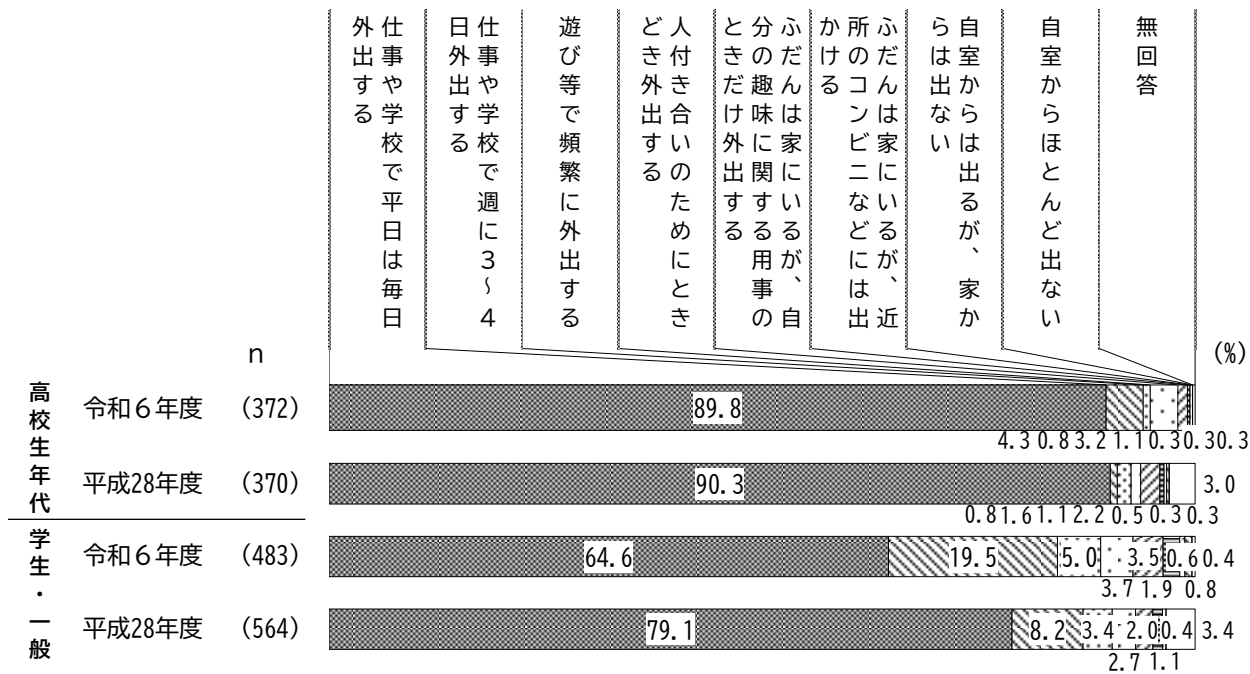
学生・一般で「自宅の自分の部屋」81.8%、「家族が集まる部屋」43.1%、「自宅のトイレ・風呂」31.7%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、学校以外はおおむね同じ傾向になっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「自宅の自分の部屋」は今回83.9%で前回75.4%から8.5ポイント増、学生・一般は今回81.8%で前回76.8%から5.0ポイント増となっている。

(8) 外出の頻度

問〔高校生年代：問16／学生・一般：問17〕
あなたはふだん、どのくらい外出しますか。(〇は1つ)



外出の頻度は、高校生年代で「仕事や学校で平日は毎日外出する」89.8%、学生・一般で64.6%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」は高校生年代が学生・一般より25.2ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、学生・一般で「仕事や学校で週に3～4日外出する」は今回19.5%で前回8.2%から11.3ポイント増となっている一方、「仕事や学校で平日は毎日外出する」は、今回64.6%で前回79.1%から14.5ポイント減となっている。

(9) 現在の外出頻度になった年齢

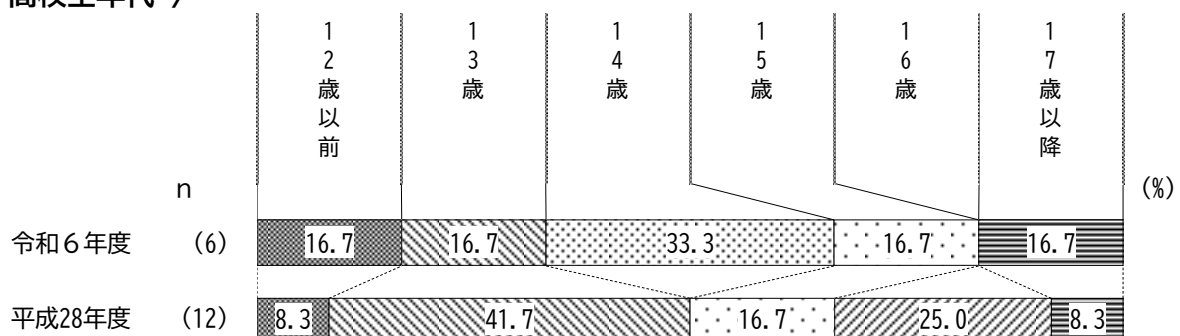
【高校生年代：問16／学生・一般：問17でふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」とお答えの方に向かっています】

問〔高校生年代：問16－1／学生・一般：問17－1〕

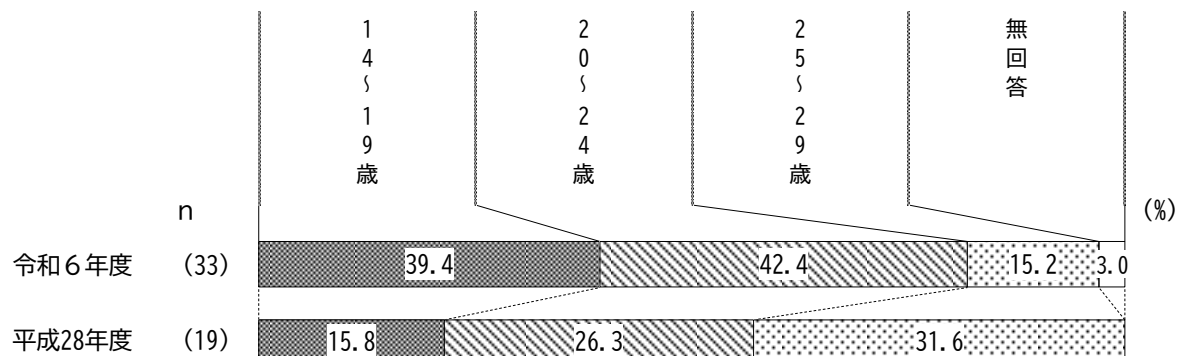
現在の外出頻度になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

それぞれ回答者数が少ないため、参考にとどめる。

〈 高校生年代 〉



〈 学生・一般 〉



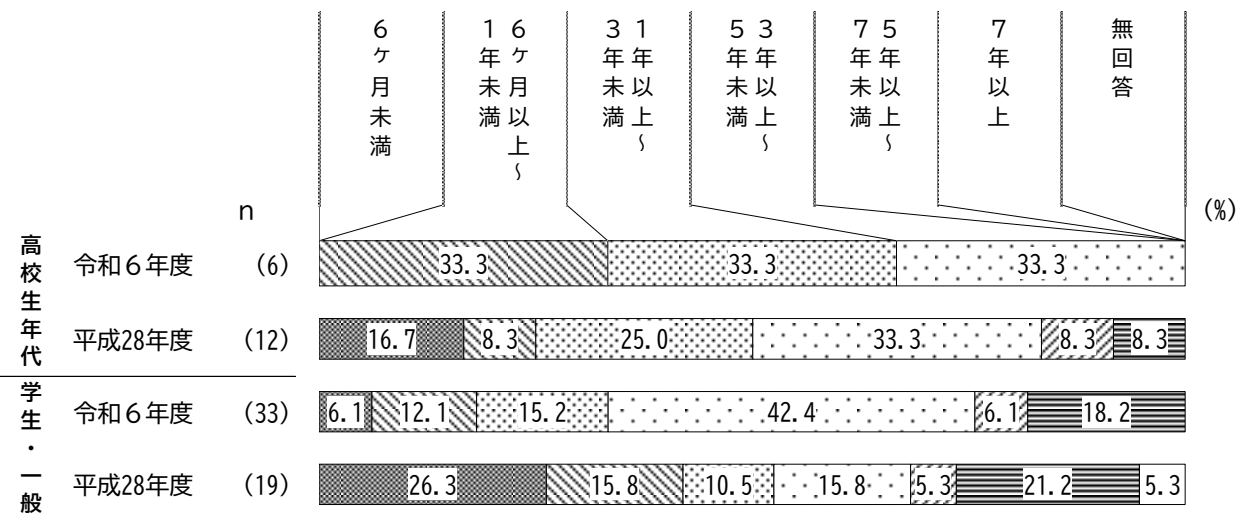
(10) 現在の外出頻度になってからの期間

【同様に、高校生年代：問16／学生・一般：問17で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」とお答えの方にはうかがいます】

問〔高校生年代：問16－2／学生・一般：問17－2〕

現在の状態になってどのくらい経ちますか。(○は1つ)

それぞれ回答者数が少ないため、参考にとどめる。

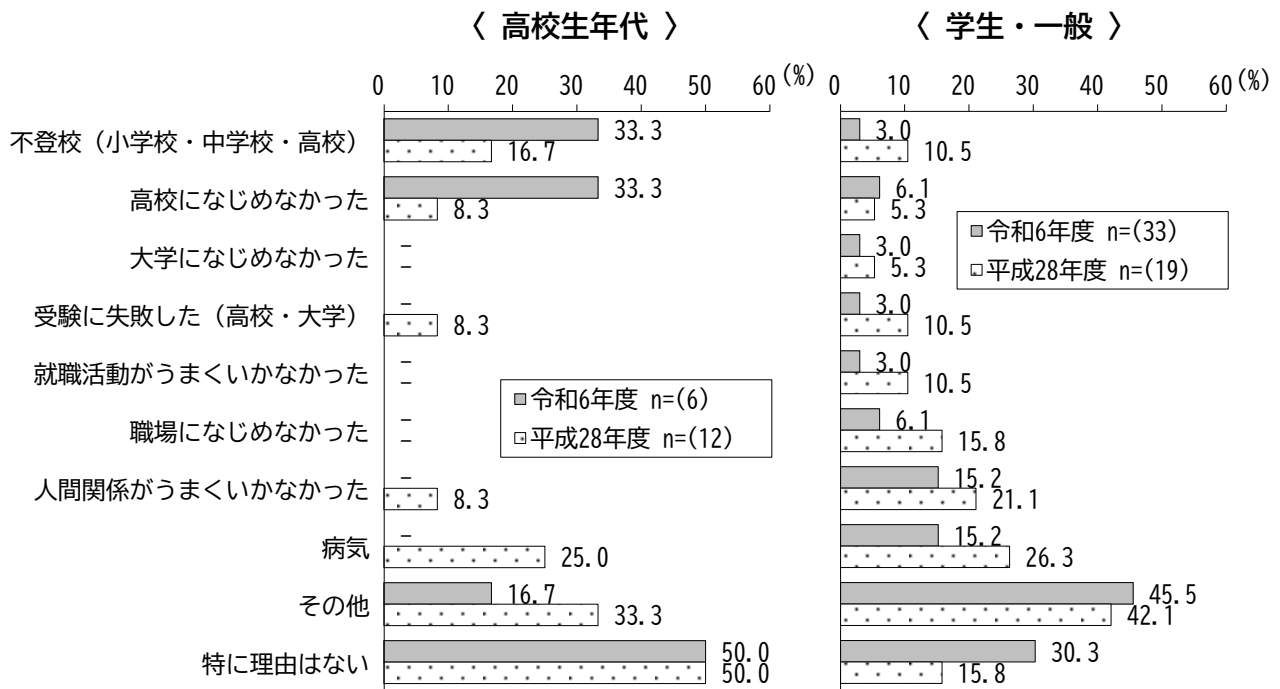


(11) 現在の状態になったきっかけ

【同様に、高校生年代：問16／学生・一般：問17で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」とお答えの方にうかがいます】

問〔高校生年代：問16－3／学生・一般：問17－3〕

現在の状態になったきっかけは、何ですか（○はいくつでも）



現在の状態になったきっかけは、その他、特にないを除くと、高校生年代で「不登校(小学校・中学校・高校)」、「高校になじめなかった」が33.3%と最も高くなっている。

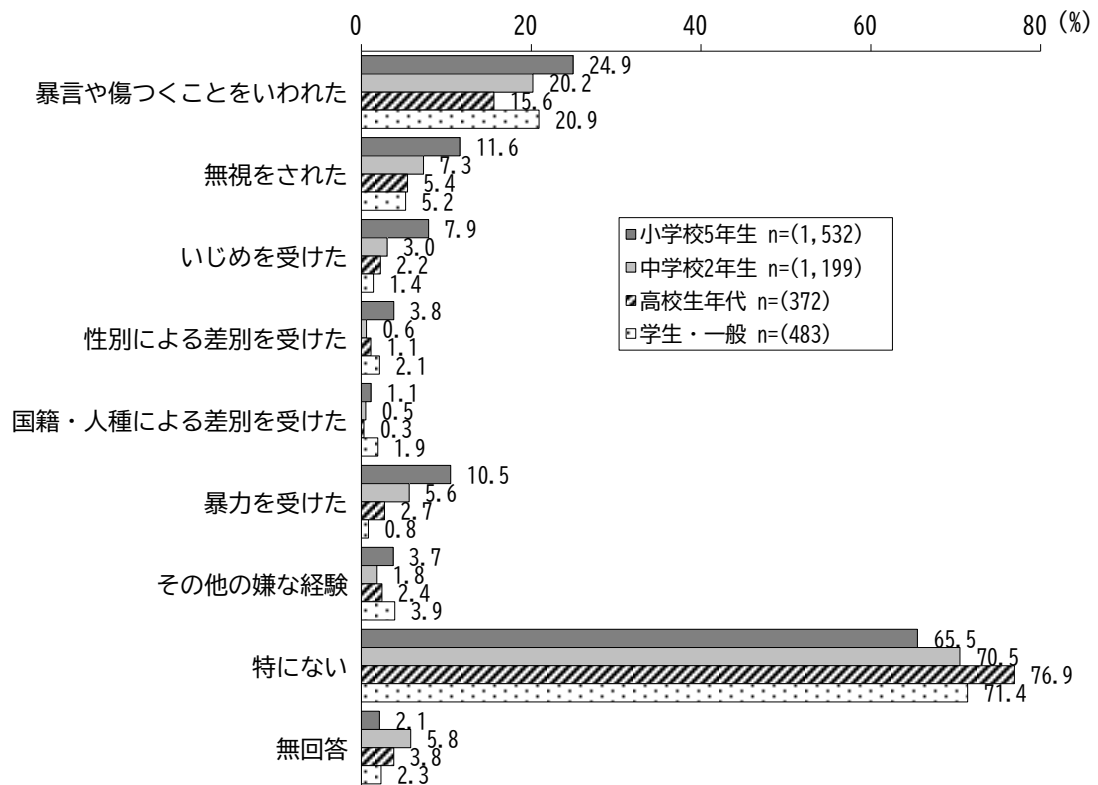
学生・一般で「人間関係がうまくいかなかった」、「病気」が各15.2%、「高校になじめなかった」、「職場になじめなかった」が各6.1%となっている。

その他の回答の中の一部では、「在宅勤務になった」方も含まれる。

4. 普段のことについて

(1) 各種ハラスメントの経験

問〔小学校5年生・中学校2年生：問8／高校生年代：問17／学生・一般：問18〕
あなたは、この1年くらいで次のような経験をしたことがありますか。(〇はいくつでも)



各種ハラスメントの経験は、全年代で、特にないを除くと「暴言や傷つくことをいわれた」が最も高く、次いで「無視をされた」となっている。

小学校5年生で「暴言や傷つくことをいわれた」24.9%、「無視をされた」11.6%、「暴力を受けた」10.5%となっている。

中学校2年生で「暴言や傷つくことをいわれた」20.2%、「無視をされた」7.3%、「暴力を受けた」5.6%となっている。

高校生年代で「暴言や傷つくことをいわれた」15.6%、「無視をされた」5.4%、「暴力を受けた」2.7%となっている。

学生・一般で「暴言や傷つくことをいわれた」20.9%、「無視をされた」5.2%、「その他の嫌な経験」3.9%となっている。

各年代で比較すると、「無視をされた」、「いじめを受けた」、「暴力を受けた」は年代が上がるごとに割合が減少している。

各種ハラスメントの経験×性別、小学校5年生

	n	傷つくことを言われた	無視をされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	叩かれたり、蹴られるなどの暴力を受けた	その他の嫌な経験	特にない	無回答
全 体	1,532	24.9	11.6	7.9	3.8	1.1	10.5	3.7	65.5	2.1
男性	756	25.1	11.0	9.5	3.6	0.9	12.8	2.4	65.3	2.6
女性	736	23.8	12.1	5.8	3.7	1.2	7.6	4.8	66.8	1.5
どちらでもない、 答えたくない	34	38.2	14.7	14.7	11.8	2.9	17.6	5.9	50.0	2.9
その他	5	60.0	-	20.0	-	-	40.0	20.0	20.0	-

性別にみると、「叩かれたり、蹴られるなどの暴力をうけた」は“男性”12.8%が、“女性”7.6%より5.2ポイント高くなっている。

各種ハラスメントの経験×性別、中学校2年生

	n	傷つくことを言われた	無視をされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	叩かれたり、蹴られるなどの暴力を受けた	その他の嫌な経験	特にない	無回答
全 体	1,199	20.2	7.3	3.0	0.6	0.5	5.6	1.8	70.5	5.8
男性	592	16.6	6.1	3.2	0.3	0.7	7.1	2.2	72.6	7.4
女性	585	23.1	7.9	2.4	0.2	-	3.6	1.2	69.7	3.9
どちらでもない、 答えたくない	20	45.0	20.0	15.0	20.0	10.0	20.0	10.0	35.0	5.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性別にみると、「傷つくことを言われた」は“女性”23.1%が、“男性”16.6%より6.5ポイント高くなっている。

各種ハラスメントの経験、高校生年代

(%)

	n	暴言や傷つくことを 言われた	無視をされた	いじめを受けた	性別による差別を受け た	国籍・人種による差別 を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験	特 に ない	無 回 答
全 体	372	15.6	5.4	2.2	1.1	0.3	2.7	2.4	76.9	3.8
男性	169	10.7	3.6	1.2	0.6	0.6	1.8	1.2	81.7	5.9
女性	193	20.2	7.3	3.1	1.6	-	3.6	3.1	73.1	1.6
どちらでもない、 答えたくない	10	10.0	-	-	-	-	-	10.0	70.0	10.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性別にみると、「暴言や傷つくことをいわれた」は“女性” 20.2%が“男性” 10.7%より9.5ポイント高くなっている。

各種ハラスメントの経験、学生・一般

(%)

	n	暴言や傷つくことを 言われた	無視をされた	いじめを受けた	性別による差別を受け た	国籍・人種による差別 を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験	特 に ない	無 回 答
全 体	483	20.9	5.2	1.4	2.1	1.9	0.8	3.9	71.4	2.3
男性	208	21.6	3.8	2.4	1.0	2.4	1.4	3.4	74.5	1.4
女性	267	19.5	6.4	0.7	2.6	1.5	0.4	4.5	70.4	2.2
どちらでもない、 答えたくない	8	50.0	-	-	12.5	-	-	-	25.0	25.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

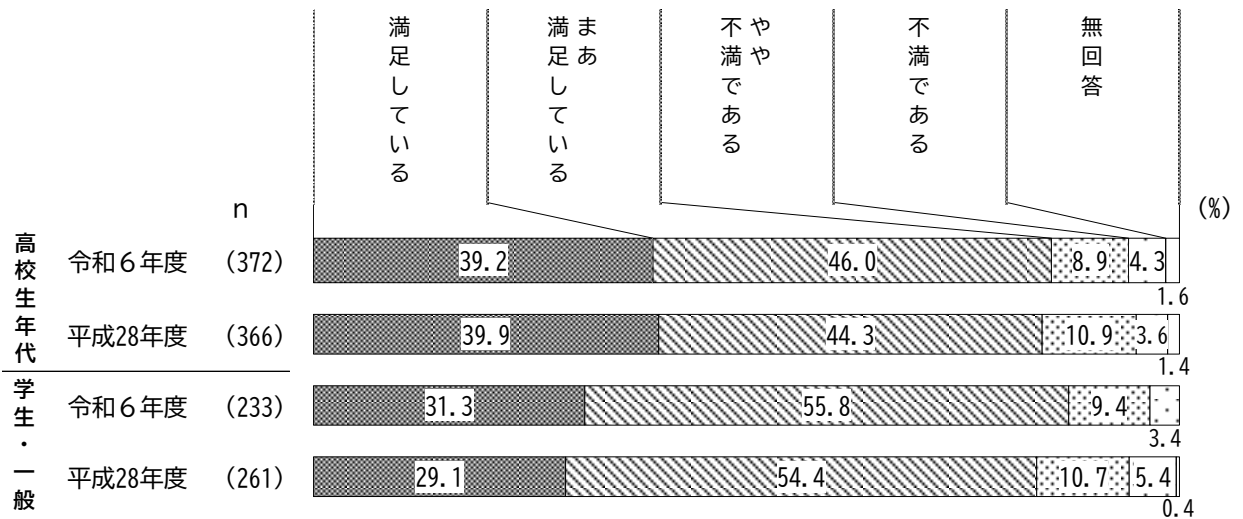
性別にみても、男性と女性の大きな差はみられない。

5. 学校での生活について（この項目は学生のみ）

（1）学校生活の満足度

問〔高校生年代：問18／学生・一般：問19〕

あなたは、学校生活に満足していますか。（○は1つ）



学校生活の満足度は、高校生年代で、「満足している」39.2%と「まあ満足している」46.0%を合わせると85.2%、学生・一般で「満足している」31.3%と「まあ満足している」55.8%を合わせると87.1%となっており、双方に大きな差はみられない。

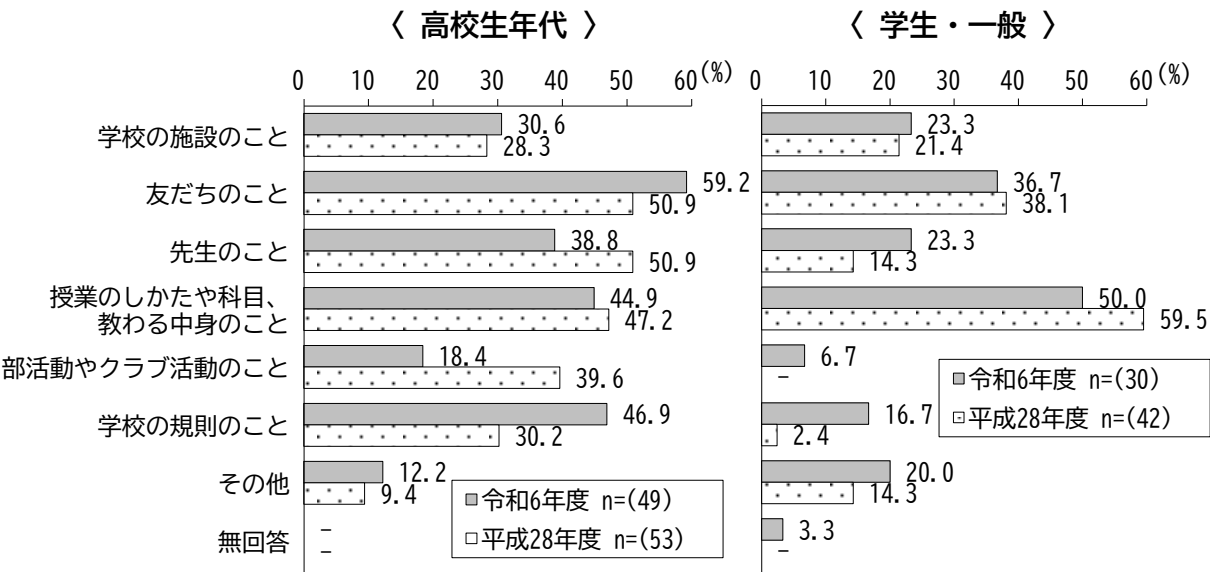
前回調査と比較すると、高校生年代、学生・一般とも大きな差はみられない。

(2) 学校生活で不満に思うこと

【高校生年代：問18／学生・一般：問19で「やや不満である」または「不満である」とお答えの方にかがいます】

問〔高校生年代：問18－1／学生・一般：問19－1〕

学校生活で不満に思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



学校生活で不満に思うことは、高校生年代で「友だちのこと」59.2%、「学校の規則のこと」46.9%、「授業のしかたや科目、教わる中身のこと」44.9%となっている。

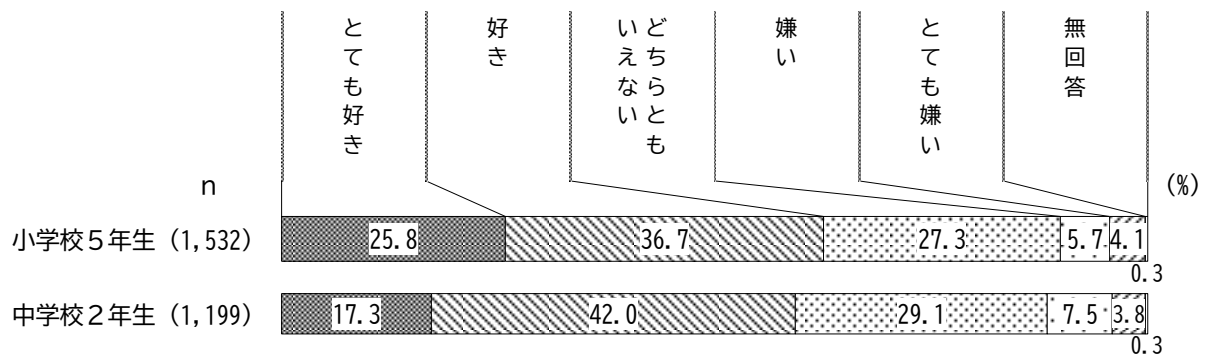
学生・一般で「授業のしかたや科目、教わる中身のこと」50.0%、「友だちのこと」36.7%、「学校の施設のこと」、「先生のこと」が各23.3%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「学校の規則のこと」は高校生年代が学生・一般より30.2ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「学校の規則のこと」は今回46.9%で前回30.2%から16.7ポイント増、学生・一般で今回16.7%で前回2.4%から14.3ポイント増となっている。

(3) 学校の愛好度

問〔小学校5年生・中学校2年生／問10〕
あなたは、学校が好きですか。(○は1つ)



学校の愛好度は、小学校5年生で「好き」36.7%、中学校2年生で42.0%となっている。

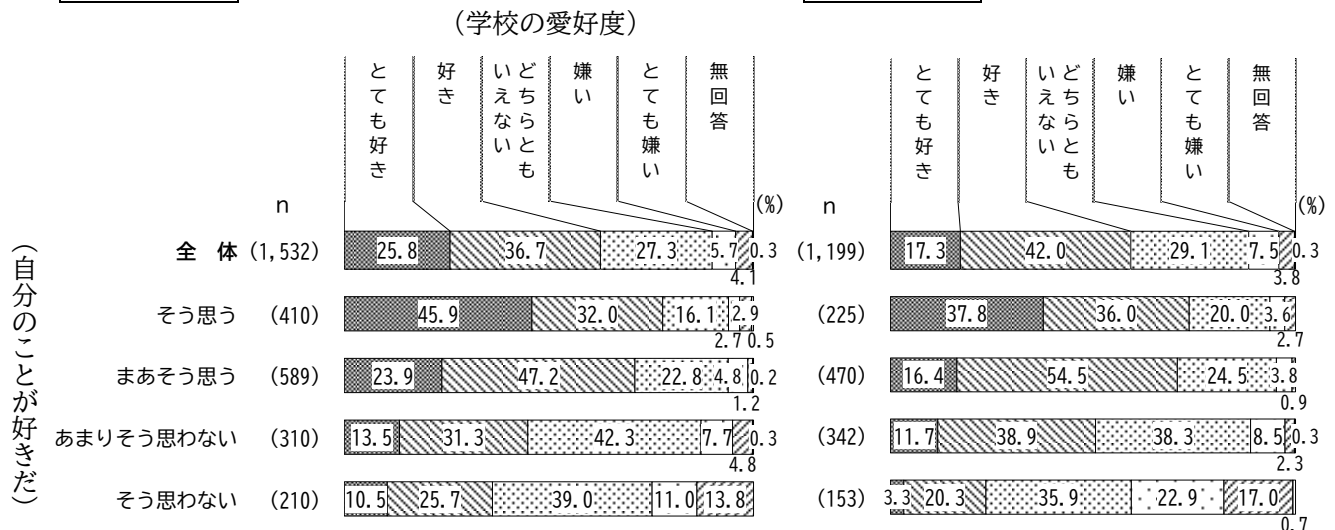
小学校5年生で「とても好き」25.8%と「好き」36.7%を合わせると62.5%、中学校2年生で「とても好き」17.3%と「好き」42.0%を合わせると59.3%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「とても好き」は小学校5年生が中学校2年生より8.5ポイント高くなっている。

【学校の愛好度×自分のことが好きだ】

小学校5年生

中学校2年生

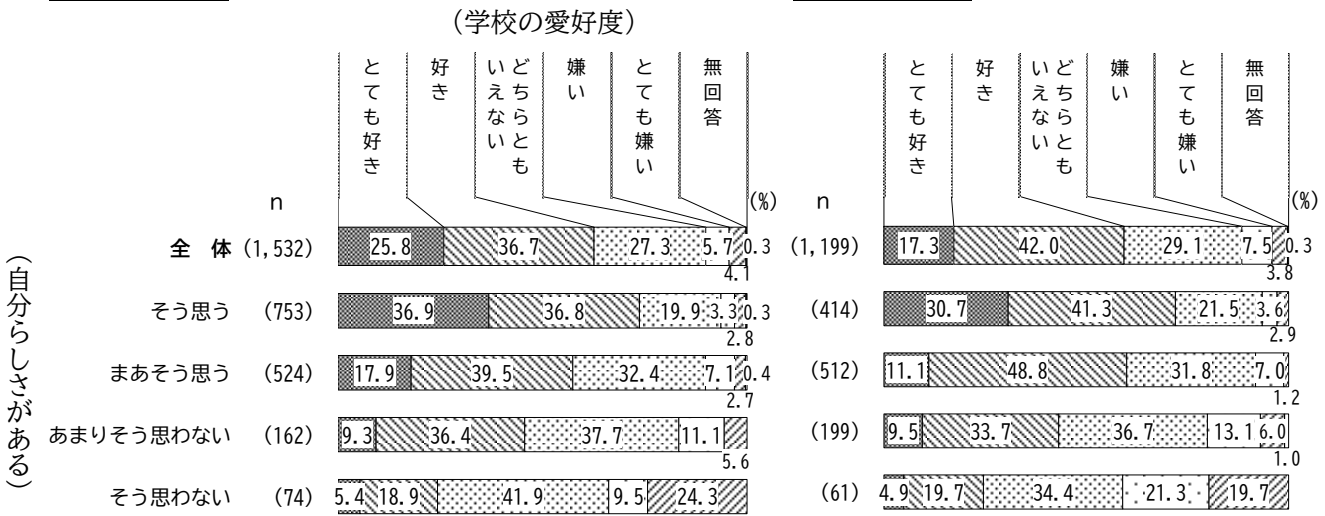


学校の愛好度を自尊感情別にみると、小学校5年生、中学校2年生ともに、自分のことが好きであるほど学校が好きである割合が高くなっている。

【学校の愛好度×自分には自分らしさがある】

小学校5年生

中学校2年生

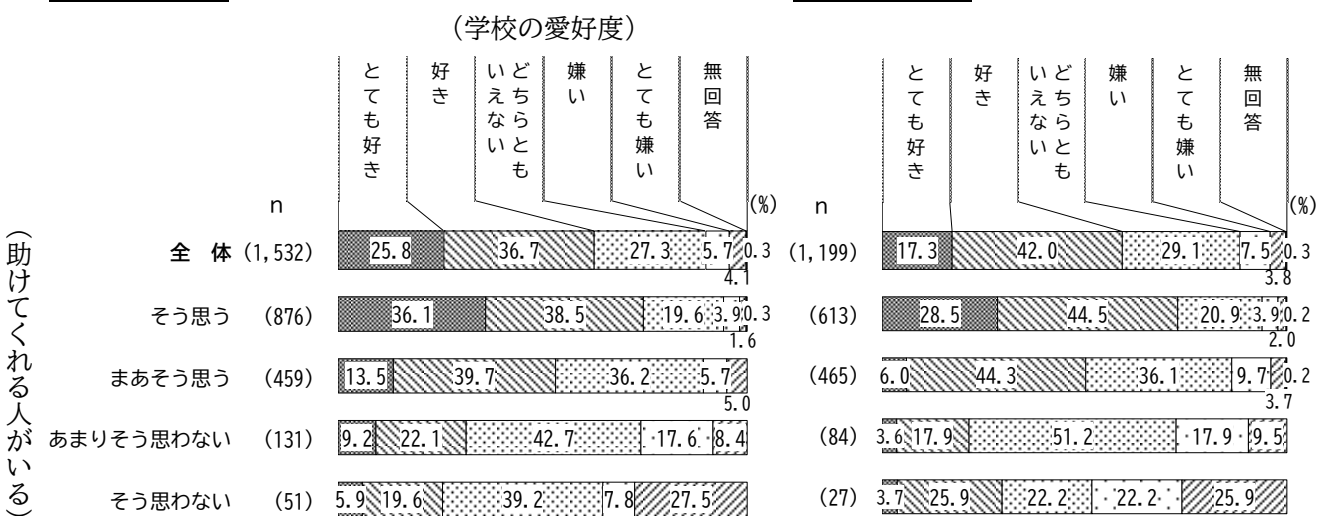


学校の愛好度を自分らしさがあるか別にみると、小学校5年生、中学校2年生ともに自分には自分らしさがあると思っているほど、学校が好きである割合が高くなっている。

【学校の愛好度×困っているときは助けてくれる人がいる】

小学校5年生

中学校2年生

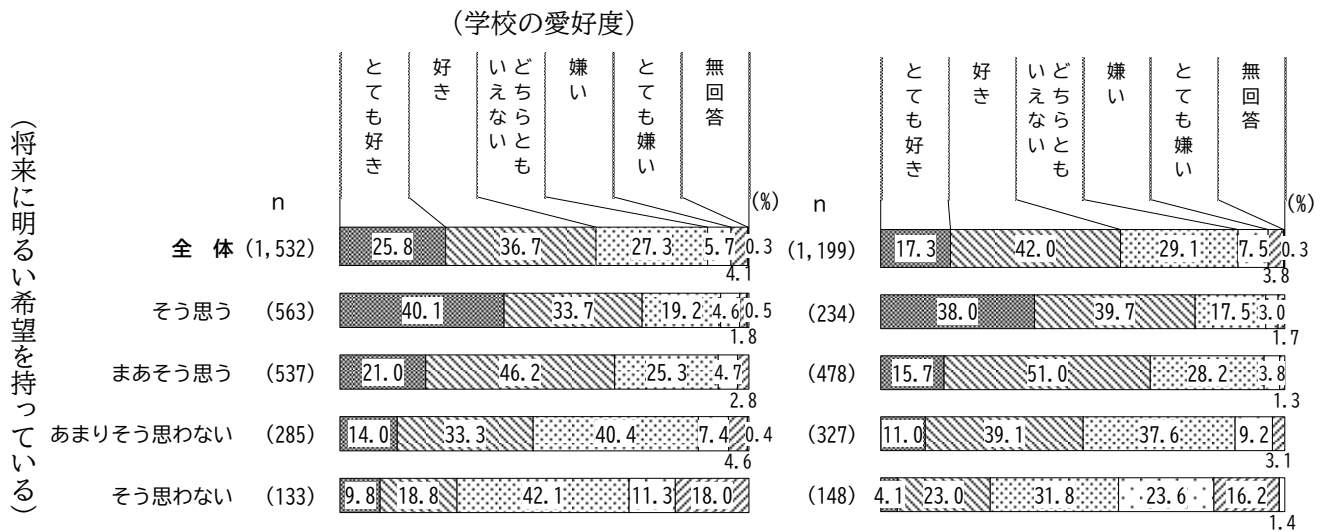


学校の愛好度を助けてくれる人がいるか別にみると、小学校5年生、中学校2年生ともに困っているときは助けてくれる人がいると思っているほど、学校が好きである割合がおおむね高くなっている。

【学校の愛好度×自分の将来に明るい希望を持っている】

小学校5年生

中学校2年生

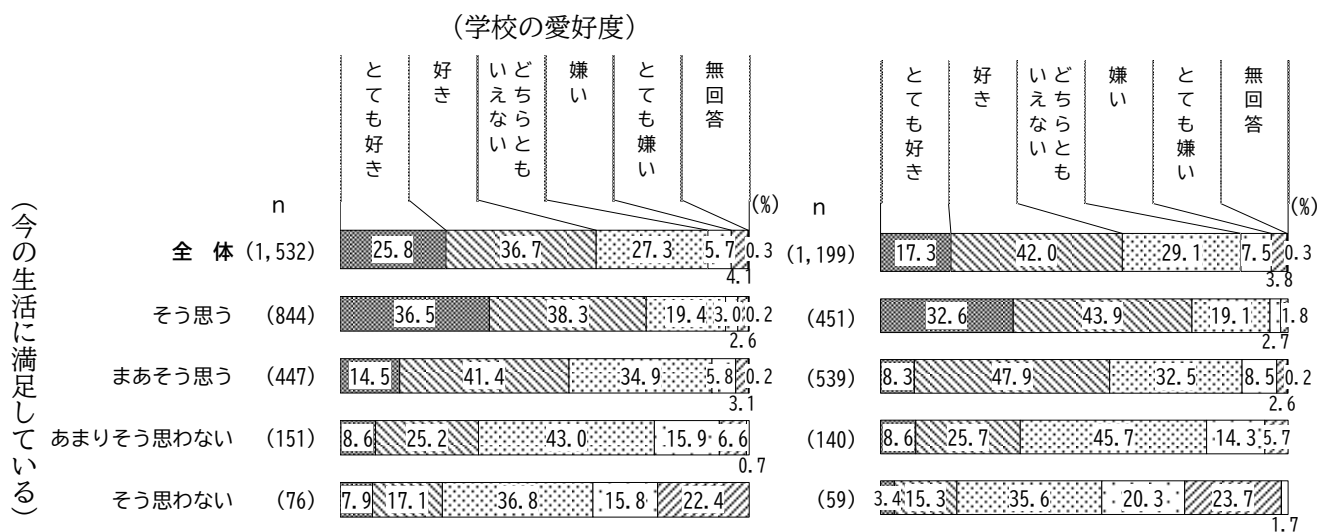


学校の愛好度を自分の将来に明るい希望を持つか別にみると、小学校5年生、中学校2年生ともに将来に明るい希望を持っているほど、学校が好きである割合が高くなっている。

【学校の愛好度×今の生活に満足している】

小学校5年生

中学校2年生

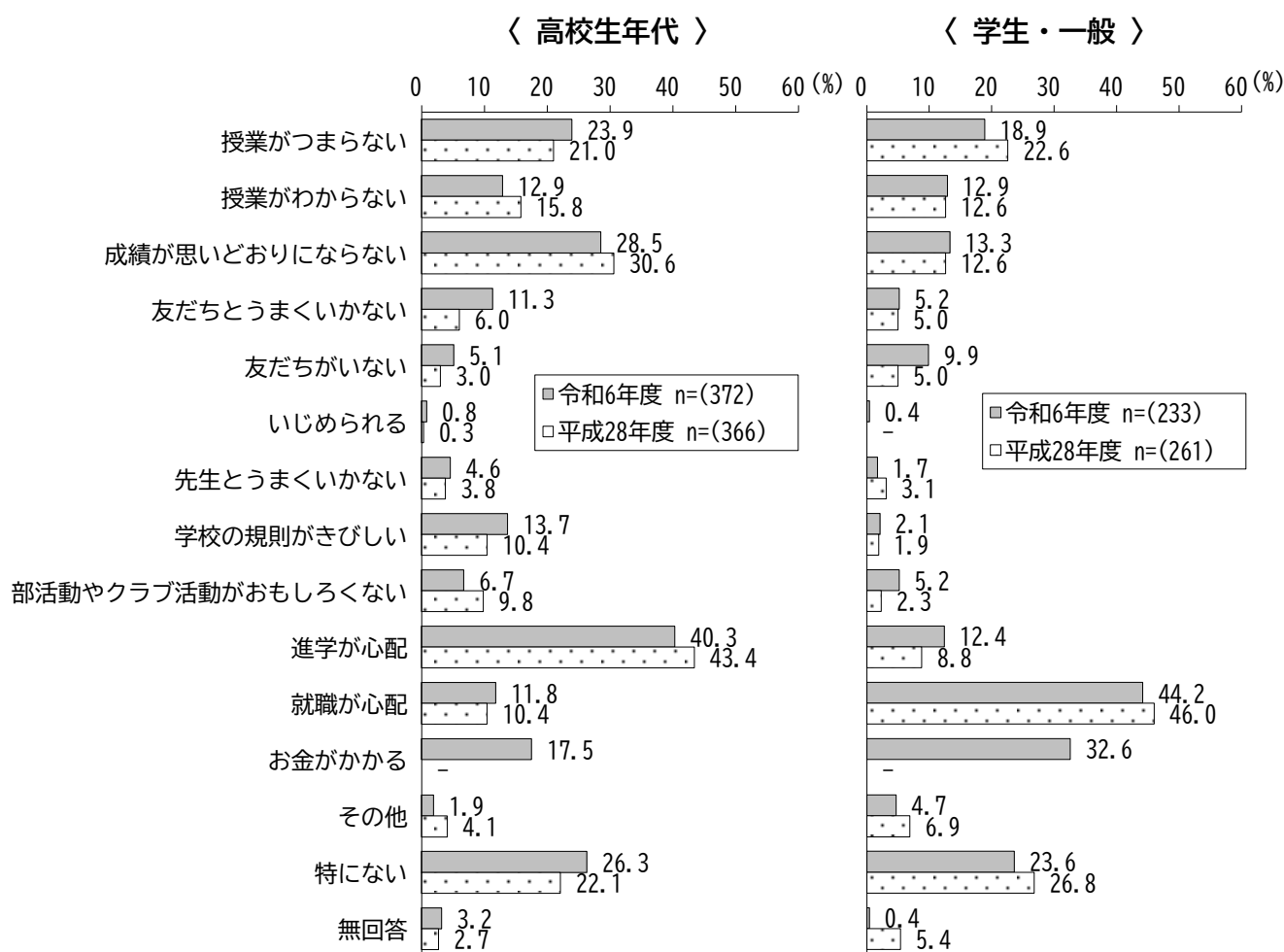


学校の愛好度を今の生活に満足しているか別にみると、小学校5年生、中学校2年生ともに今の生活に満足しているほど、学校が好きである割合が高くなっている。

(4) 学校生活で悩んでいることや、心配していること

問〔高校生年代：問19／学生・一般：問20〕

学校生活で悩んでいることや、心配していることがありますか。(〇はいくつでも)



学校生活で悩んでいることや、心配していることは、高校生年代で「進学が心配」40.3%、「成績が思いどおりにならない」28.5%、「授業がつまらない」23.9%となっている。

学生・一般で「就職が心配」44.2%、「お金がかかる」32.6%、「授業がつまらない」18.9%となっている。

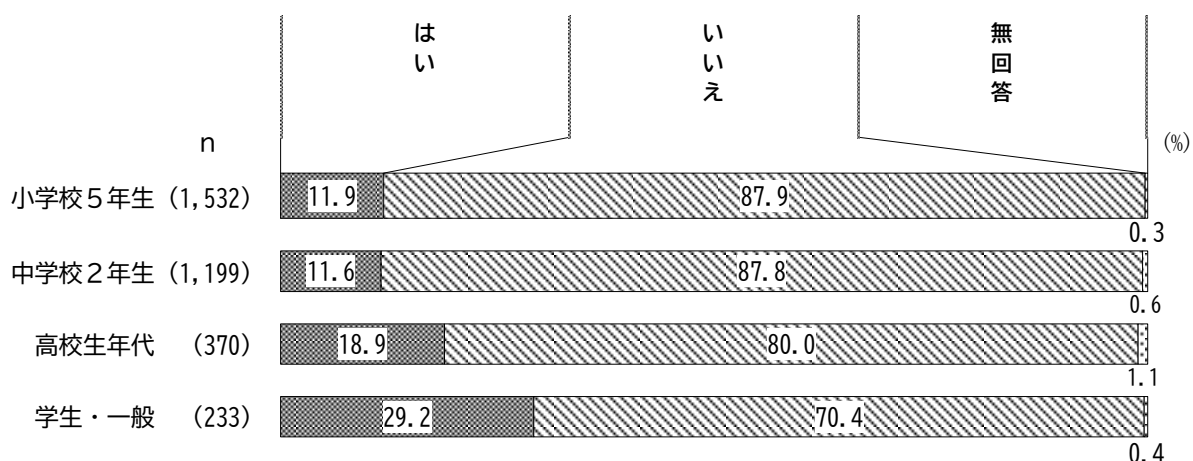
前回調査と比較すると、高校生年代で「友だちとうまくいかない」は今回11.3%で前回6.0%から5.3ポイント増となっている。

(5) 学校が嫌で欠席すること

問〔小学校5年生・中学校2年生：問11及び問11-1／高校生年代、学生・一般：問21〕

学校が嫌で休むことはありますか（ありましたか）。また、はいの場合1か月のうち休む日はどのくらいありますか。（○は1つ）

学校が嫌で休むことがある

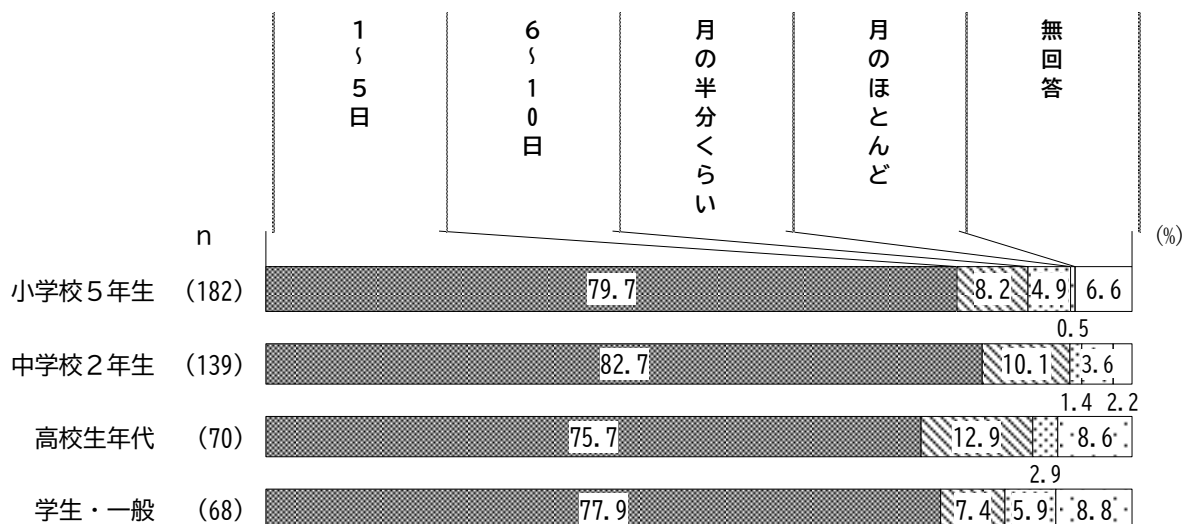


学校が嫌で欠席することは、小学校5年生で「はい」11.9%、中学校2年生11.6%、高校生年代18.9%、学生・一般29.2%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較しても、大きな差はみられない。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「はい」は学生・一般が高校生年代より10.3ポイント高くなっている。

1か月のうち休む日



1か月のうち休む日は、小学校5年生で「1～5日」79.7%、中学校2年生82.7%、高校生年代75.7%、学生・一般77.9%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較しても、大きな差はみられない。

高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

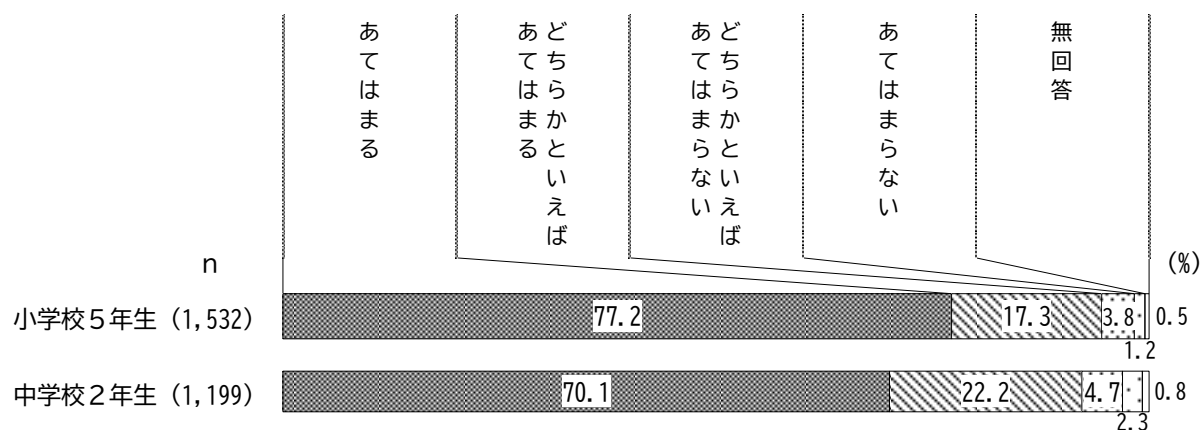
6. 家庭のこと（この項目は小学校5年生、中学校2年生のみ）

（1）家庭のこと

問〔小学校5年生・中学校2年生：問5〕

あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（○はそれぞれ1つずつ）

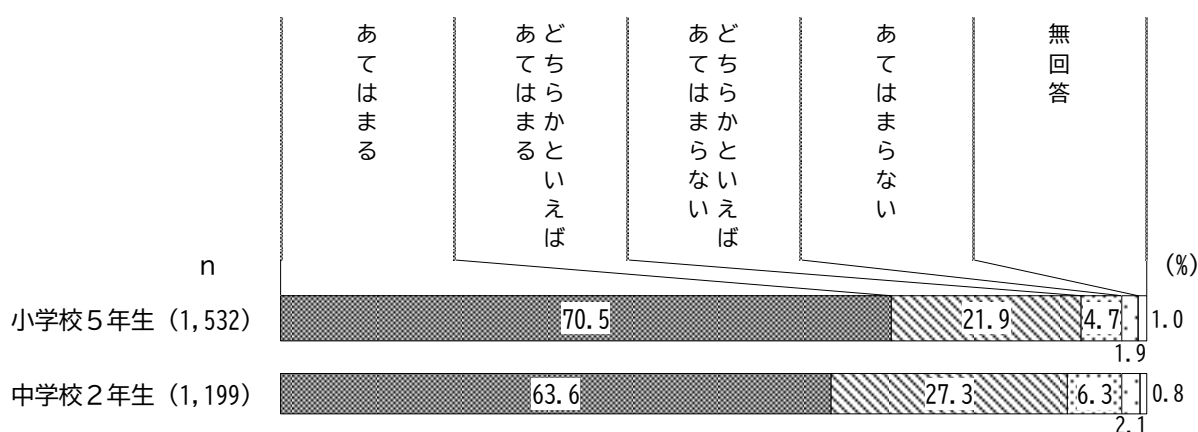
家では安心して過ごしている



家で安心して過ごしているは、小学校5年生で「あてはまる」77.2%、中学校2年生で70.1%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「あてはまる」は小学校5年生が中学校2年生より7.1ポイント高くなっている。

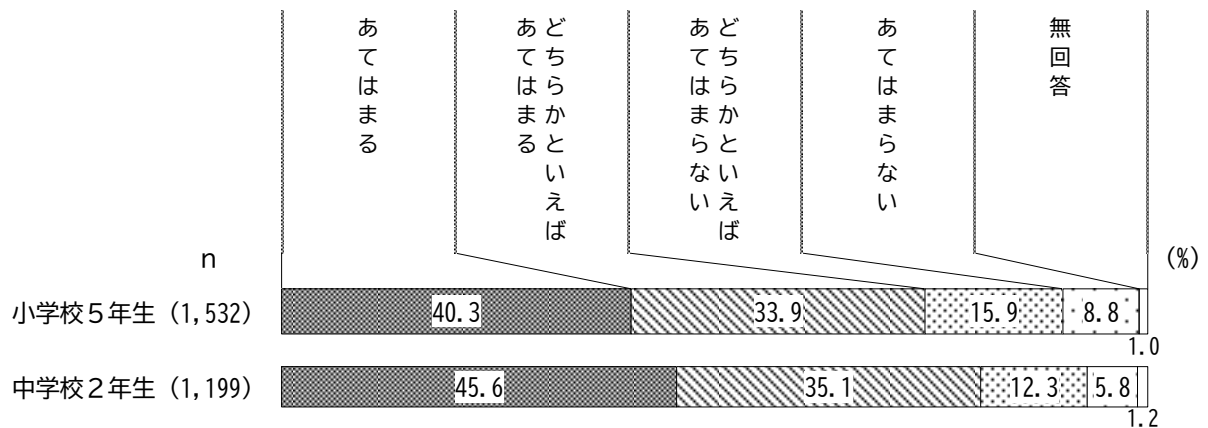
保護者は私の話を聞いて一緒に考えてくれる



保護者は私の話を聞いて一緒に考えてくれるは、小学校5年生で「あてはまる」70.5%、中学校2年生で63.6%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「あてはまる」は小学校5年生で中学校2年生より6.9ポイント高くなっている。

私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている



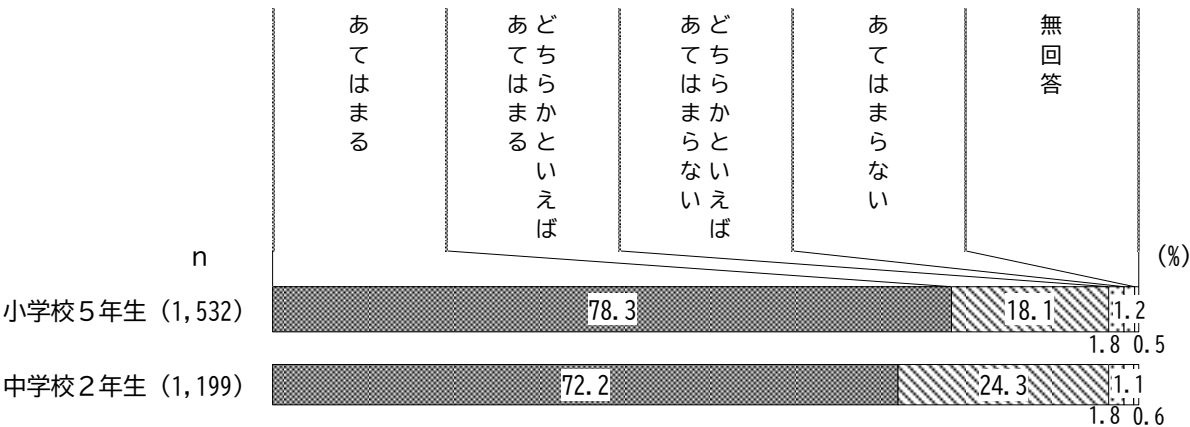
私の人生について、保護者と一緒に考えて決めているは、小学校5年生で「あてはまる」40.3%、中学校2年生で45.6%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせて、中学校2年生80.7%で小学校5年生74.2%より6.5ポイント高くなっている。

(2) 周囲の人との関係

問〔小学校5年生・中学校2年生：問6〕
次のことがどれくらいあてはまりますか。(○はそれぞれ1つずつ)

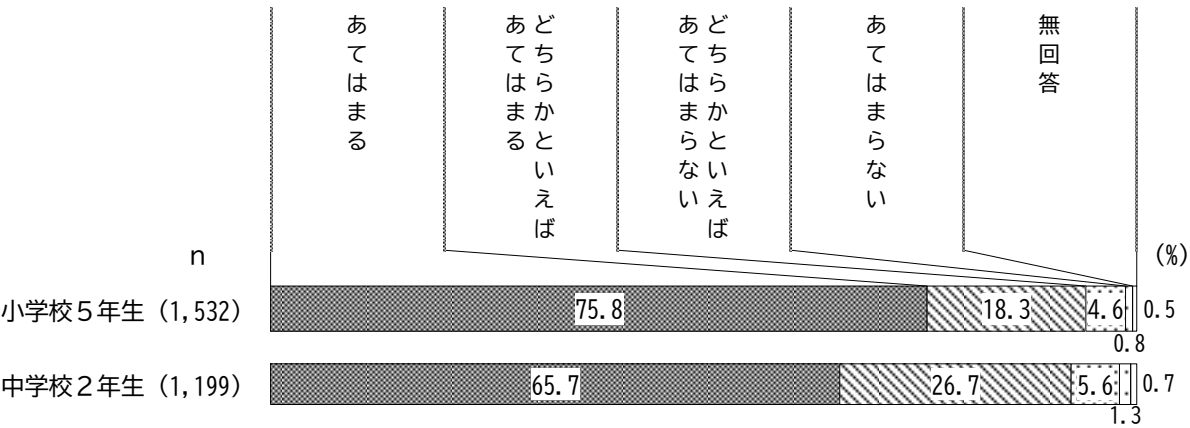
友だちと仲が良い



友だちと仲が良いは、小学校5年生で「あてはまる」78.3%、中学校2年生で72.2%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「あてはまる」は小学校5年生が中学校2年生より6.1ポイント高くなっている。「あてはまる」と「どちらかといえはあてはまる」を合わせると9割を超えており大きな差はみられない。

家族と仲が良い

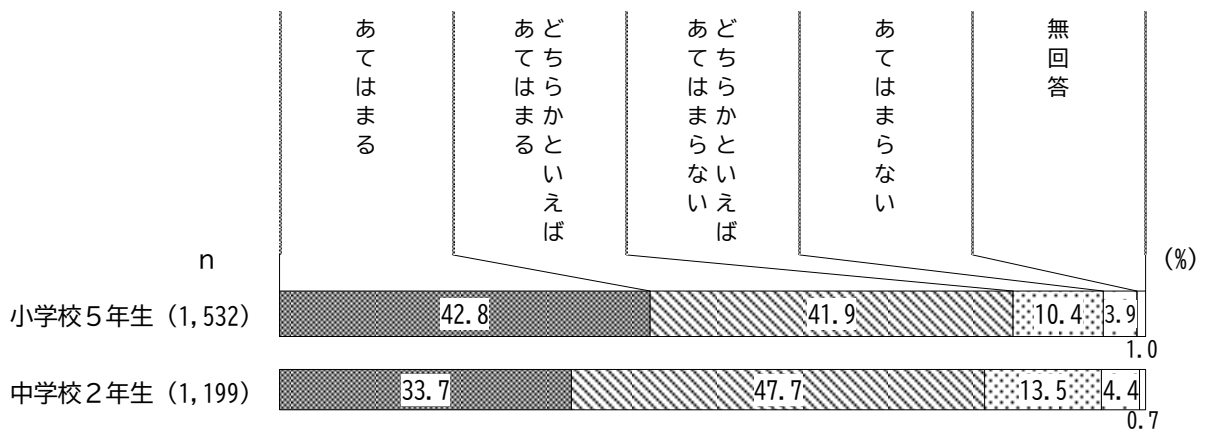


家族と仲が良いは、小学校5年生で「あてはまる」75.8%、中学校2年生で65.7%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「あてはまる」は小学校5年生が中学校2年生より10.1ポイント高くなっている。

「あてはまる」と「どちらかといえはあてはまる」を合わせると9割を超えており大きな差はみられない。

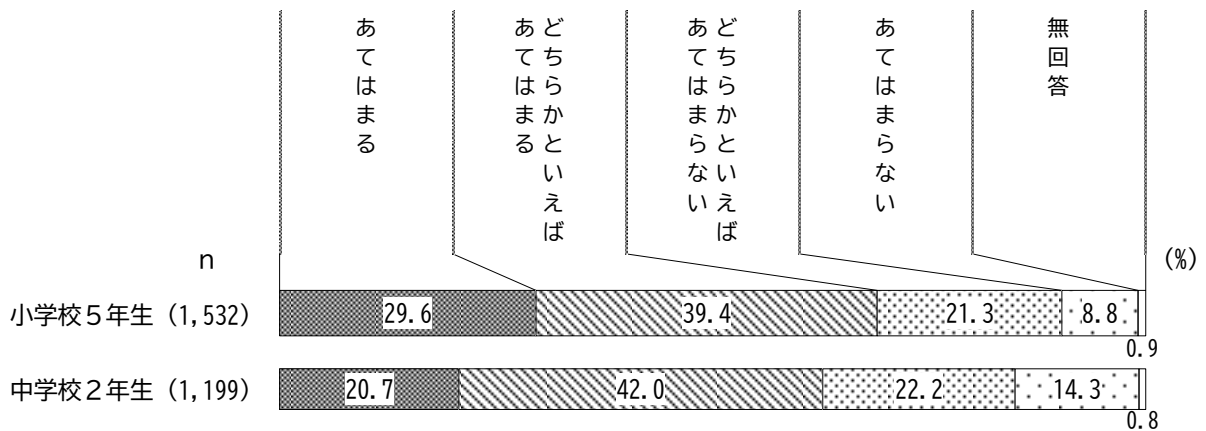
学校の先生と仲が良い



学校の先生と仲が良いは、小学校5年生で「あてはまる」42.8%となっている。中学校2年生は「どちらかといえばあてはまる」47.7%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせると8割台で大きな差はみられない。

地域の人と仲が良い



地域の人と仲が良いは、小学校5年生で「どちらかといえばあてはまる」39.4%、中学校2年生で42.0%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせると小学校5年生 69.0%で中学校2年生 62.7%より 6.3 ポイント高くなっている。

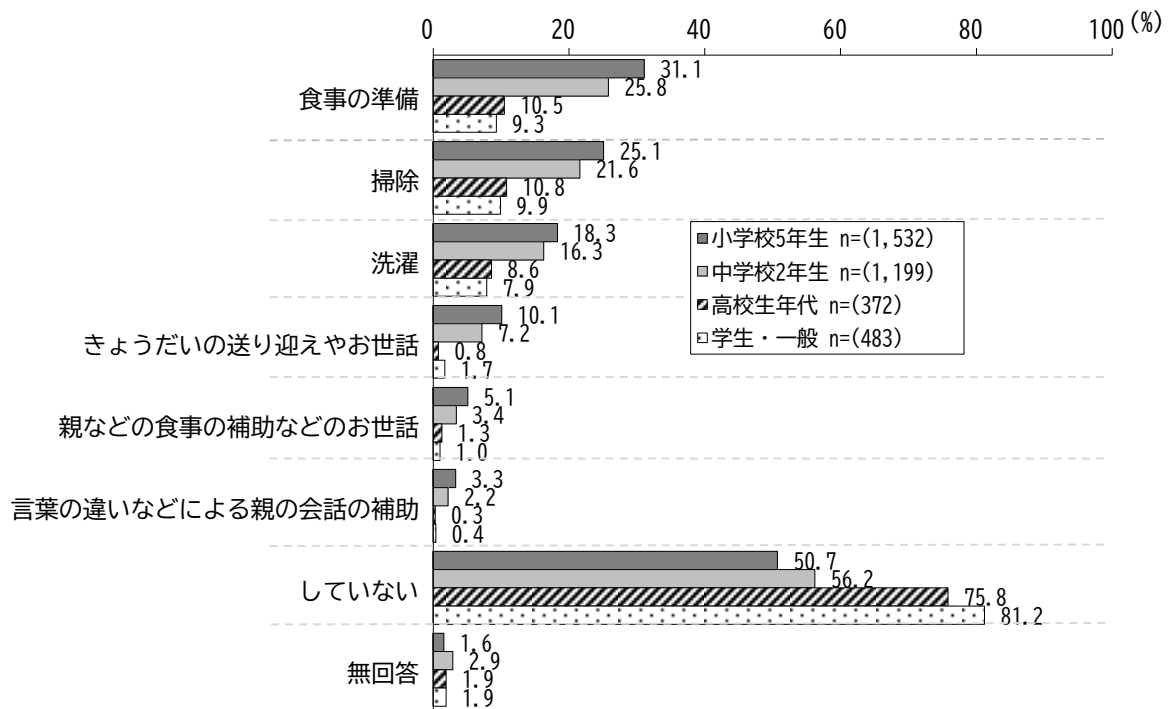
7. ヤングケアラー・若者ケアラーについて

(1) 大人に代わって、家事や家族の世話をすること

問〔小学校5年生・中学校2年生：問14／高校生年代、学生・一般：問22〕

大人に代わって、あなたが中心となり、次のようなことを親きょうだいなどに行っていますか。(〇はいくつでも)

※ヤングケアラーとは、大人に代わって家事（食事の準備・掃除・洗濯）や家族のお世話をすることのことです。



大人に代わって、家事や家族の世の実施することは、小学校5年生で「食事の準備」31.1%、「掃除」25.1%、「洗濯」18.3%となっている。

中学校2年生で「食事の準備」25.8%、「掃除」21.6%、「洗濯」16.3%となっている。

高校生年代で「掃除」10.8%、「食事の準備」10.5%、「洗濯」8.6%となっている。

学生・一般で「掃除」9.9%、「食事の準備」9.3%、「洗濯」7.9%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「食事の準備」は小学校5年生が中学校2年生より5.3ポイント高くなっている。

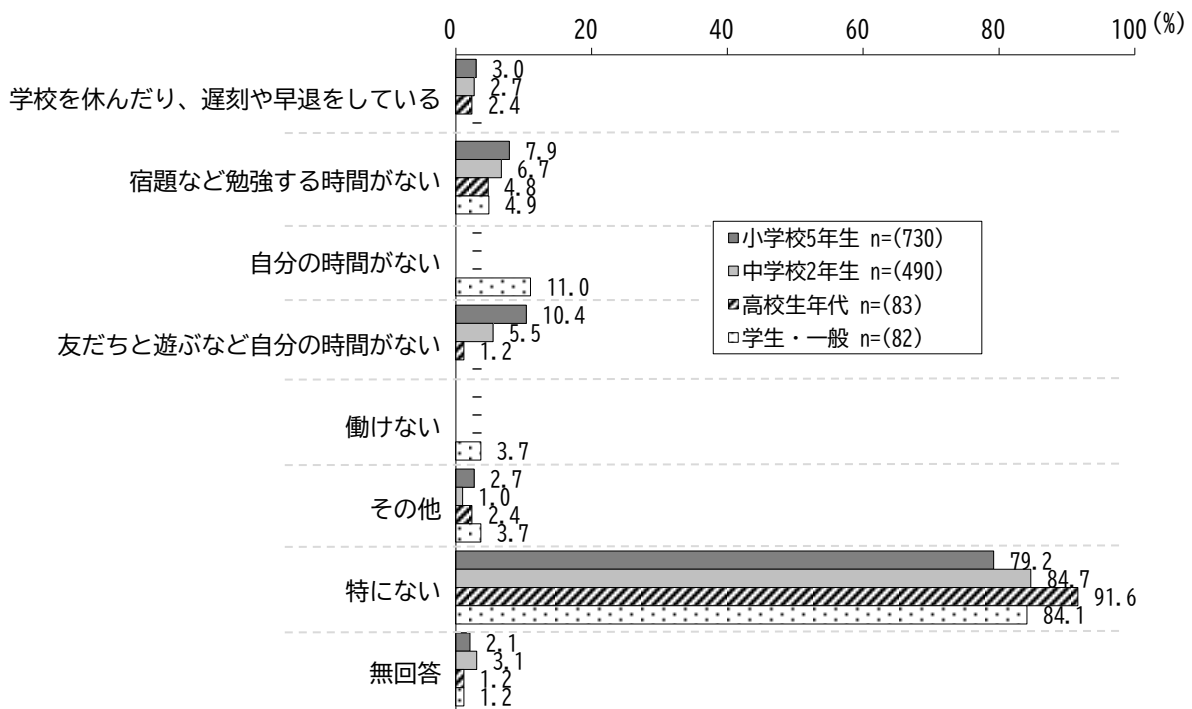
高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

こども大綱別紙2「こども・若者、子育て当事者の置かれた状況等を把握するための指標」に掲載の「自分はヤングケアラーに当てはまる」と思う人の割合」の現状では、中学校2年生1.8%、全日制高校2年生2.3%、定時制高校2年生相当4.6%、通信制高校生7.2%（2020年度）、大学3年生2.9%（2021年度）となっている。

(2) 家事や家族の世話をすることで及んでいる影響

【小学校5年生・中学校2年生：問14／高校生年代、学生・一般：問22で「食事の準備」「掃除」「洗濯」「きょうだいの送り迎えやお世話」「親などの食事の補助などのお世話」「言葉の違いなどによる親の会話の補助」にひとつでも○をつけた方にうかがいます】

問〔小学校5年生・中学校2年生：問14－1／高校生年代、学生・一般：問22－1〕
前問の家事や家族の世話などを日ごろすることで、次のようなことがありますか。
(○はいくつでも)



家事や家族の世話をすることで及んでいる影響は、小学校5年生で「友だちと遊ぶなど自分の時間がない」10.4%、「宿題など勉強する時間がない」7.9%となっている。

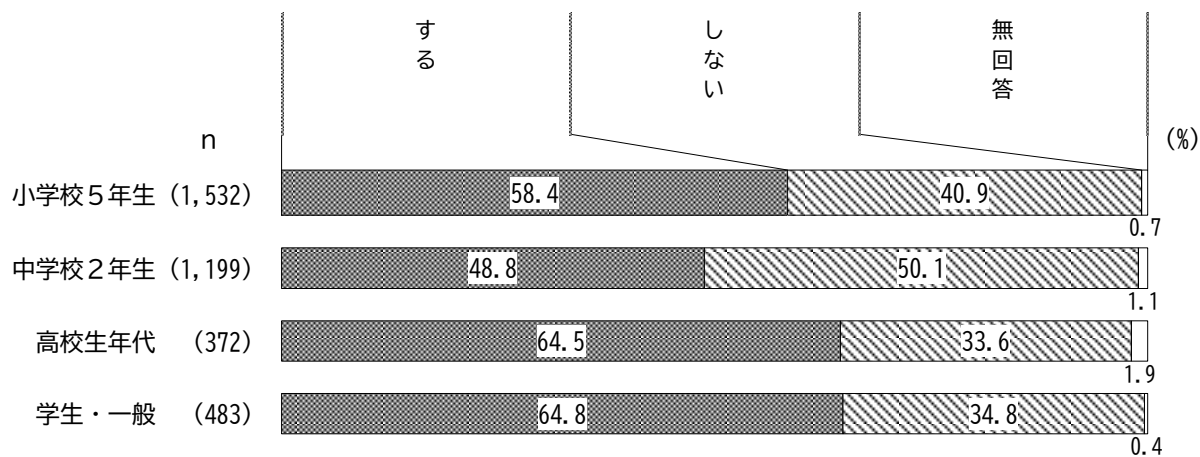
中学校2年生で「宿題など勉強する時間がない」6.7%、「友だちと遊ぶなど自分の時間がない」5.5%となっている。

高校生年代で「宿題など勉強する時間がない」4.8%、「学校を休んだり、遅刻や早退をしている」2.4%となっている。

学生・一般で「自分の時間がない」11.0%、「宿題など勉強する時間がない」4.9%となっている。

(3) ヤングケアラーになった場合の相談意向

問〔小学校5年生・中学校2年生：問15／高校生年代、学生・一般：問23〕
あなたがヤングケアラーになった場合、誰かに相談しますか。(○は1つ)



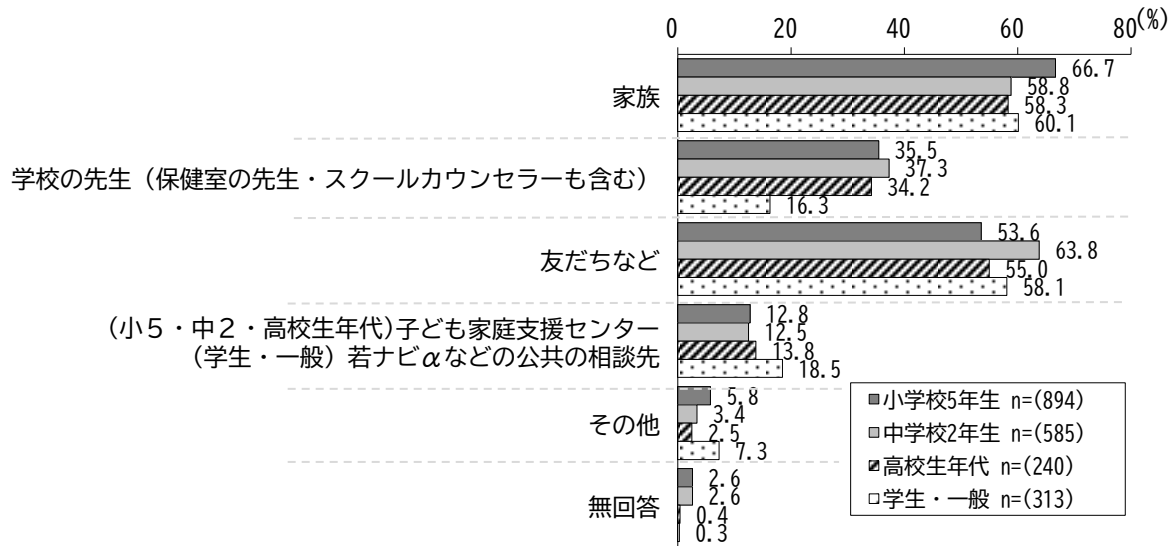
ヤングケアラーになった場合の相談意向は、小学校5年生で「する」58.4%、中学校2年生で48.8%、高校生年代で64.5%、学生・一般で64.8%となっている。中学校2年生では「しない」の方が高く50.1%となっている。

(4) 相談する場合の相談先

【小学校5年生・中学校2年生：問15／高校生年代、学生・一般：問23で「する」とお答えの方にかがいます】

問〔小学校5年生・中学校2年生：問15－1／高校生年代、学生・一般：問23－1〕

相談する場合は誰に相談しますか。(○はいくつでも)



相談する場合の相談先は、小学校5年生で「家族」66.7%、「友だちなど」53.6%、「学校の先生(保健室の先生・スクールカウンセラーも含む)」35.5%となっている。

中学校2年生で「友だちなど」63.8%、「家族」58.8%、「学校の先生(保健室の先生・スクールカウンセラーも含む)」37.3%となっている。

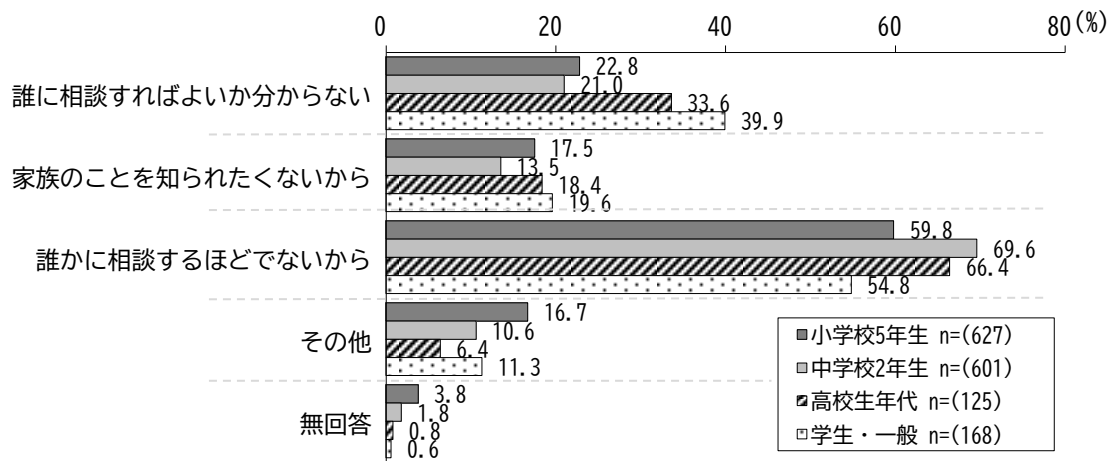
高校生年代で「家族」58.3%、「友だちなど」55.0%、「学校の先生(保健室の先生・スクールカウンセラーも含む)」34.2%となっている。

学生・一般で「家族」60.1%、「友だちなど」58.1%、「(小5・中2・高校生世代)子ども家庭支援センター(学生・一般)若ナビαなどの公共の相談先」18.5%となっている。

(5) 相談しない理由

【小学校5年生・中学校2年生：問15／高校生年代、学生・一般：問23で「しない」とお答えの方にかがいます】

問〔小学校5年生・中学校2年生：問15－2／高校生年代、学生・一般：問23－2〕
相談しないのはなぜですか。(○はいくつでも)



相談しない理由は、小学校5年生で「誰かに相談するほどでないから」59.8%、「誰に相談すればよいか分からない」22.8%、「家族のことを知られたくないから」17.5%となっている。

中学校2年生で「誰かに相談するほどでないから」69.6%、「誰に相談すればよいか分からない」21.0%、「家族のことを知られたくないから」13.5%となっている。

高校生年代で「誰かに相談するほどでないから」66.4%、「誰に相談すればよいか分からない」33.6%、「家族のことを知られたくないから」18.4%となっている。

学生・一般で「誰かに相談するほどでないから」54.8%、「誰に相談すればよいか分からない」39.9%、「家族のことを知られたくないから」19.6%となっている。

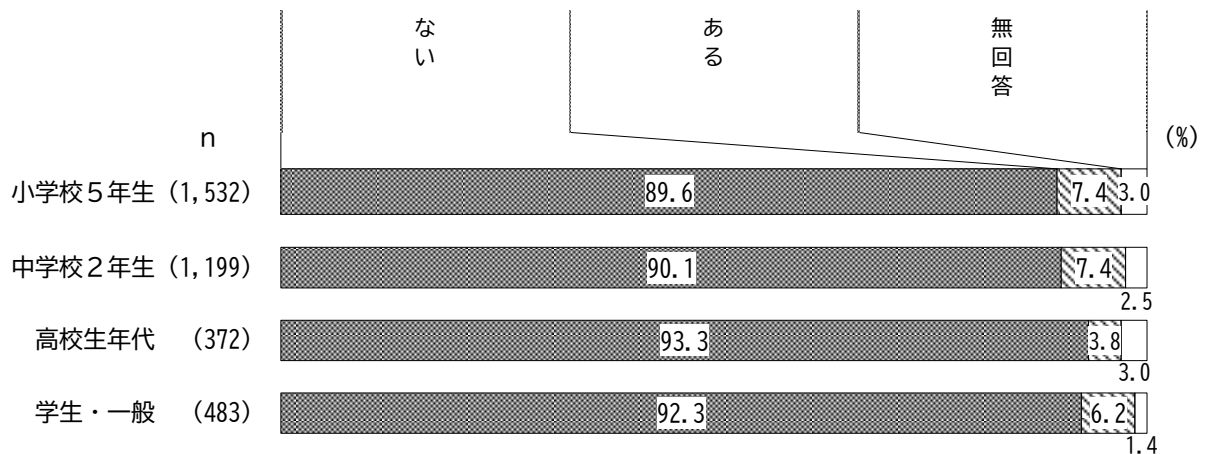
8. 虐待について

(1) 保護者や家族などからの虐待行為の経験

問〔小学校5年生・中学校2年生：問16／高校生年代、学生・一般：問24〕

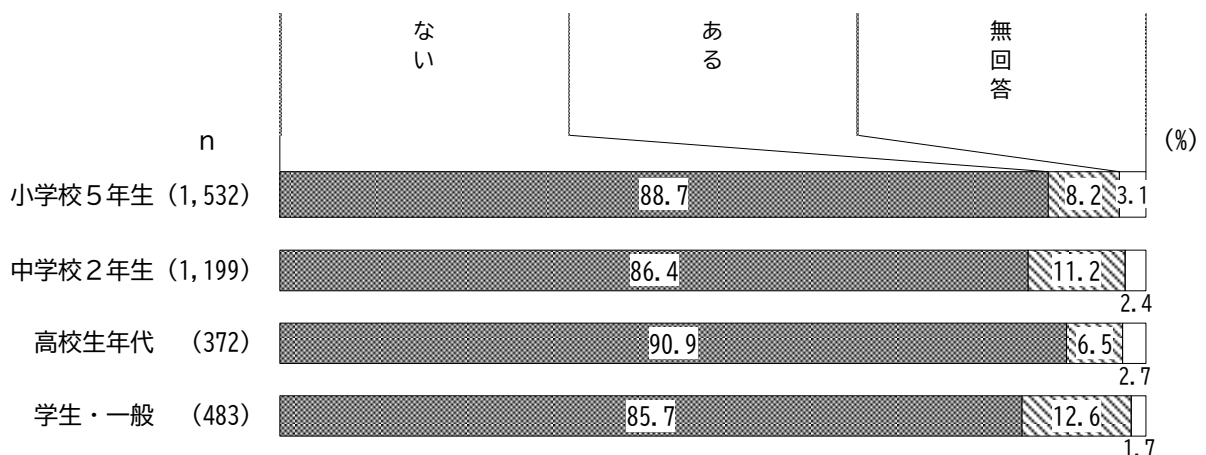
保護者や家族などに、A～D（身体的・精神的苦痛）のようなことをされたことがありますか。（○はそれぞれ1つずつ）

A 傷やあざができるほどの暴力を受けたことがある



暴力行為を受けた経験は、全ての年代で「ない」が約9割と最も高くなっている。一方、「ある」は小学校5年生と中学校2年生で各7.4%、高校生年代で3.8%、学生・一般で6.2%となっている。小学校5年生と中学校2年生を比較しても、大きな差はみられない。高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

B くり返し傷つくことを言われたり、無視されたり、家族の間での暴力を見たことがある



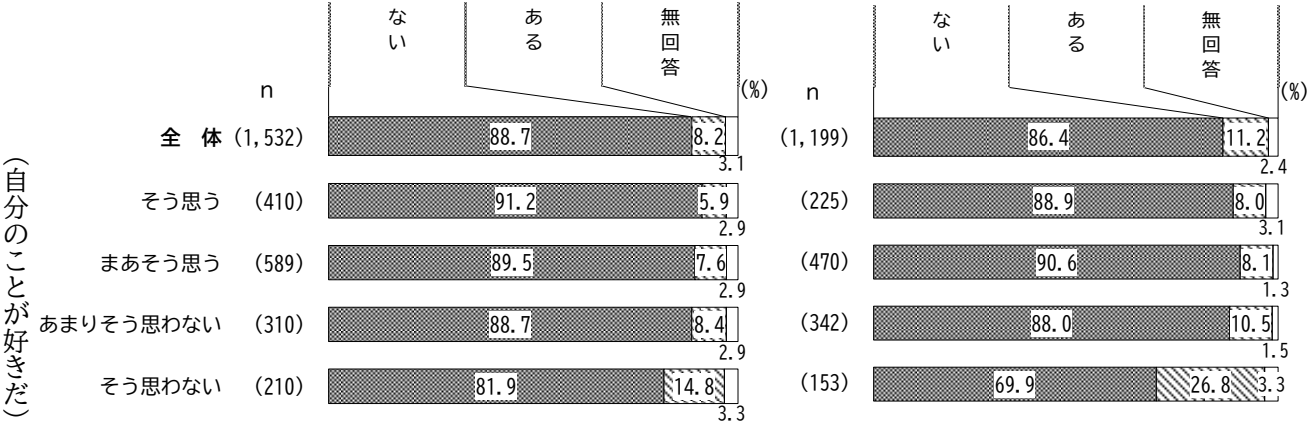
身体的、精神的苦痛を受けたまたは見た経験は、全ての年代で「ない」がおおむね8割台後半から9割と最も高くなっている。一方、「ある」は小学校5年生で8.2%、中学校2年生で11.2%、高校生年代で6.5%、学生・一般で12.6%となっている。小学校5年生と中学校2年生を比較しても、大きな差はみられない。高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

【くり返し傷つくことを言われたり、無視されたり、家族の間での暴力を見たことがある×自尊感情】

小学校5年生

中学校2年生

(くり返し傷つくことを言われたり、無視されたり、家族の間での暴力を見たことがある)



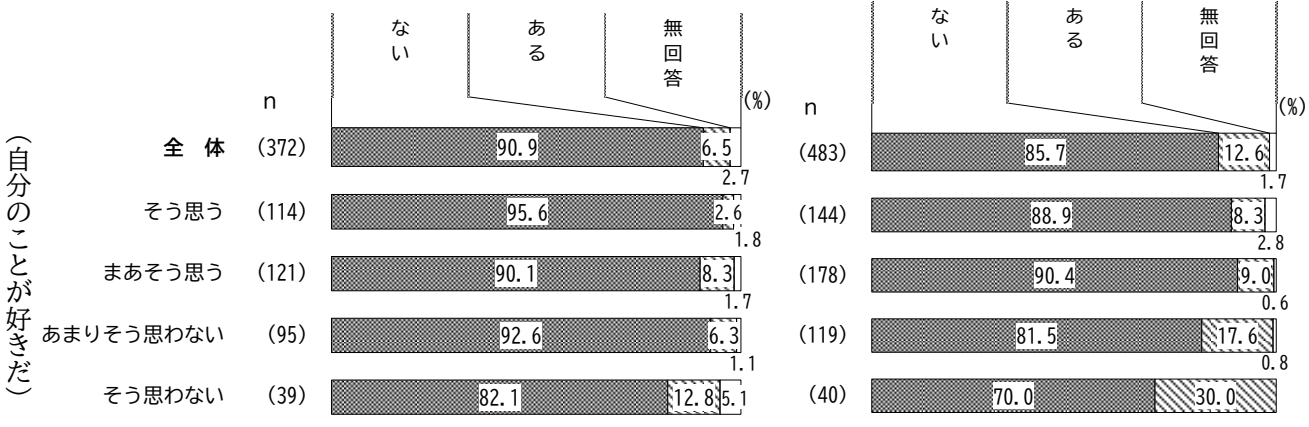
身体的・精神的苦痛を受けたまたは見た経験を自尊感情別にみると、経験が「ある」場合、自尊感情が低い割合が高くなっている。

【くり返し傷つくことを言われたり、無視されたり、家族の間での暴力を見たことがある×自尊感情】

高校生年代

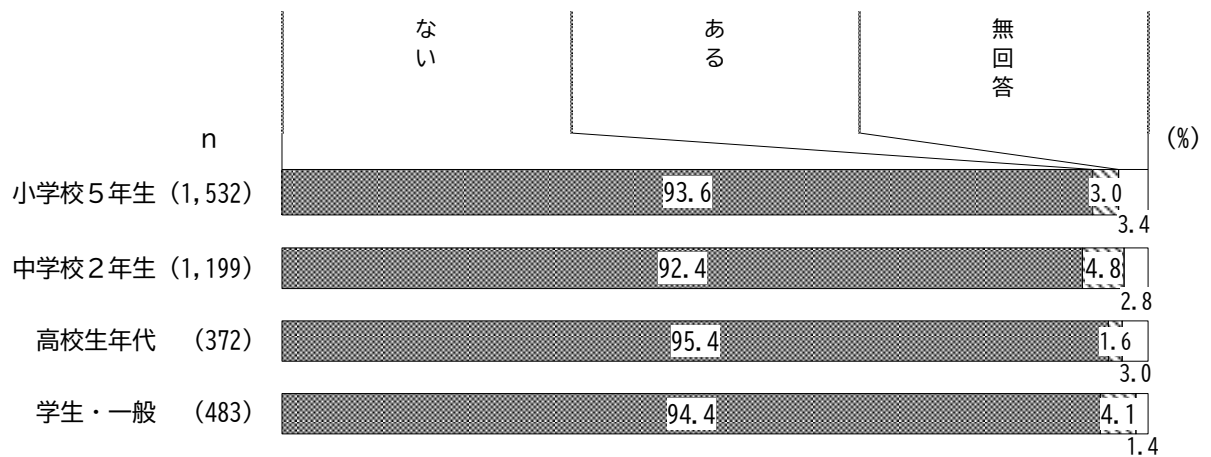
学生・一般

(くり返し傷つくことを言われたり、無視されたり、家族の間での暴力を見たことがある)



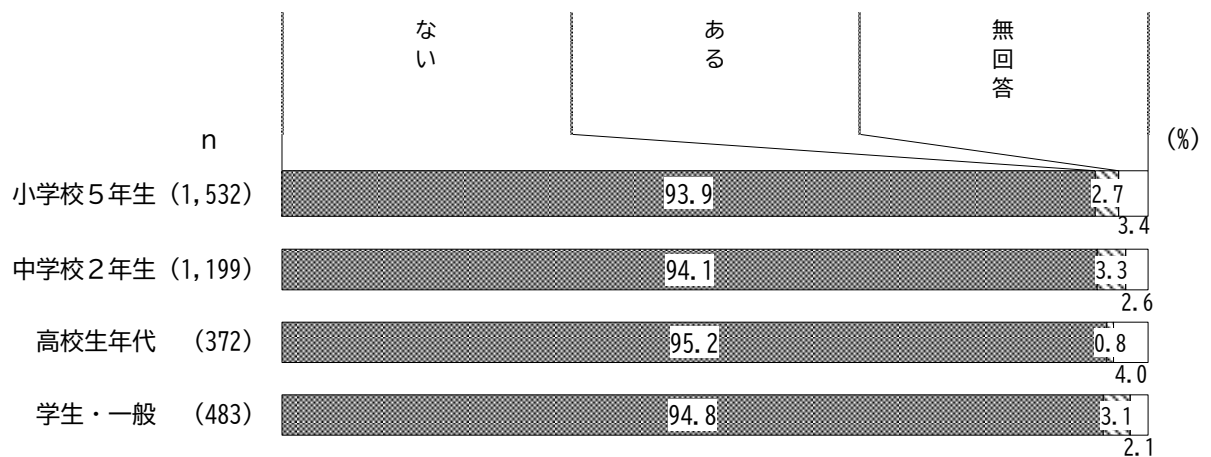
身体的・精神的苦痛を受けたまたは見た経験を自尊感情別にみると、小学校5年生、中学校2年生の傾向とほぼ同じで、「ある」、「そう思わない」の割合は学生・一般で最も高くなっている。

C 食事をさせてもらえなかったり、長時間外に放置されたことがある



食事抜きや外に放置の経験は、全ての年代で「ある」の割合が1.6%～5%未満となっている。

D 自分は嫌なのに、自分の体を触られたり、服を脱がされたことがある

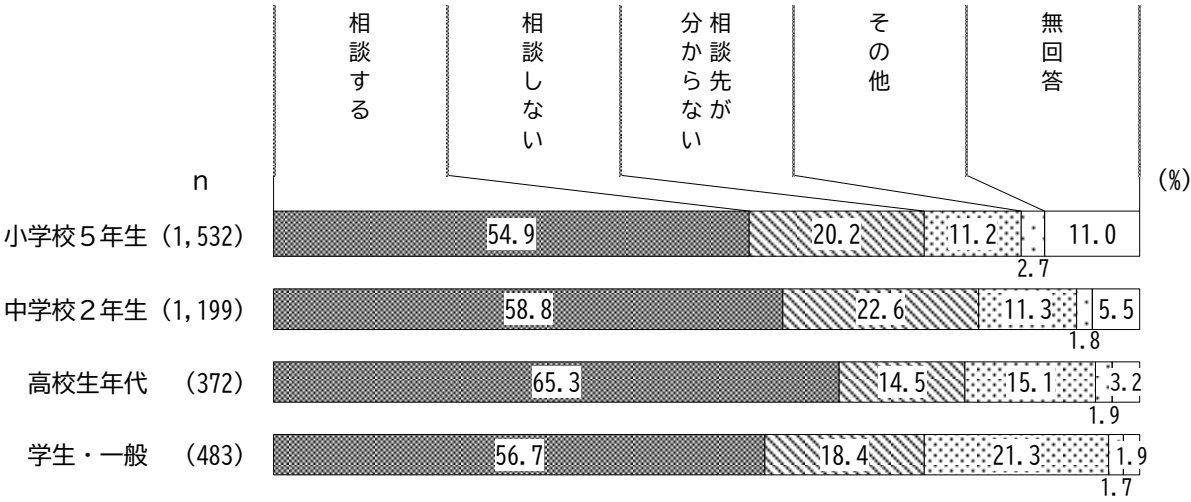


意に反して、体への接触や脱衣された経験は、全ての年代で「ある」の割合が0.8%～3%台となっている。

AからDのハラスメントの経験（P53-P55）で、「ある」の割合が最も高いのは「Bくり返し傷つくことを言われたり、無視されたり、家族の間での暴力を見たことがある」となっている。

(2) 虐待行為があった場合の相談意向

問〔小学校5年生・中学校2年生：問17／高校生年代、学生・一般：問25〕
あなたが前問のA～D（身体的・精神的苦痛など）のことがあった場合、誰かに相談しますか。
（○は1つ）

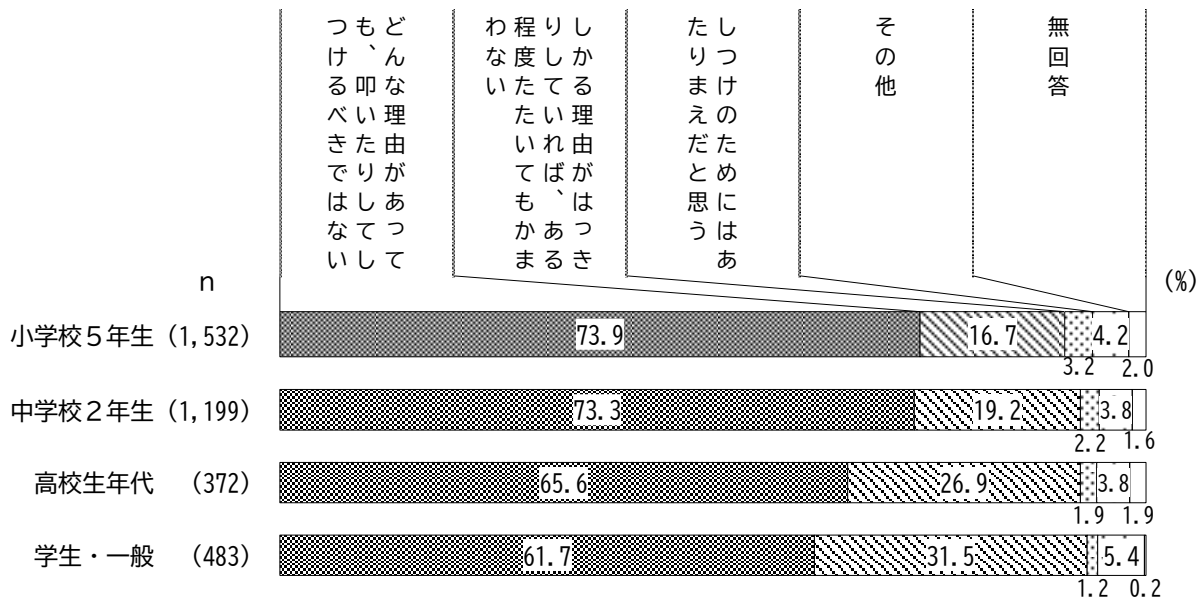


虐待行為があった場合の相談意向は、小学校5年生で「相談する」54.9%、中学校2年生で58.8%、高校生年代で65.3%、学生・一般で56.7%となっている。
「相談先が分からない」の割合は、年代が上がるごとに増加している。

(3) 厳しいしつけに対する考え

問〔小学校5年生・中学校2年生：問18／高校生年代、学生・一般：問26〕

あなたは、親が自分のこどもをしつけるのに、たたいたり、どなったりすることを、どう思いますか。(○は1つ)



厳しいしつけに対する考えは、「どんな理由があっても、叩いたりしてしつけるべきではない」が小学校5年生で73.9%、中学校2年生で73.3%、高校生年代で65.6%、学生・一般で61.7%となっている。

年代が上がるごとに「どんな理由があっても、叩いたりしてしつけるべきではない」の割合は減少し、「しかる理由がはっきりしていれば、ある程度たたいてもかまわない」の割合が増加している。

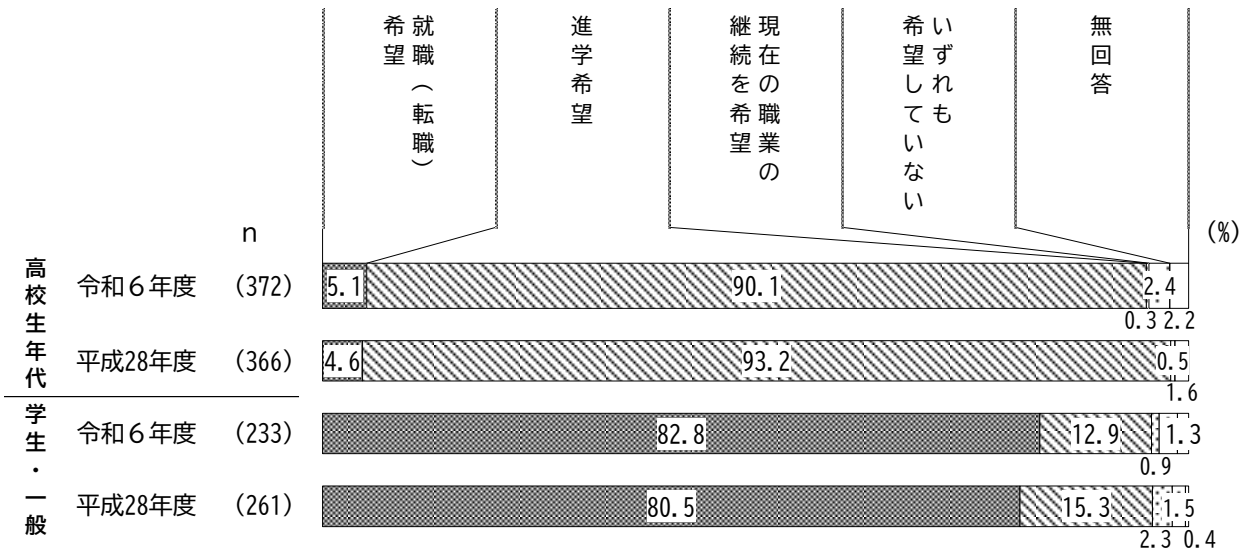
9. 進路・就業・職業について

(1) 学校卒業後の進路希望

【学生の方にうかがいます】

問〔高校生年代、学生・一般：問27〕

現在の学校を卒業後の希望について、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。
(○は1つ)



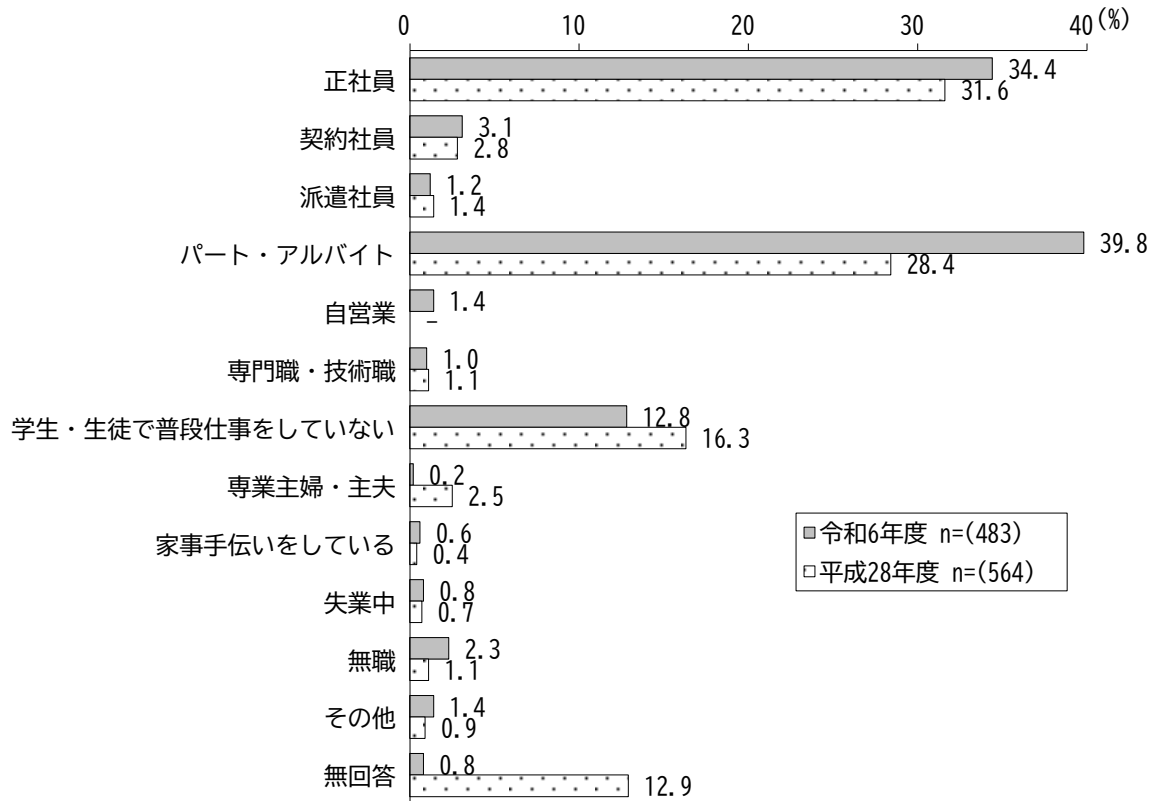
学校卒業後の進路希望は、高校生年代で「進学希望」90.1%、学生・一般で「就職（転職）希望」82.8%となっている。

前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(2) 就業形態

問〔学生・一般：問28〕

あなたは、働いていますか。働いている場合は、就業形態を教えてください。(○は1つ)



就業形態は、「パート・アルバイト」が39.8%、「正社員」34.4%、「学生・生徒で普段仕事をしていない」12.8%となっている。

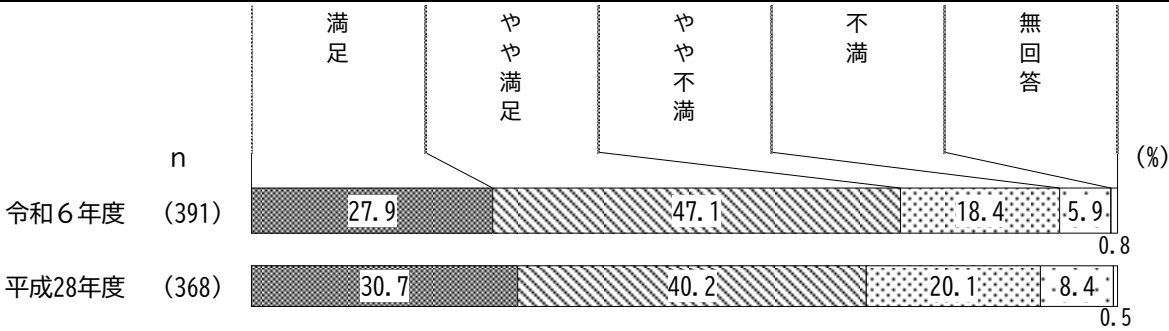
前回調査と比較すると、「パート・アルバイト」は今回39.8%で前回28.4%から11.4ポイント増となっている。

(3) 今の職場の満足度

【学生・一般：問28で「正社員」、「契約社員」、「派遣社員」、「パート・アルバイト」、「自営業」、「専門職・技術職」とお答えの方にうかがいます】

問〔学生・一般：問28－1〕

あなたは、今の職場に満足していますか。(○は1つ)



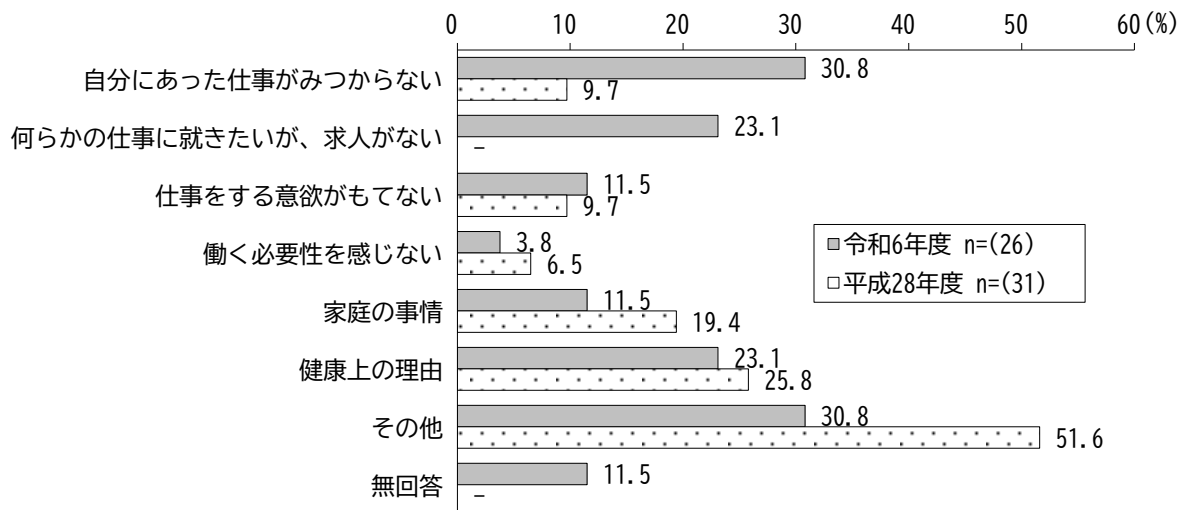
今の職場の満足度は、「満足」27.9%、「やや満足」47.1%、「やや不満」18.4%となっている。
「満足」27.9%と「やや満足」47.1%を合わせると75.0%となっている。
前回調査と比較して、「満足」と「やや満足」を合わせても大きな差はみられない。

(4) 就職していない理由

【学生・一般：問28で「専業主婦・主夫」、「家事手伝いをしている」、「失業中」、「無職」、「その他」とお答えの方にうかがいます】

問〔学生・一般：問28-2〕

あなたが就職していないのはなぜですか。(〇はいくつまで)



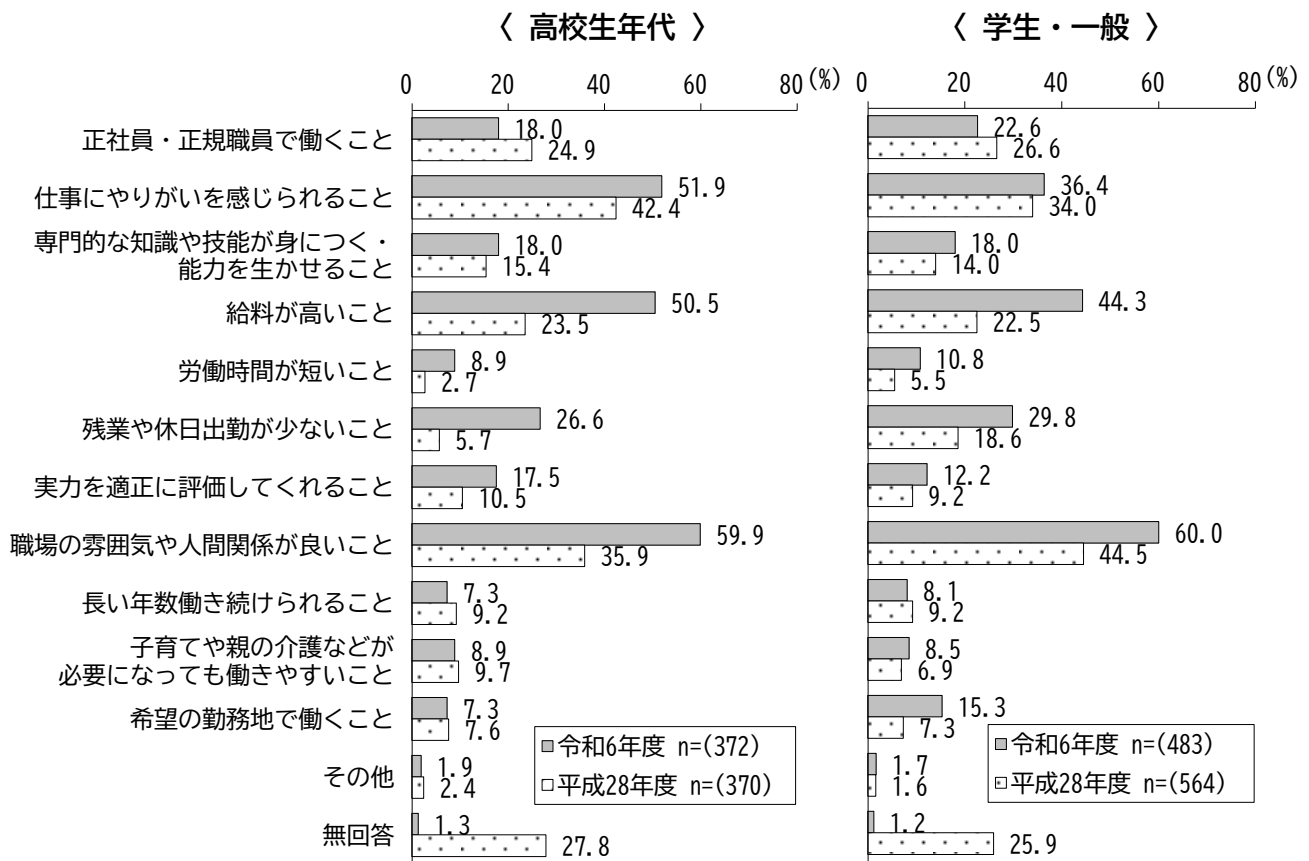
就職していない理由は、「自分にあった仕事が見つからない」30.8%、「何らかの仕事に就きたいが、求人がない」、「健康上の理由」が各23.1%、「仕事をする意欲がもてない」、「家庭の事情」が各11.5%となっている。

前回調査と比較すると、「自分にあった仕事が見つからない」は今回30.8%で前回9.7%から21.1ポイント増となっている。

(5) 仕事を選ぶ際に重視すること

問〔高校生年代：問28／学生・一般：問29〕

あなたは、仕事を選ぶ際に主にどのようなことを重視しますか。(○は3つまで)



仕事を選ぶ際に重視することは、高校生年代で「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」59.9%、「仕事にやりがいを感じられること」51.9%、「給料が高いこと」50.5%となっている。

学生・一般で「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」60.0%、「給料が高いこと」44.3%、「仕事にやりがいを感じられること」36.4%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「仕事にやりがいを感じられること」は高校生年代が学生・一般より15.5ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「給料が高いこと」は今回50.5%で前回23.5%から27.0ポイント増、学生・一般で今回44.3%で前回22.5%から21.8ポイント増となっている。

また、高校生年代で「残業や休日出勤が少ないこと」は今回26.6%で前回5.7%から20.9ポイント増となっている。

仕事を選ぶ際に重視すること×性別、高校生年代

														(%)
	n	正社員・正規職員で働くこと	仕事にやりがいを感じられること	専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること	給料が高いこと	労働時間が短いこと	残業や休日出勤が少ないこと	実力を適正に評価してくれること	職場の雰囲気や人間関係が良いこと	長い年数働き続けられること	子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと	希望の勤務地で働くこと	その他	無回答
全 体	372	18.0	51.9	18.0	50.5	8.9	26.6	17.5	59.9	7.3	8.9	7.3	1.9	1.3
男性	169	19.5	55.0	16.6	53.8	10.1	29.6	16.6	50.9	8.3	3.0	7.1	2.4	1.2
女性	193	17.6	50.8	18.7	47.2	7.8	23.3	18.7	68.4	6.7	13.5	6.7	1.0	1.0
どちらでもない、 答えたくない	10	-	20.0	30.0	60.0	10.0	40.0	10.0	50.0	-	20.0	20.0	10.0	10.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性別にみると、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」は“女性” 68.4%が“男性” 50.9%より17.5ポイント、「子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと」は“女性” 13.5%が“男性” 3.0%より10.5ポイント高くなっている。一方、「給料が高いこと」は“男性” 53.8%が“女性” 47.2%より6.6ポイント、「残業や休日出勤が少ないこと」は“男性” 29.6%が“女性” 23.3%より6.3ポイント高くなっている。

仕事を選ぶ際に重視すること×性別、学生・一般

(%)

	n	正社員・正規職員で働くこと	仕事にやりがいを感じられること	専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること	給料が高いこと	労働時間が短いこと	残業や休日出勤が少ないこと	実力を適正に評価してくれること	職場の雰囲気や人間関係が良いこと	長い年数働き続けられること	子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと	希望の勤務地で働くこと	その他	無回答
全 体	483	22.6	36.4	18.0	44.3	10.8	29.8	12.2	60.0	8.1	8.5	15.3	1.7	1.2
男性	208	24.0	40.9	21.6	45.2	13.5	31.7	11.5	48.1	8.7	1.4	12.5	1.4	1.4
女性	267	21.7	33.3	14.2	44.2	9.0	28.5	11.6	70.0	7.9	14.2	18.0	1.9	0.4
どちらでもない、 答えたくない	8	12.5	25.0	50.0	25.0	-	25.0	50.0	37.5	-	-	-	-	25.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性別にみると、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」は“女性”70.0%が“男性”48.1%より21.9ポイント、「子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと」は“女性”14.2%が“男性”1.4%より12.8ポイント高くなっている。一方、「仕事にやりがいを感じられること」は“男性”40.9%が“女性”33.3%より7.6ポイント、「専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること」は“男性”21.6%が“女性”14.2%より7.4ポイント高くなっている。

高校生年代

					正社員・正規職員で働くこと	仕事にやりがいを感じられること	専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること	給料が高いこと	労働時間が短いこと	残業や休日出勤が少ないこと	実力を適正に評価してくれること	職場の雰囲気や人間関係が良いこと	長い年数働き続けられること	子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと	希望の勤務地で働くこと	その他	無回答	(%)
			n															
全 体			令和6年度	372	18.0	51.9	18.0	50.5	8.9	26.6	17.5	59.9	7.3	8.9	7.3	1.9	1.3	
			平成28年度	370	24.9	42.4	15.4	23.5	2.7	5.7	10.5	35.9	9.2	9.7	7.6	2.4	27.8	
性別	男性	令和6年度	169	19.5	55.0	16.6	53.8	10.1	29.6	16.6	50.9	8.3	3.0	7.1	2.4	1.2		
		平成28年度	156	25.6	40.4	11.5	31.4	4.5	6.4	9.6	28.2	9.0	3.8	5.8	3.2	30.1		
	女性	令和6年度	193	17.6	50.8	18.7	47.2	7.8	23.3	18.7	68.4	6.7	13.5	6.7	1.0	1.0		
		平成28年度	214	24.3	43.9	18.2	17.8	1.4	5.1	11.2	41.6	9.3	14.0	8.9	1.9	26.2		
	どちらでもない、 答えたくない	令和6年度	10	-	20.0	30.0	60.0	10.0	40.0	10.0	50.0	-	20.0	20.0	10.0	10.0		
年齢別	16歳	令和6年度	137	19.0	54.0	13.9	46.7	8.0	22.6	22.6	65.0	7.3	8.0	6.6	2.2	1.5		
		平成28年度	143	25.9	43.4	12.6	30.1	3.5	4.9	9.8	35.0	10.5	8.4	11.2	2.1	25.2		
	17歳	令和6年度	137	13.1	53.3	21.9	48.9	9.5	27.7	14.6	59.1	7.3	11.7	7.3	2.2	2.2		
		平成28年度	127	25.2	35.4	15.0	18.1	3.1	9.4	11.8	38.6	4.7	13.4	5.5	3.1	29.1		
	18歳	令和6年度	98	23.5	46.9	18.4	58.2	9.2	30.6	14.3	54.1	7.1	6.1	8.2	1.0	-		
		平成28年度	98	21.4	50.0	20.4	20.4	1.0	2.0	10.2	33.7	12.2	7.1	5.1	2.0	30.6		

仕事を選ぶ際に重視することを性別、経年別にみると、「仕事にやりがいを感じられること」は前回調査より、“男性”14.6ポイント、“女性”6.9ポイント増となっている。

また、男性では「残業や休日出勤が少ないこと」23.2ポイント、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」22.7ポイント、「給料が高いこと」22.4ポイント、女性では「給料が高いこと」29.4ポイント、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」26.8ポイント、「残業や休日出勤が少ないこと」18.2ポイント、それぞれ増となっている。

仕事を選ぶ際に重視することを年齢別にみると、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」は16歳と17歳で、「給料が高いこと」は18歳で最も高くなっている。

年齢別、経年別にみると、前は16歳と18歳で「仕事にやりがいを感じられること」、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」の順であったが、今回調査では順位が逆になっている。

第2章 小学校5年生・中学校2年生・
16歳～29歳以下の市民調査

学生・一般

																(%)
		n	正社員・正規職員で働くこと	仕事にやりがいを感じられること	専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること	給料が高いこと	労働時間が短いこと	残業や休日出勤が少ないこと	実力を適正に評価してくれること	職場の雰囲気や人間関係が良いこと	長い年数働き続けられること	子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと	希望の勤務地で働くこと	その他	無回答	
全 体		令和6年度	483	22.6	36.4	18.0	44.3	10.8	29.8	12.2	60.0	8.1	8.5	15.3	1.7	1.2
		平成28年度	564	26.6	34.0	14.0	22.5	5.5	18.6	9.2	44.5	9.2	6.9	7.3	1.6	25.9
性別	男性	令和6年度	208	24.0	40.9	21.6	45.2	13.5	31.7	11.5	48.1	8.7	1.4	12.5	1.4	1.4
		平成28年度	238	26.9	33.6	17.2	23.5	5.5	16.4	11.3	38.7	10.1	2.1	6.3	0.4	27.7
	女性	令和6年度	267	21.7	33.3	14.2	44.2	9.0	28.5	11.6	70.0	7.9	14.2	18.0	1.9	0.4
		平成28年度	320	26.6	34.7	11.9	21.9	5.6	20.3	7.8	48.8	8.8	10.6	7.8	2.2	24.4
	どちらでもない、 答えたくない	令和6年度	8	12.5	25.0	50.0	25.0	-	25.0	50.0	37.5	-	-	-	-	25.0
年 齢 別	18・19歳	令和6年度	83	15.7	34.9	12.0	56.6	12.0	27.7	12.0	60.2	4.8	2.4	21.7	1.2	1.2
		平成28年度	79	17.7	29.1	8.9	34.2	5.1	16.5	7.6	46.8	7.6	3.8	6.3	2.5	25.3
	20～24歳	令和6年度	233	21.9	39.9	20.2	44.2	11.6	29.6	10.3	60.1	6.4	5.6	13.7	1.7	0.9
		平成28年度	276	26.4	34.1	13.8	21.4	4.7	18.1	10.9	45.7	9.8	5.4	6.5	0.7	26.8
	25～29歳	令和6年度	167	26.9	32.3	18.0	38.3	9.0	31.1	15.0	59.9	12.0	15.6	14.4	1.8	1.8
		平成28年度	205	29.8	36.1	15.6	19.5	6.8	20.5	7.8	42.0	9.3	10.2	7.8	2.4	25.4

仕事を選ぶ際に重視することを性別、経年別にみると、「給料が高いこと」は前回調査より“男性” 21.7ポイント、22.3ポイント増となっている。

また、男性では「残業や休日出勤が少ないこと」15.3ポイント、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」9.4ポイント、「仕事にやりがいを感じられること」7.3ポイント、女性では「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」21.2ポイント、「希望の地で働くこと」10.2ポイントの増となっている。

仕事を選ぶ際に重視することを年齢別にみると、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」は全年齢で最も高く、次いで「給料が高いこと」、「仕事にやりがいを感じられること」の順となっており、上位3位までの順に年齢別の差はみられない。

また、「給料が高いこと」では、年代が下がるほど割合が増加している。

年齢別、経年別にみると、18・19歳は上位3位までの順に変化はみられない。前回の2位は20～24歳と25～29歳で「仕事にやりがいを感じられること」が、今回では「給料が高いこと」となっている。

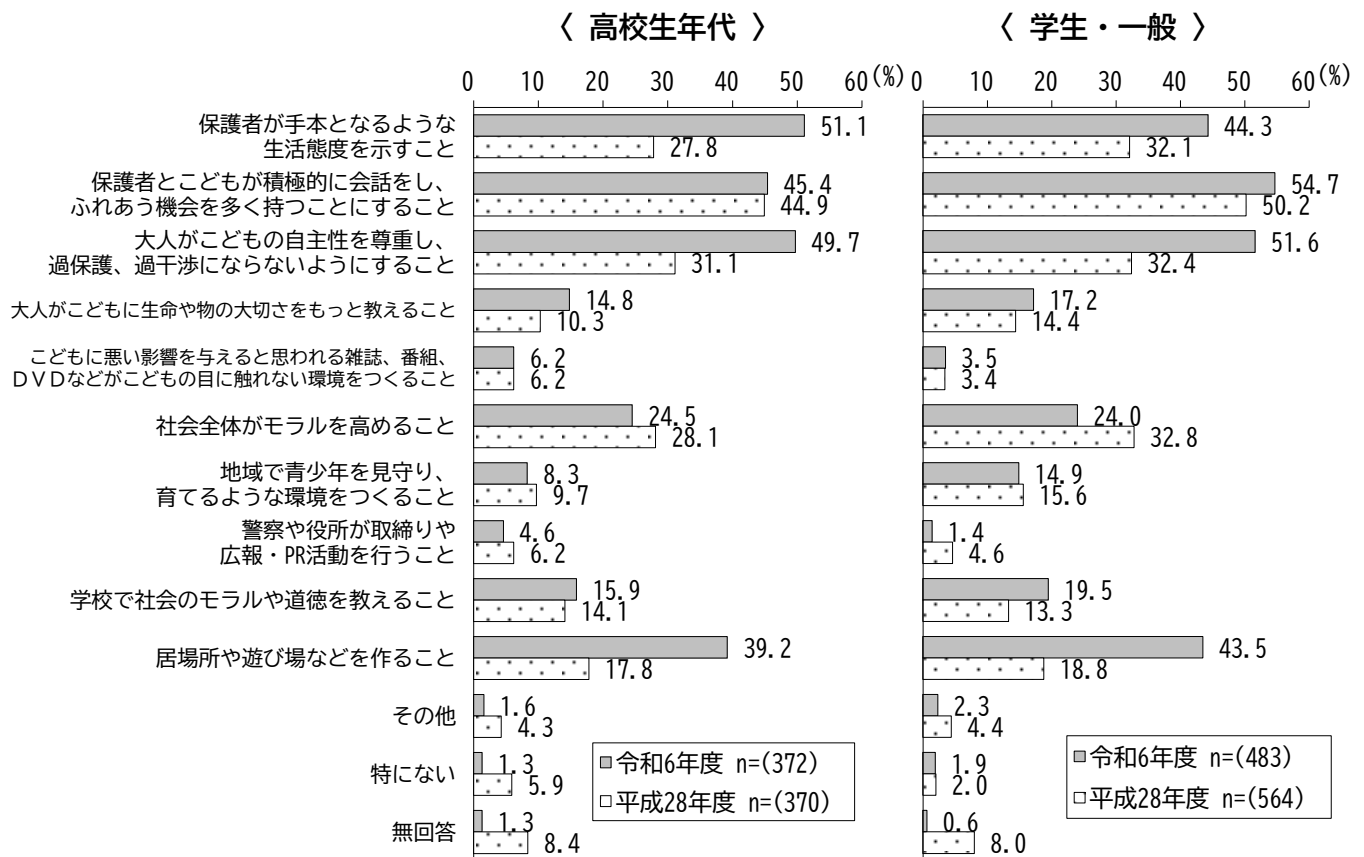
10. 非行的な行為について

(1) こども・若者の健やかな成長、非行防止に大切なこと

問〔高校生年代：問29／学生・一般：問30〕

あなたは、こども・若者の健やかな成長、非行防止に特に何が大切だと思いますか。

(○は3つまで)



こども・若者の健やかな成長、非行防止に大切なことは、高校生年代で「保護者が手本となるような生活態度を示すこと」51.1%、「大人がこどもの自主性を尊重し、過保護、過干渉にならないようにすること」49.7%、「保護者とこどもが積極的に会話をし、ふれあう機会を多く持つことにすること」45.4%となっている。

学生・一般で「保護者とこどもが積極的に会話をし、ふれあう機会を多く持つことにすること」54.7%、「大人がこどもの自主性を尊重し、過保護、過干渉にならないようにすること」51.6%、「保護者が手本となるような生活態度を示すこと」44.3%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「保護者とこどもが積極的に会話をし、ふれあう機会を多く持つことにすること」は学生・一般が高校生年代より9.3ポイント高くなっている。

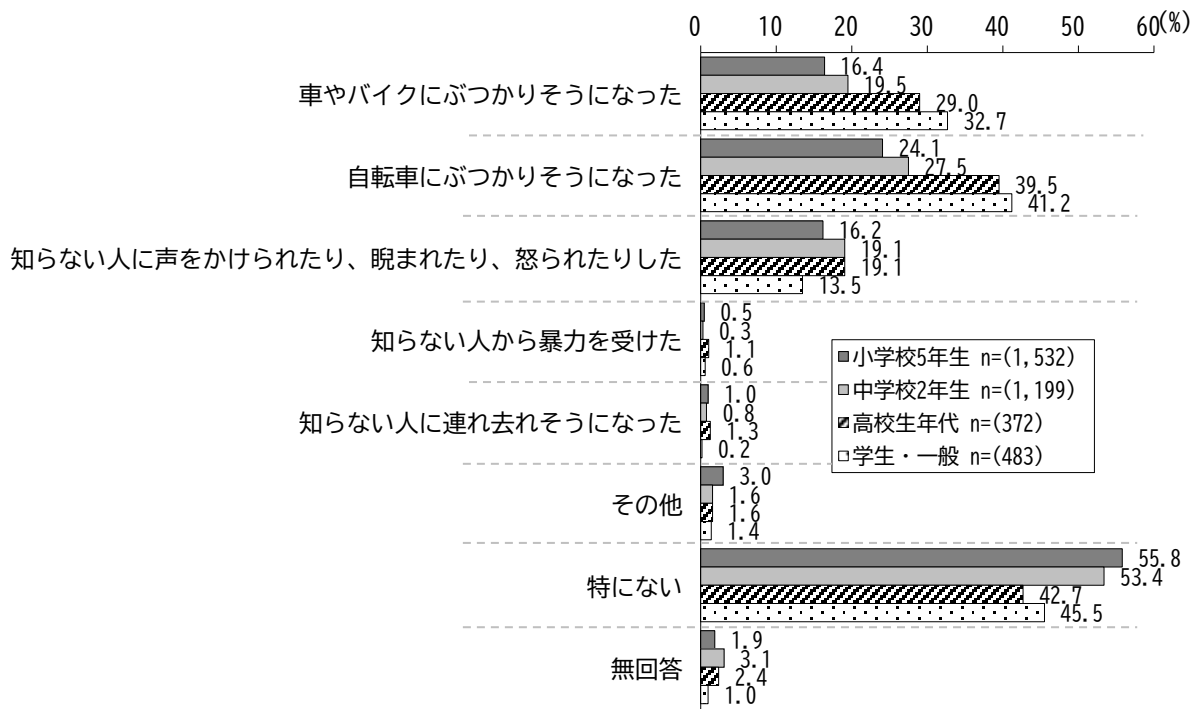
前回調査と比較すると、高校生年代で「保護者が手本となるような生活態度を示すこと」は今回51.1%で前回27.8%から23.3ポイント増、学生・一般で「居場所や遊び場などを作ること」は今回43.5%で前回18.8%から24.7ポイント増となっている。

11. 地域社会での生活について

(1) 居住地域近辺で危険な目にあったこと

問〔小学校5年生・中学校2年生：問9／高校生年代：問30／学生・一般：問31〕

あなたの住む地域（自宅から歩いて20分以内の場所）で、あなたは次のような危険な目にあったことはありますか。（○はいくつでも）



居住地域近辺で危険な目にあったことは、小学校5年生で「自転車にぶつかりそうになった」24.1%、「車やバイクにぶつかりそうになった」16.4%、「知らない人に声をかけられたり、睨まれたり、怒られたりした」16.2%となっている。

中学校2年生で「自転車にぶつかりそうになった」27.5%、「車やバイクにぶつかりそうになった」19.5%、「知らない人に声をかけられたり、睨まれたり、怒られたりした」19.1%となっている。

高校生年代で「自転車にぶつかりそうになった」39.5%、「車やバイクにぶつかりそうになった」29.0%、「知らない人に声をかけられたり、睨まれたり、怒られたりした」19.1%となっている。

学生・一般で「自転車にぶつかりそうになった」41.2%、「車やバイクにぶつかりそうになった」32.7%、「知らない人に声をかけられたり、睨まれたり、怒られたりした」13.5%となっている。

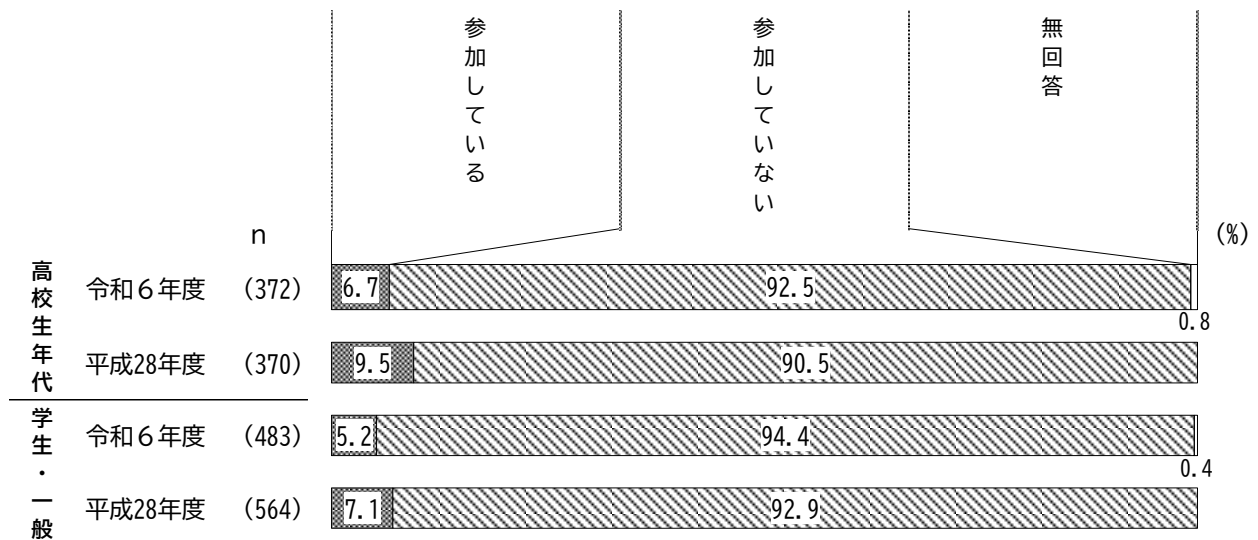
高校生年代と学生・一般を比較すると、「知らない人に声をかけられたり、睨まれたり、怒られたりした」は高校生年代が学生・一般より5.6ポイント高くなっている。

傾向は全年代で変わらない。

(2) 地域活動への参加状況

問〔高校生年代：問31／学生・一般：問32〕

あなたは現在、地域の活動に参加していますか。(○は1つ)



地域活動への参加状況は、高校生年代で「参加していない」92.5%、学生・一般で94.4%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

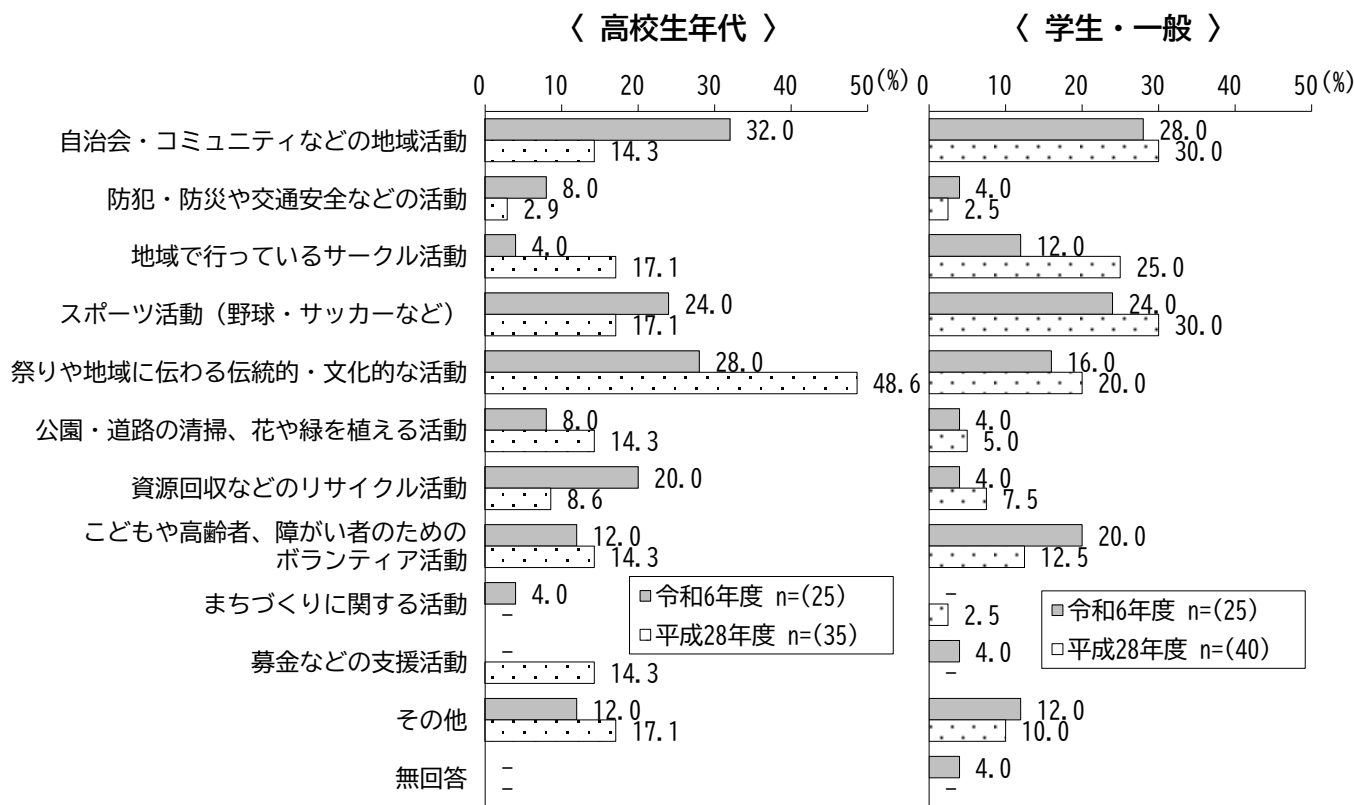
前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(3) 参加している地域活動

【高校生年代：問31／学生・一般：問32で「参加している」とお答えの方にうかがいます】

問〔高校生年代：問31－1／学生・一般：問32－2〕

その地域活動は、何ですか。（○はいくつでも）



参加している地域活動は、高校生年代で「自治会・コミュニティなどの地域活動」32.0%と、「祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動」28.0%、「スポーツ活動(野球・サッカーなど)」24.0%となっている。

学生・一般で「自治会・コミュニティなどの地域活動」28.0%、「スポーツ活動(野球・サッカーなど)」24.0%、「子どもや高齢者、障がい者のためのボランティア活動」20.0%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「資源回収などのリサイクル活動」は高校生年代が学生・一般より16.0ポイント高くなっている。

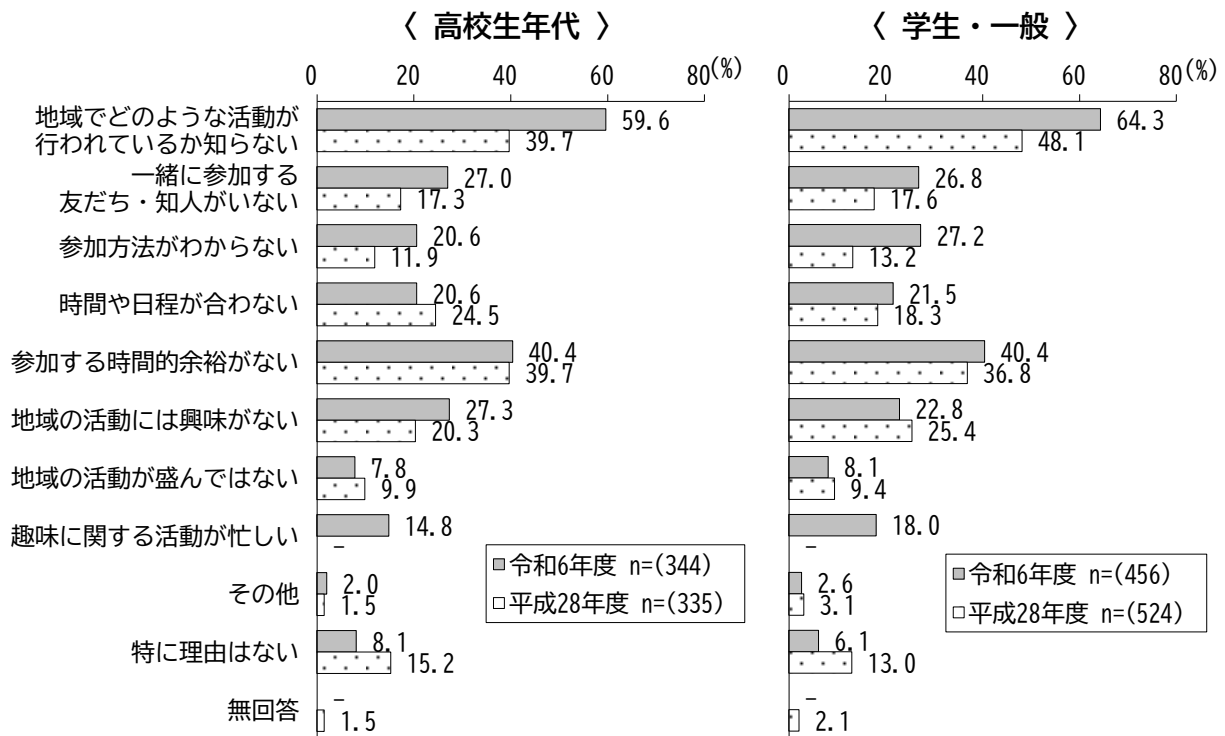
前回調査と比較すると、高校生年代で「自治会・コミュニティなどの地域活動」は今回32.0%で前回14.3%から17.7ポイント増の一方、「祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動」は今回28.0%で前回48.6%から20.6ポイント低くなっている。学生・一般で「子どもや高齢者、障がい者のためのボランティア活動」は今回20.0%で前回12.5%から7.5ポイント増となっている。

(4) 地域活動に参加していない理由

【高校生年代：問31／学生・一般：問32で「参加していない」とお答えの方にうかがいます】

問〔高校生年代：問31－2／学生・一般：問32－2〕

地域活動に参加していない主な理由は、何ですか。(〇はいくつでも)



参加している地域活動は、高校生年代で「地域でどのような活動が行われているか知らない」59.6%、「参加する時間的余裕がない」40.4%、「地域の活動には興味がない」27.3%となっている。

学生・一般で「地域でどのような活動が行われているか知らない」64.3%、「参加する時間的余裕がない」40.4%、「参加方法がわからない」27.2%となっている。

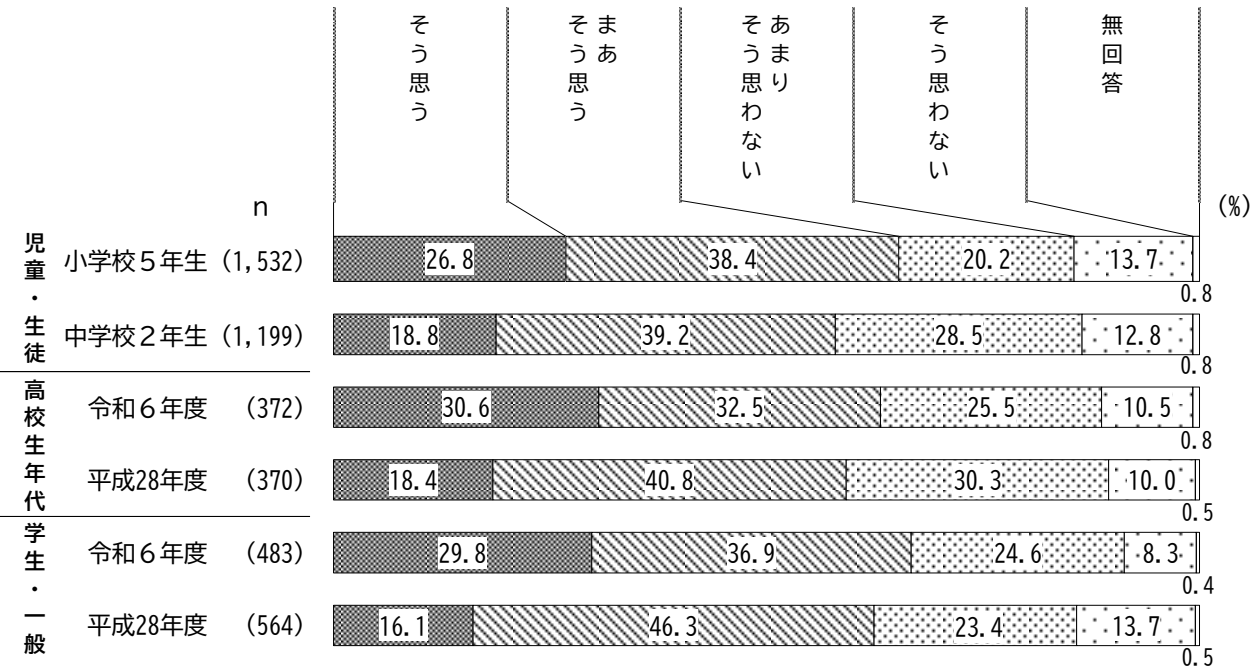
高校生年代と学生・一般を比較すると、「参加方法がわからない」は学生・一般が高校生年代より6.6ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「地域でどのような活動が行われているか知らない」は今回59.6%で前回39.7%から19.9ポイント増、学生・一般で今回64.3%で前回48.1%から16.2ポイント増となっている。

12. 日頃の考え方や意識について

(1) 自尊感情

問〔小学校5年生・中学校2年生：問4／高校生年代：問32／学生・一般：問33〕
あなたは、「自分のことが好きだ」と思いますか。(○は1つ)



自尊感情で最も高いのが、すべての年代で「まあそう思う」で小学校5年生38.4%、中学校2年生39.2%、高校生年代32.5%、学生・一般36.9%となっている。

小学校5年生で、「そう思う」26.8%と「まあそう思う」38.4%を合わせると65.2%、中学校2年生で「そう思う」18.8%と「まあそう思う」39.2%を合わせると58.0%となっている。

高校生年代で、「そう思う」30.6%と「まあそう思う」32.5%を合わせると63.1%、学生・一般で「そう思う」29.8%と「まあそう思う」36.9%を合わせると66.7%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせて小学校5年生65.2%が中学校2年生58.0%より7.2ポイント高くなっている。

高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

前回調査と比較すると、高校生年代で「そう思う」は今回30.6%で前回18.4%から12.2ポイント増、学生・一般で今回29.8%で前回16.1%から13.7ポイント増となっている。

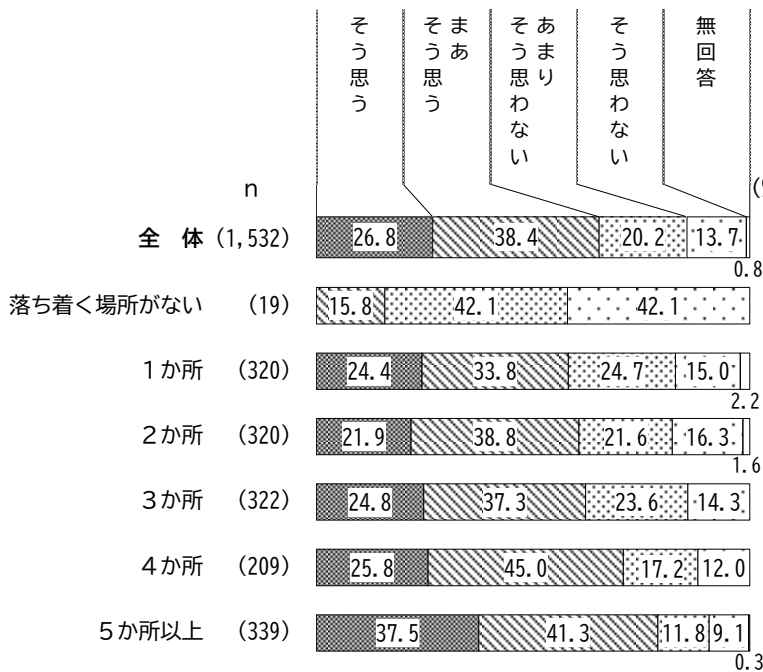
こども大綱に掲載の「こどもまんなか社会」の実現に向けた数値目標

項目	数値目標	現状 ※
「今の自分が好きだ」と思うこども・若者の割合	70%	60.0%

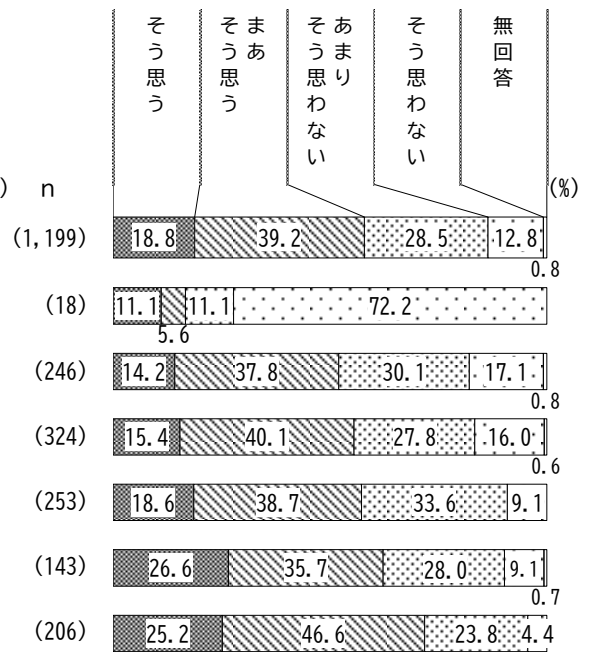
※こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」

【自分のことが好きだ×安息の場所（個数）】

小学校5年生

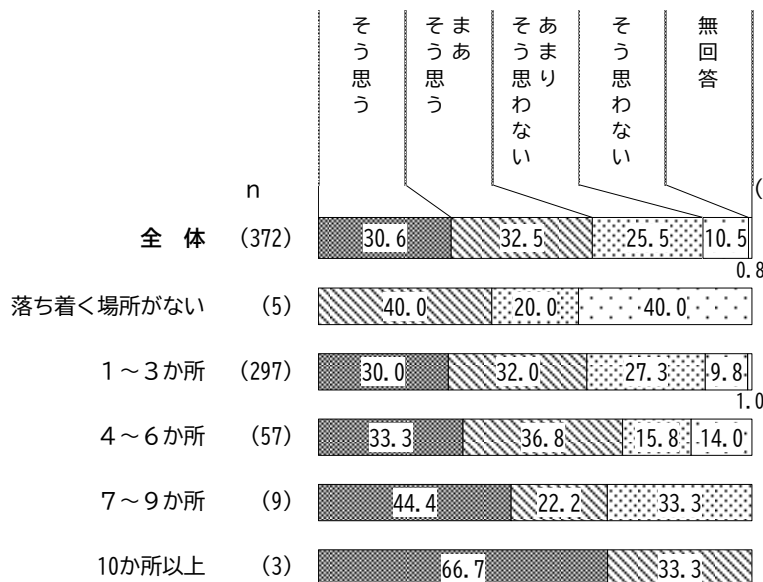


中学校2年生

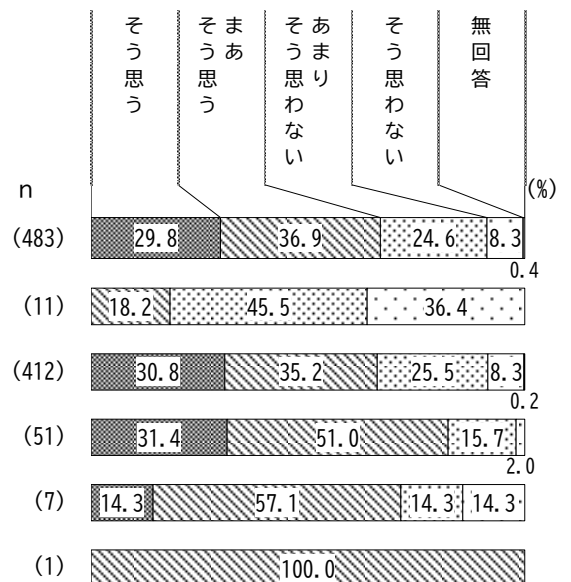


【自分のことが好きだ×安息の場所（個数）】

高校生年代



学生・一般

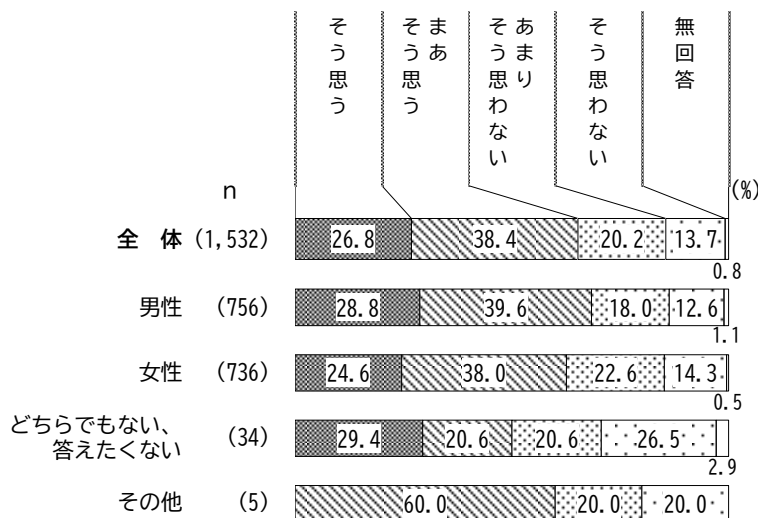


自尊感情を安息の場所の個数別にみると、全年代で落ち着く場所が多いほど、「自分のことが好きだ」の「そう思う」、「まあそう思う」の割合がおおむね高くなっている。一方、落ち着く場所がないを選択した人は「自分のことが好きだ」の「そう思わない」の割合が高くなっている。

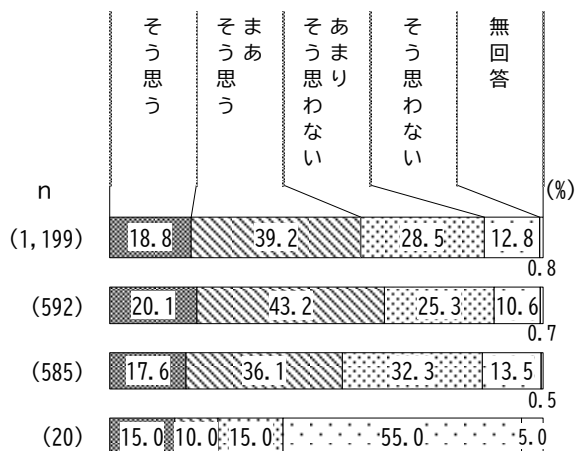
第2章 小学校5年生・中学校2年生・
16歳～29歳以下の市民調査

【自分のことが好きだ×性別】

小学校5年生



中学校2年生

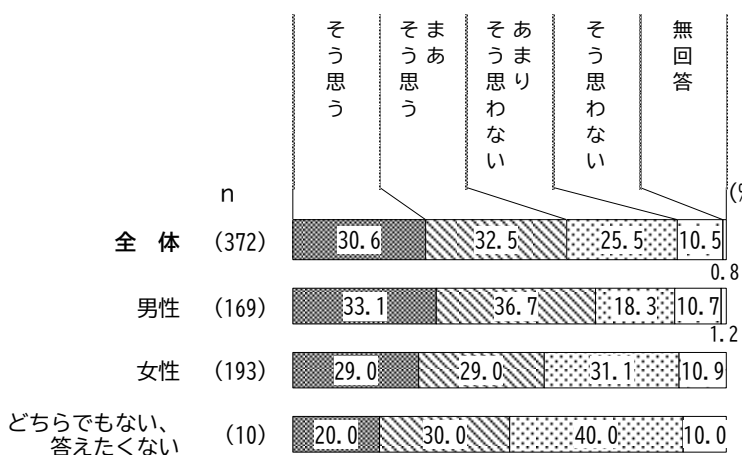


自尊感情を性別にみると、小学校5年生で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせて、“男性” 68.4%で、“女性” 62.6%より5.8ポイント高くなっている。

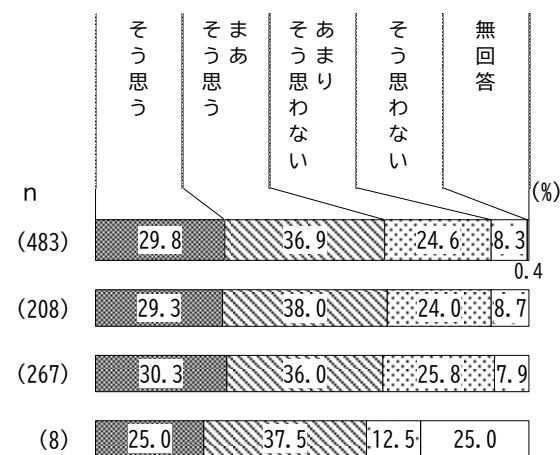
中学校2年生では“男性” 63.3%で“女性” 53.7%より9.6ポイント高くなっている。

【自分のことが好きだ×性別】

高校生年代



学生・一般

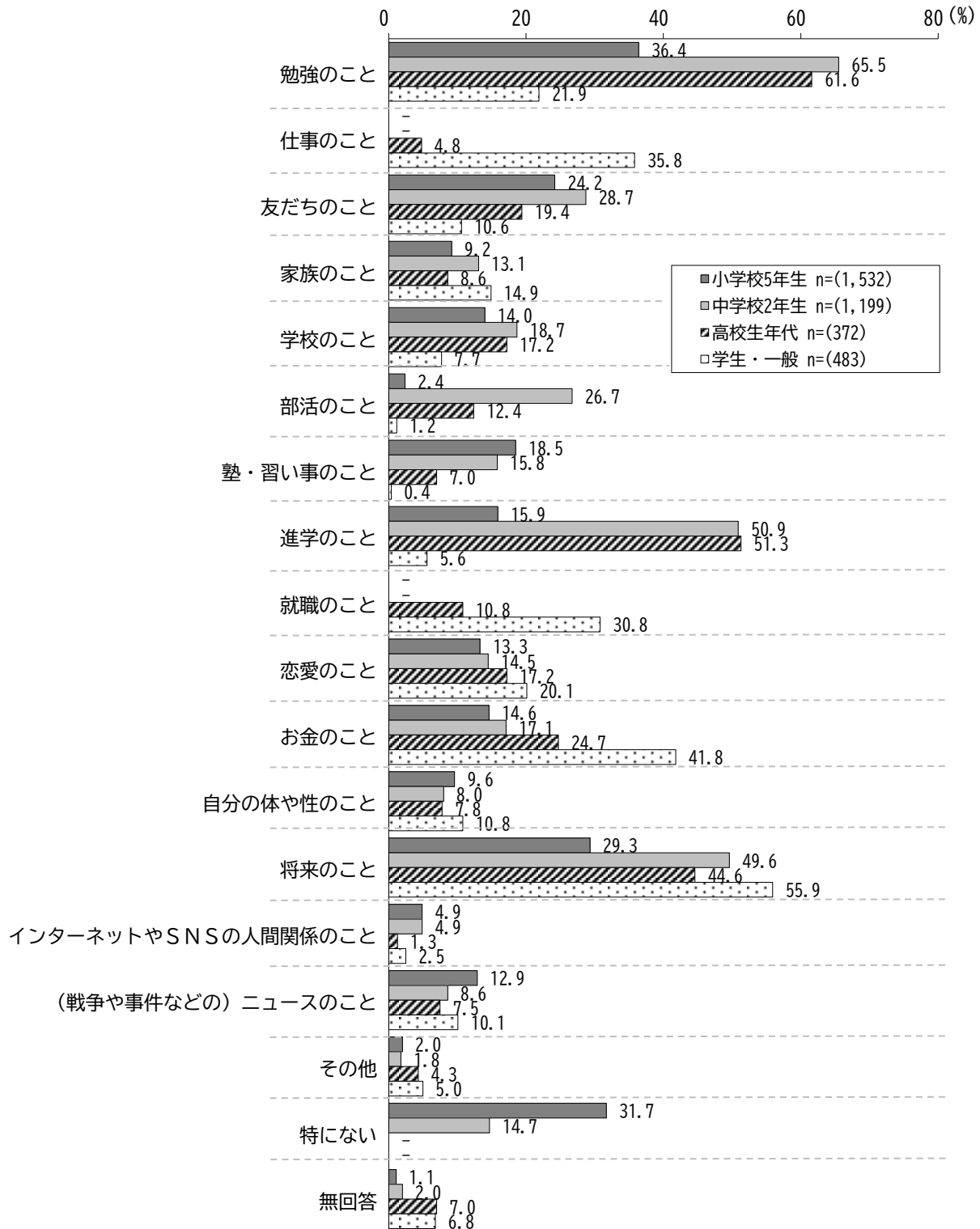


自尊感情を性別にみると、高校生年代で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせて、“男性” 69.8%で、“女性” 58.0%より11.8ポイント高くなっている。一方、学生・一般では“男性” 67.3%で、“女性” 66.3%で差はみられない。

小学校5年生から高校生年代までは、女性より男性の方で自尊感情は高いが、学生・一般となると差はなくなっている。

(2) 困っていることや悩んでいること

問〔小学校5年生・中学校2年生：問19*／高校生年代：問33／学生・一般：問34〕
あなたは現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(〇はいくつでも)
*小学校5年生、中学校2年生調査では、「あなたは今、悩んでいることはありますか。」



第2章 小学校5年生・中学校2年生・
16歳～29歳以下の市民調査

困っていることや悩んでいることは、小学校5年生で「勉強のこと」36.4%、「将来のこと」29.3%、「友だちのこと」24.2%となっている。

中学校2年生で「勉強のこと」65.5%、「進学のこと」50.9%、「将来のこと」49.6%となっている。

高校生年代で「勉強のこと」61.6%、「進学のこと」51.3%、「将来のこと」44.6%となっている。

学生・一般で「将来のこと」55.9%、「お金のこと」41.8%、「仕事のこと」35.8%となっている。

「勉強のこと」、「進学のこと」は中学校2年生、高校生年代が他の年代よりも高く、「恋愛のこと」、「お金のこと」は年代が上がるほど高くなっている。

【悩んでいること×性別】

小学校5年生

	n	勉強のこと	友だちのこと	家族のこと	学校のこと	部活のこと	塾・習い事のこと	進学のこと	恋愛のこと	お金のこと	自分の体や性のこと	将来のこと	インターネットやSNSの人間関係のこと	(戦争や事件などの)ニュースのこと	その他	特にない	無回答
全 体	1,532	36.4	24.2	9.2	14.0	2.4	18.5	15.9	13.3	14.6	9.6	29.3	4.9	12.9	2.0	31.7	1.1
男性	756	34.4	17.9	6.6	12.6	2.9	18.8	15.3	9.3	15.1	6.2	28.0	4.6	11.6	1.7	35.7	1.9
女性	736	38.2	29.8	11.3	14.7	1.6	18.2	16.2	17.1	13.0	12.0	29.6	4.2	13.2	1.9	28.7	0.4
どちらでもない、 答えたくない	34	41.2	41.2	20.6	23.5	8.8	20.6	17.6	20.6	35.3	32.4	47.1	23.5	29.4	5.9	11.8	-
その他	5	60.0	40.0	20.0	60.0	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0	60.0	20.0	40.0	20.0	-	-

性別にみると、差が大きい順に「友だちのこと」は“女性”29.8%が“男性”17.9%より11.9ポイント、「恋愛のこと」は“女性”17.1%が“男性”9.3%より7.8ポイント、「自分の体や性のこと」は“女性”12.0%が“男性”6.2%より5.8ポイント高くなっている。

「特にない」は“男性”35.7%で“女性”28.7%より7.0ポイント高くなっている。

【悩んでいること×性別】

中学校2年生

	n	勉強のこと	友だちのこと	家族のこと	学校のこと	部活のこと	塾・習い事のこと	進学のこと	恋愛のこと	お金のこと	自分の体や性のこと	将来のこと	インターネットやSNSの人間関係のこと	(戦争や事件などの)ニュースのこと	その他	特にない	無回答
全 体	1,199	65.5	28.7	13.1	18.7	26.7	15.8	50.9	14.5	17.1	8.0	49.6	4.9	8.6	1.8	14.7	2.0
男性	592	62.8	18.8	9.8	14.0	23.0	13.7	47.3	11.8	15.5	5.6	43.8	4.4	8.4	1.9	18.1	2.9
女性	585	68.0	37.9	15.0	22.4	30.4	17.8	54.0	16.8	17.3	8.9	55.0	4.8	8.2	1.5	11.8	0.9
どちらでもない、 答えたくない	20	75.0	50.0	55.0	45.0	25.0	25.0	70.0	30.0	60.0	50.0	70.0	25.0	25.0	10.0	-	5.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性別にみると、差が大きい順に「友だちのこと」は“女性”37.9%が“男性”18.8%より19.1ポイント、「将来のこと」は“女性”55.0%が“男性”43.8%より11.2ポイント、「学校のこと」は“女性”22.4%が“男性”14.0%より8.4ポイント高くなっている。

「特にない」は“男性”18.1%が“女性”11.8%より6.3ポイント高くなっている。

【困っていることや悩んでいること×性別】

高校生年代

	n	勉強に関すること	仕事に関すること	友だちに関すること	家族に関すること	学校に関すること	部活に関すること	塾・習い事に関すること	進学に関すること	就職に関すること	恋愛に関すること	お金に関すること	自分の体や性に関すること	将来に関すること	インターネットやSNSの人間関係に関すること	(戦争や事件などの)ニュースに関すること	その他	無回答
全 体	372	61.6	4.8	19.4	8.6	17.2	12.4	7.0	51.3	10.8	17.2	24.7	7.8	44.6	1.3	7.5	4.3	7.0
男性	169	60.4	3.0	14.2	4.7	14.8	11.2	7.1	47.9	11.2	15.4	21.9	7.1	43.8	2.4	8.3	4.1	5.9
女性	193	62.7	6.2	23.8	11.4	19.7	13.5	6.7	55.4	10.9	18.7	26.9	7.8	45.6	0.5	6.2	4.1	7.3
どちらでもない、 答えたくない	10	60.0	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	30.0	-	20.0	30.0	20.0	40.0	-	20.0	10.0	20.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性別にみると、差が大きい順に「友だちのこと」は“女性”23.8%が“男性”14.2%より9.6ポイント、「進学に関すること」は“女性”55.4%が“男性”47.9%より7.5ポイント、「家族に関すること」は“女性”11.4%が“男性”4.7%より6.7ポイント高くなっている。

第2章 小学校5年生・中学校2年生・
16歳～29歳以下の市民調査

【困っていることや悩んでいること×性別】

学生・一般

(%)

	n	勉強に関する こと	仕事に関する こと	友だちに関する こと	家族に関する こと	学校に関する こと	部活に関する こと	塾・習い事に関する こと	進学に関する こと	就職に関する こと	恋愛に関する こと	お金に関する こと	自分の体や性に関する こと	将来に関する こと	インターネットやSNS の人間関係に関する こと	(戦争や事件などの) ニュースに関する こと	その他	無回答
全 体	483	21.9	35.8	10.6	14.9	7.7	1.2	0.4	5.6	30.8	20.1	41.8	10.8	55.9	2.5	10.1	5.0	6.8
男性	208	24.0	30.3	9.1	12.0	8.2	1.9	1.0	7.2	31.7	20.7	38.9	7.2	56.3	2.9	11.5	4.8	8.7
女性	267	20.2	40.8	11.6	16.5	7.5	0.7	-	4.5	30.0	20.2	44.2	12.7	55.4	2.2	9.4	4.9	4.9
どちらでもない、 答えたくない	8	25.0	12.5	12.5	37.5	-	-	-	-	37.5	-	37.5	37.5	62.5	-	-	12.5	25.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性別にみると、差が大きい順に「仕事に関すること」は“女性”40.8%で“男性”30.3%より10.5ポイント、「自分の体や性に関すること」は“女性”12.7%で“男性”7.2%より5.5ポイント、「お金に関すること」は“女性”44.2%で“男性”38.9%より5.3ポイント高くなっている。

全年代で“男性”より“女性”の方が悩みの各項目の割合が高いか差がみられない傾向になっている。

【困っていることや悩んでいること×性別×経年、とうきょうこどもアンケート】

高校生年代

																(%)
		n	勉強に関すること	仕事に関すること	友だちに関すること	家族に関すること	学校に関すること	部活に関すること	塾・習い事に関すること	進学に関すること	就職に関すること	恋愛に関すること	お金に関すること	自分の体や性に関すること	将来に関すること	
全 体		令和6年度	372	61.6	4.8	19.4	8.6	17.2	12.4	7.0	51.3	10.8	17.2	24.7	7.8	44.6
		平成28年度	370	46.2	1.9	20.3	6.2	-	-	-	59.2	13.5	7.6	5.1	-	-
性別	男性	令和6年度	169	60.4	3.0	14.2	4.7	14.8	11.2	7.1	47.9	11.2	15.4	21.9	7.1	43.8
		平成28年度	156	44.2	1.9	11.5	3.8	-	-	-	56.4	16.7	5.8	5.8	-	-
	女性	令和6年度	193	62.7	6.2	23.8	11.4	19.7	13.5	6.7	55.4	10.9	18.7	26.9	7.8	45.6
		平成28年度	214	47.7	1.9	26.6	7.9	-	-	-	61.2	11.2	8.9	4.7	-	-
どちらでもない、 答えたくない		令和6年度	10	60.0	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	30.0	-	20.0	30.0	20.0	40.0
年齢別	16歳	令和6年度	137	68.6	4.4	25.5	8.0	23.4	20.4	10.2	52.6	10.9	19.0	24.8	6.6	46.7
		平成28年度	143	54.5	1.4	18.2	6.3	-	-	-	62.9	14.7	5.6	4.2	-	-
	17歳	令和6年度	137	56.9	4.4	14.6	8.0	15.3	11.7	5.1	47.4	9.5	18.2	24.1	8.0	44.5
		平成28年度	127	48.8	2.4	23.6	5.5	-	-	-	57.5	12.6	10.2	6.3	-	-
	18歳	令和6年度	98	58.2	6.1	17.3	10.2	11.2	2.0	5.1	55.1	12.2	13.3	25.5	9.2	41.8
		平成28年度	98	29.6	2.0	19.4	7.1	-	-	-	56.1	13.3	7.1	5.1	-	-
参考	とうきょう こどもアンケート 17歳	令和6年度	995	69.4	14.9	27.1	12	22.1	22.4	11.9	58.3	21.5	18.7	28.1	16.3	49.2

			(%)				
			インターネットやSNSの人間関係に関すること	(戦争や事件などの) ニュースに関すること	その他	無回答	
全 体			令和6年度	1.3	7.5	4.3	7.0
			平成28年度	-	8.4	1.6	1.4
性別	男性	令和6年度	2.4	8.3	4.1	5.9	
		平成28年度	-	9.0	1.9	2.6	
	女性	令和6年度	0.5	6.2	4.1	7.3	
		平成28年度	-	7.9	1.4	0.5	
	どちらでもない、答えたくない		令和6年度	-	20.0	10.0	20.0
年齢別	16歳	令和6年度	1.5	7.3	5.1	5.1	
		平成28年度	-	9.1	2.1	0.7	
	17歳	令和6年度	1.5	6.6	4.4	8.0	
		平成28年度	-	8.7	2.4	3.1	
	18歳	令和6年度	1.0	9.2	3.1	8.2	
		平成28年度	-	7.1	-	-	
参考	とうきょうこどもアンケート 17歳	令和6年度	7	10.2	1.6	1.5	

困っていることや悩んでいることを性別、経年別にみると、「勉強」、「お金」が前回調査よりも男女ともに割合が増加している。「進学」は割合が多い傾向は変わらないが前回よりも減少している。

困っていることや悩んでいることを年齢別にみると、「学校」、「部活」、「恋愛」、「将来」は年齢が上がるごとに割合が減少している。

年齢別、経年別にみると、前回は全年齢で「進学に関すること」、「勉強に関すること」の順であったが、今回調査では順位が逆になっている。

今回調査の17歳と〔とうきょうこどもアンケート（令和6年・東京都調査）〕の17歳と比較しても、上位4位までの順に差はみられない。

第2章 小学校5年生・中学校2年生・
16歳～29歳以下の市民調査

学生・一般

			(%)												
		n	勉強に関すること	仕事に関すること	友だちに関すること	家族に関すること	学校に関すること	部活に関すること	塾・習い事に関すること	進学に関すること	就職に関すること	恋愛に関すること	お金に関すること	自分の体や性に関すること	将来に関すること
全 体	令和6年度	483	21.9	35.8	10.6	14.9	7.7	1.2	0.4	5.6	30.8	20.1	41.8	10.8	55.9
	平成28年度	564	16.1	26.4	13.5	8.3	-	-	-	7.3	27	15.8	29.8	-	-
性別	男性	令和6年度	208	24	30.3	9.1	12	8.2	1.9	7.2	31.7	20.7	38.9	7.2	56.3
		平成28年度	238	21.4	19.7	16.4	5.9	-	-	10.9	33.2	14.7	28.6	-	-
	女性	令和6年度	267	20.2	40.8	11.6	16.5	7.5	0.7	-	4.5	30	20.2	44.2	12.7
		平成28年度	320	12.2	31.6	11.3	9.4	-	-	-	4.7	21.9	16.6	30.6	-
	どちらでもない、 答えたくない	令和6年度	8	25	12.5	12.5	37.5	-	-	-	37.5	-	37.5	37.5	62.5
年齢別	18・19歳	令和6年度	83	36.1	12	16.9	12	13.3	1.2	2.4	12	37.3	24.1	37.3	12
		平成28年度	79	49.4	5.1	22.8	12.7	-	-	-	25.3	38	7.6	17.7	-
	20～24歳	令和6年度	233	25.3	30.9	9.9	15.5	10.3	2.1	-	6	41.6	23.6	37.3	10.3
		平成28年度	276	17.4	17.4	14.9	8.7	-	-	-	7.2	38	17.4	27.9	-
	25～29歳	令和6年度	167	10.2	54.5	8.4	15.6	1.2	-	-	1.8	12.6	13.2	50.3	10.8
		平成28年度	205	1	46.3	8.3	5.9	-	-	-	0.5	7.8	17.1	37.1	-

			(%)			
			Sの人間関係に関すること	インターネットやSNSの （戦争や事件などの） ニュースに関すること	その他	無回答
全 体	令和6年度		2.5	10.1	5	6.8
	平成28年度		-	9.8	3.5	1.6
性別	男性	令和6年度	2.9	11.5	4.8	8.7
		平成28年度	-	11.3	2.9	0.4
	女性	令和6年度	2.2	9.4	4.9	4.9
		平成28年度	-	8.4	3.8	2.5
	どちらでもない、 答えたくない	令和6年度	-	-	12.5	25
年齢別	18・19歳	令和6年度	2.4	10.8	3.6	4.8
		平成28年度	-	6.3	5.1	-
	20～24歳	令和6年度	2.1	10.3	6	7.3
		平成28年度	-	10.1	1.4	1.1
	25～29歳	令和6年度	3	9.6	4.2	7.2
		平成28年度	-	10.7	5.9	2.9

性別、経年別にみると、男性、女性とも「仕事」、「家族」、「お金」が前回より割合が増加している。男性は他に「恋愛」が増え、「友だち」の割合が減少している。女性は他に「勉強」、「就職」の割合が増加している。

困っていることや悩んでいることを年齢別にみると、「勉強」、「友だち」、「学校」、「進学」、「恋愛」は年代が上がると減少し、「仕事」の割合が増加している。

年齢別、経年別にみると、前回調査で「勉強に関すること」は18・19歳の1位だったが、今回では4位となっている。「就職に関すること」は20～24歳の1位だったが、今回では2位となっている。「仕事に関すること」は25～29歳の1位だったが、今回では2位となっている。

（参考：前回調査と今回調査で選択肢が異なっている。）

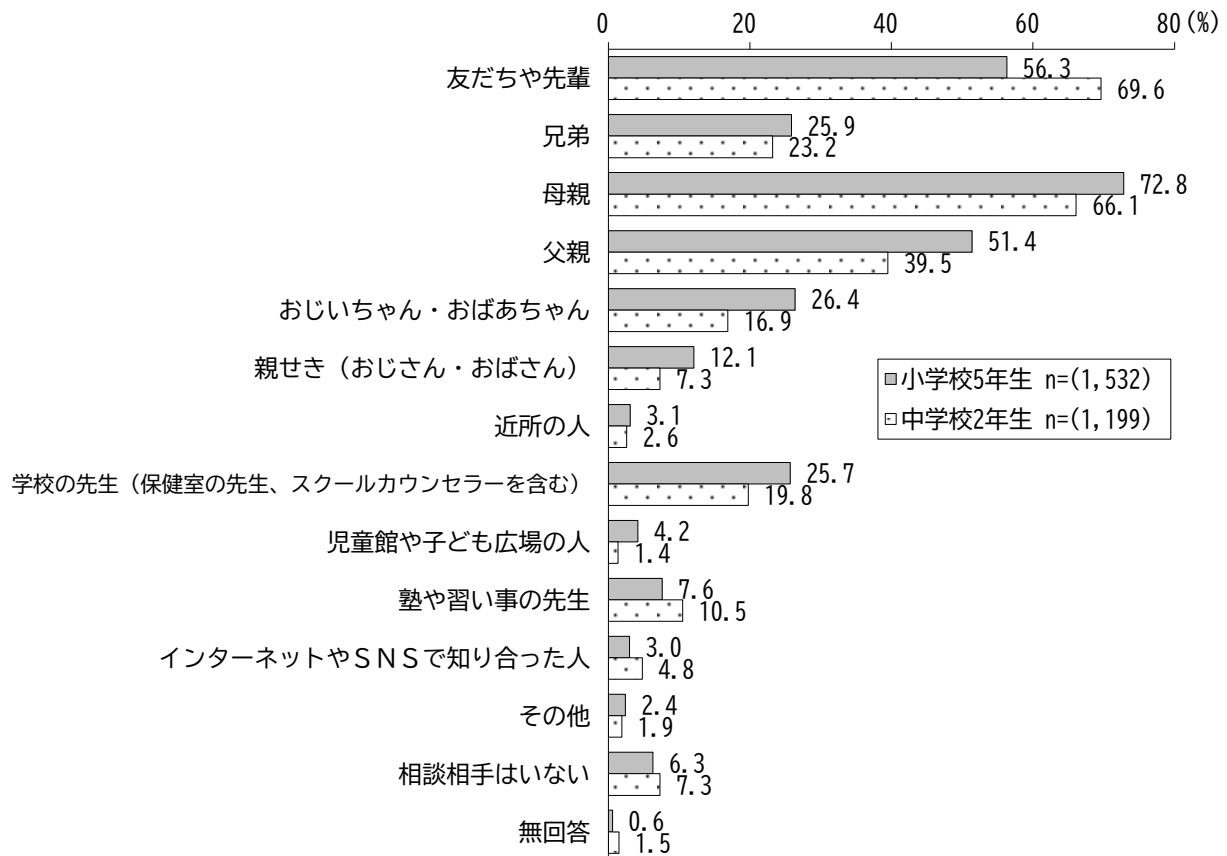
(3) 悩みごとの相談先

問〔小学校5年生・中学校2年生：問20*／高校生年代：問34／学生・一般：問35〕

あなたはふだん、悩みごとを誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

*小学校5年生・中学校2年生調査では、「あなたが困ったりなやんだりしたとき、相談する相手は誰ですか。」

〈 小学校5年生・中学校2年生 〉

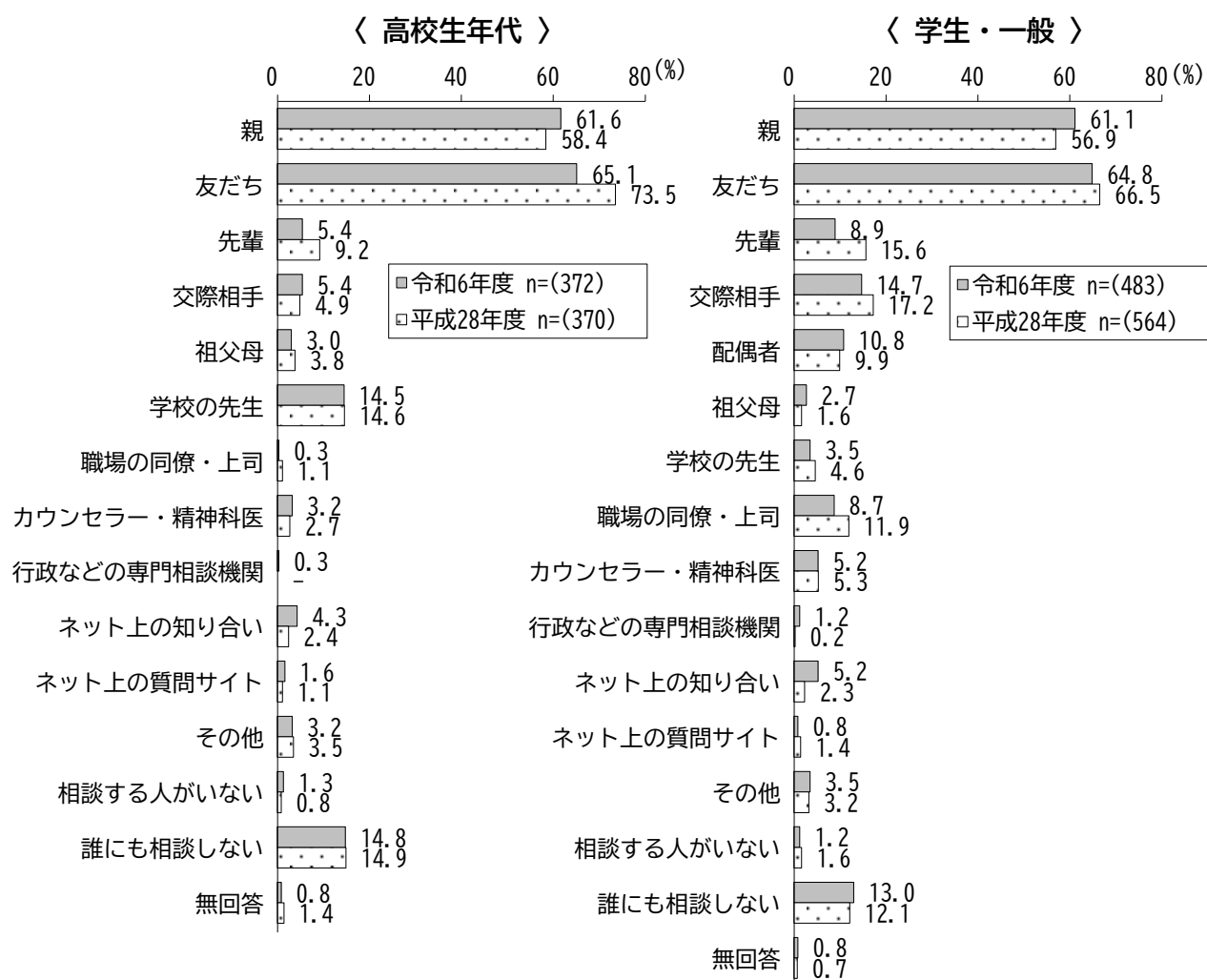


悩みごとの相談先は、小学校5年生で「母親」72.8%、「友だちや先輩」56.3%、「父親」51.4%となっている。

中学校2年生で「友だちや先輩」69.6%、「母親」66.1%、「父親」39.5%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「友だちや先輩」は中学校2年生が小学校5年生より13.3ポイント高くなっている。

第2章 小学校5年生・中学校2年生・
16歳～29歳以下の市民調査



悩みごとの相談先は、高校生年代で「友だち」65.1%、「親」61.6%、「学校の先生」14.5%となっている。

学生・一般で「友だち」64.8%、「親」61.1%、「交際相手」14.7%となっている。

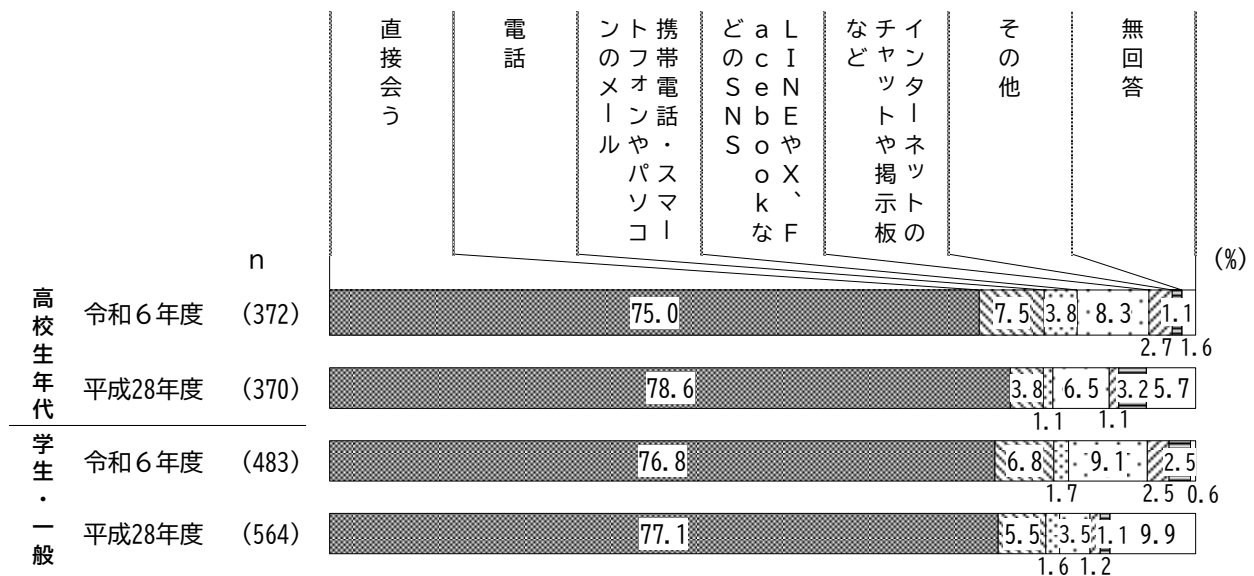
高校生年代と学生・一般を比較すると、「交際相手」は学生・一般で高校生年代より9.3ポイント高くなっている。

全体の傾向としては、前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

(4) 悩みごと相談の最良の方法

問〔高校生年代：問35／学生・一般：問36〕

自分の悩みごとを誰かに相談する方法として、最も良いと思うのは何ですか。(○は1つ)



悩みごと相談の最良の方法は、高校生年代で「直接会う」75.0%、学生・一般で76.8%となっている。

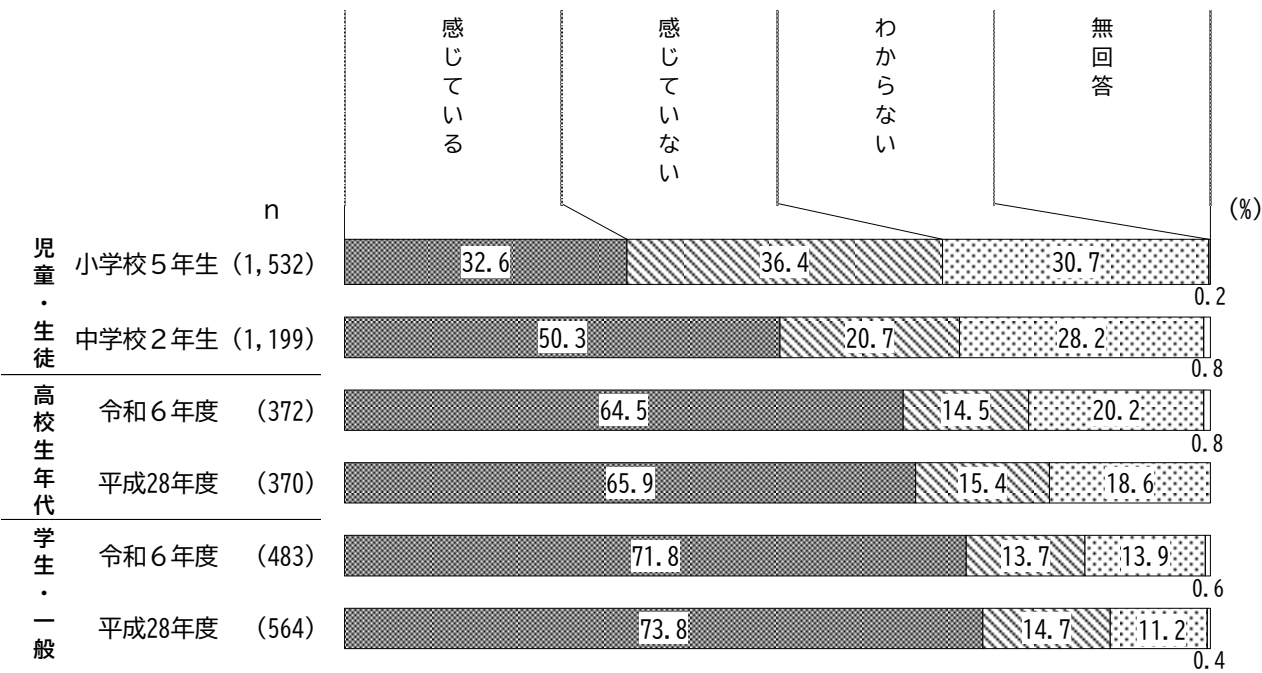
全体の傾向としては、高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

前回調査と比較すると、学生・一般で「LINEやX、FacebookなどのSNS」は今回9.1%で前回3.5%から5.6ポイント増となっている。

13. 将来のことについて

(1) 将来への不安

問〔小学校5年生・中学校2年生：問25／高校生年代：問36／学生・一般：問37〕
あなたは、将来に不安を感じていますか。(○は1つ)



将来への不安は、「感じている」が小学校5年生で32.6%、中学校2年生で50.3%、高校生年代で64.5%、学生・一般で71.8%となっている。

将来の不安を感じている割合は年代が上がるごとに増える一方、「感じていない」、「わからない」の割合は減少している。

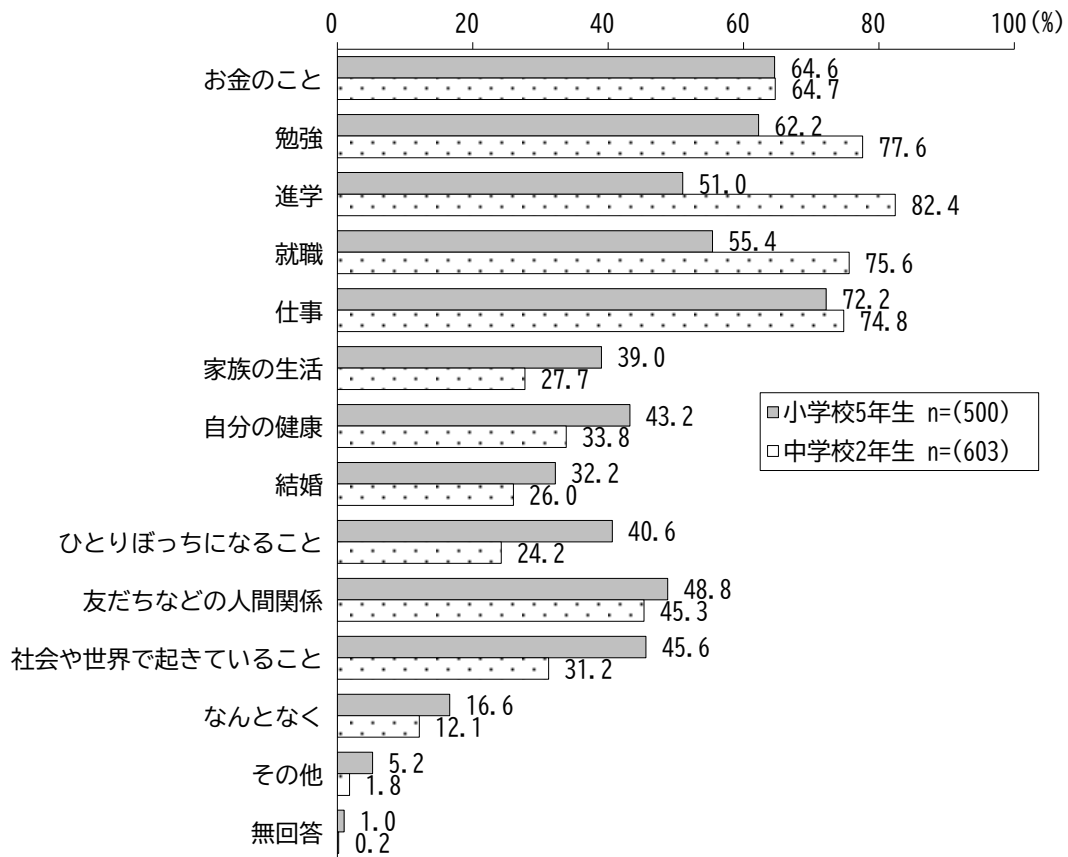
前回調査と比較すると、おおむね差はみられない。

(2) 不安の内容

【小学校5年生・中学校2年生：問25／高校生年代：問36／学生・一般：問37で「感じている」とお答えの方にうかがいます】

問〔小学校5年生・中学校2年生：問25－1／高校生年代：問36－1／学生・一般：問37－1〕
将来への不安は何ですか。(○はいくつでも)

〈 小学校5年生・中学校2年生 〉

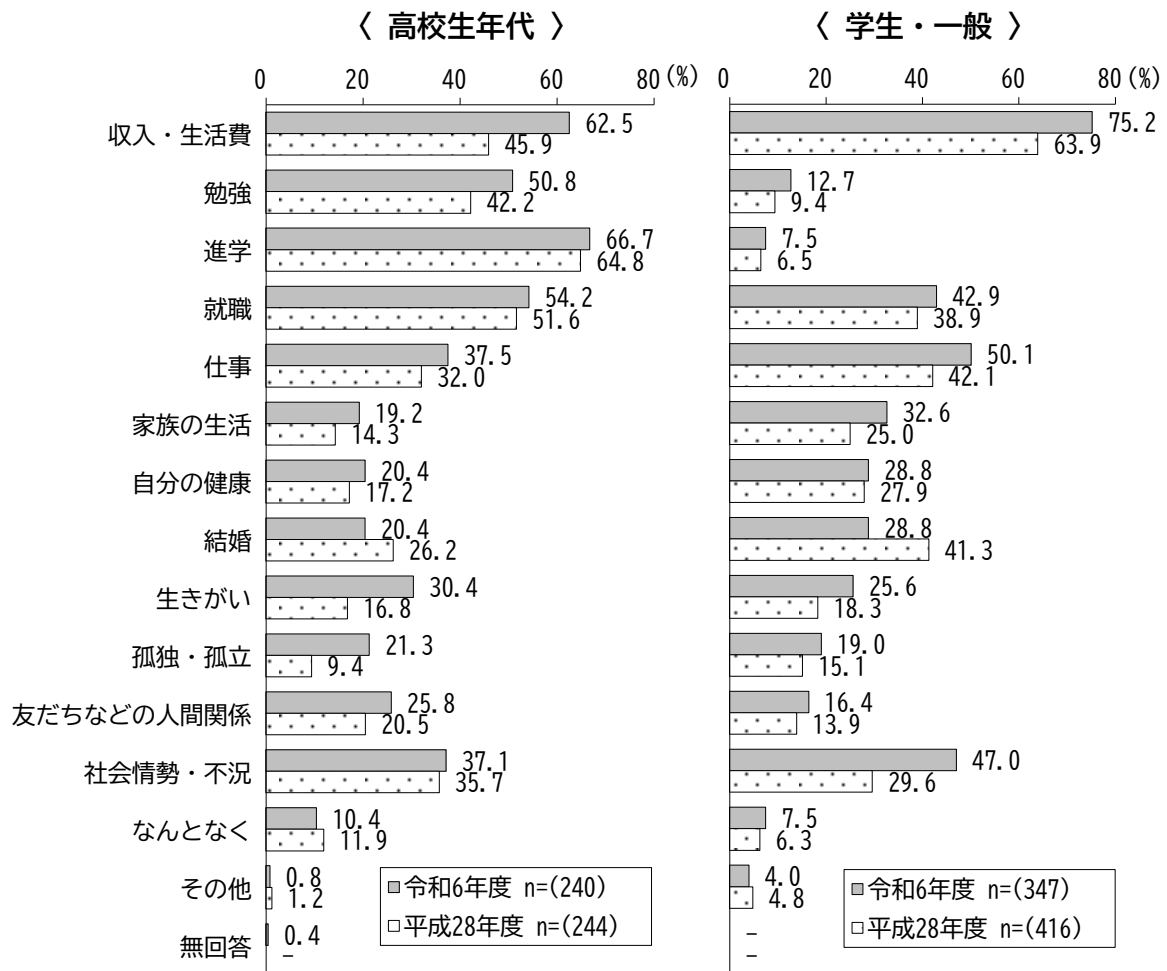


不安の内容は、小学校5年生で「仕事」72.2%、「お金のこと」64.6%、「勉強」62.2%となっている。

中学校2年生で「進学」82.4%、「勉強」77.6%、「就職」75.6%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「進学」、「就職」、「勉強」の順に、中学校2年生が小学校5年生より割合が高くなっている。一方、「ひとりぼっちになること」、「社会や世界で起きていること」の順に、小学校5年生が中学校2年生より割合が高くなっている。

第2章 小学校5年生・中学校2年生・
16歳～29歳以下の市民調査



不安の内容は、高校生年代で「進学」66.7%、「収入・生活費」62.5%、「就職」54.2%となっている。

学生・一般で「収入・生活費」75.2%、「仕事」50.1%、「社会情勢・不況」47.0%となっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「収入・生活費」は今回62.5%で前回45.9%から16.6ポイント増、学生・一般で「社会情勢・不況」は今回47.0%で前回29.6%から17.4ポイント増となっている。

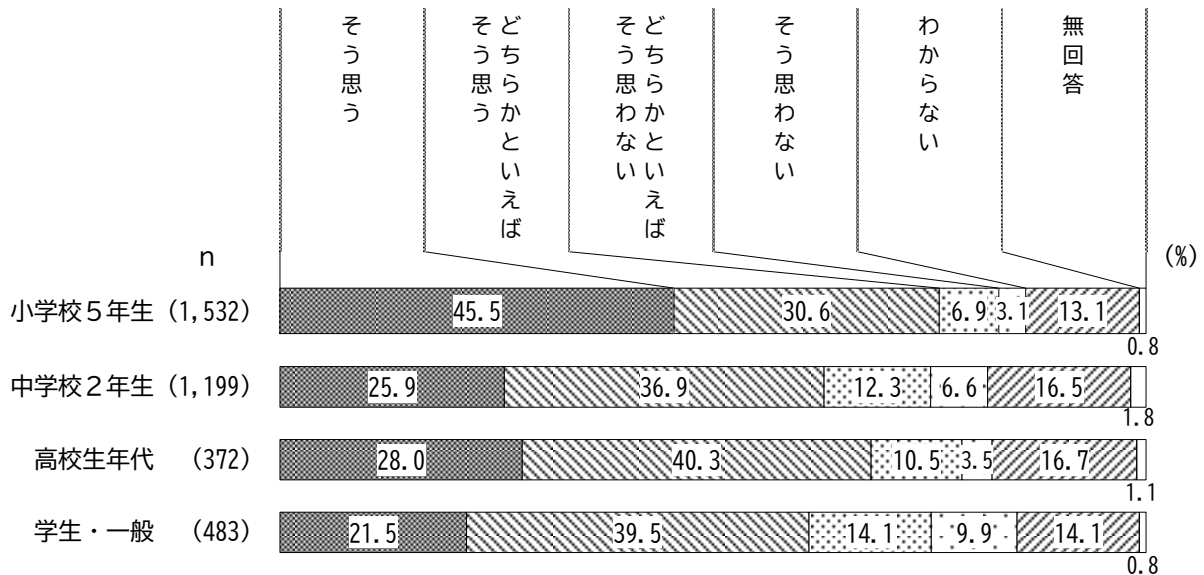
高校生年代では依然として「進学」に対する不安が高い傾向にあるが。前回に比べ、全般的に多くの項目で不安を感じるポイントが増加傾向にある。

また、高校生、学生・一般ともに前回調査と比較して「結婚」に対する不安の割合が減少している。

(3) 20年後の自身の未来像

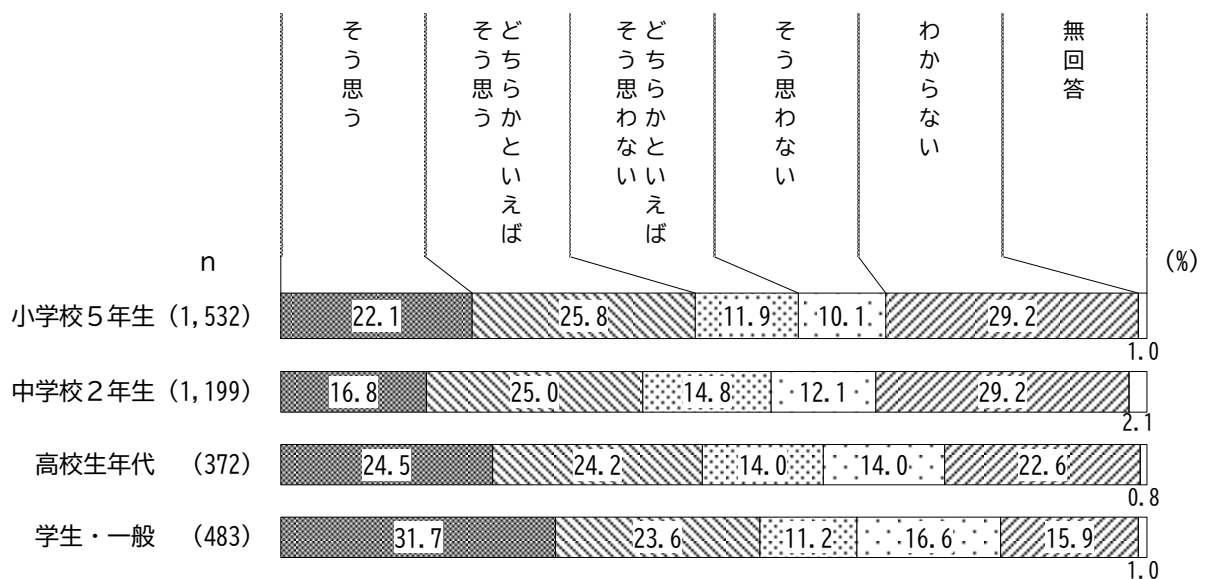
問〔小学校5年生・中学校2年生：問24／高校生年代：問37／学生・一般：問38〕
あなたは、20年後どのようなになっていると思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

好きな仕事をしている



好きな仕事をしているは、各年代の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて、小学校5年生で76.1%、中学校2年生で62.8%、高校生年代で68.3%、学生・一般で61.0%となっており、若い年代でより高い傾向にある。

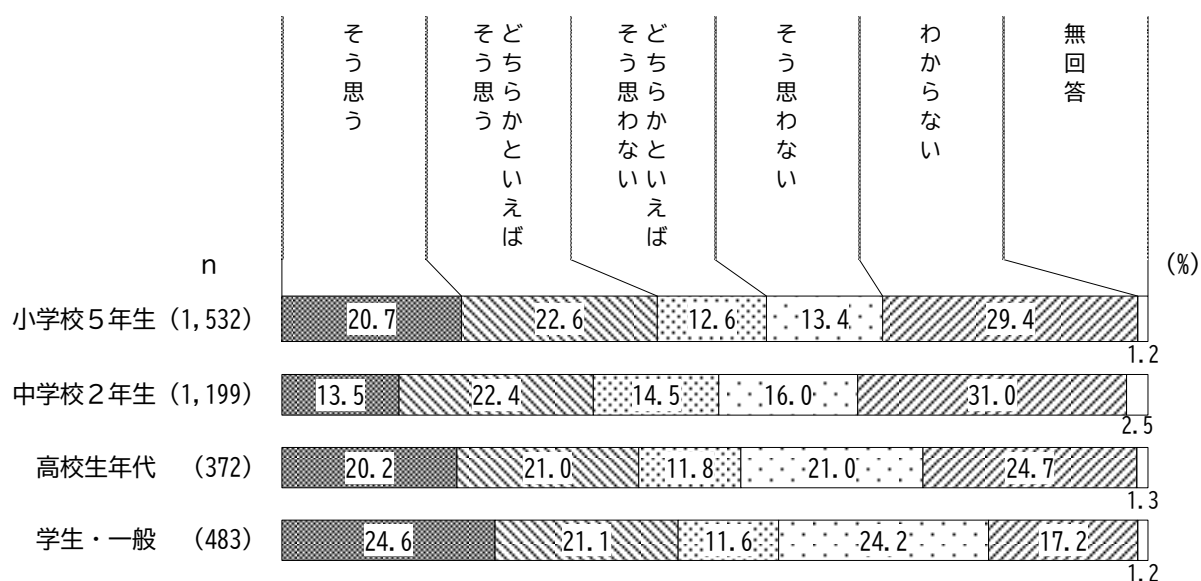
結婚している／パートナーと暮らしている



結婚している／パートナーと暮らしているは、各年代で比較すると、「そう思う」の割合が中学校2年生から学生・一般になるにつれて割合が増加している。また、年代が上がるごとに「わからない」の割合が減少している。

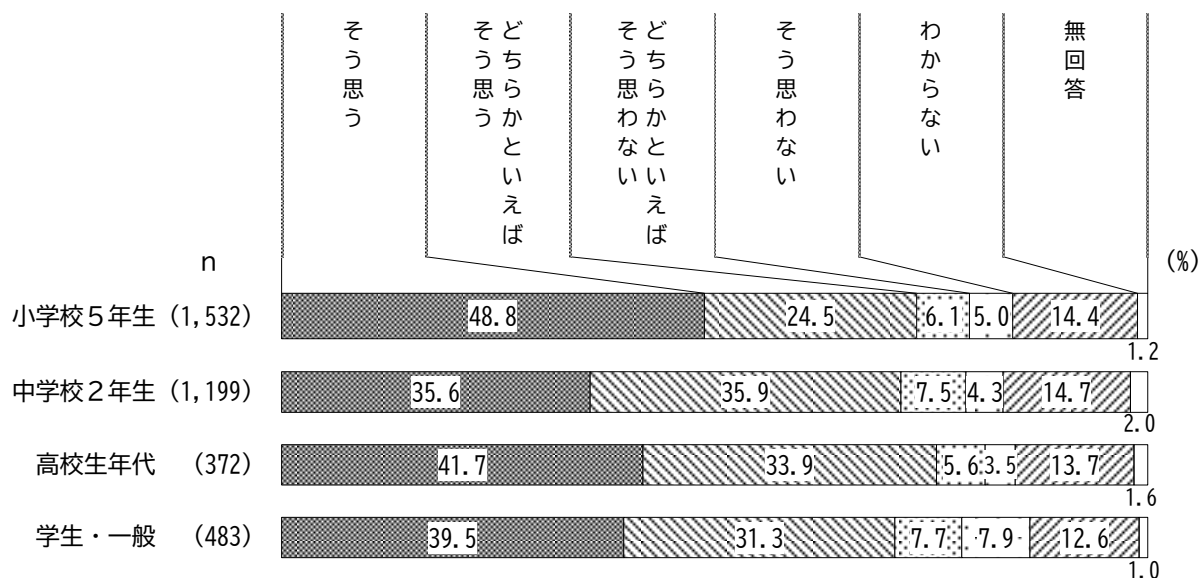
第2章 小学校5年生・中学校2年生・
16歳～29歳以下の市民調査

こどもを育てている



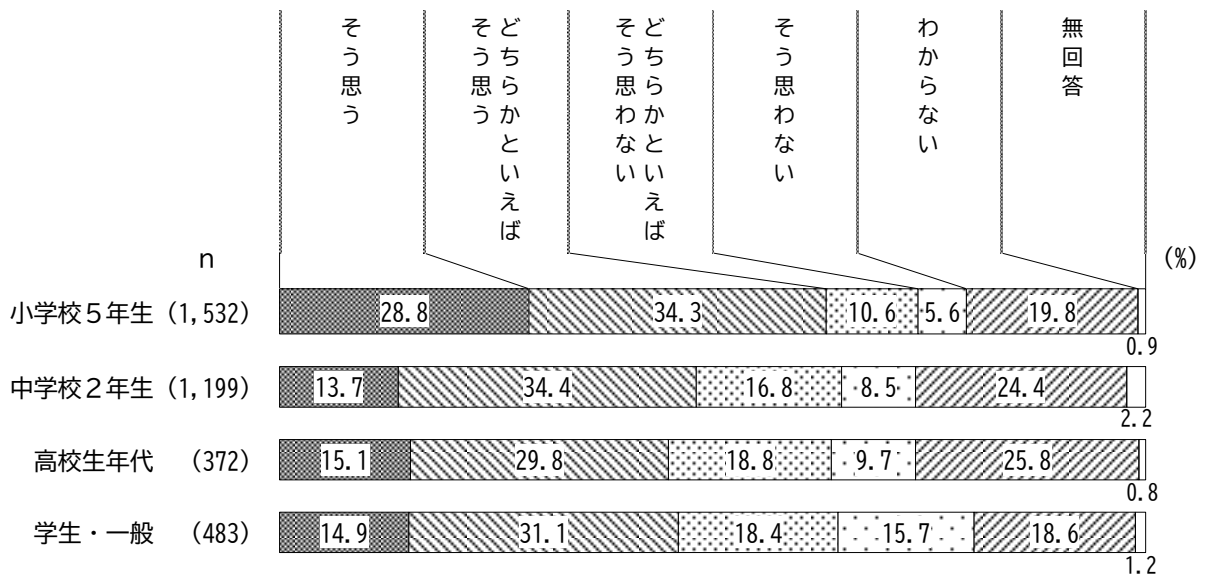
こどもを育てているは、各年代で比較すると、年代が上がるごとに「わからない」の割合がおおむね減少し、「そう思わない」の割合が増加している。

好きな国・地域で暮らしている



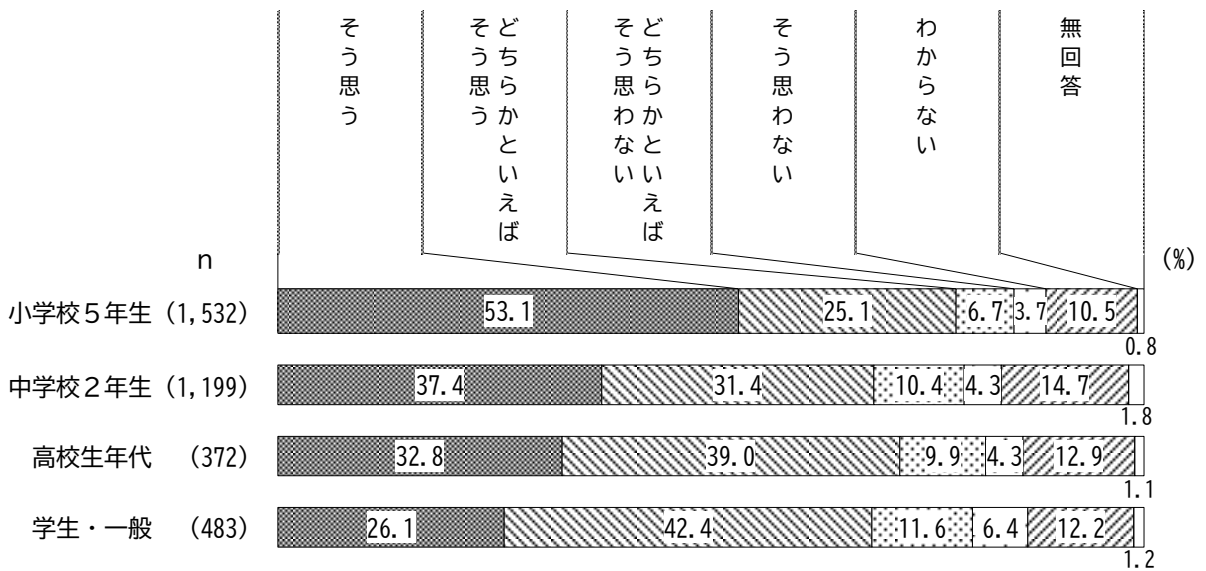
好きな国・地域で暮らしているは、各年代で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせても、大きな差はみられない。

お金に困らず豊かな暮らしをしている



お金に困らず豊かな暮らしをしているは、各年代を比較すると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は小学校5年生が最も高くなっている。

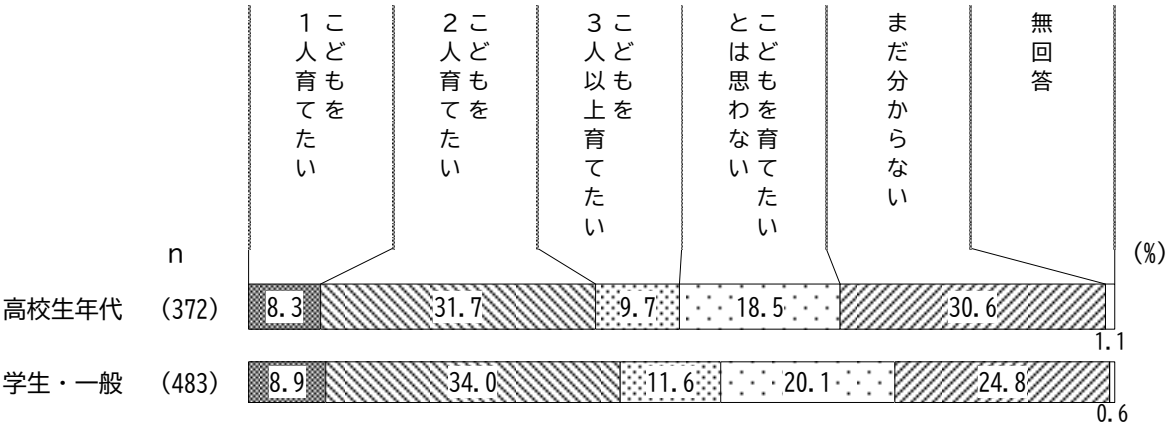
自分の好きなことや、自由な時間を楽しんでいる



好きな事や、自由時間を楽しんでいるは、各年代を比較すると、年代が上がるにつれて「そう思う」の割合は減少し、「そう思わない」の割合は増加している。

(4) 将来の子育て希望

問〔高校生年代：問38／学生・一般：問39〕
あなたは将来、こどもを育てたいと考えていますか。(○は1つ)



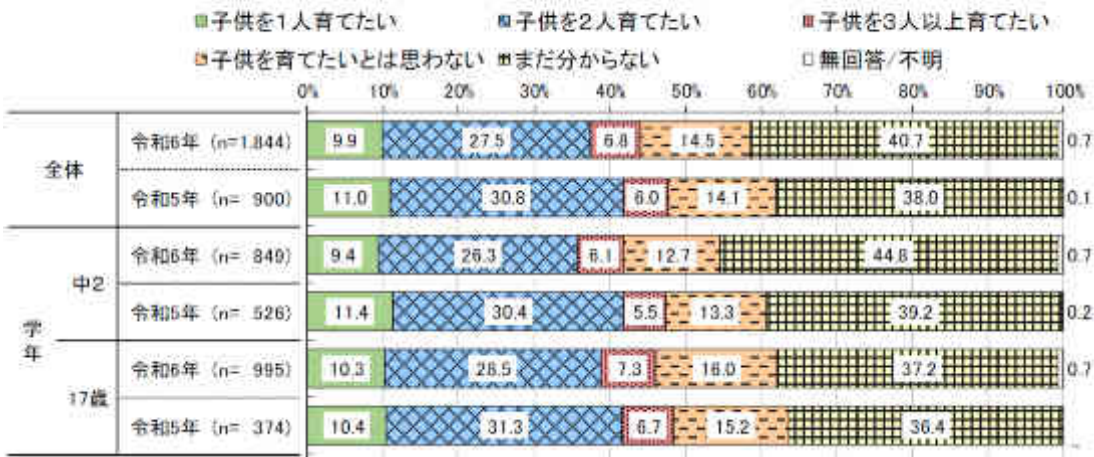
高校生年代で「こどもを1人育てたい」8.3%、「こどもを2人育てたい」31.7%、「こどもを3人以上育てたい」9.7%、「こどもを育てたいとは思わない」18.5%、「まだ分からない」30.6%となっている。

学生・一般で「こどもを1人育てたい」8.9%、「こどもを2人育てたい」34.0%、「こどもを3人以上育てたい」11.6%、「こどもを育てたいとは思わない」20.1%、「まだ分からない」24.8%となっている。

高校生と学生・一般を比較すると、学生・一般が高校生年代より「まだ分からない」の割合が低く、「こどもを育てたい」の各項目と、「こどもを育てたいとは思わない」の各項目の割合が高くなっている。

とうきょうこどもアンケートの17歳の結果と高校生の結果を比較すると、「こどもを育てたい」の割合の中でも2人以上育てたい割合と「こどもを育てたいとは思わない」の割合が高く、「まだわからない」と回答した割合は低くなっている。

図表 1-35 将来、子供を育てたいか＜単一回答＞

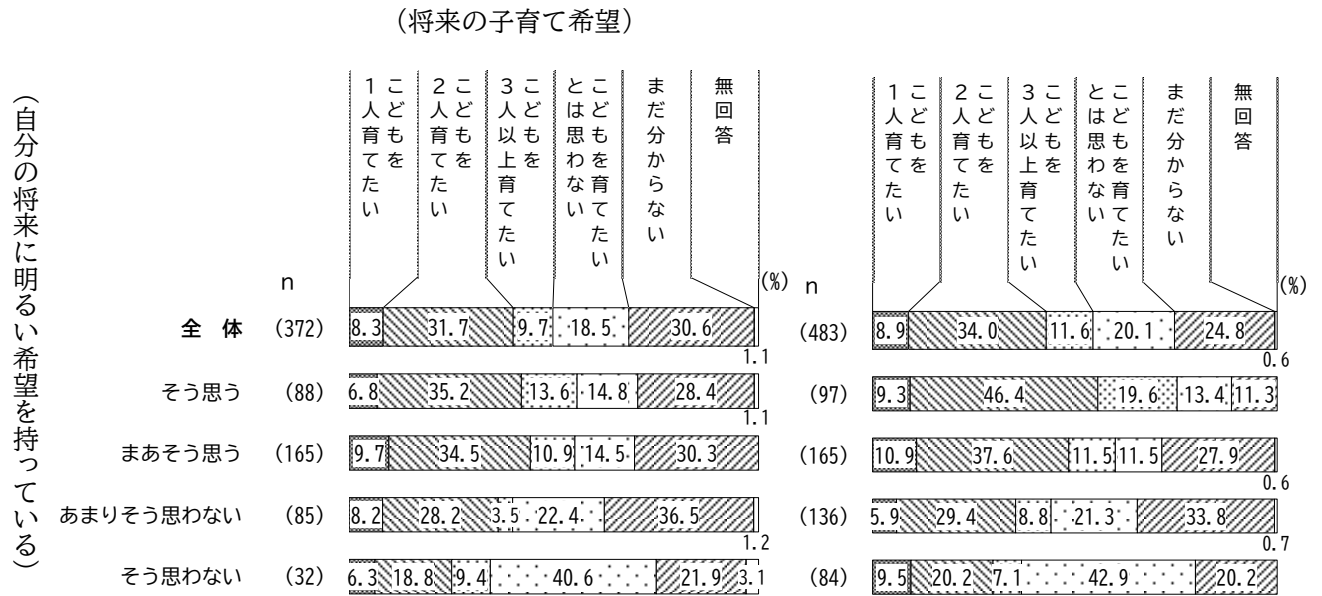


資料:「とうきょうこどもアンケート」報告書(令和6年調査)P60より

【将来の子育て希望×自分の将来に明るい希望を持っている】

高校生年代

学生・一般

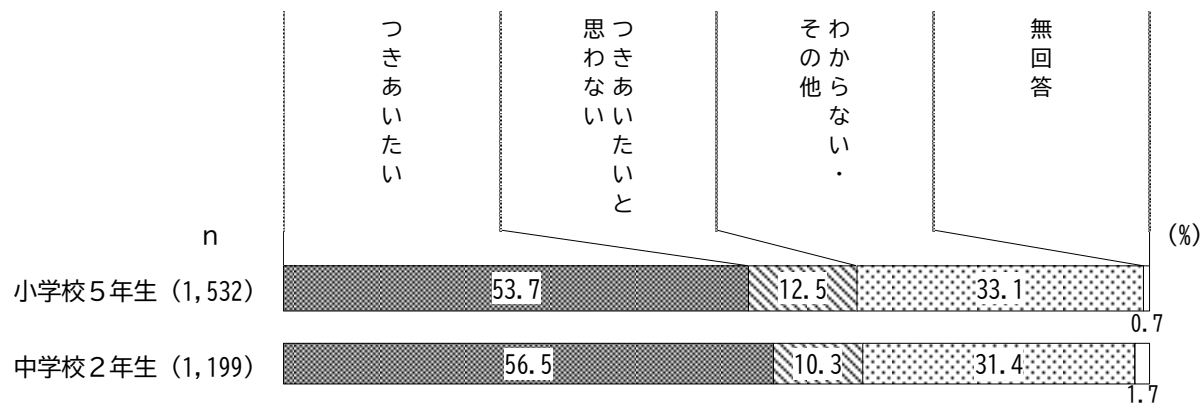


将来の子育て希望を自分の将来への希望別にみると、高校生年代、学生・一般ともに自分の将来に明るい希望を持っている人ほど、子どもを育てたい希望の割合が高くなっている。

(5) 恋愛・結婚・育児観

問〔小学校5年生・中学校2年生：問26〕
次の質問であなたにあてはまるものはどれですか。(○はそれぞれ1つずつ)

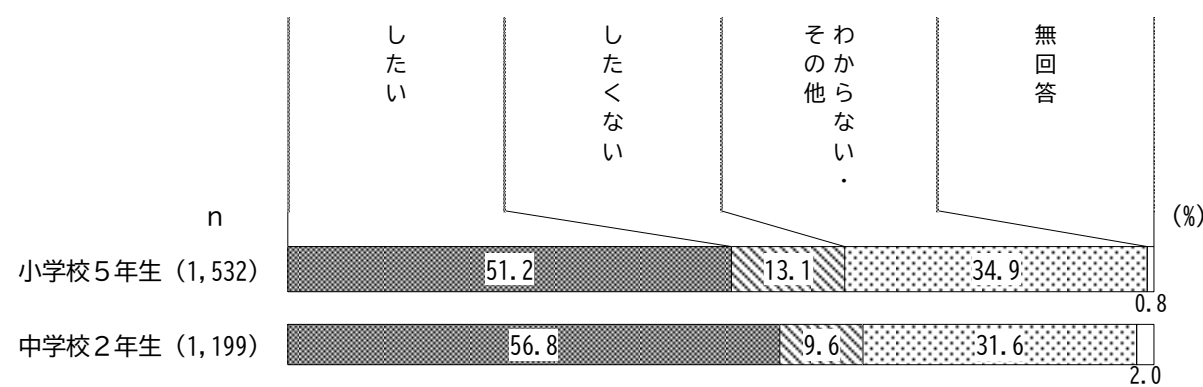
好きな人ができたら



好きな人ができたらは、小学校5年生で「つきあいたい」53.7%、中学校2年生で56.5%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較しても、大きな差はみられない。

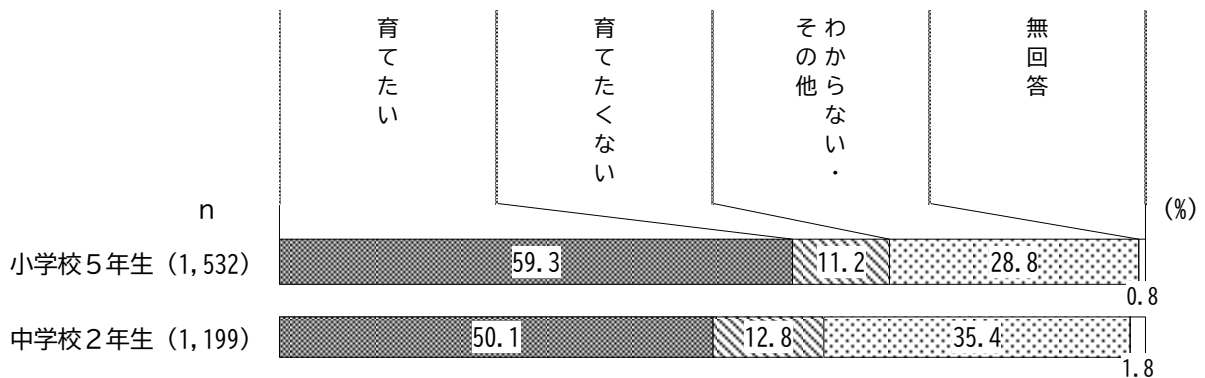
大人になったら結婚は



大人になったら結婚は、小学校5年生で「したい」51.2%、中学校2年生で56.8%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「したい」は中学校2年生が小学校5年生より5.6ポイント高くなっている。

大人になったらこどもを



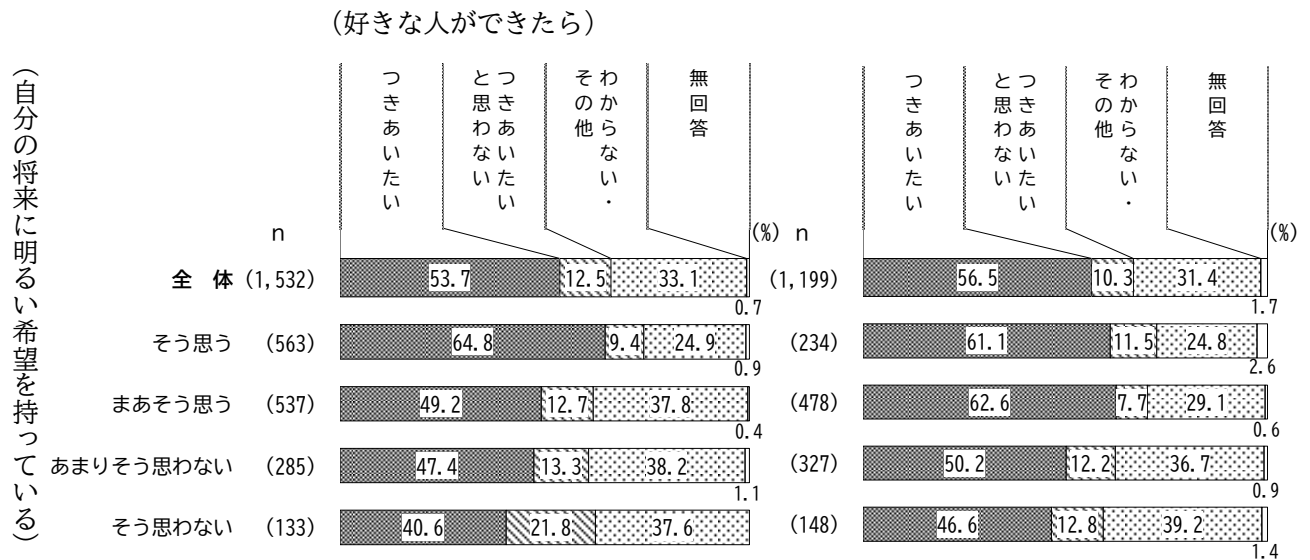
大人になったらこどもを育てたいかは、小学校5年生で「育てたい」59.3%、中学校2年生で50.1%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「育てたい」は小学校5年生が中学校2年生より9.2ポイント高くなっている。

【好きな人ができたら×自分の将来に明るい希望を持っている】

小学校5年生

中学校2年生



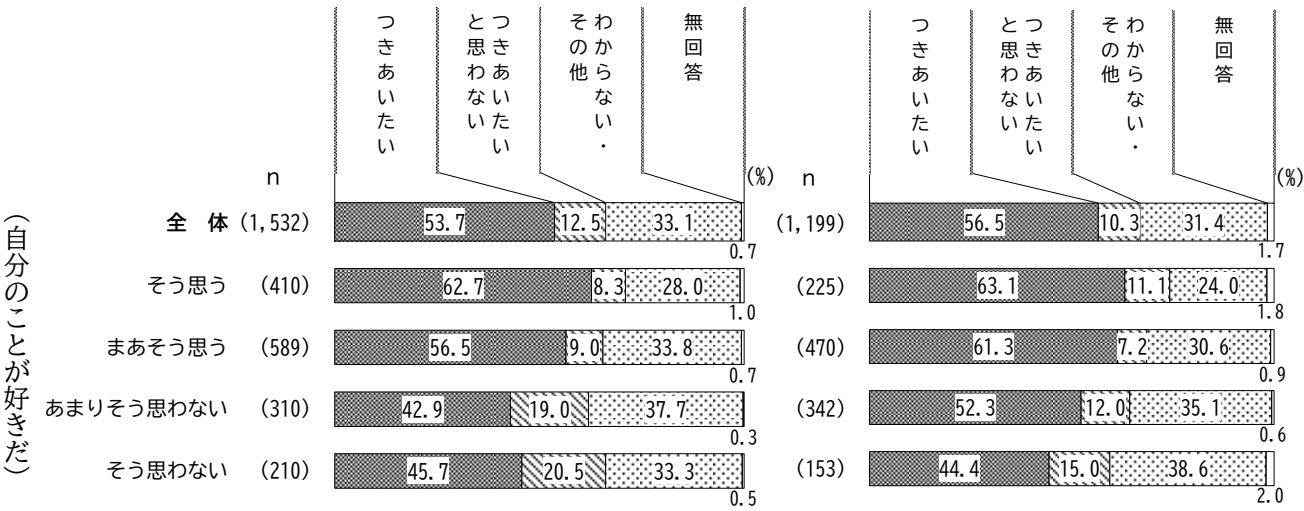
好きな人ができたら付き合いたいかを自分の将来への希望別にみると、小学校5年生、中学校2年生ともに自分の将来に明るい希望を持っている人ほど、「つきあいたい」と思う割合がおおむね高くなっている。

【好きな人ができたら×自分のことが好きだ】

小学校5年生

中学校2年生

(好きな人ができたら)



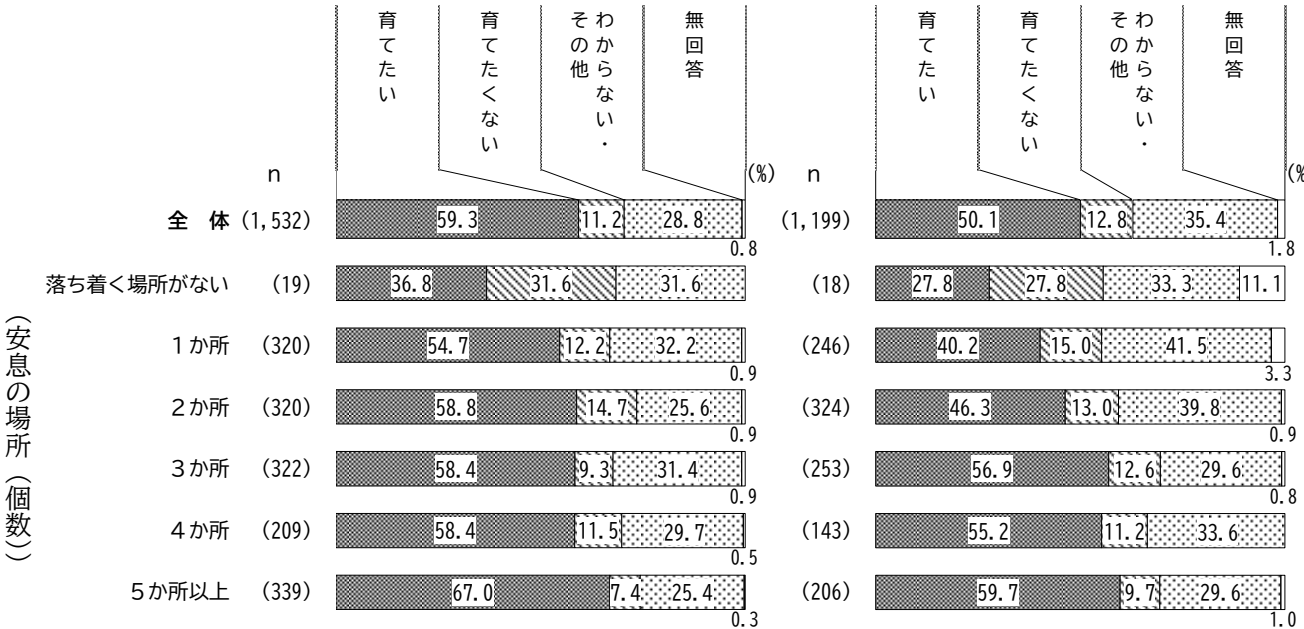
好きな人ができたらつきあいたいかを自尊感情別にみると、小学校5年生、中学校2年生ともに、自分のことが好きだと思う人ほど、「つきあいたい」と思う割合がおおむね高くなっている。

【大人になったら子どもを×安息の場所 (個数)】

小学校5年生

中学校2年生

(大人になったら子どもを)



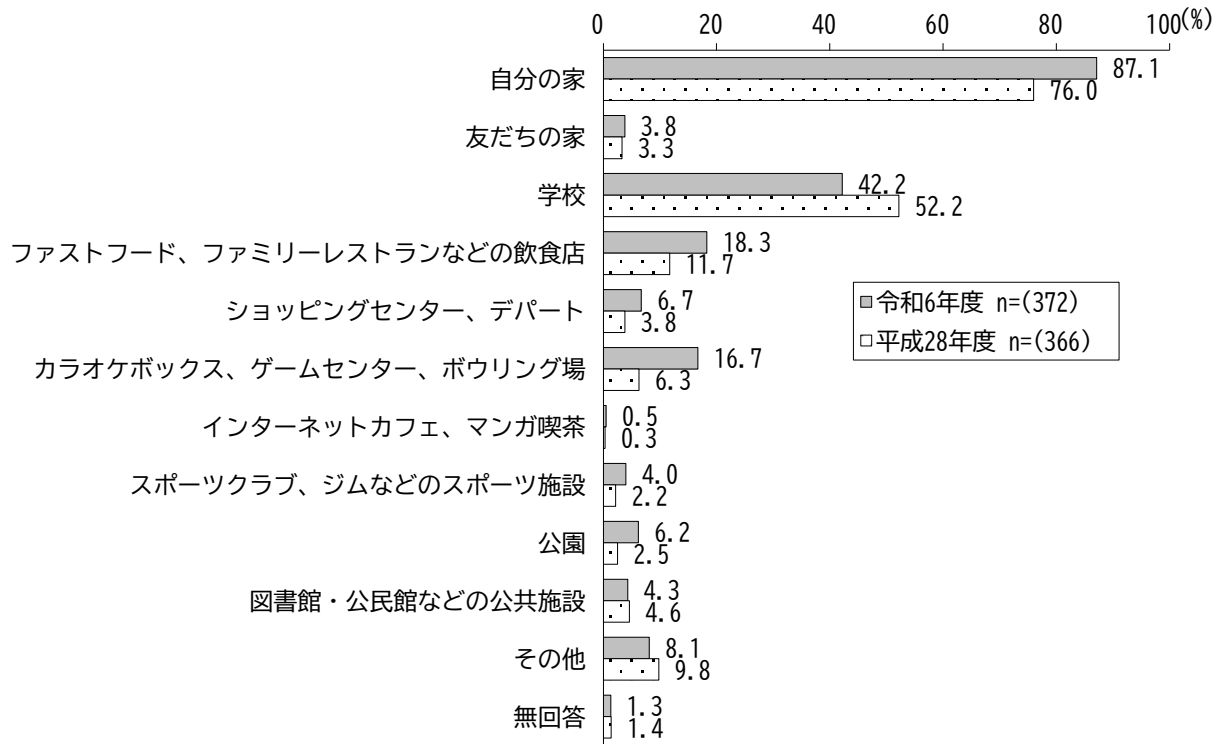
大人になったら子どもを育てたいかを安息の場所の個数別にみると、小学校5年生、中学校2年生ともに安息の場所を多く持つ人ほど、子どもを「育てたい」と思う割合がおおむね高くなっている。

14. 市の取組について

(1) 放課後を過ごす場所

問〔高校生年代：問20〕

あなたは、放課後どこで過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)



放課後を過ごす場所は、高校生年代で「自分の家」87.1%、「学校」42.2%、「ファストフード、ファミリーレストランなどの飲食店」18.3%となっている。

前回調査と比較すると、「自分の家」は今回87.1%で前回76.0%から11.1ポイント増となっている。

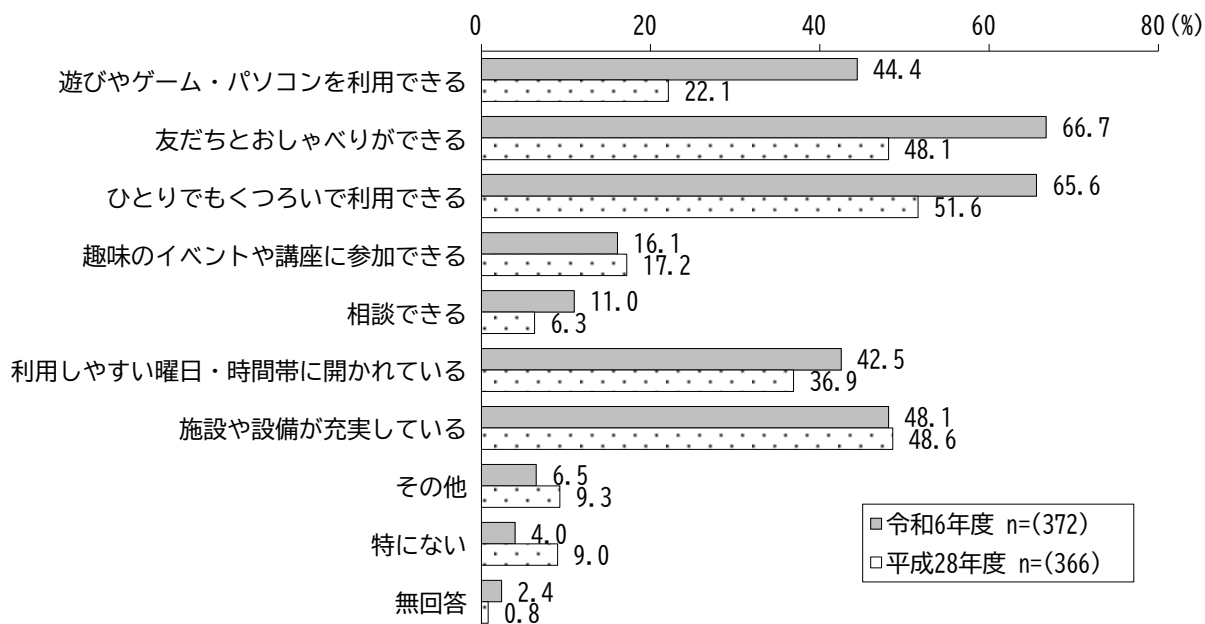
一方、「学校」は今回42.2%で前回52.2%から10.0ポイント減となっている。

(2) 放課後の居場所に望むこと

【学生の方にうかがいます】

問〔高校生年代：問39〕

放課後に過ごす場所や施設に望むことは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)



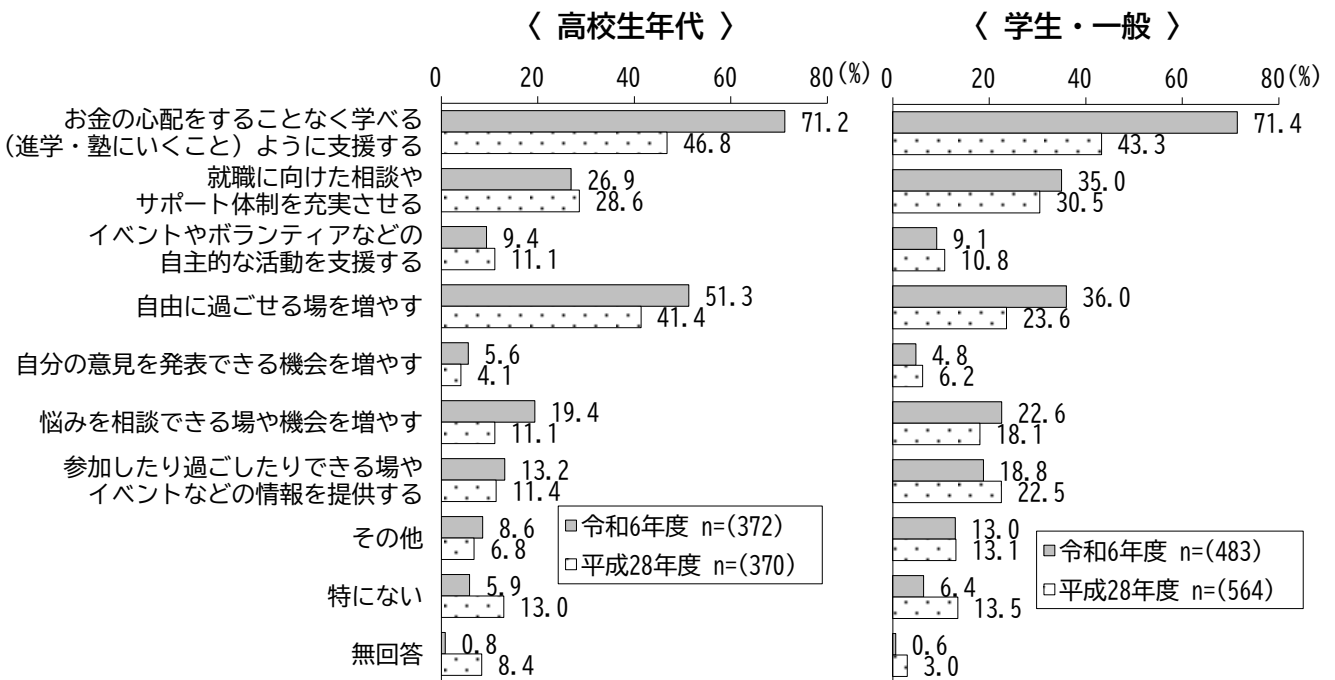
放課後の居場所に望むことは、「友達とおしゃべりができる」66.7%、「ひとりでもくつろいで利用できる」65.6%、「施設や設備が充実している」48.1%となっている。

前回調査と比較すると、「遊びやゲーム・パソコンを利用できる」は今回44.4%で前回22.1%から22.3ポイント増となっている。

(3) 若者のために必要な市の取組

問〔高校生年代、学生・一般：問40〕

あなたは、これから若者（29歳ぐらいまでの人）のために、小平市に必要な取組は何だと思いませんか。（〇は3つまで）



若者のために必要な市の取組は、高校生年代で「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行くこと）ように支援する」71.2%、「自由に過ごせる場を増やす」51.3%、「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」26.9%となっている。

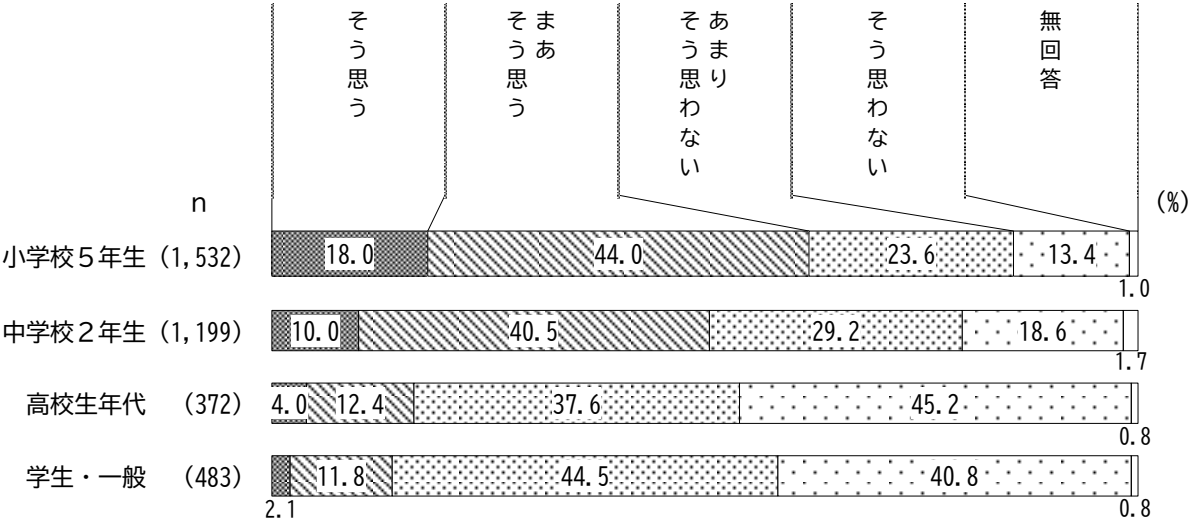
学生・一般で「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行くこと）ように支援する」71.4%、「自由に過ごせる場を増やす」36.0%、「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」35.0%となっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「自由に過ごせる場を増やす」は高校生年代が学生・一般より15.3ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、高校生年代で「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行くこと）ように支援する」は今回71.2%で前回46.8%から24.4ポイント増、学生・一般は今回71.4%で前回43.3%から28.1ポイント増となっている。

(4) 自分の考えを市の制度や取組に伝えること

問〔小学校5年生・中学校2年生：問22／高校生年代、学生・一般：問41〕
あなたは、市の制度や取組に自分の考えを伝えられていると思いますか。(○は1つ)



自分の考えを市の制度や取組に伝えることは、小学校5年生で「まあそう思う」44.0%、中学校2年生で40.5%となっている。高校生年代では、「そう思わない」45.2%、学生・一般では、「あまりそう思わない」44.5%となっている。

小学校5年生で、「そう思う」18.0%と「まあそう思う」44.0%を合わせると62.0%、中学校2年生で「そう思う」10.0%と「まあそう思う」40.5%を合わせると50.5%となっている。

高校生年代で、「そう思う」4.0%と「まあそう思う」12.4%を合わせると16.4%、学生・一般で「そう思う」2.1%と「まあそう思う」11.8%を合わせると13.9%となっている。

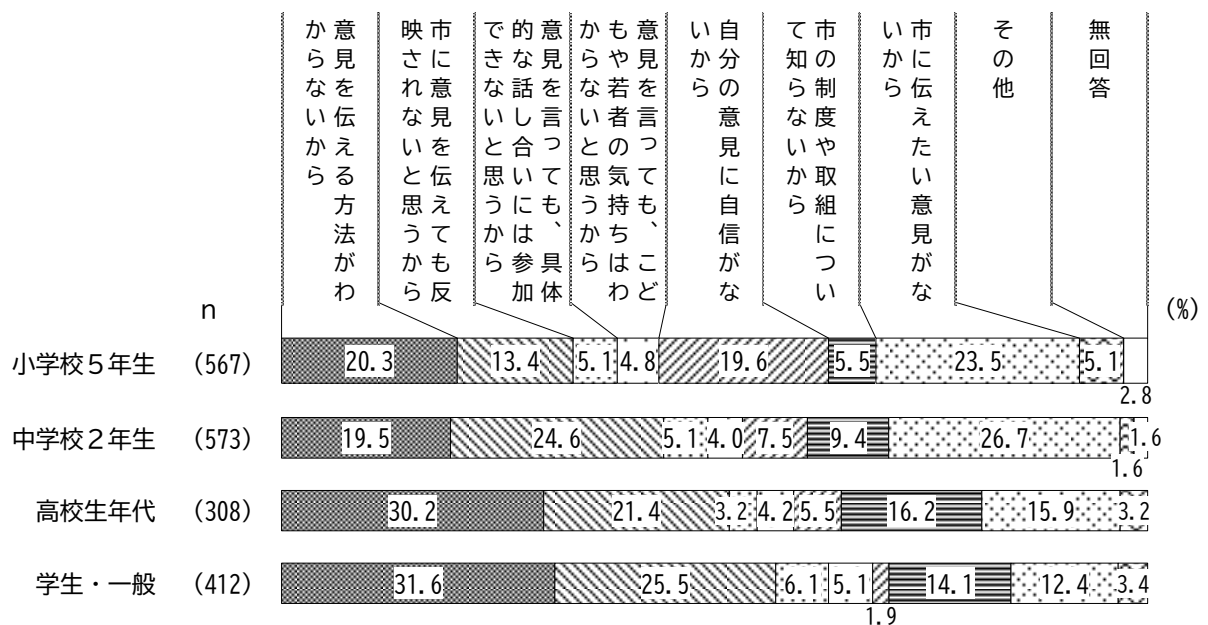
小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせて小学校5年生62.0%が中学校2年生50.5%より11.5ポイント高くなっている。

高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

(5) 伝えられていないと思う理由

【小学校5年生・中学校2年生：問22／高校生年代、学生・一般：問41で「あまりそう思わない」または「そう思わない」とお答えの方にうかがいます】

問〔小学校5年生・中学校2年生：問22－1／高校生年代、学生・一般：問41－1〕
そう思わない理由を教えてください。(○は1つ)



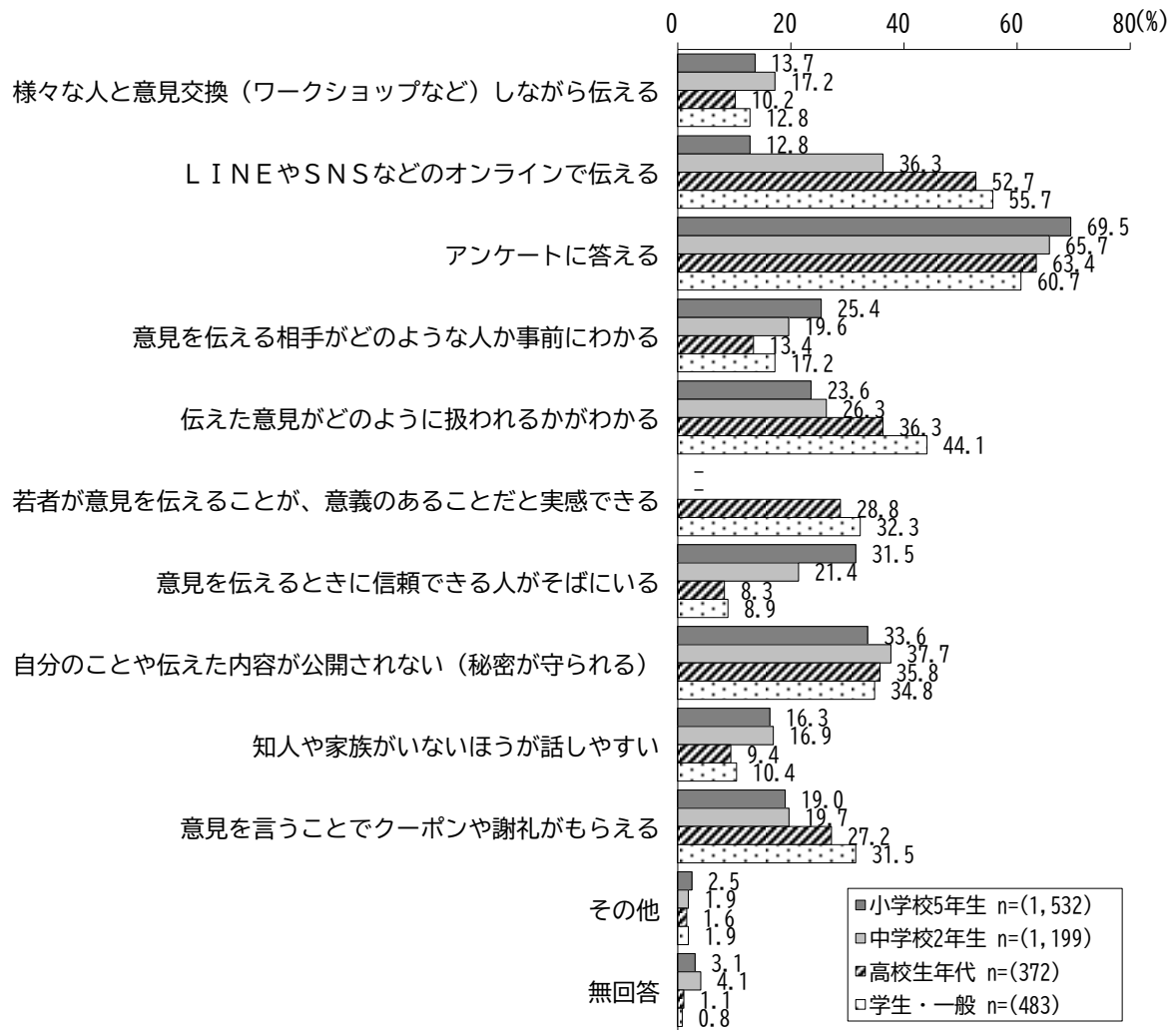
伝えられていないと思う理由は、小学校5年生で「市に伝えたい意見がないから」23.5%、中学校2年生で26.7%となっている。高校生年代では、「意見を伝える方法がわからないから」30.2%、学生・一般では31.6%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「自分の意見に自信がないから」は小学校5年生が中学校2年生より12.1ポイント高くなっている。

高校生年代と学生・一般を比較しても、大きな差はみられない。

(6) 意見を伝えやすい方法や手段

問〔小学校5年生・中学校2年生：問23／高校生年代、学生・一般：問42〕
どのような方法や手段なら意見を伝えやすいですか。(〇はいくつでも)



意見を伝えやすい方法や手段は、小学校5年生で「アンケートに答える」69.5%、「自分のことや伝えた内容が公開されない(秘密が守られる)」33.6%、「意見を伝えるときに信頼できる人がそばにいる」31.5%となっている。

中学校2年生で「アンケートに答える」65.7%、「自分のことや伝えた内容が公開されない(秘密が守られる)」37.7%、「LINEやSNSなどのオンラインで伝える」36.3%となっている。

高校生年代で「アンケートに答える」63.4%、「LINEやSNSなどのオンラインで伝える」52.7%、「伝えた意見がどのように扱われるかがわかる」36.3%となっている。

学生・一般で「アンケートに答える」60.7%、「LINEやSNSなどのオンラインで伝える」55.7%、「伝えた意見がどのように扱われるかがわかる」44.1%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「LINEやSNSなどのオンラインで伝える」は中学校2年生が小学校5年生より23.5ポイント高くなっている。

高校生年代と学生・一般を比較すると、「伝えた意見がどのように扱われるかがわかる」は学生・一般が高校生年代より7.8ポイント高くなっている。

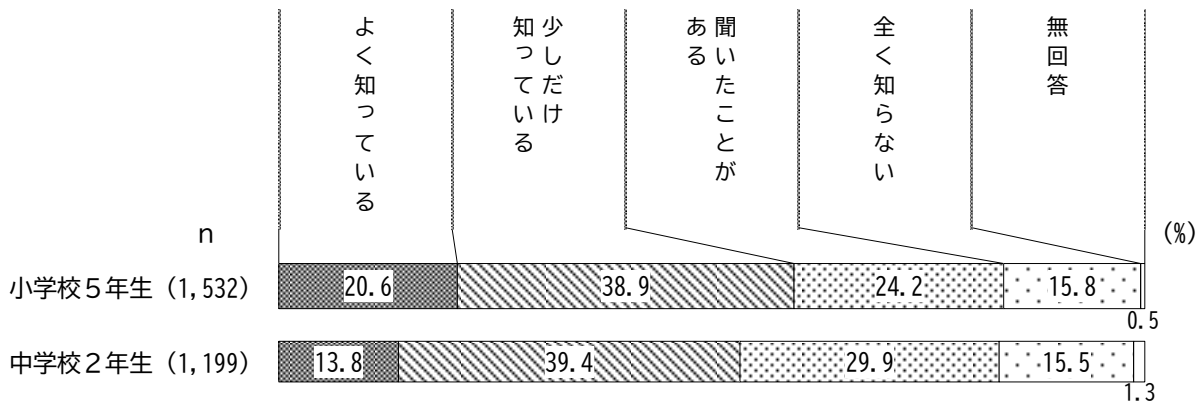
各年代とも「アンケートに答える」が最も高くなっている一方、「LINEやSNSなどのオンラインで伝える」については、年代が上がるごとに割合が増加している。

(7) こどもの権利の認知度

問〔小学校5年生・中学校2年生：問21〕

すべてのこどもは同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。こどもだけが持つ権利もあります。あなたはこどもの権利について知っていますか。(○は1つ)
ここでいうこどもの権利とは、次のようなことです。

- ◆差別の禁止 : こどもは自分や親の人種、国籍、性別、政治の意見、障がい、宗教、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけません。
- ◆こどもの最善の利益 : こども自身のことは、その子にとって一番良いことを考えなければいけません。
- ◆命を守られ成長できる権利 : 命を守られ、もって生まれた能力を伸ばして成長できる権利。
- ◆こどもの意見の尊重 : 自分のことについて自由に意見を言い、大人に尊重してもらう権利。



こどもの権利の認知度は、小学校5年生で「少しだけ知っている」38.9%、中学校2年生で39.4%となっている。

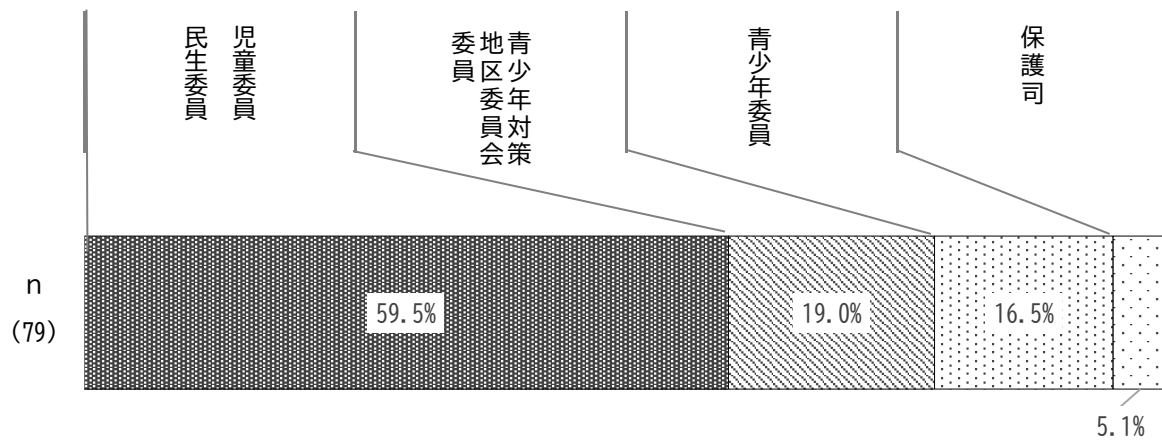
小学校5年生で、「よく知っている」20.6%と「少しだけ知っている」38.9%を合わせると59.5%、中学校2年生で「よく知っている」13.8%と「少しだけ知っている」39.4%を合わせると53.2%となっている。

小学校5年生と中学校2年生を比較すると、「よく知っている」は小学校5年生が中学校2年生より6.8ポイント高くなっている。

第3章 関係団体（関係者）調査

1. 基本属性

問1 あなたの所属をお答えください。（○は1つ）



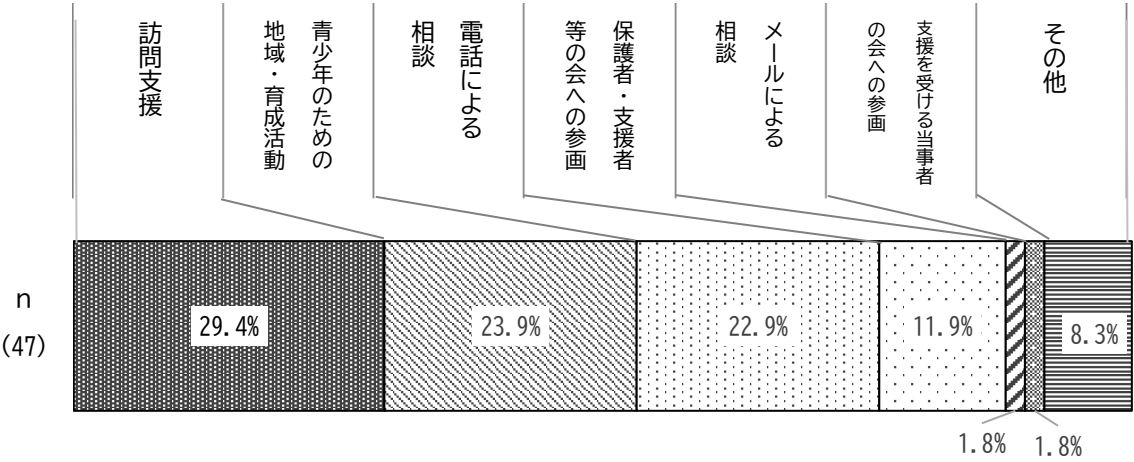
全部で79名から回答があり、回答率は45.9%であった。

集計は、民生委員児童委員・主任児童委員（以下、「民生委員」という。）と、青少年委員・青少年対策地区委員会委員・保護司（以下、「青少年委員等」という。）の2つに分けて行った。

2. 活動・支援方法

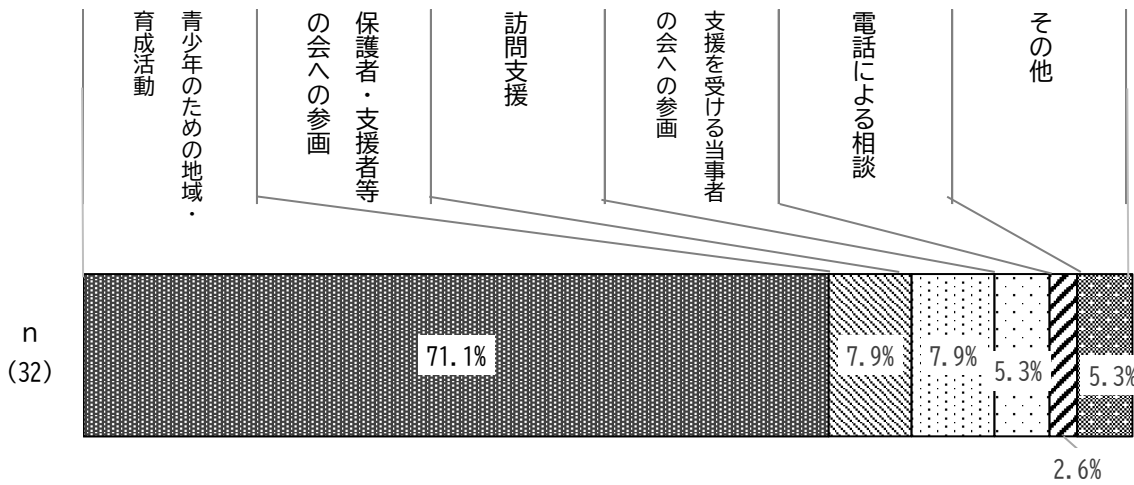
問2 実施・提供している活動・支援方法についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

【民生委員】



「訪問支援」が29.4%で最も多く、次に多いのが「青少年のための地域・育成活動」が23.9%、その次が「電話による相談」で22.9%となっている。

【青少年委員等】



「青少年のための地域・育成活動」が71.1%で最も多く、次に多いのが「保護者・支援者等の会への参画」、「訪問支援」で各7.9%となっている。

その他の意見の内容は、次のとおり多岐にわたっている。

【学校関係】

学校訪問、運動会参加、学校訪問による情報提供等、小中学校との連携、小学校の教室に入れな
い児童の見守り、校内居場所の児童見守り

【児童館・こども広場関係】

児童館での子育て相談、子ども広場の子育て相談員

【個別の対応】

家庭状況観察 家庭訪問できないので、近所から該当の家を観察する、要支援者との面接、
罪を犯した人へ面談による更生相談・支援

【啓発活動】

犯罪予防のための啓発活動、情報誌の発行、啓発講座企画

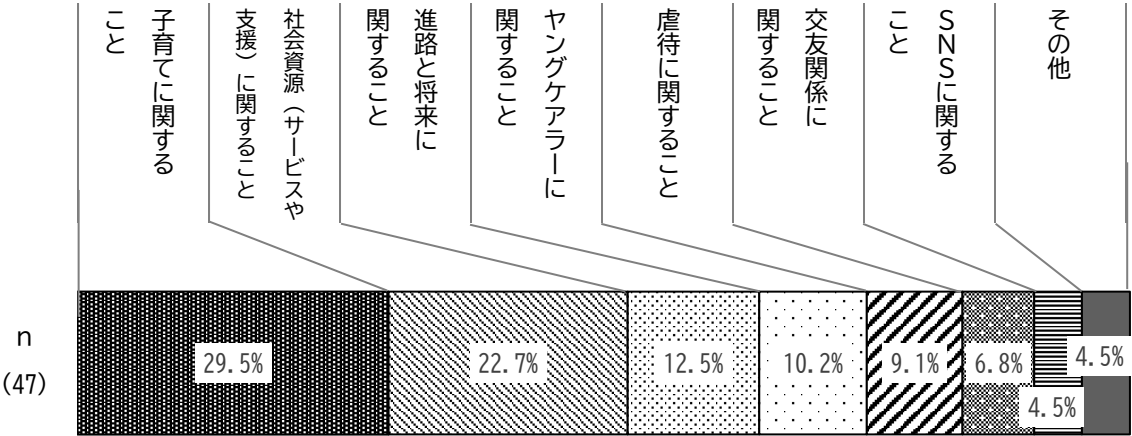
【その他】

生活福祉サービス申請の調査、発達障害、不登校の家族が互いに支え合うための活動、不登校親
子の平日日中の居場所

3. 相談内容

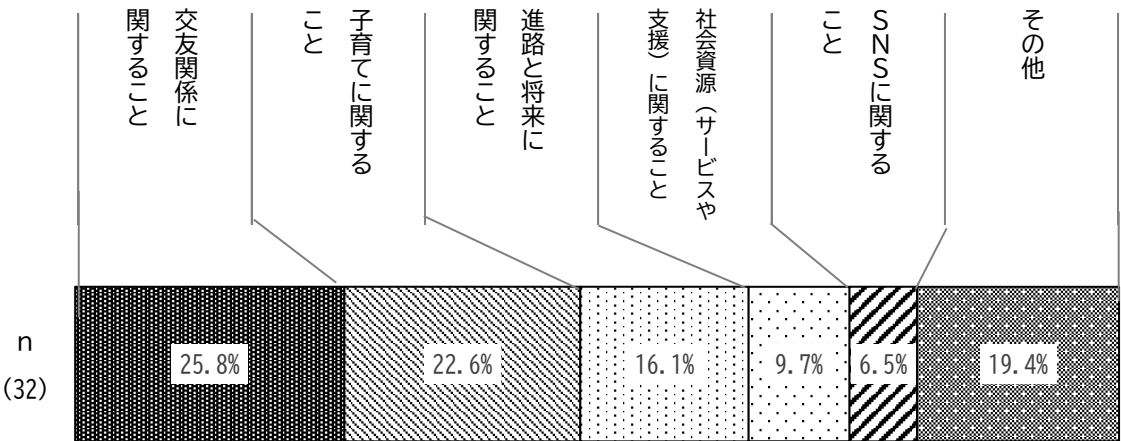
問3 こども・若者、保護者から寄せられる主な相談内容はなんですか。
（あてはまるものすべてに○）

【民生委員】



「子育てに関すること」が29.5%で最も多く、次に多いのが「社会資源（サービスや支援）に関すること」で22.7%、その次に「進路と将来に関すること」で12.5%となっている。

【青少年委員等】



「交友関係に関すること」が25.8%で最も多く、次に多いのが「子育てに関すること」で22.6%、その次に「その他」で19.4%となっている。

その他の内容は、次のような回答となっている。

【個別の困りごと】

発達障害に関すること、就労・人間関係、不登校児童家庭の見守り、現状の整理、孤立感の緩和

【特になし】

現在は特に相談がない、こども・若者、保護者からの相談は具体的にありません。

直接的に相談されることはありません。

【その他】

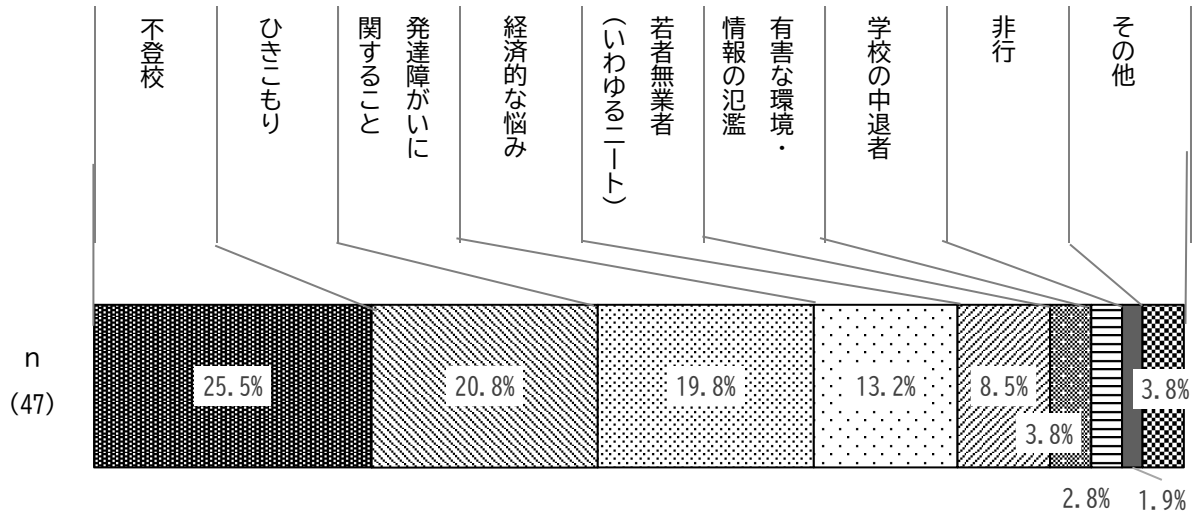
支援課からの依頼や学校からの見守りなどでこれまで直接の相談はない。

コミュニティを広げたい時に、どこにどうやって相談したら良いか。

4. 抱えている問題

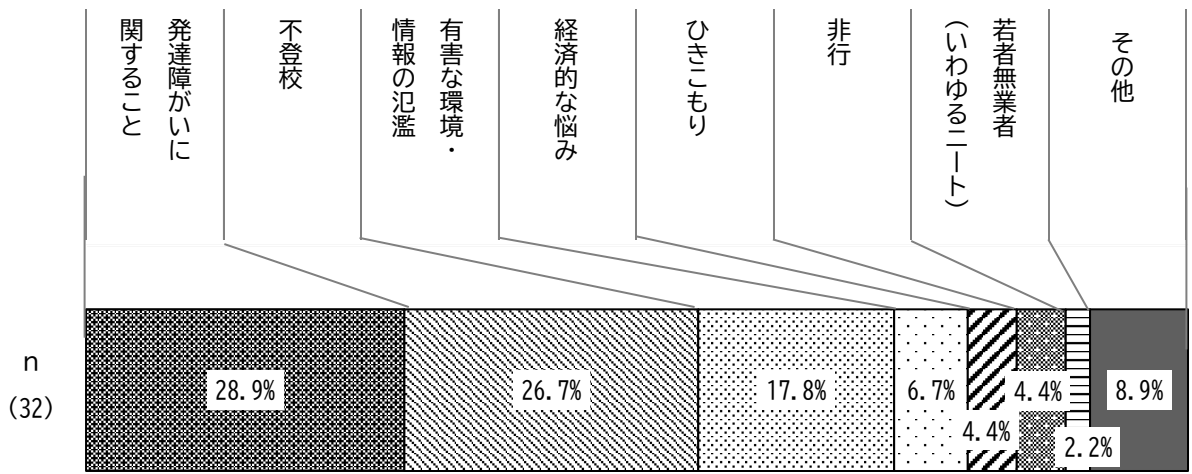
問4 実施・提供等を通じて、こども・若者、保護者の抱えている問題はどのようなものですか。

【民生委員】



「不登校」が25.5%で最も多く、次に多いのが「ひきこもり」で20.8%、その次に「発達障がいに関すること」で19.8%となっている。

【青少年委員等】



「発達障がいに関すること」が28.9%で最も多く、次に多いのが「不登校」で26.7%、その次に「有害な環境・情報の氾濫」が17.8%となっている。

その他の内容は、次のような回答となっている。

【家庭内の問題】

親の認知症、保護者が病院通い（病気あるため）色々な不安を抱えている（こどもに対しても）、社会との乖離、虐待 ヤングケアラー、母親のワンオペ育児、夫婦間のトラブル、子育ての不安、どのように子どもに接したらいいのかわからず悩んでいる

【学校】

友だち関係、子どものリーダーシップ、学校担任との対話不足、友人関係、学校生活について

【社会環境】

外遊びができる場所が少ない、公園などでの痴漢騒動

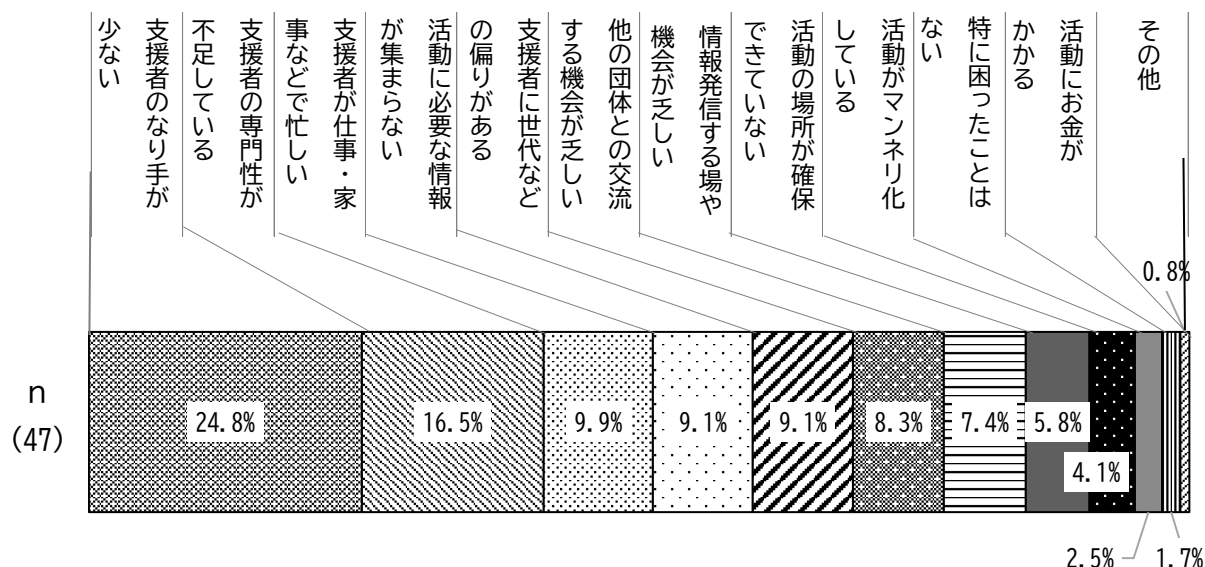
【特にない】

活動で関わっているこども・若者・保護者に具体的な問題はない

5. 活動上の課題

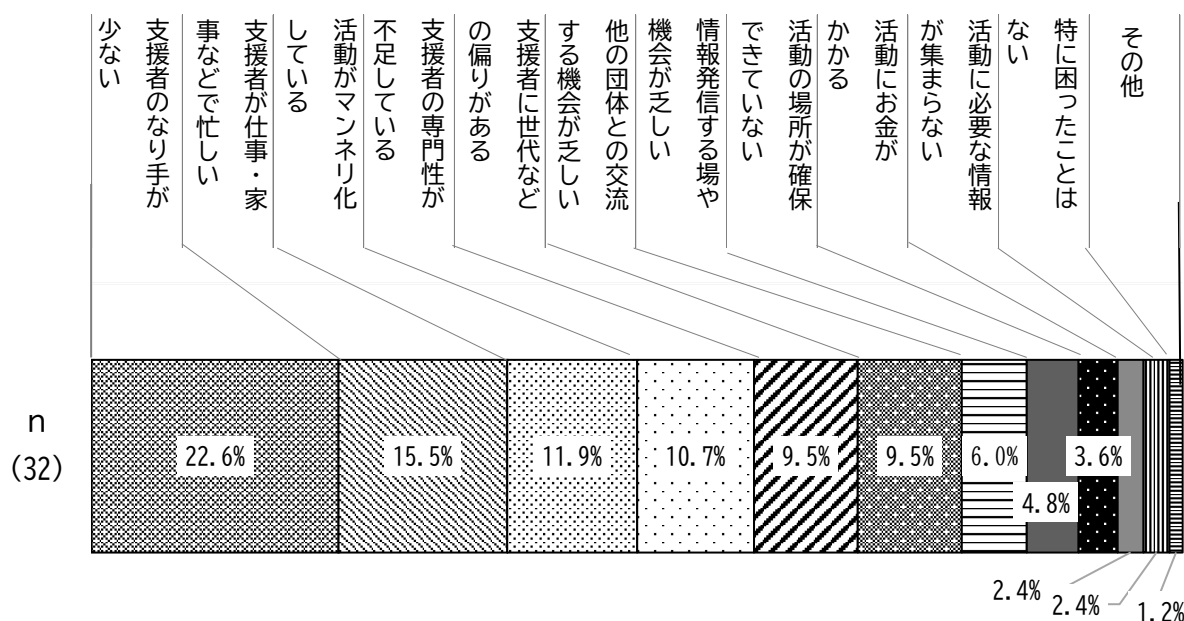
問5 活動上の課題についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

【民生委員】



「支援者のなり手が少ない」が24.8%で最も多く、次に多いのが「支援者の専門性が不足している」が16.5%、その次に「支援者が仕事・家事などで忙しい」が9.9%となっている。

【青少年委員等】



「支援者のなり手が少ない」が22.6%で最も多く、次に多いのは「支援者が仕事・家事などで忙しい」が15.5%、その次に「活動がマンネリ化している」が11.9%となっている。

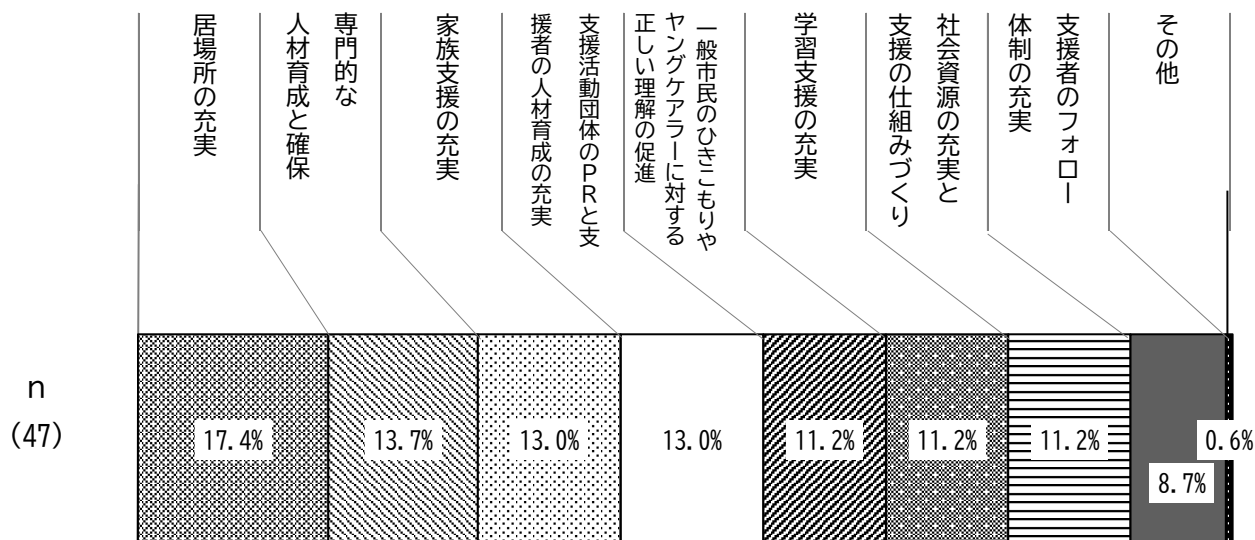
その他については次のような回答となっている。

- ・学校からの保護者への、不登校・発達障害の適切な支援情報がない。診断がなくとも困り感のある保護者には、即時に教育委員会の支援、地域の支援を情報提供をすべき。
- ・青少対の活動を理解していない教職員、PTAが多い為、今までと同じ活動ができない。
- ・研修などで課題を学ぶ機会は、あるが支援を必要としている人

6. 不足しているサービスや支援

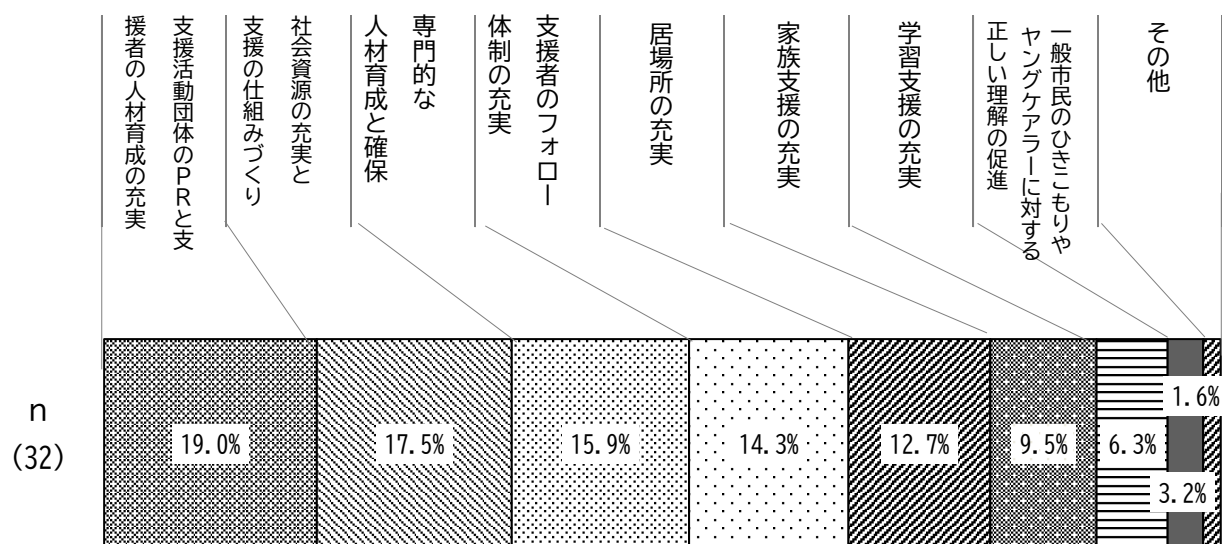
問6 市全体を見たときに、子ども・若者や子育て世代に不足しているサービスや支援はどのようなものでしょうか。（あてはまるものすべてに○）

【民生委員】



それぞれの選択肢について、ほぼ同程度となったが、「居場所の充実」が17.4%で最も多く、次に多いのは「専門的な人材育成と確保」が13.7%、その次に「家庭支援の充実」、「支援活動団体のPRと支援者の人材育成の充実」で各13.0%となっている。

【青少年委員等】



それぞれの選択肢について、ほぼ同程度となったが、「支援活動団体のPRと支援者の人材育成の充実」が19.0%で最も多く、次に多いのは「社会資源の充実と支援の仕組みづくり」が17.5%、その次に「専門的な人材育成と確保」で15.9%となっている。

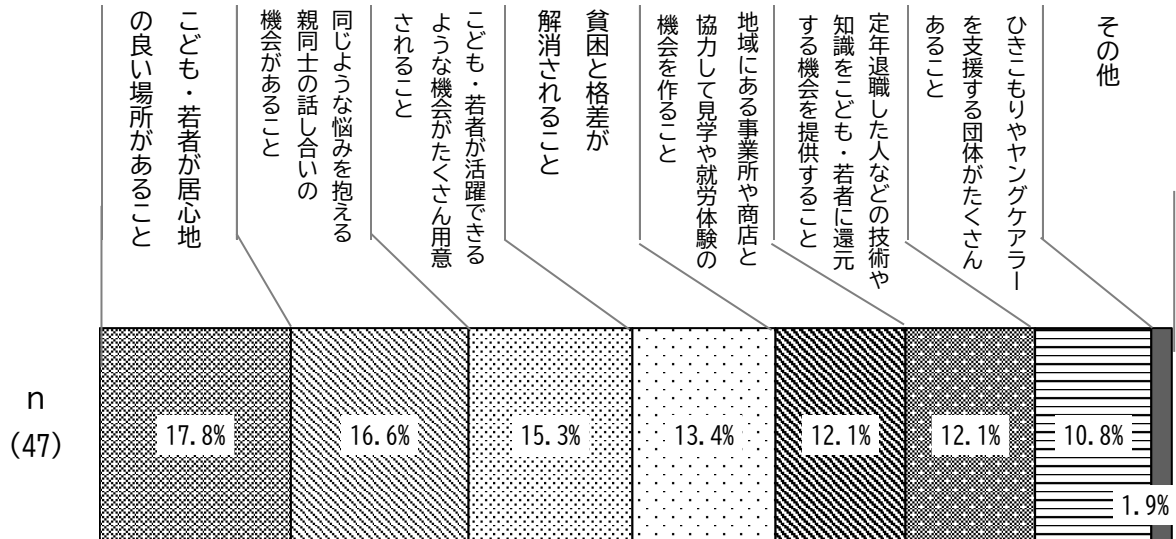
その他については次のような回答となっている。

- ・ 5歳児健診を早急に実施してほしい。
- ・ 診断のない児童の保護者においても相談・情報提供による支援の必要性がある（発達障害者支援法改正後の家族支援の重視）。
- ・ 子どもの権利条約、こども基本法の周知
- ・ 不登校発達障害の家族向けの居場所マップ
- ・ 自治体のサポートガイドブック、訪問支援員
- ・ 学校と地域の関係、違いを教職員、PTAに教えてほしい。

7. 地域社会に求められること

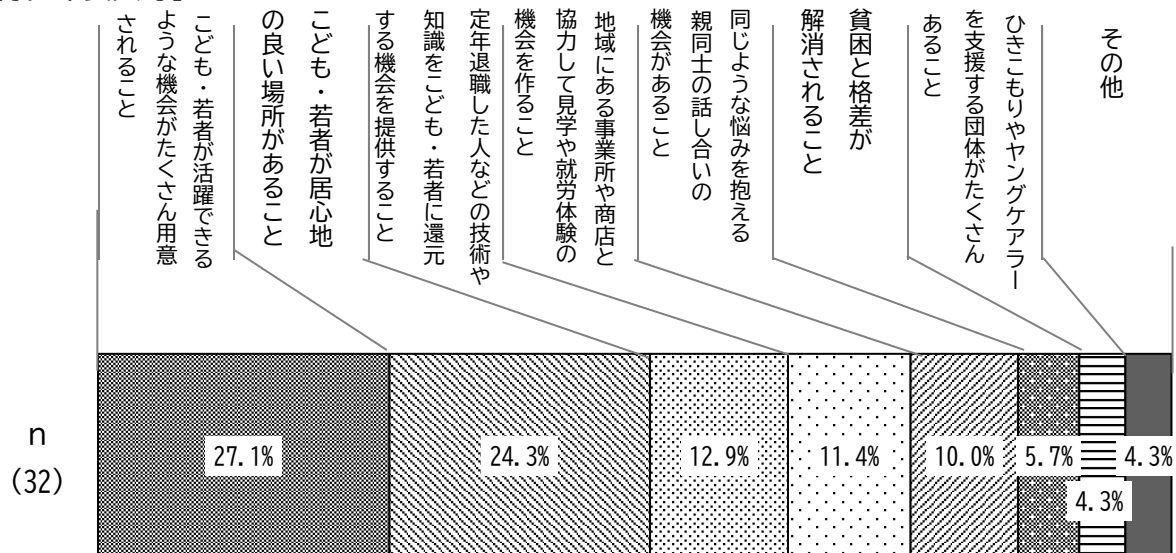
問7 こども・若者が、学ぶことや働くこと、人と関わることに積極的になるために、地域社会にはどのようなことが求められると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

【民生委員】



それぞれの選択肢について、ほぼ同程度となったが、最も多かったのが「こども・若者が居心地の良い場所があること」で17.8%、次に多いのが「同じような悩みを抱える親同士の話し合いの機会があること」で16.6%となっている。

【青少年委員等】



「こども・若者が活躍できるような機会がたくさん用意されること」が27.1%で最も多く、次に多いのは「こども・若者が居心地の良い場所があること」で24.3%、その次は「定年退職した人などの技術や知識をこども・若者に還元する機会を提供すること」で12.9%となっている。

その他については次のような回答となっている。

【家庭】

- ・親がゆとりをもてる働き方ができること。
- ・努力しなくても何でも簡単に手に入る環境が当たり前になっているのが良くないと思う。楽に手に入ると達成感は無いが、努力して手に入れた物は、宝物になると思う。市も簡単にお金を配りすぎ。若い保護者はもらえて当たり前と思って感謝もしてない。子供達はそんな親を見ている。

【学校】

- ・安全に活動できるように、市内の体育館開放を（団体利用）がない時は開放してほしい。
- ・地域で昔から活動している人達がいることを学校、教職員、PTAもきちんと理解するべきだと思う。

【地域】

- ・市内の地域により参加や活躍できる場に差がある
- ・こどもが地域で自由に遊べる場づくり
- ・小平市の文化教育活動やイベントの推進

8. こども・若者、子育て世代への施策を考えていくうえで大切なこと

問8 今後のこども・若者、子育て世代に対する施策を考えていくうえで、大切なことを自由にご記入ください。

○相談体制・仕組みづくり

- ・悩んでいるのは自分だけ…等孤立しなすむ相談しやすい仕組みづくりが必要。
 - ・生涯を通じて生きづらさを抱える人に寄り添うことのできる体制を望みます。
 - ・当事者に届くアピールももっと必要かもしれません。
 - ・子ども、若者が活躍できる機会や、居場所となる施設などたくさんの場面が用意されているが、子どもや親が自分のニーズとのマッチングに迷い、結果的にどこを利用しようか決めかねて、アクセスしにくくなっているきらいはないだろうか。各施策や施設等の特色を一元的かつ具体的に、わかりやすく広報する工夫が求められるのではないか。
 - ・行ってみようかな、やってみようかなという動機づけを高める手法の一つとして、行動経済学でいうところのナッジの観点を工夫として採り入れることも検討してみてもどうか。
- また、大人や行政の側が枠組みを作り、場所を設けて、「いつでも窓は開いているよ」と子どもや若者に示すことは大変重要であるが、その半面、子どもや若者が自発的・能動的に思いついたことを支持し、側面から大人や行政が力を貸して具体的な形にしていくという在り方が実現できたら、当の子どもや若者にとって、とてもやりがいのあるものになるのではないかとも思う。
- ・様々な問題を抱える当事者やその家族が悩みながらも社会との接点がなく、孤立化していく状況がある。当事者同士家族同士が気軽に触れ合うことができ、専門家のアドバイスを受けながら相談できる場所の確保と仕組みづくりが必要と考える。
 - ・相互の理解と協力体制の構築。
 - ・妊娠中から継続した支援をし、子育てにつまずいた保護者がすぐに相談でき、早い時点で解決できるような相談場所（SNSも含む）の確保。

○啓発

- ・公民館で各年代の人たち向けの「生きやすい」生き方の講座をする。
- ・市民の皆様の中には、まだまだ不登校、ひきこもりに対して偏見（家庭環境や親への誹謗中傷）がある。誰でも当事者となりうることを知って頂きたい、世間に受入れていただけるだけでも当事者や家族の皆様の心の安定の一助になると考えます。

○社会課題

- ・経済・心・体・環境等の充実こそ大切と存じます。
- ・社会全体がもっと包容力が有ることが望ましいと思います。
- ・こども、若者、子育て世代がマイノリティになっている時代は、彼らをさらに弱い立場に追い込んでいます。
- ・核家族化の中で、親の自覚責任意識が育たないまま親となる人がいるようである。貧困や格差は更に課題を困難にしている。人権や生きること生活することに対する教育の充実や誰（子どもでも大人でも）でも何でも話せる課題発見型のシステムや地域作りが求められる。

- ・子どもの問題、課題は親のありかたに大きな影響を受けています。共働きが当たり前になるなかで、子どもと親との関わりは希薄になり、家庭は孤立化し、より社会や地域と孤立しています。
- ・親たちの経済状況と労働環境の改善はとても大事です。同時に学校や社会からゆとりのある子育てを推進していくアプローチも必要となっていると思います。
- ・自分は子育てを卒業した身ですが、近年は情報に溢れ、選択肢も多様で、最適解に悩みます。時代とともに求められる事柄も変化しますが、ある一定数、レールのような道筋を助言するなども一案です。最低限、子供たちが伸び伸びと生活できる環境がマストだと思われませんが、保護者や周囲の大人も昔とは変化しています。個の尊重も大切ですが、横や縦の繋がりも重要ではないでしょうか。昔から貧困格差はありますし、乳飲み子から幼児へ、子供から若者へと成長することも変わりません。子を持つ親の知識や認識が変われば、おのずと子供も変わるのではないのでしょうか。価値観や社会環境が変わったということかもしれませんが、人とつながることが苦手な人が増えているように感じます。今のこども・若者・子育て世代にあった人と人とのつながり方、そのための支援のあり方を考えていく必要があると思います。

○地域課題

- ・地域ネットワークの強化が有事の際には大切になるという事を伝えていきたい。
- ・地域活動が少なくなり、コロナも真夏の猛暑も要因になり、子供も大人も外に出ないので近所にどんな人が住んでいるのか、子供がいるのか、お年寄りがいるのか、もちろん名前も顔も分かりません。昔のような近所付き合いとまでいなくても、防犯や防災の面からもまずは地域で挨拶を交わすことが大切だと思います。
- ・共働きの家庭が多くなり、忙しい毎日だと思うが、ちょっと助けてほしい時、遠慮なく頼める隣近所との関係構築。みんなで子供を育てるといった意識が大切だと思う。
- ・近所付き合いの活性化。
- ・家庭（保護者）と地域の子育て環境の安全・安心が一番大切。
- ・支援を望んでいる方々へ、先ずは個々に話を聞きどんな支援をしていくかを把握し、同じような悩みを抱えている方々や行政と繋いだりなど改善方法を地域で考えて行くことが大切だと考えます。

○行政への要望

- ・場所や食事の提供など、小さな範囲でも実現できたらいいのではないか。小平に今20箇所ぐらいの子ども食堂、誰でも食堂があるがもっとあちこちに広がる様、行政からの金銭的支援も必要に思う。
- ・情報の共有が必要であり、行政は積極的に行動を起こしてほしいと思います。
- ・少子化をなんとかしなければならぬのに、給食費を無償化したりしているが、その年代の親にお金を配ってももう子供は増えない。幼稚園を無償化にしても増えないと思う。もっともっと若い世代を支援しないと意味がない。所得制限がないので、余計に格差ができるだけ。
- ・ボランティアに任せるのではなく行政として取り組む姿勢をみせてほしい。資金面からも
- ・学校の教職員と地域の関係、PTAと地域の関係をきちんと見直して、地域を理解して協力するように、市はきちんと指導するべきだと考えます。

○居場所

- ・各自の居場所を作ってほしい。
- ・各学校で、色々とアイデアを出して、不登校やひきこもりの子どもたちの居場所を作ろう、または学校によってはすでに作っていると思いますが、市として統一した考え、目的、方向性で市内の学校の居場所作りの方針をまとめて欲しいと思います。そのような居場所には、きちんと予算を取って、専門職の方を配置してほしいです。
- ・地域での顔見知りをたくさん作ることで、大人も子どもも安心安全に暮らせること、そのために地域の方が安心して関われる居場所、体を動かせる場所を沢山作ってほしいと思います。

○学校・教育

- ・子どもには、教育が第一と考えます（未来のために）。学校が楽しいところ、集うところ、魅力のある場所であってほしいと思います。その為に学校の先生の指導力を高めること。子供と向き合う時間をたっぷり作ってあげること。その為には雑務の軽減、教員を増やすことなどが考えられます。
- ・今もスクールソーシャルワーカーなどを地区ごとに配置していると思いますが、各学校に配置した方が良いのではないのでしょうか。
- ・学校教育のシステム改革。教育と福祉の連携を強化すること。学校からの子育て情報は偏りがあり、公的を理由に地域支援情報は提供できない。こどもが学校で過ごす場を失うと、不登校になり、登場しないのは保護者の意向として教育の機会を失うケースがある。支援が必要な子育てをする保護者は、相談基幹がないために、窓口相談に時間と労力がかかり精神的負担が大きい。行き詰まったときに即座に対応できる、地域コンシェルジュ的役割をもった人材が必要。

○親のあり方・親への支援

- ・こども・若者というより、その親世代の問題が解決・改良されなくては改善されないことが多いと思います。
- ・良いことは良い、悪いことは悪いと教える。子どものころからルールを守ることを教える。これを教えないと親自身も苦しくなるし、子どもも苦しくなる。
- ・子育ての悩みを自分の親にしない若者が増えていると感じる。アドバイスを親や年配の人に求めるのではなく、同年代の人やSNSに求めている。特に同年代の人とも話をせず、SNSだけに頼っている若い親たちはとても心配だ。異年齢の人たちが気軽に集える場が増えると良いと考えている。
- ・子どもに関する様々な問題に対応する際に、保護者自身が育って来た環境、経済状況、疾患、子供への対応など保護者に起因することが多いと思われるので、子供への対応と同時に、保護者への対応も重要だと感じて、その点も合わせて対応している。
- ・保護者の身体的・精神的・経済的など取り巻く環境整備のために関係機関の連携が必要。
- ・子育て世代は、給付や参加企画を与えるだけでなく、自主的に活動することを市が支援できたら良いと思う。

○支援体制の充実・連携

- ・個人情報の壁のため支援者にも情報がなかなか下りてこないで、一人一人にあった支援ができていないのではないかと。なかなか子供に対しては、学校から、親から情報が少ないのではないかと。
- ・支援体制の充実、支援機関の連携ができることが、よりよい支援につながっていくと思います。支援に関わる人の支援技術の向上の為の講演への参加と、情報提供が必要だと思います。
- ・色々な団体がありますが、団体間のつながりが不足しているように感じます。それぞれの団体は行政とも多少つながりがあると思いますが、団体の活動に制約もあるように感じます。
- ・支援者の担い手不足が問題になると思います。担い手を確保する施策を検討してください。
- ・共働き家庭が多く、支援者のなり手が少なく地域のために活動して行くことが厳しい。

○自己肯定感・活躍の場

- ・子ども等が、社会に対して帰属意識が持てること。
(衣食住が確保されていること。年齢に応じて、自分の関わる家族・集団で貢献ができること。自分の存在が認められていると感じられること。)
- ・子ども、若者世代については、長い目で見守り、寄り添える大人、とことん付き合える体制が必要だと思う。また何か活動したいグループをプレゼンで決め支援するなど、若者のパワーに期待する事が大切だと思う。

※ 文章の表現や標記については、ほぼ原文のままで掲載している。

資料 調査票

※調査の回答は、WEB上で行ったため、WEB上の表記と異なる場合があります。

1. 小学校5年生・中学校2年生用



令和6年度 小平市 こどもアンケート アンケート調査実施とご協力をお願い

こんにちは。みなさんが住んでいるまちの小平市では、こどものみなさんに関わる大切なことを、みなさんの声を聴きながら決めていきたいと思っています。アンケートの答えは、だれが答えたかわからないようにしてまとめて、市の仕組みを考えるヒントにしたり、こどものためになることについて考えるために使います。アンケートに答えて、あなたの思いを教えてください。



アンケート回答方法



1 回答ページにアクセス

※パソコン、タブレット、スマートフォンから

<https://en.surece.co.jp/2024kodaira1/>



ID : ●●●●●●

パスワード : ●●●●●●

※IDとパスワードで個人の特定はできませんので安心して回答してください。

2 回答フォームにログイン

回答用ページから「ID」と「パスワード」を入力し、「次へ」ボタンを押します。

ID・パスワードをご入力ください。

ID:

パスワード:

←回答用ページトップログイン画面

回答期限は、

12月16日(月)です。

3 回答をスタート

質問が表示されますので、設問をよく読んであてはまる選択肢にチェックを入れてください。「その他」を選んだ場合は枠内に文字を入力してください。



アンケートについて

- このアンケートは、テストではありません。また、あなたの答えをだれかに知られることはないので、安心してあなたの気持ちを、思うままに教えてください。
- かわりに読んでもらうなどの助けが必要な人は、助けてもらいながら答えても大丈夫です。安心できる大人に相談して、手伝ってもらっても構いません。
- 答えたくない質問は、答える必要はありません。
- 回答は途中で保存ができます。最後に「次へ」ボタンを押したページまでの回答は保存されています。
- 回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
- 回答は1回限りです。最後の回答を送信するとその後の修正はできません。

小平市 こども家庭部子育て支援課

☎042-346-9815 E-mail : kosodateshien@city.kodaira.lg.jp

小平市 こどもアンケート (児童・生徒用)

記入についてのお願い

- 1 できるだけ宛名のご本人がご記入ください。もしご本人がご記入できない場合は、ご家族等がご本人からお話を聞いてご記入ください。
- 2 濃い鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
- 3 お答えは、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。
- 4 「その他」にあてはまる場合は、() へ具体的に記入してください。
- 5 答える設問に限られる場合があります。設問の前にある注意書をよくお読みください。
- 6 お答えにくい設問については無理にお答えいただくなくても結構です。

あなた自身について

問1 あなたのせい別は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------------|
| 1. 男せい | 3. どちらでもない、答えたくない |
| 2. 女せい | 4. () |

問2 あなたはふだん、だれと遊びますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 学校の友だち | 5. きょうだい |
| 2. 学校以外の場所で知り合った友だち | 6. だれとも遊ばない(ひとりで遊ぶ) |
| 3. インターネットやSNSで知り合った友だち | 7. その他 |
| 4. 親/ほご者 | () |

問3 あなたはふだん、何をして遊びますか。(○はいくつでも)

1. マンガや本を読む
2. テレビ(リアルタイム)を見る
3. DVDやYouTubeなどの動画を見たり、オンラインゲームをする
4. 家庭用ゲーム機、ボードゲーム、カードゲーム、おもちゃなどで遊ぶ
5. スポーツや体をを使う遊び
6. 公園の遊具
7. 友だちなどのおしゃべり
8. その他()

問4 あなたのことにについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
回答例	1	②	3	4
自分のことが好きだ	1	2	3	4
自分には自分らしさがある	1	2	3	4
困っているときは助けてくれる人がある	1	2	3	4
自分のしょう来に明るい希望を持っている	1	2	3	4
今の生活に満足している	1	2	3	4

家庭のことについて

問5 あなた家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	あてはまる	どちらかとい えはあてはまる	どちらかとい えはあてはまらない	あてはまらない
回答例	1	②	3	4
家では安心してすごしている	1	2	3	4
ほご者は私の話を聞いて いっしょに考えてくれる	1	2	3	4
私の人生について、ほご者と いっしょに考えて決めている	1	2	3	4

ふだんのことについて

問6 次のことがどれくらいあてはまりますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	あてはまる	どちらかとい えはあてはまる	どちらかとい えはあてはまらない	あてはまらない
回答例	1	②	3	4
友だちと仲が良い	1	2	3	4
家族と仲が良い	1	2	3	4
学校の先生と仲が良い	1	2	3	4
地いきの人と仲が良い	1	2	3	4

問7 あなたがふだん感じることは、どれに一番近いですか（○は1つ）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 友だちや家族などといっしょにいるのが心地よい |
| 2. 友だちや家族などといっしょにいるより一人であるほうが心地よい |
| 3. ひとりぼっちでさみしいとを感じることもある |
| 4. その他（ ） |

問8 あなたは、この1年くらいで次のような、けい験をしたことがありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. きずつくことをいわれた | 5. 国せき・人種による差別を受けた |
| 2. 無しをされた | 6. たたかれたり、けられるなどのぼう力をうけた |
| 3. いじめを受けた | 7. その他のいやなけい験（ ） |
| 4. せい別による差別を受けた | 8. 特にない |

問9 あなたの住む地いき（自宅から歩いて20分以内の場所）で、あなたは次のような、きけんな目にあったことはありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 車やバイクにぶつかりそうになった | 4. 知らない人からぼう力を受けた |
| 2. 自転車にぶつかりそうになった | 5. 知らない人に連れ去れそうになった |
| 3. 知らない人に声をかけられたり、にらまれたり、怒られたりした | 6. その他（ ） |
| | 7. 特にない |

学校とばしょについて

問10 あなたは、学校が好きですか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|--------------|-----------|
| 1. とても好き | 3. どちらともいえない | 4. きらい |
| 2. 好き | | 5. とてもきらい |

問11 この1年くらいで学校がいやで休むことはありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

（問11で「1. はい」とお答えの方にうかがいます）

問11-1 1か月のうち、学校に行かないで休む日はどれくらいありますか。（○は1つ）

- | | | | |
|---------|----------|------------|-----------|
| 1. 1～5日 | 2. 6～10日 | 3. 月の半分くらい | 4. 月のほとんど |
|---------|----------|------------|-----------|

問12 あなたにとってのいばしょ（ほっとできる、安心できる場所）は次のうち、どれですか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1. 自分の部屋 | 7. 地いき（図書館、公民館、児童館、公園など） |
| 2. 自分の部屋以外の家の中 | 8. 学習じゅく・習い事場所 |
| 3. 親せきの家 | 9. SNS、YouTube、オンラインゲームなど |
| 4. 友だちの家 | 10. コンビニ |
| 5. 学校の教室 | 11. その他（ ） |
| 6. 教室以外の学校内の場所 | 12. 落ち着く場所がない |

問13 放課後にすぐす場所やしせつに望むことは、どのようなことですか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 遊びやゲーム・パソコンを利用できる | 6. 利用しやすい曜日・時間帯に開かれている |
| 2. 友だちとおしゃべりができる | 7. しせつやせつびが充実している |
| 3. ひとりでもくつろいで利用できる | 8. その他（ ） |
| 4. しゅみのイベントや講義に参加できる | |
| 5. 相談できる | 9. 特にない |

ヤングケアラーについて

問14 大人に代わって、あなたが中心となり、次のようなことを親きょうだいなどにしていますか。（○はいくつでも）

ヤングケアラーとは、大人にかわって家事（食事のじゅんぴ・そうじ・せんたく）や家族のお世話をすることものことです。

- | | | |
|------------|--------------------------|----------|
| 1. 食事のじゅんぴ | 4. きょうだいの送りむかえやお世話 | 7. していない |
| 2. そうじ | 5. 親などの食事のほじょなどのお世話 | |
| 3. せんたく | 6. こばのちがいがいなどによる親の会話のほじょ | |

（問14で1～6にひとつでも○をつけた方にうかがいます）

問14-1 前問の1～6のことを日ごろすることで、次のようなことがありますか。

（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 学校を休んだり、ちこくや早たいをしている | 4. その他（ ） |
| 2. 宿題など勉強する時間がない | |
| 3. 友だちと遊ぶなど自分の時間がない | 5. 特にない |

問15 あなたがヤングケアラーになった場合、だれかに相談しますか。(〇は1つ)

1. する	2. しない
-------	--------

(問15で「1. する」とお答えの方にうかがいます)

問15-1 相談する場合はだれに相談しますか。(〇はいくつでも)

1. 家族 2. 学校の先生 (ほけん室の先生・スクールカウンセラーも含む) 3. 友だちなど 4. 子ども家庭支援センター 5. その他 ()
--

(問15で「2. しない」とお答えの方にうかがいます)

問15-2 相談しないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

1. だれに相談すればよいかわからない 3. だれかに相談するほどではないから 2. 家族のことを知られたくないから 4. その他 ()

ここから再び、全員の方にお伺いします

ざやく待について

問16 ほご者や家族などに、A～Dのようなことをされたことがありましたか。

(〇はそれぞれ1つずつ)

	ない	ある
回答例	①	2
A きずやあざができるほどのぼう力をうけたことがある。	1	2
B くり返しきずつくことを言われたり、無視されたり、家族の間でのぼう力を見たことがある。	1	2
C 食事をさせてもらえなかったり、長時間外に放置されたことがある	1	2
D 自分はいやなのに、自分の体をさわられたり、服をぬがされたことがある	1	2

問17 あなたが前問のA～Dのことがあった場合、だれかに相談しますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 相談する
2. 相談しない | 3. 相談先が分からない
4. その他 () |
|---------------------|---|

問18 あなたは、親が自分のこどもをしつけるのに、たたいたり、どなったりすることを、どう思いますか。(〇は1つ)

- | |
|--|
| 1. どんな理由があっても、たたいたりしてしつけるべきではない
2. しかる理由がはっきりしていれば、あるていどたたいてもかまわない
3. しつけのためにはあたりまえだと思う
4. その他 () |
|--|

悩みにについて

問19 あなたは今、なやんでいることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 勉強のこと
2. 友だちのこと
3. 家族のこと
4. 学校のこと
5. 部活のこと
6. じゅく・習い事のこと
7. 進学のこと
8. れん愛のこと | 9. お金のこと
10. 自分の体やせいのこと
11. しょうらいのこと
12. インターネットやSNSの人間関係のこと
13. (戦争やじけんなどの) ニュースのこと
14. その他 ()
15. 特にない |
|---|--|

問20 あなたが困ったりなやんだりしたとき、相談する相手はだれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. 友だちやせんばい
2. きょうだい
3. 母親
4. 父親
5. おじいちゃん・おばあちゃん
6. 親せき (おじさん・おばさん)
7. 近所の人 | 8. 学校の先生 (ほけん室の先生、スクールカウンセラーを含む)
9. 児童館や子ども広場の人
10. じゅくや習い事の先生
11. インターネットやSNSで知り合った人
12. その他 ()
13. 相談相手はいない |
|--|--|

こどもの権利（けんり）と意思表示について

問21 すべてのこどもは同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。こどもだけが持つ権利もあります。あなたはこどもの権利について知っていますか。（○は1つ）

ここでいうこどもの権利とは、次のようなことです。

- ◆差別の禁止：こどもは自分や親の人種、国せき、せい別、政治の意見、しょうがい、しゅうきょう、経ざいじょうきょうなどどんな理由でも差別されてはいけません。
- ◆こどもの最善の利益：こども自身のことは、その子にとって一番良いことを考えなければいけません。
- ◆命を守られ成長できる権利：命を守られ、もって生まれたのう力を伸ばして成長できる権利。
- ◆こどもの意見のそんちよう：自分のことについて自由に意見を言い、大人にそんちようしてもらう権利。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. よく知っている | 3. 聞いたことがある |
| 2. 少しだけ知っている | 4. 全く知らない |

問22 あなたは、市のせいどや取組に自分の考えを伝えられていると思いますか。（○は1つ）
ここでいう市のせいどや取組とは、学校、学童クラブ、児童館などの行事などのことです。

- | | | | |
|---------|-----------|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |
|---------|-----------|--------------|-----------|

（問22で「3. あまりそう思わない」または「4. そう思わない」とお答えの方にはうかがいます）

問22-1 そう思わない理由を教えてください。（○は1つ）

- 1. 意見を伝える方法がわからないから
- 2. 意見を伝えても反えいされなと思うから
- 3. 意見を言っても、具体的な話し合いには参加できないと思うから
- 4. 意見を言っても、こどもや若者の気持ちはわからないと思うから
- 5. 自分の意見に自信がないから
- 6. 市のせいどや取組について知らないから
- 7. 市に伝えたい意見がないから
- 8. その他（ ）

問23 どのような方法やしゅだんなら意見を伝えやすいですか。（○はいくつでも）

1. 様々な人と意見交かん（ワークショップなど）しながら伝える
2. SNSなどのオンラインで伝える
3. アンケートに答える
4. 意見を伝える相手がどのような人が事前にわかる
5. 伝えた意見がどのようにあつかわれるかわかる
6. 意見を伝えるときに信らいできる人がそばにいる
7. 自分のことや伝えた内容が公開されない（ひみつが守られる）
8. 知りあいや家族がいないほうが話しやすい
9. 意見を言うことでクーポンやお礼の品がもらえる
10. その他（ ）

しょうらいのことについて

問24 あなたは、20年後どのようなになっていると思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）

	そう 思う	そう 思う かとい えは	そう 思わ ない とい えは	そう 思わ ない	わ か ら ない
回答例	1	②	3	4	5
好きな仕事をしている	1	2	3	4	5
けっこうしている/パートナーとくらししている	1	2	3	4	5
こどもを育てている	1	2	3	4	5
好きな国・地いきでくらししている	1	2	3	4	5
お金に困らずゆたかなくらしをしている	1	2	3	4	5
自分の好きなことや、自由な時間を楽しんでいる	1	2	3	4	5

問25 あなたは、しょうらいに不安を感じていますか。(○は1つ)

1. 感じている	2. 感じていない	3. わからない
----------	-----------	----------

〔問25で「1. 感じている」とお答えの方にうかがいます〕

問25-1 しょうらいへの不安は何ですか。(○はいくつでも)

1. お金のこと	8. けっこん
2. 勉強	9. ひとりぼっちになること
3. 進学	10. 友だちなどの人間関係
4. しゅうしょく	11. 社会や世界で起きていること
5. 仕事	12. なんとなく
6. 家族の生活	13. その他
7. 自分の健康	()

問26 次の質問であなたにあてはまるものはどれですか。(○はそれぞれ1つずつ)

A 好きな人ができたら	1. つきあいたい 2. つきあいたくない	3. わからない・その他
B 大人になったらけっこんは	1. したい 2. したくない	3. わからない・その他
C 大人になったら子どもを	1. 育てたい 2. 育てたくない	3. わからない・その他

ご回答ありがとうございました

※調査の回答は、WEB上で行ったため、WEB上の表記と異なる場合があります。

2. 高校生年代用

【WEB 回答案内】

インターネットによる回答方法

この調査は、パソコン、タブレット、スマートフォンからインターネット経由で回答します。
URLもしくは、二次元コードを読み取ってアクセスしてください。

1 回答ページにアクセス ※パソコン、タブレット、スマートフォンから

<https://en.surece.co.jp/2024kodaira2/>

ID: (アルファベット小文字+数字)

パスワード: (ランダムなアルファベットと数字)

※IDとパスワードで他人の利用はできませんので大切に保管してください。

2 回答フォームにログイン
回答用ページから「ID」と「パスワード」を入力し、「次へ」ボタンを押します。

ID、パスワードを正確に入力してください。

ID

パスワード

回答期限は、
12月16日(月)です。

3 回答を開始
質問が表示されますので、疑問をふくお読みになって、あてはまる選択肢にチェックを入れてください。「その他」を選んだ場合、自由に記入する設問は、枠内に文字を入力してください。

！ アンケートについて

- このアンケートは、テストではありません。また、あなたの答えを誰かに知られることはありませんので、安心してあなたの気持ちを、思うままに教えてください。
- かわりに読んでもらうなどの助けが必要な人は、助けてもらいながら答えても大丈夫です。安心できる周りの人に、手伝ってもらっても構いません。
- 答えたくない質問は、答える必要はありません。
- 回答は途中で保存ができます。最後に「次へ」ボタンを押したページまでの回答は保存されています。
- 回答は、各ページ 60 分以内に送信をしてください。
- 回答は 1 回限りです。最後の回答を送信するとその後の修正はできません。

令和6年11月

令和6年度 小平市 若者アンケート ご協力のお誘い

皆様には、日頃から小平市政にご理解とご協力をお願いいたし、誠にありがとうございます。
さて、小平市では現在、今後のこども・若者・子育て施策の根幹となる「(仮称)小平市こども計画」の策定作業を進めております。
その一環として、市内のこども・若者の意識や生活実態を明らかにするため、アンケート調査を実施いたします。
本アンケート調査の結果はすべて統計的に匿名処理され、回答内容とご回答いただいた方が結びつかず、個人が特定される形で公表することは一切ございません。
ご多用の折まことに恐縮ではございますが、ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。
本調査は市内にお住まいの16～29歳の方2,000人を基作爲に選ばせていただき、「インターネットによる回答」で実施いたします。裏面の記載の回答方法をお読みになり、回答画面にアクセスしてください。

ご多用の折まことに恐縮ではございますが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【問合せ先】
小平市 こども家庭部 子育て支援課
小平市小川町二丁目1333番地
電話：042-346-9815
(受付時間：平日午前8時30分～午後5時)
E-mail: kosodateshi@city.kodaira.lg.jp

小平市 若者アンケート
(高校生年代用)

記入についてお願い

- 1 できるだけ宛名のご本人がご記入ください。もしご本人がご記入できない場合は、ご家族等がご本人からお話を聞いてご記入ください。
- 2 濃い鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
- 3 お答えは、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。
- 4 「その他」にあてはまる場合は、()へ具体的に記入してください。
- 5 答える設問が限られる場合があります。設問の前にある注意書をよくお読みください。
- 6 お答えにくい設問については無理にお答えいただくなくても結構です。

あなた自身について

問1 あなたの年齢は。

1. 16歳 2. 17歳 3. 18歳

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性 3. どちらでもない、答えたくない
2. 女性 4. ()

問3 あなたは、現在学校に通っていますか。(○は1つ)

1. 現在在学している 2. すでに卒業している 3. 中退した 4. 休学中である

問4 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または、現在在学している学校はどれですか。在学している方は、学年もお答えください。(○は1つ)

1. 中学校 → () 年生 4. 高等専門学校・短期大学 → () 年生
2. 高等学校 → () 年生 5. その他
3. 専門学校 → () 年生

問5 一緒に住んでいる家族を教えてください。(○はいくつでも)

1. 父親 4. 祖父 7. その他
2. 母親 5. 祖母 ()
3. きょうだい 6. 同居家族はいない

問6 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多くの家計を負担している人をお答えください。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(○は1つ)

1. 父親 4. あなた自身 7. その他
2. 母親 5. 他の家族や親戚 ()
3. きょうだい 6. 生活保護を受けている

問7 あなたの家の暮らし向き(衣食住、レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べて、どの程度だと思いますか。あなたの実感でお答えください。(○は1つ)

1. かなり良い 3. ふつう 4. やや低い
2. やや良い 5. 低い

問8 あなたのことについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
回答例	1	②	3	4
自分には自分らしさがある	1	2	3	4
困っているときは助けてくれる人がいる	1	2	3	4
自分の将来に明るい希望を持っている	1	2	3	4
今の生活に満足している	1	2	3	4

家庭での生活について

問9 あなたはふだん、家族とどのくらい話をしますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|----------|------------|---------|
| 1. よく話す | 2. たまに話す | 3. あまり話さない | 4. 話さない |
|---------|----------|------------|---------|

(問9で「1. よく話す」または「2. たまに話す」とお答えの方にうかがいます)

問9-1 主に誰と話をしますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|----------|------------|
| 1. 父親 | 3. きょうだい | 5. 祖母 |
| 2. 母親 | 4. 祖父 | 6. その他 () |

問10 あなたは家族の人と話をすると、どのようなことをよく話しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 家族のこと | 8. 社会の出来事やニュース |
| 2. 友だちのこと | 9. 生活態度 |
| 3. 学校での出来事や先生のこと | 10. 進路や将来のこと |
| 4. 学校の勉強や成績のこと | 11. 親の生活のこと |
| 5. 塾・習いごとのこと | 12. 仕事のこと |
| 6. 遊びや趣味のこと | 13. その他 |
| 7. 近所の出来事 | () |

問11 あなたは、家庭の役割として、どのようなことが重要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 家族の団らんの場 | 6. 休息・やすらぎの場 |
| 2. こどもを産み、育てる場 | 7. 親子が共に成長する場 |
| 3. こどもをしつける場 | 8. その他 |
| 4. 夫婦の愛情をはぐくむ場 | () |
| 5. 家族の絆をはぐくむ場 | 9. わからない |

日常生活について

問12 あなたには、友だちがいますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| 1. たくさんいる | 2. 少しいる | 3. いない |
|-----------|---------|--------|

(問12で「1. たくさんいる」または「2. 少しいる」とお答えの方にうかがいます)

問12-1 友だちはどのような人ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 学校で知り合った友だち | 5. 自分の趣味(好きなこと)を通じての友だち |
| 2. 地域サークルや団体活動の友だち | 6. インターネット(SNSなど)や |
| 3. アルバイト先や仕事関係の友だち | メールで知り合った友だち |
| 4. となり近所の友だち | 7. その他 () |

問13 あなたが普段感じることは、どれに一番近いですか(○は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 友だちや家族などと一緒にいるのが心地よい |
| 2. 友だちや家族などと一緒にいるより一人であるほうが心地よい |
| 3. ひとりぼっちでさみしいとを感じることもある |
| 4. その他 () |

問14 あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. テレビを見る | 7. 新聞を読む |
| 2. パソコンや携帯電話を利用する
(インターネットやSNS等) | 8. スポーツをする |
| 3. ゲームをする | 9. 買い物に行く |
| 4. ラジオや音楽を聴く | 10. ボランティア活動に参加する |
| 5. 勉強をする | 11. 家事や家の仕事の手伝いをする |
| 6. 本を読む | 12. その他 () |
| | 13. 自由な時間はない |

問15 あなたが、ホッとできて、安心する場所はどこですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 自宅の自分の部屋 | 7. 図書館 | 13. ゲームセンター |
| 2. 家族が集まる部屋 | 8. 塾・習いごと先 | 14. 公園 |
| 3. 自宅のトイレ・風呂 | 9. 職場・バイト先 | 15. 落ち着く場所がない |
| 4. 祖父母の家 | 10. 飲食店 | 16. その他 |
| 5. 友だちの家 | 11. コンビニ | () |
| 6. 学校 | 12. カラオケボックス | |

問16 あなたはふだん、どのくらい外出しますか。(○は1つ)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人付き合いのためにときどき外出する
5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

(問16で5～8とお答えの方にうかがいます)

問16-1 現在の外出頻度になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

歳

(同様に、問16で5～8とお答えの方にうかがいます)

問16-2 現在の状態になってどのくらい経ちますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 6ヶ月未満 | 3. 1年以上～3年未満 | 5. 5年以上～7年未満 |
| 2. 6ヶ月以上～1年未満 | 4. 3年以上～5年未満 | 6. 7年以上 |

(同様に、問16で5～8とお答えの方にうかがいます)

問16-3 現在の状態になったきっかけは、何ですか(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 不登校(小学校・中学校・高校) | 6. 職場になじめなかった |
| 2. 高校になじめなかった | 7. 人間関係がうまくいかなかった |
| 3. 大学になじめなかった | 8. 病気 |
| 4. 受験に失敗した(高校・大学) | 9. その他() |
| 5. 就職活動がうまくいかなかった | 10. 特に理由はない |

普段のことについて

問17 あなたは、この1年くらいで次のような経験をしたことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 暴言や傷つくことをいわれた | 5. 国籍・人種による差別を受けた |
| 2. 無視をされた | 6. 暴力を受けた |
| 3. いじめを受けた | 7. その他の嫌な経験() |
| 4. 性別による差別を受けた | 8. 特にない |

学生の方に伺います。

学校での生活について

問18 あなたは、学校生活に満足していますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|----------|
| 1. 満足している | 2. まあ満足している | 3. やや不満である | 4. 不満である |
|-----------|-------------|------------|----------|

(問18で「3. やや不満である」または「4. 不満である」とお答えの方にうかがいます)

問18-1 学校生活で不満に思うのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 学校の施設のこと | 5. 部活動やクラブ活動のこと |
| 2. 友だちのこと | 6. 学校の規則のこと |
| 3. 先生のこと | 7. その他 |
| 4. 授業のしかたや科目、教わる中身のこと | () |

問19 学校生活で悩んでいることや、心配していることがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 授業がつまらない | 8. 学校の規則がきびしい |
| 2. 授業がわからない | 9. 部活動やクラブ活動が楽しくない |
| 3. 成績が思いどおりにならない | 10. 進学が心配 |
| 4. 友だちとうまくいかない | 11. 就職が心配 |
| 5. 友だちがいない | 12. お金がかかる |
| 6. いじめられる | 13. その他() |
| 7. 先生とうまくいかない | 14. 特にない |

問20 あなたは、放課後どこで過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)

1. 自分の家
2. 友だちの家
3. 学校
4. ファーストフード、ファミリーレストランなどの飲食店
5. ショッピングセンター、デパート
6. カラオケボックス、ゲームセンター、ボウリング場
7. インターネットカフェ、マンガ喫茶
8. スポーツクラブ、ジムなどのスポーツ施設
9. 公園
10. 図書館・公民館などの公共施設
11. その他 ()

問21 学校が嫌で休むことはありますか(ありましたか)。また、はいの場合1か月のうち休む日はどのくらいありますか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------|--------------|----------------|
| 1. いいえ | 2. はい(1～5日) | 4. はい(月の半分くらい) |
| | 3. はい(6～10日) | 5. はい(月のほとんど) |

ここから再び、すべての方にお伺いします

ヤングケアラーについて。

問22 大人に代わって、あなたが中心となり、次のようなことを親きょうだいなどにしていますか。(〇はいくつでも)

※ヤングケアラーとは、大人にかわって家事(食事の準備・そうじ・洗たく)や家族のお世話をすることのことです。

- | | | |
|----------|------------------------|----------|
| 1. 食事の準備 | 4. きょうだいの送り迎えやお世話 | 7. していない |
| 2. そうじ | 5. 親などの食事の補助などのお世話 | |
| 3. 洗濯 | 6. ことばのちがいなどによる親の会話の補助 | |

(問22で1～6にひとつでも〇をつけた方にうかがいます)

問22-1 前問の1～6のことを日ごろすることで、次のようなことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1. 学校を休んだり、遅刻や早退をしている | 4. その他 |
| 2. 宿題など勉強する時間がない | () |
| 3. 友だちと遊ぶなど自分の時間がない | 5. 特にな |

問23 あなたがヤングケアラーになった場合、誰かに相談しますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

(問23で「1. する」とお答えの方にうかがいます)

問23-1 相談する場合は誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

1. 家族
2. 学校の先生(保健室の先生・スクールカウンセラーも含む)
3. 友だちなど
4. 子ども家庭支援センター
5. その他 ()

(問23で「2. しない」とお答えの方にうかがいます)

問23-2 相談しないのはなぜですか(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 誰に相談すればよいかわからない | 3. 誰かに相談するほどでないから |
| 2. 家族のことを知られたくないから | 4. その他 () |

ここから再び、すべての方にお伺いします

虐待について

問24 保護者や家族などに、A～Dのようなことをされたことがありましたか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	ない	ある
回答例	①	2
A きずやあざができるほどの暴力をうけたことがある。	1	2
B くり返しきずつくことを言われたり、無視されたり、家族の間での暴力を見たことがある。	1	2
C 食事をさせてもらえなかったり、長時間外に放置されたことがある	1	2
D 自分はいやなのに、自分の体を触られたり、服を脱がされたことがある	1	2

問25 あなたが前問のA～Dのことがあった場合、誰かに相談しますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 相談する | 3. 相談先が分からない |
| 2. 相談しない | 4. その他() |

問26 あなたは、親が自分のこどもをしつけるのに、たたりたり、どなりたりすることを、どう思いますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. どんな理由があっても、たたりたりしてしつけるべきではない |
| 2. しかる理由がはっきりしていれば、あるていどたたりてもかまわない |
| 3. しつけのためにはあたりまえだと思う |
| 4. その他() |

学生の方へ伺います。

進路・就業・職業について

問27 現在の学校を卒業後の希望について、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。

(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 就職(転職)希望 | 3. 現在の職業の継続を希望 |
| 2. 進学希望 | 4. いずれも希望していない |

ここから再び、すべての方にお伺いします

問28 あなたは、仕事を選ぶ際に主にどのようなことを重視しますか。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 正社員・正規職員で働くこと |
| 2. 仕事にやりがいを感じられること |
| 3. 専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること |
| 4. 給料が高いこと |
| 5. 労働時間が短いこと |
| 6. 残業や休日出勤が少ないこと |
| 7. 実力を適正に評価してくれること |
| 8. 職場の雰囲気や人間関係が良いこと |
| 9. 長い年数働き続けられること |
| 10. 子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと |
| 11. 希望の勤務地で働くこと |
| 12. その他() |

非行的な行為について

問29 あなたは、こども・若者の健やかな成長、非行防止に特に何が大切だと思いますか。

(○は3つまで)

1. 保護者が手本となるような生活態度を示すこと
2. 保護者とこどもが積極的に会話をし、ふれあう機会を多く持つことにすること
3. 大人がこどもの自主性を尊重し、過保護、過干渉にならないようにすること
4. 大人がこどもに生命や物の大切さをもっと教えること
5. こどもに悪い影響を与えられと思われる雑誌、番組、DVDなどが
こどもの目に触れない環境をつくること
6. 社会全体がモラルを高めること
7. 地域で青少年を見守り、育てるような環境をつくること
8. 警察や役所が取締りや広報・PR活動を行うこと
9. 学校で社会のモラルや道徳を教えること
10. 居場所や遊び場などを作ること
11. その他 ()
12. 特にない

地域社会での生活について

問30 あなたの住む地域（自宅から歩いて20分以内の場所）で、あなたは次のような危険な目にあったことはありますか。(○はいくつでも)

1. 車やバイクにぶつかりそうになった
2. 自転車にぶつかりそうになった
3. 知らない人に声をかけられたり、にらまれたり、怒られたりした
4. 知らない人から暴力を受けた
5. 知らない人に連れ去れそうになった
6. その他 ()
7. 特にない

11

問31 あなたは現在、地域の活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 参加している

2. 参加していない

(問31で「1. 参加している」とお答えの方にうかがいます)

問31-1 その地域活動は、何ですか。(○はいくつでも)

1. 自治会・コミュニティなどの地域活動
2. 防犯・防災や交通安全などの活動
3. 地域で行っているサークル活動
4. スポーツ活動（野球・サッカーなど）
5. 祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動
6. 公園・道路の清掃、花や緑を植える活動
7. 資源回収などのリサイクル活動
8. こどもや高齢者、障がい者のためのボランティア活動
9. まちづくりに関する活動
10. 募金などの支援活動
11. その他 ()

(問31で「2. 参加していない」とお答えの方にうかがいます)

問31-2 地域活動に参加していない主な理由は、何ですか。(○はいくつでも)

1. 地域でどのような活動が行われているか知らない
2. 一緒に参加する友だち・知人がいない
3. 参加方法がわからない
4. 時間や日程が合わない
5. 参加する時間的余裕がない
6. 地域の活動には興味がない
7. 地域の活動が盛んではない
8. 趣味に関する活動が忙しい
9. その他 ()
10. 特に理由はない

12

ここから再び、全員の方にお伺いします

日頃の考え方や意識について

問32 あなたは、「自分のことが好きだ」と思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う 2. あまりそう思わない 3. まあそう思う 4. そう思わない

問33 あなたは現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(〇はいくつでも)

1. 勉強に関すること 9. 就職に関すること
2. 仕事に関すること 10. 恋愛に関すること
3. 友だちに関すること 11. お金に関すること
4. 家族に関すること 12. 自分の体や性に関すること
5. 学校に関すること 13. 将来に関すること
6. 部活に関すること 14. インターネットやSNSの人間関係に関すること
7. 塾・習い事に関すること 15. (戦争や事件などの) ニュースに関すること
8. 進学に関すること 16. その他 ()

問34 あなたはふだん、悩みごとを誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

1. 親 7. カウンセラー・精神科医
2. 友だち 8. 行政などの専門相談機関
3. 先輩 9. ネット上の知り合い
4. 交際相手 10. ネット上の質問サイト
5. 祖父母 11. その他 ()
6. 学校の先生 12. 相談する人がいない
7. 職場の同僚・上司 13. 誰にも相談しない

問35 自分の悩みごとを誰かに相談する方法として、最も良いと思うのは何ですか。(〇は1つ)

1. 直接会う 4. LINEやX、FacebookなどのSNS
2. 電話 5. インターネットのチャットや掲示板など
3. 携帯電話・スマートフォンやパソコンのメール 6. その他 ()

将来のことについて

問36 あなたは、将来に不安を感じていますか。(〇は1つ)

1. 感じている 2. 感じていない 3. わからない

(問36で「1. 感じている」とお答えの方にうかがいます)

問36-1 将来への不安は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 収入・生活費 6. 家族の生活 11. 友だちなどの人間関係
2. 勉強 7. 自分の健康 12. 社会情勢・不況
3. 進学 8. 結婚 13. なんとなく
4. 就職 9. 生きがい 14. その他
5. 仕事 10. 孤独・孤立 ()

問37 あなたは、20年後どのようになっていると思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

	そう 思う	そう 思う かどうか といえ ば	そう 思わ ない といえ ば	そう 思わ ない	わ か ら な い
回答例	1	②	3	4	5
好きな仕事をしている	1	2	3	4	5
結婚している/パートナーと暮らしている	1	2	3	4	5
こどもを育てている	1	2	3	4	5
好きな国・地域で暮らしている	1	2	3	4	5
お金に困らず豊かな暮らしをしている	1	2	3	4	5
自分の好きなことや、自由な時間を楽しんでいる	1	2	3	4	5

問38 あなたは将来、こどもを育てたいと考えていますか。(〇は1つ)

1. こどもを1人育てたい 4. こどもを育てたいとは思わない
2. こどもを2人育てたい 5. まだ分からない
3. こどもを3人以上育てたい

学生の方に伺います。

市の取組について

問39 放課後に過ごす場所や施設に望むことは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 遊びやゲーム・パソコンを利用できる | 6. 利用しやすい曜日・時間帯に開かれている |
| 2. 友だちとおしゃべりができる | 7. 施設や設備が充実している |
| 3. ひとりでもくつろいで利用できる | 8. その他 () |
| 4. 趣味のイベントや講座に参加できる | 9. 特にない |
| 5. 相談できる | |

ここから再び、全員の方にお伺いします

問40 あなたは、これから若者(29歳ぐらいまでの人)のために、小平市に必要な取組は何だと思いますか。(〇は3つまで)

1. お金の心配をすることなく学べる(進学・塾に行くこと)ように支援する
2. 就職に向けた相談やサポート体制を充実させる
3. イベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する
4. 自由に過ごせる場を増やす
5. 自分の意見を発表できる機会を増やす
6. 悩みを相談できる場や機会を増やす
7. 参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報を提供する
8. その他 ()
9. 特にない

問41 あなたは、市の制度や取組に自分の考えを伝えられていると思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

(問41で「3. あまりそう思わない」または「4. そう思わない」とお答えの方にうかがいます)

問41-1 そう思わない理由を教えてください。(〇は1つ)

1. 意見を伝える方法がわからないから
2. 市に意見を伝えても反映されないと思うから
3. 意見を言っても、具体的な話し合いには参加できないと思うから
4. 意見を言っても、子どもや若者の気持ちはわからないと思うから
5. 自分の意見に自信がないから
6. 市の制度や取組について知らないから
7. 市に伝えたい意見がないから
8. その他 ()

問42 どのような方法や手段なら意見を伝えやすいですか。(〇はいくつでも)

1. 様々な人と意見交換(ワークショップなど)しながら伝える
2. LINEやSNSなどのオンラインで伝える
3. アンケートに答える
4. 意見を伝える相手がどのような人が事前にわかる
5. 伝えた意見がどのように扱われるかわかる
6. 若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる
7. 意見を伝えるときに信頼できる人がそばにいる
8. 自分のことや伝えた内容が公開されない(秘密が守られる)
9. 知人や家族がいないほうが話しやすい
10. 意見を言うことでクーポンや謝礼がもらえる
11. その他 ()

ご回答ありがとうございました

※調査の回答は、WEB上で行ったため、WEB上の表記と異なる場合があります。

3. 学生・一般用

《WEB 回答案内》

インターネットによる回答方法

この調査は、パソコン、タブレット、スマートフォンからインターネット経由で回答します。
URLもしくは、二次元コードを読み取ってアクセスしてください。

1 回答ページにアクセス *パソコン、タブレット、スマートフォンから

<https://en.surece.co.jp/2024kodaira3/>



ID : (アルファベット小文字+数字)

パスワード : (ランダムなアルファベットと数字)

※IDとパスワードで個人情報はできませんので安心して回答してください。

2 回答フォームにログイン

回答用ページから「ID」と「パスワード」を入力し、「次へ」ボタンを押します。

ID / パスワードをご入力ください。

ID

パスワード

←回答用ページトップログイン画面

回答期限は、
12月16日(月)です。

3 回答を開始

質問が表示されますので、設問をよくお読みになって、あてはまる選択肢にチェックを入れてください。「その他」を選んだ場合や、自由に記述する設問は、枠内に文字を入力してください。



アンケートについて

- このアンケートは、テストではありません。また、あなたの答えを誰かに知られることはないので、安心してあなたの気持ちを、思うままに教えてください。
- かわりに読んでもらうなどの助けが必要な人は、助けをもらいながら答えても大丈夫です。安心できる周りの人に、手伝ってもらっても構いません。
- 答えたくない質問は、答える必要はありません。
- 回答は途中で保存ができます。最後に「次へ」ボタンを押したページまでの回答は保存されています。
- 回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
- 回答は1回限りです。最後の回答を送信するとその後の修正はできません。

令和6年度 小平市 若者アンケート ご協力をお願い

同様には、日頃から小平市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、小平市では現在、今後のことも、若者・子育て施策の根幹となる「(仮称)小平市こども計画」の策定作業を進めております。

その一環として、市内のこども・若者の意識や生活実態を明らかにするため、アンケート調査を実施いたします。

本アンケート調査の結果はすべて統計的に匿名処理され、回答内容とご回答いただいた方が結びつかないので、個人が特定される形で公表することは一切ございません。

ご多用の折まことに恐縮ではございますが、ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

本調査は市内にお住まいの16～29歳の方2,000人を無作為に選ばせていただき、「インターネットによる回答」で実施いたします。裏面の記載の回答方法をお読みになり、回答画面にアクセスしてください。

ご多用の折まことに恐縮ではございますが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【問合せ先】

小平市 こども家庭部 子育て支援課
小平市小川町二丁目133番地
電話：042-346-9815
(受付時間：平日午前8時30分～午後5時)
E-mail : kosodate@city.kodaira.lg.jp

令和6年11月

小平市 若者アンケート

(学生・一般用)

記入についてのお願い

1. できるだけ宛名のご本人がご記入ください。もしご本人がご記入できない場合は、ご家族等がご本人からお話を聞いてご記入ください。
2. 濃い鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
3. お答えは、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。
4. 「その他」にあてはまる場合は、()へ具体的に記入してください。
5. 答える設問に限られる場合があります。設問の前にある注意書をよくお読みください。
6. お答えにくい設問については無理にお答えいただくなくても結構です。

あなた自身のことについて

問1 あなたの年齢は。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
|-----------|-----------|-----------|

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------------------|
| 1. 男性 | 3. どちらでもない、答えたくない |
| 2. 女性 | 4. () |

問3 あなたは、現在学校に通っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|--------------|---------|-----------|
| 1. 現在在学している | 2. すでに卒業している | 3. 中退した | 4. 休学中である |
|-------------|--------------|---------|-----------|

問4 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または、現在在学している学校はどれですか。在学している方は、学年もお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 中学校 → () 年生 | 4. 高等専門学校・短期大学 → () 年生 |
| 2. 高等学校 → () 年生 | 5. 4年制大学・大学院 → () 年生 |
| 3. 専門学校 → () 年生 | 6. その他 |

問5 あなたは、結婚していますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 結婚している(事実婚を含む) | 3. 結婚していない |
| 2. 結婚したことがあるが、今はそうではない | |

問6 一緒に住んでいる家族を教えてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 父親 | 4. 祖父 | 7. 配偶者 |
| 2. 母親 | 5. 祖母 | 8. あなたのお子さん |
| 3. きょうだい | 6. 同居家族はいない | 9. その他 () |

問7 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多くの家計を負担している人をお答えください。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてきている人をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|------------|---------------|
| 1. 父親 | 4. 配偶者 | 7. 生活保護を受けている |
| 2. 母親 | 5. あなた自身 | 8. その他 |
| 3. きょうだい | 6. 他の家族や親戚 | () |

問8 あなたの家の暮らし向き(衣食住、レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べて、どの程度だと思いますか。あなたの実感でお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|--------|---------|
| 1. かなり良い | 3. ふつう | 4. やや低い |
| 2. やや良い | 5. 低い | |

問9 あなたのことに、次のことがどのくらいあてはまりますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
回答例	1	②	3	4
自分には自分らしさがある	1	2	3	4
困っているときは助けてくれる人がいる	1	2	3	4
自分の将来に明るい希望を持っている	1	2	3	4
今の生活に満足している	1	2	3	4

家庭での生活について

問10 あなたはふだん、家族とどのくらい話をしますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------|----------|------------|---------|
| 1. よく話す | 2. たまに話す | 3. あまり話さない | 4. 話さない |
|---------|----------|------------|---------|

(問10で「1. よく話す」または「2. たまに話す」とお答えの方にうかがいます)

問10-1 主に誰と話をしますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|--------|-------------|
| 1. 父親 | 4. 祖父 | 7. あなたのお子さん |
| 2. 母親 | 5. 祖母 | 8. その他 |
| 3. きょうだい | 6. 配偶者 | () |

問11 あなたは家族の人と話をするとき、どのようなことをよく話しますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 家族のこと | 8. 社会の出来事やニュース |
| 2. 友だちのこと | 9. 生活態度 |
| 3. 学校での出来事や先生のこと | 10. 進路や将来のこと |
| 4. 学校の勉強や成績のこと | 11. 親の生活のこと |
| 5. 塾・習いごとのこと | 12. 仕事のこと |
| 6. 遊びや趣味のこと | 13. その他 |
| 7. 近所の出来事 | () |

問12 あなたは、家庭の役割として、どのようなことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 家族の団らんの場 | 6. 休息・やすらぎの場 |
| 2. こどもを産み、育てる場 | 7. 親子が共に成長する場 |
| 3. こどもをしつける場 | 8. その他 |
| 4. 夫婦の愛情をはぐくむ場 | () |
| 5. 家族の絆をはぐくむ場 | 9. わからない |

日常生活について

問13 あなたには、友だちがいますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| 1. たくさんいる | 2. 少しいる | 3. いない |
|-----------|---------|--------|

(問13で「1. たくさんいる」または「2. 少しいる」とお答えの方にうかがいます)

問13-1 友だちはどのような人ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 学校で知り合った友だち | 5. 自分の趣味(好きなこと)を通じての友だち |
| 2. 地域サークルや団体活動の友だち | 6. インターネット(SNSなど)や |
| 3. アルバイト先や仕事関係の友だち | メールで知り合った友だち |
| 4. となり近所の友だち | 7. その他() |

問14 あなたが普段感じることは、どれに一番近いですか(〇は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 友だちや家族などと一緒にいるのが心地よい |
| 2. 友だちや家族などと一緒にいるより一人であるほうが心地よい |
| 3. ひとりぼっちでさみしいと感じることがある |
| 4. その他() |

問15 あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. テレビを見る | 7. 新聞を読む |
| 2. パソコンや携帯電話を利用する
(インターネットやSNS等) | 8. スポーツをする |
| 3. ゲームをする | 9. 買い物に行く |
| 4. ラジオや音楽を聴く | 10. ボランティア活動に参加する |
| 5. 勉強をする | 11. 家事や家の仕事の手伝いをする |
| 6. 本を読む | 12. その他() |
| | 13. 自由な時間はない |

問16 あなたが、ホッとできて、安心する場所はどこですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 自宅の自分の部屋 | 7. 図書館 | 13. ゲームセンター |
| 2. 家族が集まる部屋 | 8. 塾・習いごと先 | 14. 公園 |
| 3. 自宅のトイレ・風呂 | 9. 職場・バイト先 | 15. 落ち着く場所がない |
| 4. 祖父母の家 | 10. 飲食店 | 16. その他 |
| 5. 友だちの家 | 11. コンビニ | () |
| 6. 学校 | 12. カラオケボックス | |

問17 あなたはふだん、どのくらい外出しますか。(○は1つ)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人付き合いのためにときどき外出する
5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

(問17で5～8とお答えの方にうかがいます)

問17-1 現在の外出頻度になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

歳

(同様に、問17で5～8とお答えの方にうかがいます)

問17-2 現在の状態になってどのくらい経ちますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 6ヶ月未満 | 3. 1年以上～3年未満 | 5. 5年以上～7年未満 |
| 2. 6ヶ月以上～1年未満 | 4. 3年以上～5年未満 | 6. 7年以上 |

(同様に、問17で5～8とお答えの方にうかがいます)

問17-3 現在の状態になったきっかけは、何ですか (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 不登校 (小学校・中学校・高校) | 6. 職場になじめなかった |
| 2. 高校になじめなかった | 7. 人間関係がうまくいかなかった |
| 3. 大学になじめなかった | 8. 病気 |
| 4. 受験に失敗した (高校・大学) | 9. その他 () |
| 5. 就職活動がうまくいかなかった | 10. 特に理由はない |

普段のことについて

問18 あなたは、この1年くらいで次のような経験をしたことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 暴言や傷つくことをいわれた | 5. 国籍・人種による差別を受けた |
| 2. 無視をされた | 6. 暴力を受けた |
| 3. いじめを受けた | 7. その他の嫌な経験 () |
| 4. 性別による差別を受けた | 8. 特にない |

5

問19～21は、学生の方にお伺いします

学校での生活について

問19 あなたは、学校生活に満足していますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|----------|
| 1. 満足している | 2. まあ満足している | 3. やや不満である | 4. 不満である |
|-----------|-------------|------------|----------|

(問19で「3. やや不満である」または「4. 不満である」とお答えの方にうかがいます)

問19-1 学校生活で不満に思うのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 学校の施設のこと | 5. 部活動やクラブ活動のこと |
| 2. 友だちのこと | 6. 学校の規則のこと |
| 3. 先生のこと | 7. その他 () |
| 4. 授業のしかたや科目、教わる中身のこと | |

問20 学校生活で悩んでいることや、心配していることがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 授業がつまらない | 8. 学校の規則がきびしい |
| 2. 授業がわからない | 9. 部活動やクラブ活動がおもしろくない |
| 3. 成績が思いどおりにならない | 10. 進学が心配 |
| 4. 友だちとうまくいかない | 11. 就職が心配 |
| 5. 友だちがいない | 12. お金がかかる |
| 6. いじめられる | 13. その他 () |
| 7. 先生とうまくいかない | 14. 特にない |

問21 学校が嫌で休むことはありますか (ありましたか)。また、はいの場合1か月のうち休む日はどのくらいありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|---------------|-----------------|
| 1. いいえ | 2. はい (1～5日) | 4. はい (月の半分くらい) |
| | 3. はい (6～10日) | 5. はい (月のほとんど) |

6

ここから再び、すべての方にお伺いします

ヤングケアラー・若者ケアラーについて

問22 大人に代わって、あなたが中心となり、次のようなことを親きょうだいなどにしていますか。
(○はいくつでも)

※ヤングケアラー・若者ケアラーとは、大人にかわって家事（食事の準備・そうじ・洗たく）や家族のお世話をすることも・若者のことです。

- | | | |
|----------|------------------------|----------|
| 1. 食事の準備 | 4. きょうだいの送り迎えやお世話 | 7. していない |
| 2. そうじ | 5. 親などの食事の補助などのお世話 | |
| 3. 洗濯 | 6. ことばのちがいなどによる親の会話の補助 | |

(問22で1～6にひとつでも○をつけた方にうかがいます)

問22-1 前問の1～6のことを日ごろすることで、次のようなことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 学校を休んだり、遅刻や早退をしている | 4. 働けない |
| 2. 勉強する時間がない | 5. その他 () |
| 3. 自分の時間がない | 6. 特になし |

問23 あなたがヤングケアラー・若者ケアラーになった場合、誰かに相談しますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

(問23で「1. する」とお答えの方にうかがいます)

問23-1 相談する場合は誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 家族 | 4. 若ナビαなどの公共の相談先 |
| 2. 学校の先生や学校の相談室 | 5. その他 () |
| 3. 友だちなど | |

(問23で「2. しない」とお答えの方にうかがいます)

問23-2 相談しないのはなぜですか (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 誰に相談すればよいかわからない | 3. 誰かに相談するほどでないから |
| 2. 家族のことを知られたくないから | 4. その他 () |

ここから再び、全員の方にお伺いします

虐待について

問24 保護者や家族などに、過去にA～Dのようなことをされたことがありましたか。
(○はそれぞれ1つずつ)

	ない	ある
回答例	①	2
A きずやあざができるほどの暴力をうけたことがある。	1	2
B くり返しきずつくことを言われたり、無視されたり、家族の間での暴力を見たことがある。	1	2
C 食事をさせてもらえなかったり、長時間外に放置されたことがある	1	2
D 自分はいやなのに、自分の体を触られたり、服を脱がされたことがある	1	2

問25 あなたが前問のA～Dのことがあった場合、誰かに相談しますか、または相談しましたか。
(○は1つ)

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 相談する | 3. 相談先が分からない |
| 2. 相談しない | 4. その他 () |

問26 あなたは、親が自分のこどもをしつけるのに、たたいたり、どなったりすることを、どう思いますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. どんな理由があっても、たたいたりしてしつけるべきではない |
| 2. しかる理由がはっきりしていれば、あるていどたたいてもかまわない |
| 3. しつけのためにはあたりまえだと思う |
| 4. その他 () |

進路・就業・職業について教えてください

問27 【学生の方にうかがいます】 現在の学校を卒業後の希望について、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 就職(転職)希望 | 3. 現在の職業の継続を希望 |
| 2. 進学希望 | 4. いずれも希望していない |

ここから再び、全員の方にお伺いします

問28 あなたは現在、働いていますか。働いている場合は、就業形態を教えてください。(○は1つ)

1. 正社員
2. 契約社員
3. 派遣社員
4. パート・アルバイト
5. 自営業
6. 専門職・技術職

7. 学生・生徒で普段仕事をしていない

8. 専業主婦・主夫
9. 家事手伝いをしている
10. 失業中
11. 無職
12. その他 ()

(問28で1～6とお答えの方にうかがいます)

問28-1 あなたは、今の職場に満足していますか。(○は1つ)

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満

(問28で8～12とお答えの方にうかがいます)

問28-2 あなたが就職していないのはなぜですか。(○はいくつでも)

1. 自分にあった仕事が見つからない
2. 何らかの仕事に就きたいが、求人がない
3. 仕事をする意欲がもてない
4. 働く必要性を感じない
5. 家庭の事情
6. 健康上の理由
7. その他 ()

ここから再び、全員の方にお伺いします

問29 あなたは、仕事を選ぶ際に主にどのようなことを重視しますか。(○は3つまで)

1. 正社員・正規職員で働くこと
2. 仕事にやりがいを感じられること
3. 専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること
4. 給料が高いこと
5. 労働時間が短いこと
6. 残業や休日出勤が少ないこと
7. 実力を適正に評価してくれること
8. 職場の雰囲気や人間関係が良いこと
9. 長い年数働き続けられること
10. 子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと
11. 希望の勤務地で働くこと
12. その他 ()

非行的な行為について

問30 あなたは、子ども・若者の健やかな成長、非行防止に特に何が大切だと思いますか。

(○は3つまで)

1. 保護者が手本となるような生活態度を示すこと
2. 保護者と子どもが積極的に会話をし、ふれあう機会を多く持つことにすること
3. 大人が子どもの自主性を尊重し、過保護、過干渉にならないようにすること
4. 大人が子どもに生命や物の大切さをもっと教えること
5. 子どもに悪い影響を与えと思われる雑誌、番組、DVDなどが
子どもの目に触れない環境をつくること
6. 社会全体がモラルを高めること
7. 地域で青少年を見守り、育てるような環境をつくること
8. 警察や役所が取締りや広報・PR活動を行うこと
9. 学校で社会のモラルや道徳を教えること
10. 居場所や遊び場などを作ること
11. その他 ()
12. 特にない

地域社会での生活について

問31 あなたの住む地域(自宅から歩いて20分以内の場所)で、あなたは次のような危険な目にあったことはありますか。(○はいくつでも)

1. 車やバイクにぶつかりそうになった
2. 自転車にぶつかりそうになった
3. 知らない人に声をかけられたり、にらまれたり、怒られたりした
4. 知らない人から暴力を受けた
5. 知らない人に連れ去れそうになった
6. その他 ()
7. 特にない

問32 あなたは現在、地域の活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 参加している

2. 参加していない

(問32で「1. 参加している」とお答えの方にうかがいます)

問32-1 その地域活動は、何ですか。(○はいくつでも)

1. 自治会・コミュニティなどの地域活動
2. 防犯・防災や交通安全などの活動
3. 地域で行っているサークル活動
4. スポーツ活動(野球・サッカーなど)
5. 祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動
6. 公園・道路の清掃、花や緑を植える活動
7. 資源回収などのリサイクル活動
8. こどもや高齢者、障がい者のためのボランティア活動
9. まちづくりに関する活動
10. 募金などの支援活動
11. その他()

(問32で「2. 参加していない」とお答えの方にうかがいます)

問32-2 地域活動に参加していない主な理由は、何ですか。(○はいくつでも)

1. 地域でどのような活動が行われているか知らない
2. 一緒に参加する友だち・知人がいない
3. 参加方法がわからない
4. 時間や日程が合わない
5. 参加する時間的余裕がない
6. 地域の活動には興味がない
7. 地域の活動が盛んではない
8. 趣味に関する活動が忙しい
9. その他()
10. 特に理由はない

11

ここから再び、全員の方にお伺いします

日頃の考え方や意識について

問33 あなたは、「自分のことが好きだ」と思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. あまりそう思わない
3. まあそう思う
4. そう思わない

問34 あなたは現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. 勉強に関すること | 9. 就職に関すること |
| 2. 仕事に関すること | 10. 恋愛に関すること |
| 3. 友だちに関すること | 11. お金に関すること |
| 4. 家族に関すること | 12. 自分の体や性に関すること |
| 5. 学校に関すること | 13. 将来に関すること |
| 6. 部活に関すること | 14. インターネットやSNSの人間関係に関すること |
| 7. 塾・習い事に関すること | 15. (戦争や事件などの) ニュースに関すること |
| 8. 進学に関すること | 16. その他() |

問35 あなたはふだん、悩みごとを誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------|-----------------|----------------|
| 1. 親 | 6. 祖父母 | 11. ネット上の知り合い |
| 2. 友だち | 7. 学校の先生 | 12. ネット上の質問サイト |
| 3. 先輩 | 8. 職場の同僚・上司 | 13. その他() |
| 4. 交際相手 | 9. カウンセラー・精神科医 | 14. 相談する人がいない |
| 5. 配偶者 | 10. 行政などの専門相談機関 | 15. 誰にも相談しない |

問36 自分の悩みごとを誰かに相談する方法として、最も良いと思うのは何ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 直接会う | 4. LINEやX、FacebookなどのSNS |
| 2. 電話 | 5. インターネットのチャットや掲示板など |
| 3. 携帯電話・スマートフォンやパソコンのメール | 6. その他() |

12

将来のことについて

問37 あなたは、将来に不安を感じていますか。(○は1つ)

1. 感じている 2. 感じていない 3. わからない

(問37で「1. 感じている」とお答えの方にうかがいます)

問37-1 将来への不安は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|-----------|----------------|
| 1. 収入・生活費 | 6. 家族の生活 | 11. 友だちなどの人間関係 |
| 2. 勉強 | 7. 自分の健康 | 12. 社会情勢・不況 |
| 3. 進学 | 8. 結婚 | 13. なんとなく |
| 4. 就職 | 9. 生きがい | 14. その他 |
| 5. 仕事 | 10. 孤独・孤立 | () |

問38 あなたは、20年後どのようなになっていると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう 思う	どちら かとい えば	どちら かわか ない	そう 思わ ない	わ か ら な い
回答例	1	②	3	4	5
好きな仕事をしている	1	2	3	4	5
結婚している/パートナーと暮らしている	1	2	3	4	5
子どもを育てている	1	2	3	4	5
好きな国・地域で暮らしている	1	2	3	4	5
お金に困らず豊かな暮らしをしている	1	2	3	4	5
自分の好きなことや、自由時間を楽しんでいる	1	2	3	4	5

問39 あなたは将来、子どもを育てたいと考えていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 子どもを1人育てたい | 4. 子どもを育てたいとは思わない |
| 2. 子どもを2人育てたい | 5. まだ分からない |
| 3. 子どもを3人以上育てたい | |

問40 あなたは、これから若者(29歳ぐらいまでの人)のために、小平市に必要な取組は何だと思いますか。(○は3つまで)

1. お金の心配をすることなく学べる(進学・塾に行くこと)ように支援する
2. 就職に向けた相談やサポート体制を充実させる
3. イベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する
4. 自由に過ごせる場を増やす
5. 自分の意見を発表できる機会を増やす
6. 悩みを相談できる場や機会を増やす
7. 参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報を提供する
8. その他()
9. 特にない

問41 あなたは、市の制度や取組に自分の考えを伝えられていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

(問41で「3. あまりそう思わない」または「4. そう思わない」とお答えの方にうかがいます)

問41-1 そう思わない理由を教えてください。(○は1つ)

1. 意見を伝える方法がわからないから
2. 市に意見を伝えても反映されないと思うから
3. 意見を言っても、具体的な話し合いには参加できないと思うから
4. 意見を言っても、子どもや若者の気持ちはわからないと思うから
5. 自分の意見に自信がないから
6. 市の制度や取組について知らないから
7. 市に伝えたい意見がないから
8. その他()

問42. どのような方法や手段なら意見を伝えやすいですか。(〇はいくつでも)

1. 様々な人と意見交換(ワークショップなど)しながら伝える
2. LINEやSNSなどのオンラインで伝える
3. アンケートに答える
4. 意見を伝える相手がどのような人が事前にわかる
5. 伝えた意見がどのように扱われるかがわかる
6. 若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる
7. 意見を伝えるときに信頼できる人がそばにいる
8. 自分のことや伝えた内容が公開されない(秘密が守られる)
9. 知人や家族がいないほうが話しやすい
10. 意見を言うことでクーポンや謝礼がもらえる
11. その他 ()

ご回答ありがとうございました

4. 関係団体（関係者）用

■ 関係機関向け子ども等の意識・実態調査アンケート

問1 あなたの所属をお答えください。(○は1つ)

- 1 青少年対策地区委員会委員 2 青少年委員 3 民生委員児童委員・主任児童委員
4 保護司 5 その他()

問2 実施・提供している活動・支援方法についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 電話による相談 2 メールによる相談 3 訪問支援
4 保護者・支援者等の会への参画 5 支援を受ける当事者の会への参画
6 青少年のための地域・育成活動
7 その他()

問3 子ども・若者、保護者から寄せられる主な相談内容はなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 社会資源(サービスや支援)に関すること 2 子育てに関すること
3 進路と将来に関すること 4 SNSに関すること
5 ヤングケアラーに関すること 6 交友関係に関すること 7 虐待に関すること
8 その他()

問4 あなたが実施・提供等をしている活動を通じて、子ども・若者、保護者の抱えている問題はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 不登校 2 学校の中退者 3 若者無業者(いわゆるニート)
4 ひきこもり 5 発達障がいに関すること 6 経済的な悩み
7 不行 8 有害な環境・情報の氾濫
9 その他()

問5 活動上の課題についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 支援者のなり手が少ない 2 支援者に世代などの偏りがある
3 支援者が仕事・家事などで忙しい 4 支援者の専門性が不足している
5 活動の場所が確保できていない 6 他の団体との交流する機会が乏しい
7 活動がマンネリ化している 8 活動にお金がかかる
9 活動に必要な情報が集まらない 10 情報発信する場や機会が乏しい
11 弊に困ったことはない
12 その他()

あと3問です！

1/3

令和6年11月

民生児童委員各位
主任児童委員各位小平市子ども家庭部
子育て支援課長 村田 典紀(仮称) 小平市子ども計画策定に係る子ども等の意識・実態調査への
ご協力について (依頼)

日頃より、小平市の青少年行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、このたびは下記の件について、下記のとおりアンケート調査を行いますので、お忙しいところ
大変恐縮ですが、ご協力いただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1 調査の目的

小平市ではこれまで、「小平市子ども・若者計画」に基づき子ども・若者施策を推進してきましたが、令和5年4月に子ども基本法が策定され、子ども施策全体として統一的・総合的に、市民にとって一層わかりやすいものにするため、小平市子ども・若者計画を前倒しで見直すとともに、
(仮称) 小平市子ども計画を策定することとしました。
本アンケートは、計画策定時の基礎資料とするために実施することを目的としています。

2 調査の回答について

二次元コードを読み取るか、URLをコピーしてWeb上の回答フォームからご回答いただくか、紙ベースでの回答をよろしくお願いいたします。
紙ベースの場合は、本日もしくは次回会議の時にご提出いただくか、民生委員事務局にお持ちいただきますようよろしくお願いいたします。
答えの方を特定せず集計しますので、匿名感のことを自由に回答してください。
また、答えにくい質問はとばしていただいて構いません。

3 調査回答期間 (Web上の回答フォーム)

本日から12月20日まで


<https://surveyform.jp/form/wsdH/678857>

問合せ
小平市子ども家庭部子育て支援課
子ども・若者支援担当 西前
〒187-8701 小平市小川町二丁目1-3-3番地
電話 042-346-9815
E-mail knsodateshiencity.kodaira.lg.jp

問6 市全体を見たときに、子ども・若者や子育て世代に不足しているサービスや支援はどのようなものでしょうか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1 社会資源の充実と支援の仕組みづくり | 2 学習支援の充実 |
| 3 家族支援の充実 | 4 支援活動団体のPRと支援者の人材育成の充実 |
| 5 支援者のフォロー体制の充実 | |
| 6 一般市民のひきこもりやヤングケアラーに対する正しい理解の促進 | |
| 7 居場所の充実 | |
| 8 専門的な人材育成と確保 | |
| 9 その他() | |

問7 子ども・若者が、学ぶことや働くこと、人と関わることに積極的になるために、地域社会にはどのようなことが求められると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 子ども・若者が活躍できるような機会がたくさん用意されること |
| 2 定年退職した人などの技術や知識を子ども・若者に還元する機会を提供すること |
| 3 地域にある事業所や商店と協力して、見学や就労体験の機会を作ること |
| 4 ひきこもりやヤングケアラーを支援する団体などがたくさんあること |
| 5 同じような悩みを抱える親同士の話し合いの機会があること |
| 6 子ども・若者が居心地の良い場所があること |
| 7 異同と格差が解消されること |
| 8 その他() |



2/3

あと1問です！

問8 今後の子ども・若者、子育て世代に対する施策を考えていくうえで、大切なことを自由にご記入ください。



アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

ご回答いただいた内容は、(仮称)小平市子ども計画策定のための基礎資料に利用させていただきます。
この調査の集計結果の概要は、来年4月以降、小平市のホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

3/3

問合せ 小平市役所 子ども家庭部 子育て支援課

〒187-8701 小平市小川町二丁目1333番地
電話:042-346-9815/FAX:042-346-9200
E-mail:kosodatেশien@city.kodaira.tg.jp

小平市こども・若者の意識・実態調査報告書

発 行：小平市

編 集：小平市 こども家庭部 子育て支援課

住 所：〒187-8701

東京都小平市小川町二丁目1333番地

電話番号：042-346-9815

F A X：042-346-9200

E-Mail：kosodateshien@city.kodaira.lg.jp

発行年月：令和7年3月
